

基本計画書

基本計画書										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ設置者	ガッコウホウジン トウセイガクエン 学校法人 東成学園									
フリガナ大学の名称	ショウワガクダいがく 昭和音楽大学（Showa University of Music）									
大学本部の位置	神奈川県川崎市麻生区上麻生1丁目11番1号									
大学の目的	昭和音楽大学は、教育基本法及び学校教育法にしたがい、広く知識を授けるとともに、音楽を中心としたさまざまな領域に関する技能、理論及び応用を深く教授研究し、もって広い視野と高い識見を持つ人材育成を行い、文化の向上と社会の福祉に寄与することを目的とする。									
新設学部等の目的	入学者数と入学定員の差異を是正し、適正化を図るため									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	音楽学部	年	人	年次人	人		年月第年次			
	音楽芸術表現学科	4	200 (185)	15 3年次	830 (770)	学士（音楽）	令和6年4月第1年次	神奈川県川崎市麻生区上麻生1丁目11番1号		
	音楽芸術運営学科	4	100	5 3年次	410	学士（芸術）	平成6年4月第1年次	神奈川県川崎市麻生区上麻生1丁目11番1号		
	計		300 (285)	20	1,240 (1,180)					
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	昭和音楽大学短期大学部 音楽科〔定員減〕（△30）（令和6年4月）									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新設分	音楽学部 音楽芸術表現学科		23人 (23)	11人 (11)	4人 (4)	0人 (0)	38人 (38)	4人 (4)	430人 (430)
		音楽芸術運営学科		10 (10)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	18 (18)	2 (2)	479 (479)
		計		33 (33)	17 (17)	6 (6)	0 (0)	56 (56)	6 (6)	— (—)
	既分設	該当なし		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		計		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
合計			33 (33)	17 (17)	6 (6)	0 (0)	56 (56)	6 (6)	— (—)	
教員以外の職員の概要	職種			専任		兼任		計		
	事務職員			53 (53)		37 (37)		90 (90)		
	技術職員			0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	図書館専門職員			4 (4)		14 (14)		18 (18)		
	その他の職員			0 (0)		0 (0)		0 (0)		
計			57 (57)		51 (51)		108 (108)			

左記の他、授業補助を業務とする兼任職員 52名（52名）

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	昭和音楽大学短期 大学部（必要面積 1,400㎡）と共用 （収容定員：140 名）			
	校 舎 敷 地	0 ㎡	21,461.54㎡	0 ㎡	21,461.54㎡				
	運 動 場 用 地	0 ㎡	623.52㎡	0 ㎡	623.52㎡				
	小 計	0 ㎡	22,085.06㎡	0 ㎡	22,085.06㎡				
	そ の 他	0 ㎡	1,162.96㎡	0 ㎡	1,162.96㎡				
合 計	0 ㎡	23,248.02㎡	0 ㎡	23,248.02㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	昭和音楽大学短期 大学部（必要面積 2,050㎡）と共用 （収容定員：140 名）			
		0㎡ (0㎡)	33,621.19㎡ (33,621.19㎡)	0㎡ (0㎡)	33,621.19㎡ (33,621.19㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 （短期大学部を含 む）			
	39室	125室	162室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		大学全体 （短期大学部を含 む）			
		大学全体		58 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体 （短期大学部を含 む）	
	大学全体	135,000 [67,000] (128,000 [64,000])	40 [28] (40 [28])	2 [2] (2 [2])	59,000 (55,000)	38 (38)	0 (0)		
	計	135,000 [67,000] (128,000 [64,000])	40 [28] (40 [28])	2 [2] (2 [2])	59,000 (55,000)	38 (38)	0 (0)		
図 書 館		面積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 （短期大学部を含 む）		
		1,597.27 ㎡		283	99,000				
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 （短期大学部を含 む）	
		— ㎡		該当なし					
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 （大学院・短期大 学部を含む） 図書購入費には電 子ジャーナル・デー タベースの設備費（運用コ スト含む）等を含む
	経費の見積り								
	教員1人当り研究費等		250千円	250千円	250千円	250千円	—	—	
	共同研究費等		1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	—	—	
	図書購入費	29,000千円	29,000千円	29,000千円	29,000千円	29,000千円	—	—	
設備購入費	45,000千円	45,000千円	45,000千円	45,000千円	45,000千円	—	—		
学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	2,220千円	2,020千円	2,020千円	2,020千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		経常費等補助金、付随事業収入、受取利息・配当金 等							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	昭和音楽大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地
	音楽学部	年	人	年次 人	人		倍		神奈川県川崎市 麻生区上麻生 1丁目11番1号 ※平成29年度より学 生募集停止（器楽学 科）
	音楽芸術表現学科	4	185	3年次 15	770	学士(音楽)	1.07 1.10	平成 29年度	
	音楽芸術運営学科	4	100	3年次 5	410	学士(芸術)	1.00	平成 6年度	
	器楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和 59年度	
	大学院音楽研究科								
	音楽芸術専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士(音楽) 博士(芸術) 博士(音楽療法)	1.08	平成 26年度	
	音楽芸術表現専攻 (修士課程)	2	35	—	70	修士(音楽)	1.34	平成 23年度	
	音楽芸術運営専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士(芸術)	2.25	平成 10年度	
大 学 の 名 称	昭和音楽大学短期大学部								
学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
音楽科	2	100	—	200	短期大学士 (音楽) 短期大学士 (芸術)	0.66	昭 和 44年度	神奈川県川崎市 麻生区上麻生 1丁目11番1号	
附属施設の概要		該当なし							

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人東成学園 収容定員変更に係る組織の移行表

2023(令和5)年度

	入学定員	編入学定員	収容定員
昭和音楽大学			
音楽学部			
器楽学科	0	0	0
音楽芸術表現学科	185	15	770
音楽芸術運営学科	100	5	410
計	285	20	1,180
昭和音楽大学大学院			
音楽研究科			
音楽芸術表現専攻(M)	35	—	70
音楽芸術運営専攻(M)	6	—	12
音楽芸術専攻(D)	4	—	12
計	45	—	94
昭和音楽大学短期大学部			
音楽科	100	—	200
計	100	—	200

2024(令和6)年度

	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
昭和音楽大学				
音楽学部				
音楽芸術表現学科	200	15	830	平成29年4月学生募集停止 定員変更(15)
音楽芸術運営学科	100	5	410	
計	300	20	1,240	
昭和音楽大学大学院				
音楽研究科				
音楽芸術表現専攻(M)	35	—	70	
音楽芸術運営専攻(M)	6	—	12	
音楽芸術専攻(D)	4	—	12	
計	45	—	94	
昭和音楽大学短期大学部				
音楽科	70	—	140	定員変更(△30)
計	70	—	140	

1. 都道府県における位置関係

神奈川県内の位置図



2. 最寄駅からの距離、交通機関、所要時間

最寄駅からの距離

■ 北校舎

- ・新百合ヶ丘駅から約150m
(徒歩1分)

■ 南校舎

- ・新百合ヶ丘駅から約350m
(徒歩4分)



交通機関、所要時間

■ 最寄り駅：小田急線 新百合ヶ丘駅

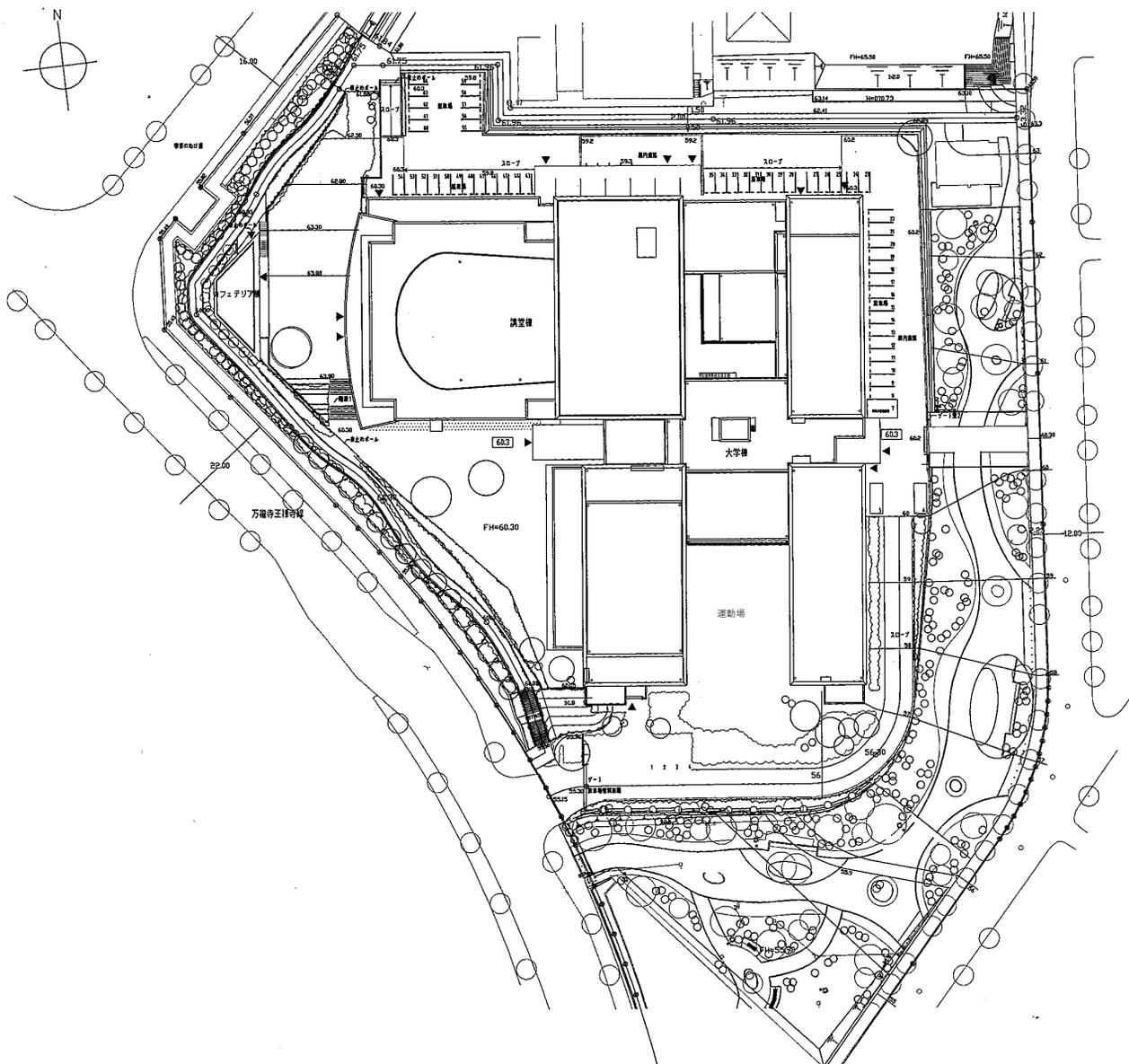
- ・新宿駅から 22分
(小田急線 快速急行利用時)
- ・渋谷駅から 25分
(下北沢駅乗換 井の頭線急行・小田急線快速利用時)
- ・川崎駅から 35分
(登戸駅乗換 南武線快速・小田急線急行利用時)
- ・横浜駅から 44分
(大和駅乗換 相鉄本線特急・小田急線快速急行利用時)
- ・八王子駅から 42分
(町田駅乗換 横浜線快速・小田急線急行利用時)
- ・小田原駅から 56分
(海老名駅乗換 特急ロマンスカー・小田急線快速急行利用時)



✈ 羽田空港・成田空港から新百合ヶ丘駅直通バス有

3. 校舎、運動場の配置図

南校舎 配置図

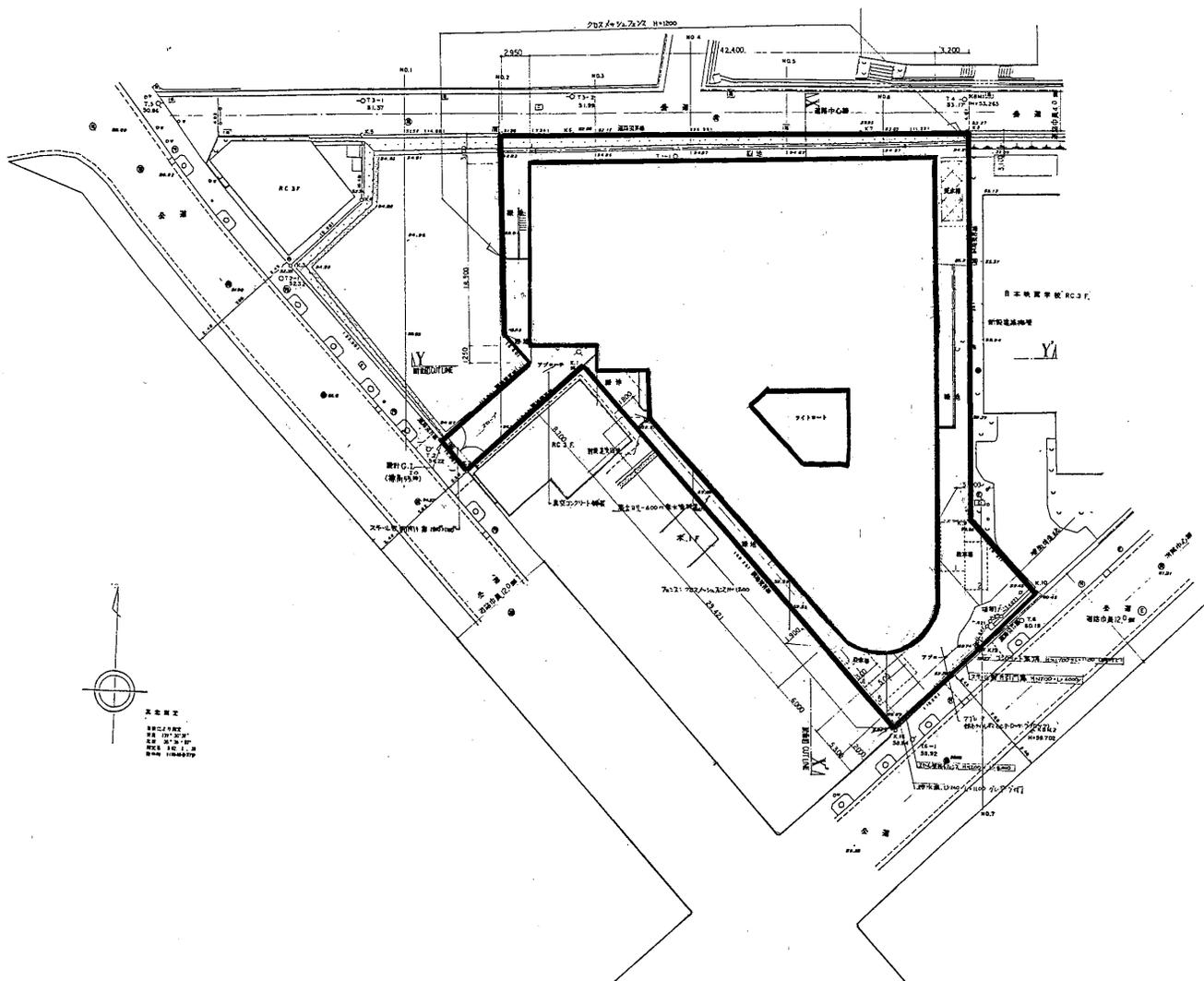


校地面積	19,983.00 m ²
校舎面積 ※	27,233.65 m ²

※大学院（修士課程及び博士後期課程）の専有面積を除く

3. 校舎、運動場の配置図

北校舎 配置図



校地面積	2,102.06 m ²
校舎面積	6,387.54 m ²

昭和音楽大学学則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 昭和音楽大学（以下「本学」という）は、教育基本法及び学校教育法にしたがい、広く知識を授けるとともに、音楽を中心としたさまざまな領域に関する技能、理論及び応用を深く教授研究し、もって広い視野と高い識見を持つ人材育成を行い、文化の向上と社会の福祉に寄与することを目的とする。

(自己点検・評価)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

- 2 本学は、前項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間毎に文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。
- 3 点検及び評価に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究上の目的の公表)

第3条 本学は、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を学科ごとに定め公表する。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第4条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための委員会を設け、研修等を実施する。

- 2 前項の委員会については別に定める。

第2章 学部、学科、収容定員及び修業年限

(学部及び学科)

第5条 本学に次の学部及び学科を置く。

音楽学部 音楽芸術表現学科 音楽芸術運営学科

(大学院)

第6条 本学に大学院を置く。

- 2 大学院に関する規則は別に定める。

(収容定員)

第7条 各学科学生の入学定員及び収容定員は次の通りとする。

学部	学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
音楽学部	音楽芸術表現学科	200	15	830
	音楽芸術運営学科	100	5	410
	計	300	20	1,240

(修業年限及び在学年限)

第8条 本学の修業年限は4年とする。

ただし、学生は8年を超えて在学することはできない。

また、3年次編入学者については、4年を超えて在学することはできない。

第3章 学年、学期、授業期間及び休業日

(学年)

第9条 学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日から9月15日まで

後期 9月16日から翌年3月31日まで

- 2 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。
- 3 学長は、事情により第1項に定める学期及び授業期間について変更することができる。

(休業日)

第11条 本学における休業日を次のとおり定める。

- (1) 日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (2) 学園創立記念日 1月15日
- (3) 夏季休業日
- (4) 冬季休業日
- (5) 春季休業日
- (6) 夏季、冬季、春季休業日は学事日程により定める。
- 2 学長は事情により前項の規定にかかわらず臨時に休業日を定め、または休業日の変更を行うことができる。

第4章 教育課程、履修の方法、学修の評価、課程修了の認定及び卒業

(開設授業科目及びその単位数)

第12条 本学において開設する教養科目、外国語科目及び専門科目に関する単位数は別表1のとおりとする。

(履修の方法)

第13条 本学において開設する授業科目は、これを必修、選択必修科目及び選択科目とし、4カ年に分けて履修させるものとする。

(履修科目の登録)

第14条 学生は毎学年度の当初に当該年度において履修する授業科目を登録しなければならない。

- 2 学生は、前項により登録した授業科目以外の授業科目を履修し、また単位を修得することができない。

(単位の認定)

第15条 各授業科目を履修し、試験、その他の大学が定める適切な方法により学修の成果を評価し、合格したものには、所定の単位を与える。ただし、授業料及び所定の学費が未納の場合には、単位の認定は行わない。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第16条 本学が教育上有益と認めるときは、別に定める規定により、学生が他の大学・短期大学及びその他の教育施設等における学修を、次条に定める既修得単位と併せて、60単位を超えない範囲で本学において修得したものととして認定することができる。

(入学前の既修得単位等の認定)

第17条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（第59条の規定による科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科その他文部科学大臣が定める教育施設における学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、

前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(学修の評価)

第18条 試験等による成績の評価は、S・A・B・C・Fの5段階とし、Fを不合格とする。

2 成績と評価基準は、次のとおりとする。

成績	評価
100点～90点	S
89点～80点	A
79点～70点	B
69点～60点	C
59点～ 0点	F

3 前項の成績評価に基づき、学業成績を総合的に判断する指標として、単位当たりの成績評価の平均値を示すグレードポイントアベレージ(GPA)を用いる。

4 グレードポイントアベレージ(GPA)は、前項の評価のうち、Sはグレードポイント(GP)を4、Aは3、Bは2、Cは1、Fは0とし、各科目の評価にその科目の単位数を乗じて得た積の合計を、履修科目の合計単位数で除した数値で算出する。算出方法の詳細は別に定める。

(単位の計算方法)

第19条 各授業科目の単位数を定めるに当たっては1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位を計算する。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、15時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実技、実習及び実験については45時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(4) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二以上の方法の併用により授業を行う場合は、前3号の組み合わせに応じ、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

(5) 卒業論文・卒業研究・卒業制作・卒業演奏等の授業科目については、学修の成果

を評価し、所定の単位を与えることができる。

(授業の方法)

- 第19条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
 - 3 卒業の要件として修得すべき単位数のうち、前項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。
 - 4 第一項の授業を、外国において履修させることができる。第二項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
 - 5 文部科学大臣が別に定めるところにより、第一項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

(卒業の要件)

第20条 本学を卒業するためには、学生は履修要綱に定める授業科目124単位以上を修得し、その他大学が定める卒業の要件を満たさなければならない。

(教育職員免許状)

- 第21条 教育職員免許状を得ようとする者は、前条に規定する卒業の要件を充足し、かつ教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。教職課程の科目と単位数は別表2のとおりとする。
- 2 本学の各学科において取得できる教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

学部・学科		取得できる教育職員免許状の種類
音楽学部	音楽芸術表現学科	中学校教諭一種免許状（教科・音楽）
	音楽芸術運営学科	高等学校教諭一種免許状（教科・音楽）

(学芸員資格)

第22条 学芸員となる資格を得ようとする者は、第20条に規定する卒業の要件を充足し、かつ博物館法及び博物館法施行規則に定める博物館に関する科目と単位を修得しなければならない。本学が開講する博物館に関する科目と単位数は別表3のとおりとする。

(司書資格)

第23条 司書となる資格を得ようとする者は、第20条に規定する卒業要件を充足し、かつ図書館法及び図書館法施行規則に定める図書館に関する科目と単位を修得しなければならない。本学が開講する図書館に関する科目と単位数は別表4のとおりとする。

(卒業の認定)

第24条 本学に在学し、第20条に定める単位を修得し、その他大学が定める卒業の要件を満たした者に対し、学長は卒業を認定し、卒業証書を授与する。

(学位の授与)

第25条 卒業者に学士の学位を授与する。
2 学位に関する規則は別に定める。

第5章 入学、退学、転学及び休学

(入学の時期)

第26条 入学の時期は、毎学年度の初めとする。

(入学の資格)

第27条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当し、かつ本学において実施する入学者選抜試験に合格した者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

(入学志願の手続き)

第28条 入学志願者は、本学所定の書類に定められた入学検定料を添えて所定の期間中に提出しなければならない。

2 提出時期、方法、同時に提出すべき書類等については別に定める。

(再入学)

第29条 願いにより本学を退学した者が、退学後2年以内に再入学を希望するときは選考のうえ、入学を許可することがある。

2 この場合、退学前に修得した単位の全部または一部をすでに修得したものとして認めることがある。この認定は学長が行う。

(編入学・転入学)

第30条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、第7条の規定に基づき選考の上、3年次に編入学を許可する。

(1) 大学を卒業した者または退学した者

(2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

(3) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校の課程を修了し、または卒業した者

(4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

(ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る)

2 前項のほか、収容定員に欠員がある場合にかぎり選考の上、相当年次に編入学、転入学を許可することがある。

3 前項の規定により入学を許可された者のすでに修得した授業科目及び単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、学長が決定する。

4 編入学、転入学の場合に必要な手続きは別に定める。

(入学に関する手続き及び入学許可)

第31条 本学が行う入学試験に合格した者は、指定の期間内に入学金、授業料及び施設費を納入し、本学の指定する書類を提出しなければならない。

2 学長は前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(連帯保証人)

第32条 入学を許可された者は、連帯保証人1名を定め、本学の指定する期間内に届け出なければならない。

2 連帯保証人は学生が在学中に本学に対し負担する次の債務について、所定の保証書に定める極度額の範囲内で連帯保証するものとする。

(1) 学費および学費にかかる遅延損害金

- (2) 学内施設・備品、楽器、図書などに損害を与えた場合の損害賠償金
- (3) その他在学中に学生が負担するいっさいの債務
- 3 連帯保証人を変更したとき、転居したときは直ちに届け出なければならない。

(退 学)

第33条 退学しようとする者は、連帯保証人連署のうえ学長に願い出るものとする。

(休 学)

第34条 疾病その他やむをえない事情により3カ月以上就学することのできない者は、連帯保証人連署のうえ学長に休学を願い出るものとする。

- 2 前項の休学のうち疾病による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

(休学の期間)

第35条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の理由があると認められた者にあつては、引き続き更に1年まで延長することができる。

- 2 休学の期間は通算して2年を超えることができない。
- 3 休学の期間は在学年数に通算しない。

(復 学)

第36条 休学期間満了のとき、または休学期間であってもその理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(除 籍)

第37条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 第8条に規定する在学年限を超えた者
- (2) 第35条に規定する休学年限を超えた者
- (3) 授業料・施設費を滞納し督促を受けても納入しない者
- (4) 死亡または行方不明の者

第6章 入学金、授業料その他の費用

(入学金・授業料・施設費・その他の費用)

第38条 入学金、授業料、施設費の額及び納入期限は別表6のとおりとする。

- 2 前項のほか、教育に必要な費用を徴収することがある。

(退学等の場合の授業料・施設費)

第39条 退学もしくは転学した者、退学を命ぜられた者または停学中の者は、当該期の授業料及び施設費全額を納入しなければならない。

- 2 授業料・施設費を分納した者が前期中に退学した場合は、未納の年額2分の1相

当額を徴収しないものとする。

(休学の場合の授業料・施設費)

第40条 休学者についての授業料・施設費の扱いを次のとおり定める。

- (1) 授業料年額分を第1期、第2期に分納している場合、休学の理由が発生した当該学期の授業料は、これを全納するものとする。
- (2) 授業料年額分全納している場合、休学の理由が前期に発生した場合、第2期分に該当する授業料は、復学した年度の授業料の一部にこれを充当するものとする。
- (3) 復学した場合の授業料納入について、休学の理由が消滅し復学が認められた場合
 - (ア) 前期中に復学した場合、その年度の授業料年額に相当する額を納入しなければならない。
 - (イ) 当該年度後期から復学する場合は、第2期分の授業料はこれを全納するものとする。
- (4) 休学の場合の施設費について
 - (ア) 年間休学者は施設費年額の1/2額を納入するものとする。
 - (イ) 半期休学者は施設費年額の3/4額を納入するものとする。

(授業料・施設費の返還)

第41条 既納の授業料及び施設費は、原則として返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合には、納入した者の申出により当該各号に定める額を返還する。

- (1) 年額を納入した者が、前期中に退学した場合は、年額の2分の1相当額
- (2) 入学手続をした者が、指定の期間内に所定の手続きにより入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く全額

第7章 教職員組織

(教職員)

第42条 本学に学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員等の職員を置く。

- 2 前項に定めるほかに、副学長を置くことができる。

(教職員の職務)

第43条 教職員の職務は学校教育法及びその他の法令の定めるところによる。

- 2 教職員の職務は次の各号の定めによる。
 - (1) 学長は、本学を代表し校務をつかさどり、所属教職員を統督する。
 - (2) 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
 - (3) 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

- (4) 教授、准教授、講師及び助教は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (5) 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

第8章 教授会

(教授会)

第44条 本学に重要な事項を審議するため、教授会をおく。

- 2 教授会は、学長が教育研究に関する重要な事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 4 教授会の運営に関し必要とする事項については別に定める。

(教授会の構成)

第45条 教授会は、学長、副学長、学部長及び専任の教授、准教授、専任講師をもって組織する。

- 2 前項の規定にかかわらず、教授会が必要と認めたときは、教授会にその他の教職員を加えることができる。ただし、議決に加わることはできない。

(審議事項)

第46条 教授会は、第44条2項に基づき、次の事項を審議する。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
 - (2) 学位の授与に関する事項
 - (3) 教育課程の編成に関する事項
 - (4) 教学に関する諸規程の制定、改廃に関する事項
 - (5) 教員の研究等に関する事項
 - (6) その他、学長が教授会の意見を聴くことが必要とした教育研究上の重要な事項
- 2 教授会は前項に規定するもののほか、第44条3項に基づき、次の事項を審議する。
- (1) 学生の転学、転科、休学、復学等に関する事項
 - (2) 学生の厚生補導に関する事項
 - (3) 学生の賞罰に関する事項
 - (4) 除籍に関する事項
 - (5) その他、教授会で審議が必要と思われる事項

第9章 専攻科

(名 称)

第47条 本学に専攻科を設け、次の専攻をおく。

音楽専攻科

器楽専攻 声楽専攻

(目 的)

第48条 専攻科は音楽学部の基礎の上に特別の教育課程による授業を行い、その研究を指導することを目的とする。

(入学定員)

第49条 専攻科の入学定員は次のとおりとする。

音楽専攻科10名（器楽専攻6名、声楽専攻4名）

(修業年限)

第50条 専攻科の修業年限は1年とする。

ただし、学生は2年を超えて在学することはできない。

(教育課程)

第51条 専攻科の教育課程は別表5のとおりとする。

(修了の要件)

第52条 専攻科を修了するためには1年以上在学し、前条に定める授業科目の中から必修、選択併せて、30単位以上を履修しなければならない。

(履修科目の登録)

第53条 学生は学年の初めに、その学期間に履修しようとする科目を定めて申し出、受講登録しなければならない。

(教育職員免許状)

第54条 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状授与の所要資格を有する者で前条に規定する修業の要件を充足し、かつ教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しているものは、専攻科修了と同時に次の教職員免許状を取得することができる。

学科・専攻		取得できる教育職員免許状の種類
音楽専攻科	器楽専攻	中学校教諭専修免許状（教科・音楽）

	声楽専攻	高等学校教諭専修免許状（教科・音楽）
--	------	--------------------

（修了証書の授与）

第55条 専攻科に1年以上在学し、第52条に定める単位を修得した者に対し、学長は修了を認定し、修了証書を授与する。

（入学することのできる者）

第56条 専攻科に入学することのできる者は、次の各号の一に該当し、かつ本学において実施する入学者選抜試験に合格した者とする。

- （1）音楽大学を卒業した者
- （2）学校教育法施行規則第155条第1項第1号から第6号の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

（入学金・授業料・施設費・その他の費用）

第57条 入学金、授業料、施設費の額及び納入期限は別表7のとおりとする。

- 2 前項のほか、教育に必要な費用を徴収することがある。

（その他）

第58条 専攻科に関し、本章に定める以外の事項は本学則の定めるところによる。

第10章 科目等履修生、研究生、委託生及び外国人学生

（科目等履修生）

第59条 本学の学生以外の者で、本学が開講する授業科目中特定の科目の履修を希望する者があるときは、選考の上科目等履修生として許可することがある。

- 2 科目等履修生として履修した科目に対し、試験の結果合格したものには、所定の単位を与える。
- 3 科目等履修生に関して必要な事項は別に定める。

（研究生）

第60条 特定の専門実技を研究しようとする者があるときは、本学の教育に支障をきたさないかぎり、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生に関して必要な事項は別に定める。

（委託生）

第61条 官庁または公共団体から特定の授業科目について修学することを委託された者があるときは、本学の教育に支障をきたさないかぎり、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

- 2 委託生に関して必要な事項は別に定める。

(外国人学生)

第62条 外国人で本学に入学を希望する者は、選考の上、入学を許可することがある。

2 外国人学生に関して必要な事項は別に定める。

第11章 賞 罰

(表 彰)

第63条 学生として表彰に値する行為があったときは、学長は表彰することができる。

(罰 則)

第64条 本学の学則に違反し、また次の各号に該当する行為があったときは、学長は懲戒することができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当の理由がなくて出席常でない者
 - (4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
- 2 前項の懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

第12章 公 開 講 座

(公開講座の開設)

第65条 本学において必要があると認めるときは、公開講座を設けることがある。

第13章 研 究 所

(研 究 所)

第66条 本学に研究所をおく。

2 研究所に関し、必要な事項は別に定める。

第14章 図 書 館

(図 書 館)

第67条 本学に図書館をおく。

2 図書館に関し、必要な事項は別に定める。

第15章 研 修 所

(研 修 所)

第68条 本学に研修所をおく。

2 研修所に関し、必要な事項は別に定める。

第16章 事 務 局

(事 務 局)

第69条 本学に事務局をおく。

2 事務局の組織及び職務分掌については別に定める。

第17章 学 生 寮

(学 生 寮)

第70条 本学に学生寮をおく。

2 学生寮に関し必要な事項は別に定める

附 則

昭和59年4月1日施行

昭和60年4月1日施行

昭和61年4月1日施行

昭和62年4月1日施行

昭和63年4月1日施行

平成元年4月1日施行

平成2年4月1日施行

平成3年4月1日施行

平成4年4月1日施行

平成5年4月1日施行

平成6年4月1日施行

平成7年4月1日施行

ただし、平成6年度以前の入学者の授業料は、それぞれ当該入学年度の学則による。
また、第5条の規定にかかわらず、平成6年度から平成9年度までの作曲学科・器楽学科・声楽学科の収容定員は、次のとおりとする。

	作曲学科	器楽学科	声楽学科
平成6年度	55名	240名	180名
平成7年度	50名	270名	190名
平成8年度	45名	300名	200名
平成9年度	40名	315名	200名

平成8年4月1日施行

ただし、平成7年度以前の入学者の授業料及び教育課程については、それぞれ当該入学年度の学則による。

なお、「ヨーロッパ社会と芸術Ⅰ」及び「ヨーロッパ社会と芸術Ⅱ」については、音楽芸術運営学科を除き、平成7年度以前の入学者も履修できる。

また、別表 I の音楽芸術運営学科専攻教育科目のピアノⅡ③、ピアノⅡ④、器楽Ⅲ③、器楽Ⅲ④、声楽Ⅱ③、声楽Ⅱ④については、平成 7 年度以前の入学者も履修できる。

平成 9 年 4 月 1 日施行

ただし、平成 8 年度以前の入学者の授業料及び教育課程並びに修業年限については、それぞれ当該入学年度の学則による。

平成 10 年 4 月 1 日施行

ただし、平成 9 年度以前の入学者の授業料及び教育課程並びに修業年限については、それぞれ当該入学年度の学則による。

また、第 5 条の規定にかかわらず、平成 10 年度から平成 12 年度までの収容定員は次のとおりとする。

学科名	平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度
作曲学科	40	40	40
器楽学科	335	340	340
声楽学科	205	210	210
音楽芸術運営学科	105	130	150
計	685	720	740

平成 11 年 4 月 1 日施行

ただし、平成 10 年度以前の入学者の授業料及び教育課程並びに修業年限については、それぞれ当該入学年度の学則によるが別表 I の授業科目のうち別に定める科目については、平成 10 年度以前の入学者も選択科目として履修できる。

(2) 第 13 条に規定する単位数は従前の学則により入学した者についても適用できる。ただし第 14 条第 2 項に規定する単位数については平成 11 年度の入学者から適用する。

平成 12 年 4 月 1 日施行

ただし、平成 11 年度以前の入学者の授業料及び教育課程並びに修業年限については、それぞれ当該入学年度の学則による。

平成 13 年 4 月 1 日施行

(1) 平成 12 年度以前の入学者の授業料及び修業年限については、それぞれ当該入学年度の学則による。

(2) 教育課程については、平成 10 年度から平成 12 年度までの入学者にも適用する。平成 9 年度以前の入学者の教育課程については、当該入学年度の学則による。

(3) 第 5 条の規定にかかわらず、平成 13 年度から平成 15 年度までの収容定員は次のとおりとする。

学科名	平成13年度	平成14年度	平成15年度
作曲学科	45	50	55
器楽学科	345	350	355
声楽学科	215	220	225
音楽芸術運営学科	190	210	230
計	795	830	865

平成14年4月1日施行

- (1) 平成13年度以前の入学者の学納金及び修業年限については、それぞれ当該入学年度の学則による。ただし、第39条第4号については、平成13年度以前の入学者にも適用する。
- (2) 教育課程については、平成10年度から平成13年度までの入学者については、平成13年度の学則による。また、平成9年度以前の入学者については、当該入学年度の学則による。

平成15年4月1日施行

- (1) 平成14年度以前の入学者の授業料及び修業年限については、それぞれ当該入学年度の学則による。
- (2) 教育課程については、平成10年度から平成13年度までの入学者については、平成13年度の学則により、平成14年度の入学者及び平成9年度以前の入学者については、当該入学年度の学則による。

平成16年4月1日施行

- (1) 平成15年度以前の入学者の授業料については、それぞれ当該入学年度の学則による。
- (2) 教育課程については、平成10年度から平成13年度までの入学者については、平成13年度の学則により、平成9年度の入学者及び平成14年度から平成15年度までの入学者については、当該入学年度の学則による。
- (3) 第5条の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの収容定員は次のとおりとする。

学科名	平成16年度	平成17年度	平成18年度
作曲学科	70	80	90
器楽学科	370	380	390
声楽学科	230	230	230

音楽芸術運営学科	250	250	250
計	920	940	960

平成17年4月1日施行

- (1) 第6条に規定する修業年限は、平成16年度以前の入学者にも適用する。
- (2) 平成16年度以前の入学者の授業料については、それぞれ当該入学年度の学則による。
- (3) 教育課程については、平成10年度から平成13年度までの入学者については、平成13年度の学則により、平成14年度から平成16年度までの入学者については、当該入学年度の学則による。

平成18年4月1日施行

- (1) 第6条に規定する在学年限は、平成17年度以前の入学者にも適用する。
- (2) 平成17年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
- (3) 教育課程については、平成10年度から平成13年度までの入学者については、平成13年度の学則により、平成14年度から平成17年度までの入学者については、当該入学年度の学則による。

平成19年4月1日施行

- (1) 第6条に規定する在学年限は、平成18年度以前の入学者にも適用する。
- (2) 平成18年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
- (3) 教育課程については、平成10年度から平成13年度までの入学者については、平成13年度の学則により、平成14年度から平成18年度までの入学者については、当該入学年度の学則による。
- (4) 第5条の規定にかかわらず、平成19年度から平成21年度までの収容定員は次のとおりとする。

学科名	平成19年度	平成20年度	平成21年度
作曲学科	100	100	100
器楽学科	410	420	430
声楽学科	230	230	230
音楽芸術運営学科	290	330	370
計	1,030	1,080	1,130

平成20年4月1日施行

- (1) 第6条に規定する在学年限は、平成19年度以前の入学者にも適用する。
- (2) 平成19年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
- (3) 教育課程については、平成11年度から平成13年度までの入学者について

は、平成13年度の学則により、平成14年度から平成19年度までの入学者については、当該入学年度の学則による。

- 附則1. この学則は、平成21年4月1日から施行する。
2. 第8条に規定する在学年限は、平成20年度以前の入学者にも適用する。
 3. 平成20年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 4. 教育課程については、平成12年度から平成13年度までの入学者については、平成13年度の学則により、平成14年度から平成20年度までの入学者については、当該入学年度の学則による。

- 附則1. この学則は、平成22年4月1日から施行する。
2. 第8条に規定する在学年限は、平成21年度以前の入学者にも適用する。
 3. 平成21年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 4. 教育課程については、当該入学年度の学則による。

- 附則1. この学則は、平成23年4月1日から施行する。
2. 第8条に規定する在学年限は、平成22年度以前の入学者にも適用する。
 3. 平成22年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 4. 教育課程については、当該入学年度の学則による。

- 附則1. この学則は、平成24年4月1日から施行する。
2. 第8条に規定する在学年限は、平成23年度以前の入学者にも適用する。
 3. 平成23年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 4. 教育課程については、当該入学年度の学則による。ただし、第22条別表3については平成24年度以降の履修者について適用し、平成23年度以前の履修者については当該入学年度の学則による。第23条の2については平成23年度以前の入学者にも適用する。

- 附則1. この学則は、平成25年4月1日から施行する。
2. 第8条に規定する在学年限は、平成24年度以前の入学者にも適用する。
 3. 平成24年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 4. 教育課程については、当該入学年度の学則による。ただし、第22条別表3については平成24年度以降の履修者について適用し、平成23年度以前の履修者については当該入学年度の学則による。第23条の2については平成23年度以前の入学者にも適用する。

- 附則1. この学則は、平成26年4月1日から施行する。

2. 平成24年度以前の入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
3. 教育課程については、当該入学年度の学則による。ただし、第22条別表3については平成24年度以降の履修者について適用し、平成23年度以前の履修者については当該入学年度の学則による。第23条の2については平成23年度以前の入学者にも適用する。

附則1. この学則は、平成27年4月1日から施行する。

2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
3. 教育課程については、当該入学年度の学則による。ただし、第22条別表3については平成24年度以降の履修者について適用し、平成23年度以前の履修者については当該入学年度の学則による。第23条の2については平成23年度以前の入学者にも適用する。

附則1. この学則は、平成28年4月1日から施行する。

2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
3. 教育課程については、当該入学年度の学則による。ただし、第22条別表3については平成24年度以降の履修者について適用し、平成23年度以前の履修者については当該入学年度の学則による。第23条の2については平成23年度以前の入学者にも適用する。

附則1. この学則は、平成29年4月1日から施行する。

2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
3. 教育課程については、第12条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。ただし、第22条別表3については平成24年度以降の履修者について適用し、平成23年度以前の履修者については当該入学年度の学則による。第23条の2については平成23年度以前の入学者にも適用する。
4. 収容定員については、第7条の規定にかかわらず、平成29年度から平成31年度までは次のとおりとする。

学科名	平成29年度	平成30年度	平成31年度
音楽芸術表現学科	175	350	560
音楽芸術運営学科	410	410	410
作曲学科	75	50	25
器楽学科	340	240	120
声楽学科	180	130	65
計	1,180	1,180	1,180

- 附則 1. この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 3. 教育課程については、第 12 条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。
 4. 収容定員については、第 7 条の規定にかかわらず、平成 29 年度から平成 31 年度までは次のとおりとする。

学科名	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
音楽芸術表現学科	175	350	560
音楽芸術運営学科	410	410	410
作曲学科	75	50	25
器楽学科	340	240	120
声楽学科	180	130	65
計	1,180	1,180	1,180

- 附則 1. この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 3. 教育課程については、第 12 条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。
 4. 収容定員については、第 7 条の規定にかかわらず、平成 29 年度から平成 31 年度までは次のとおりとする。

学科名	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
音楽芸術表現学科	175	350	560
音楽芸術運営学科	410	410	410
作曲学科	75	50	25
器楽学科	340	240	120
声楽学科	180	130	65
計	1,180	1,180	1,180

- 附則 1. この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 3. 教育課程については、第 12 条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。
 4. 収容定員については、第 7 条の規定にかかわらず、令和 2 年度から令和 4 年度までは次のとおりとする。

学科名	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
音楽芸術表現学科	760	750	760

音楽芸術運営学科	410	410	410
計	1,170	1,160	1,170

- 附則1. この学則は、2021（令和3）年4月1日から施行する。
2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 3. 教育課程については、第12条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。
 4. 収容定員については、第7条の規定にかかわらず、令和2年度から令和4年度までは次のとおりとする。

学科名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
音楽芸術表現学科	760	750	760
音楽芸術運営学科	410	410	410
計	1,170	1,160	1,170

- 附則1. この学則は、2022（令和4）年4月1日から施行する。
2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 3. 教育課程については、第12条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。
 4. 収容定員については、第7条の規定にかかわらず、令和3年度から令和5年度までは次のとおりとする。

学科名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
音楽芸術表現学科	750	760	770
音楽芸術運営学科	410	410	410
計	1,160	1,170	1,180

- 附則1. この学則は、2023（令和5）年4月1日から施行する。
2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 3. 教育課程については、第12条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。

- 附則1. この学則は、2024（令和6）年4月1日から施行する。
2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。
 3. 教育課程については、第12条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。
 4. 収容定員については、第7条の規定にかかわらず、令和6年度から令和8年度までは次のとおりとする。

学科名	令和6年度	令和7年度	令和8年度
音楽芸術表現学科	785	800	815
音楽芸術運営学科	410	410	410
計	1,195	1,210	1,225

(別表1)

(1) 教養科目、外国語科目

科目 の 区 分	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
教 養 科 目	基礎ゼミ	2		
	哲学		2	
	文学		2	
	西洋文化史 I		2	
	西洋文化史 II		2	
	日本文化史 I		2	
	日本文化史 II		2	
	美術史 I		2	
	美術史 II		2	
	心理学		2	
	心の健康		2	
	教育心理学		2	
	日本国憲法		2	
	経済学		2	
	生活と経済		2	
	生涯学習概論 I		2	
	ボランティア論		2	
	演奏とからだ I		2	
	演奏とからだ II		2	
	音響学		2	
	ICTと音楽芸術		1	
	情報機器演習 (基礎)		2	
	情報機器演習 (応用) I		2	
	情報機器演習 (応用) II		2	
	博物館概論		2	
	図書館概論		2	
	キャリアデザイン		1	
	芸術鑑賞①		1	
	芸術鑑賞②		1	
	音楽活動研究①		1	
	音楽活動研究②		1	
	音楽活動研究③		1	
	音楽活動研究④		1	
	体育理論		2	
	体育実技		1	
	クリエイティブスタディーズ		1	

科目 の 区 分	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
教 養 科 目	日本語文法とコミュニケーション I		1	
	日本語文法とコミュニケーション II		1	
	日本語文法とコミュニケーション III		1	
	日本語と日本社会 I		1	
	日本語と日本社会 II		1	
	日本語と日本社会 III		1	
	実用日本語 I		1	
	実用日本語 II		1	
	日本語日本文化 I		1	
	日本語日本文化 II		1	
	日本語日本文化 III		1	
	キャリアと日本語		1	
	アカデミック・ジャパニーズ		1	
	外 国 語 科 目	基礎英語 I		2
基礎英語 II			2	
初級英語 I			2	
初級英語 II			2	
初級英語 III			2	
初級英語 IV			2	
初級英語 V			2	
中級英語 I			2	
中級英語 II			2	
中級英語 III			2	
中級英語 IV			2	
中級英語 V			2	
上級英語 I			2	
上級英語 II			2	
上級英語 III			2	
上級英語 IV			2	
上級英語 V			2	
基礎ドイツ語			4	
初級ドイツ語			4	
中級ドイツ語 I			2	
中級ドイツ語 II			2	
上級ドイツ語			2	
基礎イタリア語			4	
初級イタリア語			4	
中級イタリア語 I			2	
中級イタリア語 II			2	
上級イタリア語			2	
基礎フランス語		4		
初級フランス語		4		
中級フランス語		2		
上級フランス語		2		

(2) 専門科目

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択 必修	選択
音楽 芸術 表現 学科	作曲・エレクトロニクス実技①		6	
	作曲・エレクトロニクス実技②		6	
	作曲・エレクトロニクス実技③		6	
	作曲・エレクトロニクス実技④		6	
	サウンドプロデュース①		4	
	サウンドプロデュース②		4	
	サウンドプロデュース③		4	
	サウンドプロデュース④		4	
	指揮実技①		6	
	指揮実技②		6	
	指揮実技③		6	
	指揮実技④		6	
	作曲Ⅱ①		2	
	作曲Ⅱ②		2	
	作曲Ⅱ③			2
	作曲Ⅱ④			2
	指揮演習①		2	
	指揮演習②		2	
	指揮演習③		2	
	指揮演習④		2	
	スコアリーダーイングⅠ①		2	
	スコアリーダーイングⅠ②		2	
	スコアリーダーイングⅡ			2
	対位法		2	
	ミュージックセオリー (初級)		2	
	ミュージックセオリー (中級)		2	
	ミュージックセオリー (上級)		2	
	オーケストレーション		4	
	作曲・編曲法Ⅰ		2	
	作曲・編曲法Ⅱ		2	
	コンピュータ音楽概論		4	
	デジタルミュージック概論		2	
	ポピュラー音楽概論		4	
	映像の音楽		2	
	サウンドデザイン演習		2	
	グラフィックデザイン演習		2	
	音楽プログラミング演習		2	
	映像制作演習		2	
	音楽プロデュース論		4	
	スタジオワークス①		4	
スタジオワークス②		4		
ソングライティング演習①		2		
ソングライティング演習②		2		
PA演習			2	
録音制作Ⅰ			2	
録音制作Ⅱ			2	
録音制作Ⅲ		2		
ピアノ実技Ⅰ①		9		
ピアノ実技Ⅰ②		9		

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択 必修	選択
音楽 芸術 表現 学科	ピアノ実技Ⅰ③		9	
	ピアノ実技Ⅰ④		9	
	ピアノ実技Ⅱ①			6
	ピアノ実技Ⅱ②			6
	ピアノ実技Ⅱ③			6
	ピアノ実技Ⅱ④			6
	ピアノⅠ①		6	
	ピアノⅠ②		6	
	ピアノⅠ③		6	
	ピアノⅠ④		6	
	ピアノ①		4	
	ピアノ②		4	
	ピアノ③		4	
	ピアノ④			4
	ピアノⅡ①		2	
	ピアノⅡ②		2	
	ピアノⅡ③			2
	ピアノⅡ④			2
	ピアノアンサンブルⅠ①		2	
	ピアノアンサンブルⅠ②		2	
	ピアノアンサンブルⅠ③		2	
	ピアノアンサンブルⅠ④		2	
	ピアノアンサンブルⅡ①		2	
	ピアノアンサンブルⅡ②		2	
	ピアノアンサンブルⅡ③			2
	ピアノアンサンブルⅡ④			2
	アンサンブルⅠ①		2	
	アンサンブルⅠ②			2
	アンサンブルⅠ③			2
	アンサンブルⅠ④			2
	アンサンブルⅡ①			2
	アンサンブルⅡ②			2
	アンサンブルⅡ③			2
アンサンブルⅡ④			2	
伴奏実習基礎			2	
伴奏実習①			1	
伴奏実習②			1	
伴奏実習③			1	
伴奏法Ⅱ			2	
演奏会実習		2		
演奏会実習Ⅰ		4		
演奏会実習Ⅰ①		2		
演奏会実習Ⅰ②		2		
演奏会実習Ⅱ①			4	
演奏会実習Ⅱ②			4	
演奏会実習Ⅱ③			4	
演奏会実習Ⅱ④			4	
演奏会実習Ⅲ			4	
演奏分析		2		

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学科	メディア創作基礎Ⅰ		2	
	メディア創作基礎Ⅱ		2	
	メディア創作応用Ⅰ		2	
	メディア創作応用Ⅱ		2	
	これからのピアノ表現Ⅰ		1	
	これからのピアノ表現Ⅱ		1	
	これからのピアノ表現Ⅲ		1	
	これからのピアノ表現Ⅳ		1	
	ピアノ指導法応用Ⅲ		1	
	ピアノ指導法応用Ⅳ		1	
	指導教材研究Ⅰ		2	
	指導教材研究Ⅱ		2	
	ピアノ指導法基礎Ⅰ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅱ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅲ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅳ		1	
	児童心理		2	
	卒業演奏		4	
	卒業研究		2	
	オルガンⅠ①		6	
	オルガンⅠ②		6	
	オルガンⅠ③		6	
	オルガンⅠ④		6	
	オルガンⅡ①			2
	オルガンⅡ②			2
	オルガンⅡ③			2
	オルガンⅡ④			2
	電子オルガンⅠ①		6	
	電子オルガンⅠ②		6	
	電子オルガンⅠ③		6	
	電子オルガンⅠ④		6	
	電子オルガンⅡ①		2	
	電子オルガンⅡ②			2
	電子オルガンⅡ③			2
	電子オルガンⅡ④			2
	電子オルガンアンサンブル①		2	
	電子オルガンアンサンブル②		2	
	電子オルガンアンサンブル③		2	
	電子オルガンアンサンブル④		2	
	電子オルガン演習①		2	
	電子オルガン演習②		2	
	電子オルガン演習③		2	
	電子オルガン演習④			2
	電子楽器研究		2	
	ピアノ指導法応用Ⅰ		1	
	ピアノ指導法応用Ⅱ		1	
	ピアノ教養特論Ⅰ		2	
	ピアノ教養特論Ⅱ		2	
	バレエ音楽演習			2

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学科	鍵盤演奏表現Ⅰ			2
	鍵盤演奏表現Ⅱ			2
	鍵盤演奏表現Ⅲ			2
	鍵盤演奏表現Ⅳ			2
	英語研修			2
	海外研修Ⅰ		4	
	海外研修Ⅱ			3
	海外研修Ⅳ			3
	海外研修Ⅴ			3
	海外研修Ⅵ			1
	海外研修Ⅶ			2
	海外研修Ⅷ			1
	海外研修Ⅸ			1
	海外研修Ⅹ			1
	海外研修Ⅺ			1
	海外研修Ⅻ			2
	海外研修ⅩⅢ			2
	海外研修ⅩⅣ			2
	器楽実技Ⅰ①		6	
	器楽実技Ⅰ②		6	
	器楽実技Ⅰ③		6	
	器楽実技Ⅰ④		6	
	器楽実技Ⅱ①			3
	器楽実技Ⅱ②			3
	器楽実技Ⅱ③			3
	器楽実技Ⅱ④			3
	器楽実技Ⅲ①			6
	器楽実技Ⅲ②			6
	器楽実技Ⅲ③			6
	器楽実技Ⅲ④			6
	器楽Ⅰ①		6	
	器楽Ⅰ②		6	
	器楽Ⅰ③		6	
	器楽Ⅰ④		6	
	器楽Ⅱ①		2	
	器楽Ⅱ②			2
	器楽Ⅱ③			2
	器楽Ⅱ④			2
	ヴァイオリンステップアップ①			2
	ヴァイオリンステップアップ②			2
	ヴァイオリンステップアップ③			2
	ヴァイオリンステップアップ④			2
	合奏Ⅰ①		4	
	合奏Ⅰ②		4	
	合奏Ⅰ③		4	
	合奏Ⅰ④		4	
	合奏Ⅱ			2
	合奏Ⅲ①			2
	合奏Ⅲ②			2

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現現学科	合奏Ⅲ③			2
	合奏Ⅲ④			2
	合奏Ⅳ①			2
	合奏Ⅳ②			2
	合奏Ⅳ③			2
	合奏Ⅳ④			2
	室内楽Ⅰ	1		
	室内楽Ⅱ	1		
	室内楽Ⅲ	1		
	室内楽Ⅳ	1		
	室内楽Ⅴ		1	
	室内楽Ⅵ		1	
	室内楽演習Ⅰ		1	
	室内楽演習Ⅱ		1	
	コンチェルト実習	2		
	コンチェルト実習Ⅰ	2		
	コンチェルト実習Ⅱ		2	
	楽器研究		2	
	指揮法Ⅱ①	2		
	指揮法Ⅱ②	2		
	吹奏楽概論Ⅰ	2		
	吹奏楽概論Ⅱ	2		
	声楽Ⅰ①	6		
	声楽Ⅰ②	6		
	声楽Ⅰ③	6		
	声楽Ⅰ④	6		
	声楽Ⅱ①		2	
	声楽Ⅱ②		2	
	声楽Ⅱ③		2	
	声楽Ⅱ④		2	
	声楽アンサンブル基礎	1		
	ドイツ歌曲①	1		
	ドイツ歌曲②		1	
	日本歌曲①		1	
	日本歌曲②		1	
	フランス歌曲①	1		
	フランス歌曲②		1	
	歌うためのイタリア語	2		
	合唱①	2		
	合唱②	2		
	合唱③	2		
	合唱④	2		
	合唱指導法①		2	
	合唱指導法②		2	
	合唱指導法演習		2	
	オペラ演習Ⅰ①	2		
	オペラ演習Ⅰ②	2		
	オペラ演習Ⅰ③	4		

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現現学科	オペラ演習Ⅰ④		2	
	オペラ演習Ⅱ			2
	オペラ公演実習		4	
	指揮法Ⅰ			2
	パフォーマンス①			1
	パフォーマンス②			1
	パフォーマンス③			1
	パフォーマンス④			1
	舞台表現演習①			1
	舞台表現演習②			1
	舞台表現演習③			1
	ジャズ実技①		6	
	ジャズ実技②		6	
	ジャズ実技③		6	
	ジャズ実技④		6	
	ジャズビッグバンド①		2	
	ジャズビッグバンド②		2	
	ジャズビッグバンド③		2	
	ジャズビッグバンド④		2	
	ジャズコンボ①		2	
	ジャズコンボ②		2	
	ジャズコンボ③		2	
	ジャズコンボ④		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)①		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)②		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)③		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)④		2	
	ジャズコンポジション①			4
	ジャズコンポジション②			4
	ポップ&ロック実技①		6	
	ポップ&ロック実技②		6	
	ポップ&ロック実技③		6	
	ポップ&ロック実技④		6	
	バンドアンサンブル①		2	
	バンドアンサンブル②		2	
	バンドアンサンブル③		4	
	バンドアンサンブル④		4	
	ポピュラー作曲・編曲法①		4	
	ポピュラー作曲・編曲法②		4	
	ポピュラー作曲・編曲法③		4	
	ポピュラー作曲・編曲法④		4	
	コンポジション&アレンジ①			4
	コンポジション&アレンジ②			4
	テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)①		2	
	テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)②		2	
	テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)③		2	
	テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)④		2	
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ①		2	

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現現学科	ポピュラー・ジャズピアノⅡ②		2	
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ③			2
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ④			2
	インストゥルメンツⅡ①		2	
	インストゥルメンツⅡ②		2	
	インストゥルメンツⅡ③			2
	インストゥルメンツⅡ④			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ①		2	
	ポピュラーヴォーカルⅡ②		2	
	ポピュラーヴォーカルⅡ③			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ④			2
	トラックメイキング①		4	
	トラックメイキング②			4
	ライブパフォーマンスⅠ①		1	
	ライブパフォーマンスⅠ②		1	
	ライブパフォーマンスⅡ①		1	
	ライブパフォーマンスⅡ②		1	
	コードプログレッション (ベーシック)		4	
	コードプログレッション (アドバンス)		4	
	イヤートレーニング			2
	リズムトレーニング		1	
	スタジオレコーディング①		1	
	スタジオレコーディング②		1	
	ダンス			2
	ジャズの歴史と作品		2	
	卒業ライブ		1	
	基本ソルフェージュ①		2	
	基本ソルフェージュ②		2	
	基本ソルフェージュ③		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ①		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ②		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ③		2	
	鍵盤ソルフェージュ①		2	
	鍵盤ソルフェージュ②		2	
	鍵盤ソルフェージュ③		2	
	総合ソルフェージュ①		2	
	総合ソルフェージュ②		2	
	総合ソルフェージュ③		2	
	音楽教育メソッドⅠ		1	
	音楽教育メソッドⅡ		1	
医学一般			2	
ハーモニー演習①		2		
ハーモニー演習②		2		
ハーモニー演習③			2	
音楽基礎演習			2	
西洋音楽史Ⅰ		4		
西洋音楽史Ⅱ			2	
楽式論Ⅰ		2		

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現現学科	楽式論Ⅱ		2	
	ポリフォニー演習		2	
	管弦楽概論			4
	音楽美学			4
	オペラの歴史と作品		4	
	鍵盤音楽の歴史と作品		4	
	器楽の歴史と作品		4	
	日本音楽概論Ⅰ			2
	日本音楽概論Ⅱ			2
	民族音楽概論Ⅰ			2
	民族音楽概論Ⅱ			2
	音楽情報論			4
	ミュージックビジネスと社会		2	
	ライブビジネスと社会		2	
	演劇の歴史と作品			2
	アートマネジメント概論①			2
	アートマネジメント概論②			2
	経営学Ⅰ			2
	経営学Ⅱ			2
	芸術関係法規			2
	芸術文化と社会Ⅱ			2
	芸術文化環境論			4
	文化政策論Ⅰ			2
	文化政策論Ⅱ			2
	簿記・会計入門			4
	舞台芸術概論			4
	舞台機構調整演習			2
	舞台スタッフ論①			2
	舞台スタッフ論②			2
	舞台制作概論			2
環境音楽論Ⅰ			2	
環境音楽論Ⅱ			2	
音楽心理学			2	
音楽療法概説			2	
社会福祉概論			2	
介護概論			2	
障がい児教育概論			2	
発達心理学			2	
日本古典芸能Ⅰ			1	
日本古典芸能Ⅱ			1	
日本古典芸能Ⅲ			1	
ミュージカルの歴史と作品			2	
舞踊の歴史と作品			4	
看護学演習			1	
日本伝統音楽演習(歌唱)			1	
日本伝統音楽演習(和楽器)			1	
フィールドインターンシップ①			2	
フィールドインターンシップ②			2	

学科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音 楽 芸 術 表 現 学 科	ヴォーカル・テクニック・メソッドⅠ①		6	
	ヴォーカル・テクニック・メソッドⅠ②		6	
	ヴォーカル・テクニック・メソッドⅠ③		6	
	ヴォーカル・テクニック・メソッドⅠ④		6	
	ヴォーカル・テクニック・メソッドⅡ①			6
	ヴォーカル・テクニック・メソッドⅡ②			6
	ヴォーカル・テクニック・メソッドⅡ③			6
	ヴォーカル・テクニック・メソッドⅡ④			6
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ①		1	
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ②		1	
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ③		1	
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ④		1	
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ⑤		1	
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ⑥		1	
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ⑦		1	
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ⑧		1	
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅡ①			1
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅡ②			1
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅡ③			1
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅡ④			1
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅡ⑤			1
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅡ⑥			1
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅡ⑦			1
	ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅡ⑧			1
	セルフプロデュース&ビジネスⅠ		1	
	セルフプロデュース&ビジネスⅡ		1	
	セルフプロデュース&ビジネスⅢ		1	
	セルフプロデュース&ビジネスⅣ		1	
	ベーシック・クリエイティブ・エクスペッション		2	
	アドヴァンスト・クリエイティブ・エクスペッション		2	
	ことばと創作		1	
	日本語の創作と朗読		1	
	創作表現基礎Ⅰ		1	
	創作表現基礎Ⅱ		1	
	創作表現基礎Ⅲ		1	
	創作表現応用Ⅰ①		1	
	創作表現応用Ⅰ②		1	
	創作表現応用Ⅱ①		1	
	創作表現応用Ⅱ②		1	
	創作表現応用Ⅲ①		1	
創作表現応用Ⅲ②		1		

(3) 専門科目

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音	アートマネジメント概論①		2	
楽	アートマネジメント概論②		2	
芸	アートマネジメント英語①		2	
術	アートマネジメント英語②			2
運	経営学Ⅰ		2	
営	経営学Ⅱ			2
学	企画制作演習Ⅰ		2	
科	企画制作演習Ⅱ		2	
	企画制作演習Ⅲ			2
	芸術運営演習		2	
	芸術運営基礎演習		1	
	芸術運営実習		2	
	芸術運営論Ⅰ		2	
	芸術運営論Ⅱ		2	
	芸術関係法規		2	
	芸術文化環境論		4	
	芸術文化と社会Ⅰ		2	
	芸術文化と社会Ⅱ		2	
	文化政策論Ⅰ		2	
	文化政策論Ⅱ		2	
	メディア運営論Ⅰ		2	
	メディア運営論Ⅱ			2
	英語研修		2	
	卒業研究		2	
	卒業論文		4	
	舞台衣裳概論		2	
	舞台音響演習		2	
	舞台監督演習		2	
	舞台機構調整演習			2
	舞台芸術概論		4	
	舞台芸術実習①		2	
	舞台芸術実習②		4	
	舞台芸術実習③		2	
	舞台情報処理		2	
	舞台照明演習		2	
	舞台スタッフ論①		2	
	舞台スタッフ論②		2	
	舞台制作概論		2	
	公演実習Ⅰ		6	
	公演実習Ⅱ		12	
	公演実習Ⅲ		3	
	公演実習Ⅳ			3
	公演デザイン演習		4	
	台本演習		1	
	シナリオ演習		1	
	演出論		4	

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音	卒業制作作品研究		4	
楽	音楽療法アンサンブルⅠ		1	
芸	音楽療法アンサンブルⅡ		1	
術	音楽療法概説		2	
運	音楽療法各論Ⅰ		2	
営	音楽療法各論Ⅱ		2	
学	音楽療法各論Ⅲ		2	
科	音楽療法実践演習Ⅰ		1	
	音楽療法実践演習Ⅱ		1	
	音楽療法テクニックⅠ		1	
	音楽療法テクニックⅡ		1	
	音楽療法テクニックⅢ		1	
	音楽療法テクニックⅣ		1	
	音楽療法テクニックⅤ			1
	音楽療法テクニックⅥ			1
	音楽療法の理論と技法論Ⅰ		2	
	音楽療法の理論と技法論Ⅱ		2	
	障がい児教育概論		2	
	発達心理学		2	
	施設実習Ⅰ		2	
	施設実習Ⅱ		2	
	施設実習Ⅲ			2
	社会福祉概論		2	
	臨床医学各論Ⅰ		2	
	臨床医学各論Ⅱ			2
	臨床心理学Ⅰ		2	
	臨床心理学Ⅱ			2
	リズムトレーニング			1
	卒業論文(原著講読含む)		6	
	演技演習Ⅰ		2	
	演技演習Ⅱ		2	
	演技基礎Ⅰ		2	
	演技基礎Ⅱ		2	
	演技メソッド		2	
	身体表現Ⅰ		2	
	身体表現Ⅱ			1
	身体表現Ⅲ			1
	クラシック・バレエ①		2	
	クラシック・バレエ②		2	
	クラシック・バレエ③			2
	クラシック・バレエ④			2
	ダンスⅠ①		2	
	ダンスⅠ②		2	
	ダンスⅠ③			2
	ダンスⅠ④			2
	ダンスⅡ			2

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術運営学科	ダンスⅢ			2
	ヴォーカル①	4		
	ヴォーカル②	4		
	ヴォーカル③	4		
	ヴォーカル④	4		
	ヴォーカル演習①	2		
	ヴォーカル演習②		2	
	ヴォーカル演習③		2	
	ヴォーカル実践演習		2	
	タップダンス①	2		
	タップダンス②	2		
	タップダンス③		2	
	タップダンス④		2	
	ミュージカル・イン・イングリッシュⅠ	1		
	ミュージカル・イン・イングリッシュⅡ	1		
	ミュージカル演習Ⅰ	6		
	ミュージカル演習Ⅱ		6	
	ミュージカル演習Ⅲ		6	
	ミュージカル基礎	2		
	ミュージカル実習Ⅰ		1	
	ミュージカル実習Ⅱ		1	
	ミュージカル実習Ⅲ		1	
	ミュージカル実践演習	2		
	ミュージカル卒業公演演習	6		
	ミュージカル卒業公演実習		1	
	ミュージカルの歴史と作品	2		
	ミュージカルワークショップⅠ		2	
	ミュージカルワークショップⅡ		2	
	バレエ・クラスⅠ①	2		
	バレエ・クラスⅠ②	2		
	バレエ・クラスⅠ③	2		
	バレエ・クラスⅠ④	2		
	バレエ・クラスⅡ①		2	
	バレエ・クラスⅡ②		2	
	バレエ・クラスⅡ③		2	
	バレエ・クラスⅡ④		2	
	バレエ・クラスⅢ①		2	
	バレエ・クラスⅢ②		2	
	バレエ・クラスⅢ③		2	
	バレエ・クラスⅢ④		2	
	バレエ・クラスⅣ①		2	
	バレエ・クラスⅣ②		2	
	バレエ・クラスⅣ③		2	
	バレエ・クラスⅣ④		2	
	バレエ・クラスⅤ①		2	
	バレエ・クラスⅤ②		2	

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術運営学科	バレエ・クラスⅤ③			2
	バレエ・クラスⅤ④			2
	バレエ演習Ⅰ①		2	
	バレエ演習Ⅰ②		2	
	バレエ演習Ⅰ③		2	
	バレエ演習Ⅰ④		2	
	バレエ演習Ⅱ①		2	
	バレエ演習Ⅱ②		2	
	バレエ演習Ⅱ③		2	
	バレエ演習Ⅱ④		2	
	バレエ演習Ⅲ①		2	
			2	
	バレエ演習Ⅲ③		2	
	バレエ演習Ⅲ④		2	
	バレエ演習Ⅳ①		2	
	バレエ演習Ⅳ②		2	
	バレエ演習Ⅳ③		2	
	バレエ演習Ⅳ④		2	
	バレエ演習Ⅴ①			2
	バレエ演習Ⅴ②			2
	バレエ演習Ⅴ③			2
	バレエ演習Ⅴ④			2
	バレエ音楽演習①		2	
	バレエ音楽演習②			2
	バレエ指導法演習①		2	
	バレエ指導法演習②		2	
	バレエ指導法演習③		2	
	バレエ指導法演習④			1
	ボディコンディショニング			2
	解剖学		4	
	動作学		4	
	舞踊史		4	
	舞踊心理学		4	
	振付創作法①		2	
	振付創作法②		2	
	舞台衣裳製作法			2
	運動生理学			4
	栄養学演習			1
	児童心理			2
	ジャズダンス			2
	音楽教養演習Ⅰ		1	
	音楽教養演習Ⅱ		2	
	音楽教養演習Ⅲ		2	
	音楽教養基礎		2	
	音楽教養特論		2	
	音楽教養表現Ⅰ			1

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音	音楽教養表現Ⅱ			2
楽	楽器研究		2	
芸	作曲家・作品研究		4	
術	歌うためのイタリア語		2	
運	音楽評論概説			4
営	音楽と社会			2
学	音楽と社会特論			4
科	映像制作演習			2
	グラフィックデザイン演習			2
	ピアノ①		4	
	ピアノ②			4
	ピアノ③			4
	ピアノ④			4
	ピアノⅡ①		2	
	ピアノⅡ②			2
	ピアノⅡ③			2
	ピアノⅡ④			2
	オルガンⅡ①		2	
	オルガンⅡ②			2
	オルガンⅡ③			2
	オルガンⅡ④			2
	電子オルガン①		4	
	電子オルガン②			4
	電子オルガン③			4
	電子オルガン④			4
	電子オルガンⅡ①		2	
	電子オルガンⅡ②			2
	電子オルガンⅡ③			2
	電子オルガンⅡ④			2
	教養器楽Ⅰ①		4	
	教養器楽Ⅰ②			4
	教養器楽Ⅰ③			4
	教養器楽Ⅰ④			4
	教養器楽Ⅱ①			4
	教養器楽Ⅱ②			4
	教養器楽Ⅱ③			4
	教養器楽Ⅲ①			4
	教養器楽Ⅲ②			4
	教養器楽Ⅳ①			4
	弦管打楽器Ⅰ①		2	
	弦管打楽器Ⅰ②			2
	弦管打楽器Ⅰ③			2
	弦管打楽器Ⅰ④			2
	器楽Ⅱ①		2	
	器楽Ⅱ②			2
	器楽Ⅱ③			2

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音	器楽Ⅱ④			2
楽	弦管打楽器Ⅱ①			2
芸	弦管打楽器Ⅱ②			2
術	弦管打楽器Ⅱ③			2
運	弦管打楽器Ⅲ①			2
営	弦管打楽器Ⅲ②			2
学	弦管打楽器Ⅳ①			2
科	声楽①		4	
	声楽②			4
	声楽③			4
	声楽④			4
	声楽Ⅱ①		2	
	声楽Ⅱ②			2
	声楽Ⅱ③			2
	声楽Ⅱ④			2
	バレエ①		4	
	バレエ②			4
	バレエ③			4
	バレエ④			4
	バレエⅡ①		2	
	バレエⅡ②			2
	バレエⅡ③			2
	バレエⅡ④			2
	ポピュラー・ジャズ実技①		4	
	ポピュラー・ジャズ実技②			4
	ポピュラー・ジャズ実技③			4
	ポピュラー・ジャズ実技④			4
	作曲Ⅱ①		2	
	作曲Ⅱ②			2
	作曲Ⅱ③			2
	作曲Ⅱ④			2
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ①		2	
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ②			2
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ③			2
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ④			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ①		2	
	ポピュラーヴォーカルⅡ②			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ③			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ④			2
	インストゥルメンツⅡ①		2	
	インストゥルメンツⅡ②			2
	インストゥルメンツⅡ③			2
	インストゥルメンツⅡ④			2
	鍵盤演奏表現Ⅰ		2	
	鍵盤演奏表現Ⅱ			2
	鍵盤演奏表現Ⅲ			2

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音 楽 芸 術 運 営 学 科	鍵盤演奏表現IV			2
	合唱①		2	
	合唱②			2
	合唱③			2
	合唱④			2
	合奏II			2
	合奏IV①			2
	合奏IV②			2
	合奏IV③			2
	合奏IV④			2
	ドイツ歌曲①			1
	ドイツ歌曲②			1
	日本歌曲①			1
	日本歌曲②			1
	フランス歌曲①			1
	フランス歌曲②			1
	声楽アンサンブル基礎			1
	海外研修II			3
	海外研修IV			3
	海外研修V			3
	基本ソルフェージュ①		2	
	基本ソルフェージュ②		2	
	基本ソルフェージュ③		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ①		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ②		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ③		2	
	鍵盤ソルフェージュ①		2	
	鍵盤ソルフェージュ②		2	
	鍵盤ソルフェージュ③		2	
	総合ソルフェージュ①		2	
	総合ソルフェージュ②		2	
	総合ソルフェージュ③		2	
	ハーモニー演習①		2	
	ハーモニー演習②			2
	ハーモニー演習③			2
	音楽基礎演習		2	
	指揮法I			2
	コンピュータ音楽概論			4
	作曲・編曲法I			2
	スコアリーディングII			2
	デジタル舞台音響論			2
ポピュラー音楽概論			4	
環境音楽論I			2	
環境音楽論II			2	
西洋音楽史I		4		
西洋音楽史II			2	

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音 楽 芸 術 運 営 学 科	楽式論I			2
	楽式論II			2
	ポリフォニー演習			2
	管弦楽概論			4
	伴奏法II			2
	介護概論			2
	看護学演習			1
	音楽心理学			2
	音楽美学			4
	オペラの歴史と作品		4	
	鍵盤音楽の歴史と作品			4
	器楽の歴史と作品			4
	演劇の歴史と作品		2	
	ジャズの歴史と作品			2
	舞踊の歴史と作品		4	
	音楽情報論			4
	ミュージックビジネスと社会			2
	ライブビジネスと社会			2
	簿記・会計入門			4
	日本音楽概論I			2
	日本音楽概論II			2
	民族音楽概論I			2
	民族音楽概論II			2
	日本古典芸能I		1	
	日本古典芸能II			1
	日本古典芸能III			1
	日本伝統音楽演習(歌唱)			1
	日本伝統音楽演習(和楽器)			1
	パフォーマンス①			1
	パフォーマンス②			1
	パフォーマンス③			1
	パフォーマンス④			1
	インターンシップ①		2	
	インターンシップ②			2
	フィールドインターンシップ①			2
	フィールドインターンシップ②			2
	バレエ作品研究			4
	バレエ卒業研究		2	
	作曲①		4	
	作曲②			4
	作曲③			4
作曲④			4	
舞踊学基礎演習		2		
音楽教育メソッドI			1	
音楽教育メソッドII			1	
医学一般		2		

(別表2) 教職課程の科目

科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
教科の指導法に関する科目	教科教育法(音楽)①	4		
	教科教育法(音楽)②	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2		
	教職論	2		
	教育制度論	2		
	教育心理学	2		
	特別支援教育論	1		
	教育課程編成論	1		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳指導法		2	注1
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2		
	学習指導論	2		
	教育とICT活用	1		
	生徒指導・進路指導論	2		
	教育相談法	2		
教育実践に関する科目	教職実践演習(中・高)	2		注2 注3
	教育実習Ⅰ		5	
	教育実習Ⅱ		3	

注1
中学校1種を取得する場合
必修・高等学校1種のみを
取得する場合選択

注2
中学校1種・高等学校1種
をあわせて取得する場合
必修

注3
高等学校1種のみを取得す
る場合必修

(別表3) 学芸員(博物館)に関する科目

科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
学芸員 に関する 博物館 科目 で関	生涯学習概論Ⅰ	2		いずれか 選択必修
	博物館概論	2		
	博物館経営論	2		
	博物館資料論	2		
	博物館資料保存論	2		
	博物館展示論	2		
	博物館教育論	2		
	博物館情報・メディア論	2		
	博物館実習Ⅰ	2		
	博物館実習Ⅱ	1		
	文化史		4	
	美術史		4	

(別表4) 図書館に関する科目

科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
図書館 に関する 科目	生涯学習概論Ⅰ	2		2科目の うち1科 目を選択 必修
	図書館概論	2		
	図書館サービス概論	2		
	図書館制度・経営論	2		
	図書館情報技術論	2		
	情報サービス論	2		
	児童サービス論	2		
	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	2		
	音楽図書館サービス特論	1		
	情報資源組織演習Ⅰ	1		
	情報資源組織演習Ⅱ	1		
	情報サービス演習Ⅰ	1		
	情報サービス演習Ⅱ	1		
	図書・図書館史		1	
	図書館実習		1	

(別表5) 専攻科教育科目

科目の区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
器楽専攻	器楽実習(ピアノ)		9
	器楽実習(弦・管・打)		9
	器楽実習(オルガン)		9
	器楽実習(電子オルガン)		9
	合奏		4
	合奏Ⅲ		2
	合奏Ⅳ		2
	室内楽実習Ⅰ		1
	室内楽実習Ⅱ		1
	アンサンブル特殊研究		2
	ピアノ指導法		4
	ピアノⅡ		3
	声楽Ⅱ		3
	アンサンブル		2
	電子楽器特論		2
	電子楽器特殊研究		2
	歌曲研究Ⅰ		4
	歌曲研究Ⅱ		4
	歌曲研究Ⅲ		4
	楽曲分析	4	
	詩と音楽Ⅰ		2
	詩と音楽Ⅱ		2
	演奏解釈法		4
	西洋音楽史特論		4
	即興演奏		2
	音楽指導論講義		2
	作品研究講義Ⅰ		2
作品研究講義Ⅱ		2	
作品研究講義Ⅲ		2	
作品研究講義Ⅳ		2	
ヨーロッパ社会と芸術		3	
声楽専攻	声楽実習	6	
	歌曲研究Ⅰ	4	
	歌曲研究Ⅱ	4	
	歌曲研究Ⅲ	4	
	ピアノⅡ		3
	楽曲分析	4	
	詩と音楽Ⅰ		2
	詩と音楽Ⅱ		2
	西洋音楽史特論		4
	即興演奏		2
	ヨーロッパ社会と芸術		3

(別表6)

	金額(年額)	納入期限
入学金	200,000円	入学試験要項で指定する 当該年度の4月20日
授業料	1,390,000円	
施設費	630,000円	
注1 上記にかかわらず、入学者の納入期限は別に定める。		
注2 授業料・施設費は、事情により次の2期に分けて、年額の2分の1に相当する額を次に掲げる期間内に納入することができる。 第1期 4月20日まで 第2期 9月25日まで		
注3 本学が、特別の事情があると認めた者は、前項の規定にかかわらず月割分納または延納をすることができる。		

(別表7)

	金額(年額)	納入期限
入学金	100,000円	入学試験要項で指定する
授業料	920,000円	
施設費	460,000円	
注1 授業料・施設費は、事情により次の2期に分けて、年額の2分の1に相当する額を次に掲げる期間内に納入することができる。 第1期 4月20日まで 第2期 9月25日まで		
注2 本学が、特別の事情があると認めた者は、前項の規定にかかわらず月割分納または延納をすることができる。		
注3 1年を超えて在学する者の納入期限は別に定める。		

変更の事由及び時期を記載した書類

1. 変更の事由

- (1) 入学定員の変更に伴い、音楽学部音楽芸術表現学科の入学定員及び収容定員を改める。(第7条)

2. 変更の時期

令和6年4月1日

昭和音楽大学学則変更（新旧対照表）

(旧)					(新)																				
第2章 学部、学科、収容定員及び修業年限 (収容定員)					第2章 学部、学科、収容定員及び修業年限 (収容定員)																				
第7条 各学科学生の入学定員及び収容定員は次の通りとする。					第7条 各学科学生の入学定員及び収容定員は次の通りとする。																				
学部	学科名	入学定員	編入学定員	収容定員	学部	学科名	入学定員	編入学定員	収容定員																
音楽学部	音楽芸術表現学科	<u>185</u>	15	<u>770</u>	音楽学部	音楽芸術表現学科	<u>200</u>	15	<u>830</u>																
	音楽芸術運営学科	100	5	410		音楽芸術運営学科	100	5	410																
	計	<u>285</u>	20	<u>1,180</u>		計	<u>300</u>	20	<u>1,240</u>																
附 則 <u>(追加)</u>					附則1. この学則は、2024（令和6）年4月1日から施行する。 2. 入学者の授業料については、当該入学年度の学則による。 3. 教育課程については、第12条の規定にかかわらず、当該入学年度の学則による。 4. 収容定員については、第7条の規定にかかわらず、令和6年度から令和8年度までは次のとおりとする。																				
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科名</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音楽芸術表現学科</td> <td><u>785</u></td> <td><u>800</u></td> <td><u>815</u></td> </tr> <tr> <td>音楽芸術運営学科</td> <td><u>410</u></td> <td><u>410</u></td> <td><u>410</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>1,195</u></td> <td><u>1,210</u></td> <td><u>1,225</u></td> </tr> </tbody> </table>					学科名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	音楽芸術表現学科	<u>785</u>	<u>800</u>	<u>815</u>	音楽芸術運営学科	<u>410</u>	<u>410</u>	<u>410</u>	計	<u>1,195</u>	<u>1,210</u>	<u>1,225</u>
学科名	令和6年度	令和7年度	令和8年度																						
音楽芸術表現学科	<u>785</u>	<u>800</u>	<u>815</u>																						
音楽芸術運営学科	<u>410</u>	<u>410</u>	<u>410</u>																						
計	<u>1,195</u>	<u>1,210</u>	<u>1,225</u>																						

(旧)

(新)

(別表1)

(1) 教養科目、外国語科目

科目 の 区 分	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
教 養 科 目	基礎ゼミ	2		
	哲学			2
	文学			2
	西洋文化史 I			2
	西洋文化史 II			2
	日本文化史 I			2
	日本文化史 II			2
	美術史 I			2
	美術史 II			2
	心理学			2
	心の健康			2
	教育心理学			2
	日本国憲法			2
	経済学		2	
	生活と経済		2	
	生涯学習概論 I			2
	ボランティア論			2
	演奏とからだ I		2	
	演奏とからだ II			2
	音響学			2
	ICTと音楽芸術			1
	情報機器演習 (基礎)		2	
	情報機器演習 (応用) I		2	
	情報機器演習 (応用) II		2	
	博物館概論			2
	図書館概論			2
	キャリアデザイン			1
	芸術鑑賞①			1
	芸術鑑賞②			1
	音楽活動研究①			1
	音楽活動研究②			1
	音楽活動研究③			1
	音楽活動研究④			1
体育理論			2	
体育実技			1	
クリエイティブスタディーズ			1	

科目 の 区 分	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
教 養 科 目	基礎ゼミ	2		
	哲学			2
	文学			2
	西洋文化史 I			2
	西洋文化史 II			2
	日本文化史 I			2
	日本文化史 II			2
	美術史 I			2
	美術史 II			2
	心理学			2
	心の健康			2
	教育心理学			2
	日本国憲法			2
	経済学			2
	生活と経済			2
	生涯学習概論 I			2
	ボランティア論			2
	演奏とからだ I			2
	演奏とからだ II			2
	音響学			2
	ICTと音楽芸術			1
	情報機器演習 (基礎)			2
	情報機器演習 (応用) I			2
	情報機器演習 (応用) II			2
	博物館概論			2
	図書館概論			2
	キャリアデザイン			1
	芸術鑑賞①			1
	芸術鑑賞②			1
	音楽活動研究①			1
	音楽活動研究②			1
	音楽活動研究③			1
	音楽活動研究④			1
体育理論			2	
体育実技			1	
クリエイティブスタディーズ			1	

(旧)

科目の区分	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
教養科目	日本語文法とコミュニケーションⅠ			1
	日本語文法とコミュニケーションⅡ			1
	日本語文法とコミュニケーションⅢ			1
	日本語と日本社会Ⅰ			1
	日本語と日本社会Ⅱ			1
	日本語と日本社会Ⅲ			1
	実用日本語Ⅰ			1
	実用日本語Ⅱ			1
	日本語日本文化Ⅰ			1
	日本語日本文化Ⅱ			1
	日本語日本文化Ⅲ			1
	キャリアと日本語			1
	アカデミック・ジャパニーズ			1
	外国語科目	基礎英語Ⅰ		2
基礎英語Ⅱ			2	
初級英語Ⅰ			2	
初級英語Ⅱ			2	
初級英語Ⅲ			2	
初級英語Ⅳ			2	
初級英語Ⅴ			2	
中級英語Ⅰ			2	
中級英語Ⅱ			2	
中級英語Ⅲ			2	
中級英語Ⅳ			2	
中級英語Ⅴ			2	
上級英語Ⅰ			2	
上級英語Ⅱ			2	
上級英語Ⅲ			2	
上級英語Ⅳ			2	
上級英語Ⅴ			2	
基礎ドイツ語			4	
初級ドイツ語			4	
中級ドイツ語Ⅰ			2	
中級ドイツ語Ⅱ			2	
上級ドイツ語			2	
基礎イタリア語			4	
初級イタリア語			4	
中級イタリア語Ⅰ			2	
中級イタリア語Ⅱ			2	
上級イタリア語			2	
基礎フランス語		4		
初級フランス語		4		
中級フランス語		2		
上級フランス語		2		

(新)

科目の区分	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
教養科目	日本語文法とコミュニケーションⅠ		1	
	日本語文法とコミュニケーションⅡ		1	
	日本語文法とコミュニケーションⅢ		1	
	日本語と日本社会Ⅰ		1	
	日本語と日本社会Ⅱ		1	
	日本語と日本社会Ⅲ		1	
	実用日本語Ⅰ		1	
	実用日本語Ⅱ		1	
	日本語日本文化Ⅰ		1	
	日本語日本文化Ⅱ		1	
	日本語日本文化Ⅲ		1	
	キャリアと日本語		1	
	アカデミック・ジャパニーズ		1	
	外国語科目	基礎英語Ⅰ		2
基礎英語Ⅱ			2	
初級英語Ⅰ			2	
初級英語Ⅱ			2	
初級英語Ⅲ			2	
初級英語Ⅳ			2	
初級英語Ⅴ			2	
中級英語Ⅰ			2	
中級英語Ⅱ			2	
中級英語Ⅲ			2	
中級英語Ⅳ			2	
中級英語Ⅴ			2	
上級英語Ⅰ			2	
上級英語Ⅱ			2	
上級英語Ⅲ			2	
上級英語Ⅳ			2	
上級英語Ⅴ			2	
基礎ドイツ語			4	
初級ドイツ語			4	
中級ドイツ語Ⅰ			2	
中級ドイツ語Ⅱ			2	
上級ドイツ語			2	
基礎イタリア語			4	
初級イタリア語			4	
中級イタリア語Ⅰ			2	
中級イタリア語Ⅱ			2	
上級イタリア語			2	
基礎フランス語		4		
初級フランス語		4		
中級フランス語		2		
上級フランス語		2		

(旧)

(2) 専門科目

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音 楽 芸 術 表 現 学 科	作曲・エレクトロニクス実技①		6	
	作曲・エレクトロニクス実技②		6	
	作曲・エレクトロニクス実技③		6	
	作曲・エレクトロニクス実技④		6	
	サウンドプロデュース①		4	
	サウンドプロデュース②		4	
	サウンドプロデュース③		4	
	サウンドプロデュース④		4	
	指揮実技①		6	
	指揮実技②		6	
	指揮実技③		6	
	指揮実技④		6	
	作曲Ⅱ①		2	
	作曲Ⅱ②		2	
	作曲Ⅱ③			2
	作曲Ⅱ④			2
	指揮演習①		2	
	指揮演習②		2	
	指揮演習③		2	
	指揮演習④		2	
	スコアリーディングⅠ①		2	
	スコアリーディングⅠ②		2	
	スコアリーディングⅡ			2
	対位法		2	
	ミュージックセオリー (初級)		2	
	ミュージックセオリー (中級)		2	
	ミュージックセオリー (上級)		2	
	オーケストレーション		4	
	作曲・編曲法Ⅰ		2	
	作曲・編曲法Ⅱ		2	
	コンピュータ音楽概論		4	
	デジタルミュージック概論		2	
	ポピュラー音楽概論		4	
	映像の音楽		2	
	サウンドデザイン演習		2	
	グラフィックデザイン演習		2	
	音楽プログラミング演習		2	
	映像制作演習		2	
	音楽プロデュース論		4	
	スタジオワークス①		4	
スタジオワークス②		4		
ソングライティング演習①		2		
ソングライティング演習②		2		
PA演習			2	
録音制作Ⅰ			2	
録音制作Ⅱ			2	
録音制作Ⅲ		2		
ピアノ実技Ⅰ①		9		
ピアノ実技Ⅰ②		9		

(新)

(2) 専門科目

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音 楽 芸 術 表 現 学 科	作曲・エレクトロニクス実技①		6	
	作曲・エレクトロニクス実技②		6	
	作曲・エレクトロニクス実技③		6	
	作曲・エレクトロニクス実技④		6	
	サウンドプロデュース①		4	
	サウンドプロデュース②		4	
	サウンドプロデュース③		4	
	サウンドプロデュース④		4	
	指揮実技①		6	
	指揮実技②		6	
	指揮実技③		6	
	指揮実技④		6	
	作曲Ⅱ①		2	
	作曲Ⅱ②		2	
	作曲Ⅱ③			2
	作曲Ⅱ④			2
	指揮演習①			2
	指揮演習②		2	
	指揮演習③		2	
	指揮演習④		2	
	スコアリーディングⅠ①		2	
	スコアリーディングⅠ②		2	
	スコアリーディングⅡ			2
	対位法		2	
	ミュージックセオリー (初級)		2	
	ミュージックセオリー (中級)		2	
	ミュージックセオリー (上級)		2	
	オーケストレーション		4	
	作曲・編曲法Ⅰ		2	
	作曲・編曲法Ⅱ		2	
	コンピュータ音楽概論		4	
	デジタルミュージック概論		2	
	ポピュラー音楽概論		4	
	映像の音楽		2	
	サウンドデザイン演習		2	
	グラフィックデザイン演習		2	
	音楽プログラミング演習		2	
	映像制作演習		2	
	音楽プロデュース論		4	
	スタジオワークス①		4	
スタジオワークス②		4		
ソングライティング演習①		2		
ソングライティング演習②		2		
PA演習			2	
録音制作Ⅰ			2	
録音制作Ⅱ			2	
録音制作Ⅲ		2		
ピアノ実技Ⅰ①		9		
ピアノ実技Ⅰ②		9		

(旧)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現現学科	ピアノ実技Ⅰ③		9	
	ピアノ実技Ⅰ④		9	
	ピアノ実技Ⅱ①			6
	ピアノ実技Ⅱ②			6
	ピアノ実技Ⅱ③			6
	ピアノ実技Ⅱ④			6
	ピアノⅠ①		6	
	ピアノⅠ②		6	
	ピアノⅠ③		6	
	ピアノⅠ④		6	
	ピアノ①		4	
	ピアノ②		4	
	ピアノ③		4	
	ピアノ④			4
	ピアノⅡ①		2	
	ピアノⅡ②		2	
	ピアノⅡ③			2
	ピアノⅡ④			2
	ピアノアンサンブルⅠ①		2	
	ピアノアンサンブルⅠ②		2	
	ピアノアンサンブルⅠ③		2	
	ピアノアンサンブルⅠ④		2	
	ピアノアンサンブルⅡ①		2	
	ピアノアンサンブルⅡ②		2	
	ピアノアンサンブルⅡ③			2
	ピアノアンサンブルⅡ④			2
	アンサンブルⅠ①		2	
	アンサンブルⅠ②			2
	アンサンブルⅠ③			2
	アンサンブルⅠ④			2
	アンサンブルⅡ①			2
	アンサンブルⅡ②			2
	アンサンブルⅡ③			2
	アンサンブルⅡ④			2
	伴奏実習基礎		2	
	伴奏実習①			1
	伴奏実習②			1
	伴奏実習③			1
	伴奏法Ⅱ			2
	演奏会実習		2	
演奏会実習Ⅰ		4		
演奏会実習Ⅰ①		2		
演奏会実習Ⅰ②		2		
演奏会実習Ⅱ①			4	
演奏会実習Ⅱ②			4	
演奏会実習Ⅱ③			4	
演奏会実習Ⅱ④			4	
演奏会実習Ⅲ			4	
演奏分析		2		

(新)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現現学科	ピアノ実技Ⅰ③		9	
	ピアノ実技Ⅰ④		9	
	ピアノ実技Ⅱ①			6
	ピアノ実技Ⅱ②			6
	ピアノ実技Ⅱ③			6
	ピアノ実技Ⅱ④			6
	ピアノⅠ①		6	
	ピアノⅠ②		6	
	ピアノⅠ③		6	
	ピアノⅠ④		6	
	ピアノ①		4	
	ピアノ②		4	
	ピアノ③		4	
	ピアノ④			4
	ピアノⅡ①		2	
	ピアノⅡ②		2	
	ピアノⅡ③			2
	ピアノⅡ④			2
	ピアノアンサンブルⅠ①		2	
	ピアノアンサンブルⅠ②		2	
	ピアノアンサンブルⅠ③		2	
	ピアノアンサンブルⅠ④		2	
	ピアノアンサンブルⅡ①		2	
	ピアノアンサンブルⅡ②		2	
	ピアノアンサンブルⅡ③			2
	ピアノアンサンブルⅡ④			2
	アンサンブルⅠ①		2	
	アンサンブルⅠ②			2
	アンサンブルⅠ③			2
	アンサンブルⅠ④			2
	アンサンブルⅡ①			2
	アンサンブルⅡ②			2
	アンサンブルⅡ③			2
	アンサンブルⅡ④			2
	伴奏実習基礎			2
	伴奏実習①			1
	伴奏実習②			1
	伴奏実習③			1
	伴奏法Ⅱ			2
	演奏会実習			2
演奏会実習Ⅰ			4	
演奏会実習Ⅰ①			2	
演奏会実習Ⅰ②			2	
演奏会実習Ⅱ①			4	
演奏会実習Ⅱ②			4	
演奏会実習Ⅱ③			4	
演奏会実習Ⅱ④			4	
演奏会実習Ⅲ			4	
演奏分析		2		

(旧)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学	メディア創作基礎Ⅰ		2	
	メディア創作基礎Ⅱ		2	
	メディア創作応用Ⅰ		2	
	メディア創作応用Ⅱ		2	
	これからのピアノ表現Ⅰ		1	
	これからのピアノ表現Ⅱ		1	
	これからのピアノ表現Ⅲ		1	
	これからのピアノ表現Ⅳ		1	
	ピアノ指導法応用Ⅲ		1	
	ピアノ指導法応用Ⅳ		1	
	指導教材研究Ⅰ		2	
	指導教材研究Ⅱ		2	
	ピアノ指導法基礎Ⅰ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅱ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅲ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅳ		1	
	児童心理		2	
	卒業演奏		4	
	卒業研究		2	
	オルガンⅠ①		6	
	オルガンⅠ②		6	
	オルガンⅠ③		6	
	オルガンⅠ④		6	
	オルガンⅡ①			2
	オルガンⅡ②			2
	オルガンⅡ③			2
	オルガンⅡ④			2
	電子オルガンⅠ①		6	
	電子オルガンⅠ②		6	
	電子オルガンⅠ③		6	
	電子オルガンⅠ④		6	
	電子オルガンⅡ①		2	
	電子オルガンⅡ②			2
	電子オルガンⅡ③			2
	電子オルガンⅡ④			2
	電子オルガンアンサンブル①		2	
	電子オルガンアンサンブル②		2	
	電子オルガンアンサンブル③		2	
	電子オルガンアンサンブル④		2	
	電子オルガン演習①		2	
電子オルガン演習②		2		
電子オルガン演習③		2		
電子オルガン演習④			2	
電子楽器研究		2		
ピアノ指導法応用Ⅰ		1		
ピアノ指導法応用Ⅱ		1		
ピアノ教養特論Ⅰ		2		
ピアノ教養特論Ⅱ		2		
バレエ音楽演習			2	

(新)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学	メディア創作基礎Ⅰ		2	
	メディア創作基礎Ⅱ		2	
	メディア創作応用Ⅰ		2	
	メディア創作応用Ⅱ		2	
	これからのピアノ表現Ⅰ		1	
	これからのピアノ表現Ⅱ		1	
	これからのピアノ表現Ⅲ		1	
	これからのピアノ表現Ⅳ		1	
	ピアノ指導法応用Ⅲ		1	
	ピアノ指導法応用Ⅳ		1	
	指導教材研究Ⅰ		2	
	指導教材研究Ⅱ		2	
	ピアノ指導法基礎Ⅰ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅱ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅲ		1	
	ピアノ指導法基礎Ⅳ		1	
	児童心理		2	
	卒業演奏		4	
	卒業研究		2	
	オルガンⅠ①		6	
	オルガンⅠ②		6	
	オルガンⅠ③		6	
	オルガンⅠ④		6	
	オルガンⅡ①			2
	オルガンⅡ②			2
	オルガンⅡ③			2
	オルガンⅡ④			2
	電子オルガンⅠ①		6	
	電子オルガンⅠ②		6	
	電子オルガンⅠ③		6	
	電子オルガンⅠ④		6	
	電子オルガンⅡ①		2	
	電子オルガンⅡ②			2
	電子オルガンⅡ③			2
	電子オルガンⅡ④			2
	電子オルガンアンサンブル①		2	
	電子オルガンアンサンブル②		2	
	電子オルガンアンサンブル③		2	
	電子オルガンアンサンブル④		2	
	電子オルガン演習①		2	
電子オルガン演習②		2		
電子オルガン演習③		2		
電子オルガン演習④			2	
電子楽器研究		2		
ピアノ指導法応用Ⅰ		1		
ピアノ指導法応用Ⅱ		1		
ピアノ教養特論Ⅰ		2		
ピアノ教養特論Ⅱ		2		
バレエ音楽演習			2	

(旧)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学	鍵盤演奏表現Ⅰ			2
	鍵盤演奏表現Ⅱ			2
	鍵盤演奏表現Ⅲ			2
	鍵盤演奏表現Ⅳ			2
	英語研修			2
	海外研修Ⅰ		4	
	海外研修Ⅱ			3
	海外研修Ⅳ			3
	海外研修Ⅴ			3
	海外研修Ⅵ			1
	海外研修Ⅶ			2
	海外研修Ⅷ			1
	海外研修Ⅸ			1
	海外研修Ⅹ			1
	海外研修Ⅺ			1
	海外研修Ⅻ			2
	海外研修ⅩⅢ			2
	海外研修ⅩⅣ			2
	器楽実技Ⅰ①		6	
	器楽実技Ⅰ②		6	
	器楽実技Ⅰ③		6	
	器楽実技Ⅰ④		6	
	器楽実技Ⅱ①			3
	器楽実技Ⅱ②			3
	器楽実技Ⅱ③			3
	器楽実技Ⅱ④			3
	器楽実技Ⅲ①			6
	器楽実技Ⅲ②			6
	器楽実技Ⅲ③			6
	器楽実技Ⅲ④			6
	器楽Ⅰ①		6	
	器楽Ⅰ②		6	
	器楽Ⅰ③		6	
	器楽Ⅰ④		6	
	器楽Ⅱ①		2	
	器楽Ⅱ②			2
	器楽Ⅱ③			2
	器楽Ⅱ④			2
	ヴァイオリンステップアップ①			2
	ヴァイオリンステップアップ②			2
ヴァイオリンステップアップ③			2	
ヴァイオリンステップアップ④			2	
合奏Ⅰ①		4		
合奏Ⅰ②		4		
合奏Ⅰ③		4		
合奏Ⅰ④		4		
合奏Ⅱ			2	
合奏Ⅲ①			2	
合奏Ⅲ②			2	

(新)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学	鍵盤演奏表現Ⅰ			2
	鍵盤演奏表現Ⅱ			2
	鍵盤演奏表現Ⅲ			2
	鍵盤演奏表現Ⅳ			2
	英語研修			2
	海外研修Ⅰ		4	
	海外研修Ⅱ			3
	海外研修Ⅳ			3
	海外研修Ⅴ			3
	海外研修Ⅵ			1
	海外研修Ⅶ			2
	海外研修Ⅷ			1
	海外研修Ⅸ			1
	海外研修Ⅹ			1
	海外研修Ⅺ			1
	海外研修Ⅻ			2
	海外研修ⅩⅢ			2
	海外研修ⅩⅣ			2
	器楽実技Ⅰ①		6	
	器楽実技Ⅰ②		6	
	器楽実技Ⅰ③		6	
	器楽実技Ⅰ④		6	
	器楽実技Ⅱ①			3
	器楽実技Ⅱ②			3
	器楽実技Ⅱ③			3
	器楽実技Ⅱ④			3
	器楽実技Ⅲ①			6
	器楽実技Ⅲ②			6
	器楽実技Ⅲ③			6
	器楽実技Ⅲ④			6
	器楽Ⅰ①		6	
	器楽Ⅰ②		6	
	器楽Ⅰ③		6	
	器楽Ⅰ④		6	
	器楽Ⅱ①		2	
	器楽Ⅱ②			2
	器楽Ⅱ③			2
	器楽Ⅱ④			2
	ヴァイオリンステップアップ①			2
	ヴァイオリンステップアップ②			2
ヴァイオリンステップアップ③			2	
ヴァイオリンステップアップ④			2	
合奏Ⅰ①		4		
合奏Ⅰ②		4		
合奏Ⅰ③		4		
合奏Ⅰ④		4		
合奏Ⅱ			2	
合奏Ⅲ①			2	
合奏Ⅲ②			2	

(旧)

学科	授業科目	単位数			
		必修	選択必修	選択	
音楽芸術表現現学	合奏Ⅲ③			2	
	合奏Ⅲ④			2	
	合奏Ⅳ①			2	
	合奏Ⅳ②			2	
	合奏Ⅳ③			2	
	合奏Ⅳ④			2	
	室内楽Ⅰ		1		
	室内楽Ⅱ		1		
	室内楽Ⅲ		1		
	室内楽Ⅳ		1		
	室内楽Ⅴ				1
	室内楽Ⅵ				1
	室内楽演習Ⅰ				1
	室内楽演習Ⅱ				1
	コンチェルト実習		2		
	コンチェルト実習Ⅰ		2		
	コンチェルト実習Ⅱ				2
	楽器研究				2
	指揮法Ⅱ①		2		
	指揮法Ⅱ②		2		
	吹奏楽概論Ⅰ		2		
	吹奏楽概論Ⅱ		2		
	声楽Ⅰ①		6		
	声楽Ⅰ②		6		
	声楽Ⅰ③		6		
	声楽Ⅰ④		6		
	声楽Ⅱ①				2
	声楽Ⅱ②				2
	声楽Ⅱ③				2
	声楽Ⅱ④				2
	声楽アンサンブル基礎		1		
	ドイツ歌曲①		1		
	ドイツ歌曲②				1
	日本歌曲①				1
	日本歌曲②				1
	フランス歌曲①		1		
フランス歌曲②				1	
歌うためのイタリア語		2			
合唱①		2			
合唱②		2			
合唱③		2			
合唱④		2			
合唱指導法①				2	
合唱指導法②				2	
合唱指導法演習				2	
オペラ演習Ⅰ①		2			
オペラ演習Ⅰ②		2			
オペラ演習Ⅰ③		4			

(新)

学科	授業科目	単位数			
		必修	選択必修	選択	
音楽芸術表現現学	合奏Ⅲ③			2	
	合奏Ⅲ④			2	
	合奏Ⅳ①			2	
	合奏Ⅳ②			2	
	合奏Ⅳ③			2	
	合奏Ⅳ④			2	
	室内楽Ⅰ			1	
	室内楽Ⅱ			1	
	室内楽Ⅲ			1	
	室内楽Ⅳ			1	
	室内楽Ⅴ				1
	室内楽Ⅵ				1
	室内楽演習Ⅰ				1
	室内楽演習Ⅱ				1
	コンチェルト実習			2	
	コンチェルト実習Ⅰ			2	
	コンチェルト実習Ⅱ				2
	楽器研究				2
	指揮法Ⅱ①			2	
	指揮法Ⅱ②			2	
	吹奏楽概論Ⅰ			2	
	吹奏楽概論Ⅱ			2	
	声楽Ⅰ①			6	
	声楽Ⅰ②			6	
	声楽Ⅰ③			6	
	声楽Ⅰ④			6	
	声楽Ⅱ①				2
	声楽Ⅱ②				2
	声楽Ⅱ③				2
	声楽Ⅱ④				2
	声楽アンサンブル基礎			1	
	ドイツ歌曲①			1	
	ドイツ歌曲②				1
	日本歌曲①				1
	日本歌曲②				1
	フランス歌曲①			1	
フランス歌曲②				1	
歌うためのイタリア語			2		
合唱①			2		
合唱②			2		
合唱③			2		
合唱④			2		
合唱指導法①				2	
合唱指導法②				2	
合唱指導法演習				2	
オペラ演習Ⅰ①			2		
オペラ演習Ⅰ②			2		
オペラ演習Ⅰ③			4		

(旧)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学	オペラ演習Ⅰ④		2	
	オペラ演習Ⅱ			2
	オペラ公演実習	4		
	指揮法Ⅰ			2
	パフォーマンス①			1
	パフォーマンス②			1
	パフォーマンス③			1
	パフォーマンス④			1
	舞台表現演習①			1
	舞台表現演習②			1
	舞台表現演習③			1
	ジャズ実技①		6	
	ジャズ実技②		6	
	ジャズ実技③		6	
	ジャズ実技④		6	
	ジャズビッグバンド①		2	
	ジャズビッグバンド②		2	
	ジャズビッグバンド③		2	
	ジャズビッグバンド④		2	
	ジャズコンボ①		2	
	ジャズコンボ②		2	
	ジャズコンボ③		2	
	ジャズコンボ④		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)①		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)②		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)③		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)④		2	
	ジャズコンポジション①			4
	ジャズコンポジション②			4
	ポップ&ロック実技①		6	
	ポップ&ロック実技②		6	
	ポップ&ロック実技③		6	
	ポップ&ロック実技④		6	
	バンドアンサンブル①		2	
	バンドアンサンブル②		2	
	バンドアンサンブル③		4	
バンドアンサンブル④		4		
ポピュラー作曲・編曲法①		4		
ポピュラー作曲・編曲法②		4		
ポピュラー作曲・編曲法③		4		
ポピュラー作曲・編曲法④		4		
コンポジション&アレンジ①			4	
コンポジション&アレンジ②			4	
テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)①		2		
テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)②		2		
テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)③		2		
テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)④		2		
ポピュラー・ジャズピアノⅡ①		2		

(新)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学	オペラ演習Ⅰ④		2	
	オペラ演習Ⅱ			2
	オペラ公演実習	4		
	指揮法Ⅰ			2
	パフォーマンス①			1
	パフォーマンス②			1
	パフォーマンス③			1
	パフォーマンス④			1
	舞台表現演習①			1
	舞台表現演習②			1
	舞台表現演習③			1
	ジャズ実技①		6	
	ジャズ実技②		6	
	ジャズ実技③		6	
	ジャズ実技④		6	
	ジャズビッグバンド①		2	
	ジャズビッグバンド②		2	
	ジャズビッグバンド③		2	
	ジャズビッグバンド④		2	
	ジャズコンボ①		2	
	ジャズコンボ②		2	
	ジャズコンボ③		2	
	ジャズコンボ④		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)①		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)②		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)③		2	
	テクニック&パフォーマンス(ジャズ)④		2	
	ジャズコンポジション①			4
	ジャズコンポジション②			4
	ポップ&ロック実技①		6	
	ポップ&ロック実技②		6	
	ポップ&ロック実技③		6	
	ポップ&ロック実技④		6	
	バンドアンサンブル①		2	
	バンドアンサンブル②		2	
	バンドアンサンブル③		4	
バンドアンサンブル④		4		
ポピュラー作曲・編曲法①		4		
ポピュラー作曲・編曲法②		4		
ポピュラー作曲・編曲法③		4		
ポピュラー作曲・編曲法④		4		
コンポジション&アレンジ①			4	
コンポジション&アレンジ②			4	
テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)①		2		
テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)②		2		
テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)③		2		
テクニック&パフォーマンス(ポップ&ロック)④		2		
ポピュラー・ジャズピアノⅡ①		2		

(旧)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学	ポピュラー・ジャズピアノⅡ②		2	
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ③			2
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ④			2
	インストゥルメンツⅡ①		2	
	インストゥルメンツⅡ②		2	
	インストゥルメンツⅡ③			2
	インストゥルメンツⅡ④			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ①		2	
	ポピュラーヴォーカルⅡ②		2	
	ポピュラーヴォーカルⅡ③			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ④			2
	トラックメイキング①		4	
	トラックメイキング②			4
	ライブパフォーマンスⅠ①		1	
	ライブパフォーマンスⅠ②		1	
	ライブパフォーマンスⅡ①		1	
	ライブパフォーマンスⅡ②		1	
	コードプログレッション (ベーシック)		4	
	コードプログレッション (アドバンス)		4	
	イヤートレーニング			2
	リズムトレーニング		1	
	スタジオレコーディング①		1	
	スタジオレコーディング②		1	
	ダンス			2
	ジャズの歴史と作品		2	
	卒業ライブ		1	
	基本ソルフェージュ①		2	
	基本ソルフェージュ②		2	
	基本ソルフェージュ③		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ①		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ②		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ③		2	
	鍵盤ソルフェージュ①		2	
	鍵盤ソルフェージュ②		2	
鍵盤ソルフェージュ③		2		
総合ソルフェージュ①		2		
総合ソルフェージュ②		2		
総合ソルフェージュ③		2		
音楽教育メソッドⅠ		1		
音楽教育メソッドⅡ		1		
医学一般			2	
ハーモニー演習①		2		
ハーモニー演習②		2		
ハーモニー演習③			2	
音楽基礎演習			2	
西洋音楽史Ⅰ		4		
西洋音楽史Ⅱ			2	
楽式論Ⅰ		2		

(新)

学科	授業科目	単位数		
		必修	選択必修	選択
音楽芸術表現学	ポピュラー・ジャズピアノⅡ②		2	
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ③			2
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ④			2
	インストゥルメンツⅡ①		2	
	インストゥルメンツⅡ②		2	
	インストゥルメンツⅡ③			2
	インストゥルメンツⅡ④			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ①		2	
	ポピュラーヴォーカルⅡ②		2	
	ポピュラーヴォーカルⅡ③			2
	ポピュラーヴォーカルⅡ④			2
	トラックメイキング①		4	
	トラックメイキング②			4
	ライブパフォーマンスⅠ①		1	
	ライブパフォーマンスⅠ②		1	
	ライブパフォーマンスⅡ①		1	
	ライブパフォーマンスⅡ②		1	
	コードプログレッション (ベーシック)		4	
	コードプログレッション (アドバンス)		4	
	イヤートレーニング			2
	リズムトレーニング		1	
	スタジオレコーディング①		1	
	スタジオレコーディング②		1	
	ダンス			2
	ジャズの歴史と作品		2	
	卒業ライブ		1	
	基本ソルフェージュ①		2	
	基本ソルフェージュ②		2	
	基本ソルフェージュ③		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ①		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ②		2	
	聴音・視唱ソルフェージュ③		2	
	鍵盤ソルフェージュ①		2	
	鍵盤ソルフェージュ②		2	
鍵盤ソルフェージュ③		2		
総合ソルフェージュ①		2		
総合ソルフェージュ②		2		
総合ソルフェージュ③		2		
音楽教育メソッドⅠ		1		
音楽教育メソッドⅡ		1		
医学一般			2	
ハーモニー演習①		2		
ハーモニー演習②		2		
ハーモニー演習③			2	
音楽基礎演習			2	
西洋音楽史Ⅰ		4		
西洋音楽史Ⅱ			2	
楽式論Ⅰ		2		

(旧)

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音	楽式論Ⅱ		2	
楽	ポリフォニー演習		2	
芸	管弦楽概論			4
術	音楽美学			4
表	オペラの歴史と作品		4	
現	鍵盤音楽の歴史と作品		4	
学	器楽の歴史と作品		4	
科	日本音楽概論Ⅰ			2
	日本音楽概論Ⅱ			2
	民族音楽概論Ⅰ			2
	民族音楽概論Ⅱ			2
	音楽情報論			4
	ミュージックビジネスと社会		2	
	ライブビジネスと社会		2	
	演劇の歴史と作品			2
	アートマネジメント概論①			2
	アートマネジメント概論②			2
	経営学Ⅰ			2
	経営学Ⅱ			2
	芸術関係法規			2
	芸術文化と社会Ⅱ			2
	芸術文化環境論			4
	文化政策論Ⅰ			2
	文化政策論Ⅱ			2
	簿記・会計入門			4
	舞台芸術概論			4
	舞台機構調整演習			2
	舞台スタッフ論①			2
	舞台スタッフ論②			2
	舞台制作概論			2
	環境音楽論Ⅰ			2
	環境音楽論Ⅱ			2
	音楽心理学			2
	音楽療法概説			2
	社会福祉概論			2
	介護概論			2
	障がい児教育概論			2
	発達心理学			2
	日本古典芸能Ⅰ			1
	日本古典芸能Ⅱ			1
	日本古典芸能Ⅲ			1
	ミュージカルの歴史と作品			2
	舞踊の歴史と作品			4
	看護学演習			1
	日本伝統音楽演習(歌唱)			1
	日本伝統音楽演習(和楽器)			1
	フィールドインターンシップ①			2
	フィールドインターンシップ②			2

(新)

学 科	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択 必 修	選 択
音	楽式論Ⅱ		2	
楽	ポリフォニー演習		2	
芸	管弦楽概論			4
術	音楽美学			4
表	オペラの歴史と作品		4	
現	鍵盤音楽の歴史と作品		4	
学	器楽の歴史と作品		4	
科	日本音楽概論Ⅰ			2
	日本音楽概論Ⅱ			2
	民族音楽概論Ⅰ			2
	民族音楽概論Ⅱ			2
	音楽情報論			4
	ミュージックビジネスと社会		2	
	ライブビジネスと社会		2	
	演劇の歴史と作品			2
	アートマネジメント概論①			2
	アートマネジメント概論②			2
	経営学Ⅰ			2
	経営学Ⅱ			2
	芸術関係法規			2
	芸術文化と社会Ⅱ			2
	芸術文化環境論			4
	文化政策論Ⅰ			2
	文化政策論Ⅱ			2
	簿記・会計入門			4
	舞台芸術概論			4
	舞台機構調整演習			2
	舞台スタッフ論①			2
	舞台スタッフ論②			2
	舞台制作概論			2
	環境音楽論Ⅰ			2
	環境音楽論Ⅱ			2
	音楽心理学			2
	音楽療法概説			2
	社会福祉概論			2
	介護概論			2
	障がい児教育概論			2
	発達心理学			2
	日本古典芸能Ⅰ			1
	日本古典芸能Ⅱ			1
	日本古典芸能Ⅲ			1
	ミュージカルの歴史と作品			2
	舞踊の歴史と作品			4
	看護学演習			1
	日本伝統音楽演習(歌唱)			1
	日本伝統音楽演習(和楽器)			1
	フィールドインターンシップ①			2
	フィールドインターンシップ②			2

昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の収容定員変更における
学則変更の趣旨等を記載した書類（本文）

目 次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・	2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容・・・・・・・・	6
（ア）教育課程の変更内容について・・・・・・・・・・・・・・・・	6
（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容について・・・・・・・・	8
（ウ）教員組織の変更内容について・・・・・・・・・・・・・・・・	8
（エ）大学全体の施設・設備の変更内容について・・・・・・・・	9

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

今回の届出による学則変更は、昭和音楽大学（以下、本学という）音楽学部音楽芸術表現学科の入学定員を185名から200名に増員し、収容定員は830名（完成年度）とすることである。

【昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科】

	令和5年度 (現行)	変更後
入学定員	185名	200名(15名)
編入学定員	15名	15名
収容定員	770名	830名

なお、入学定員および収容定員は以下のとおり移行する。

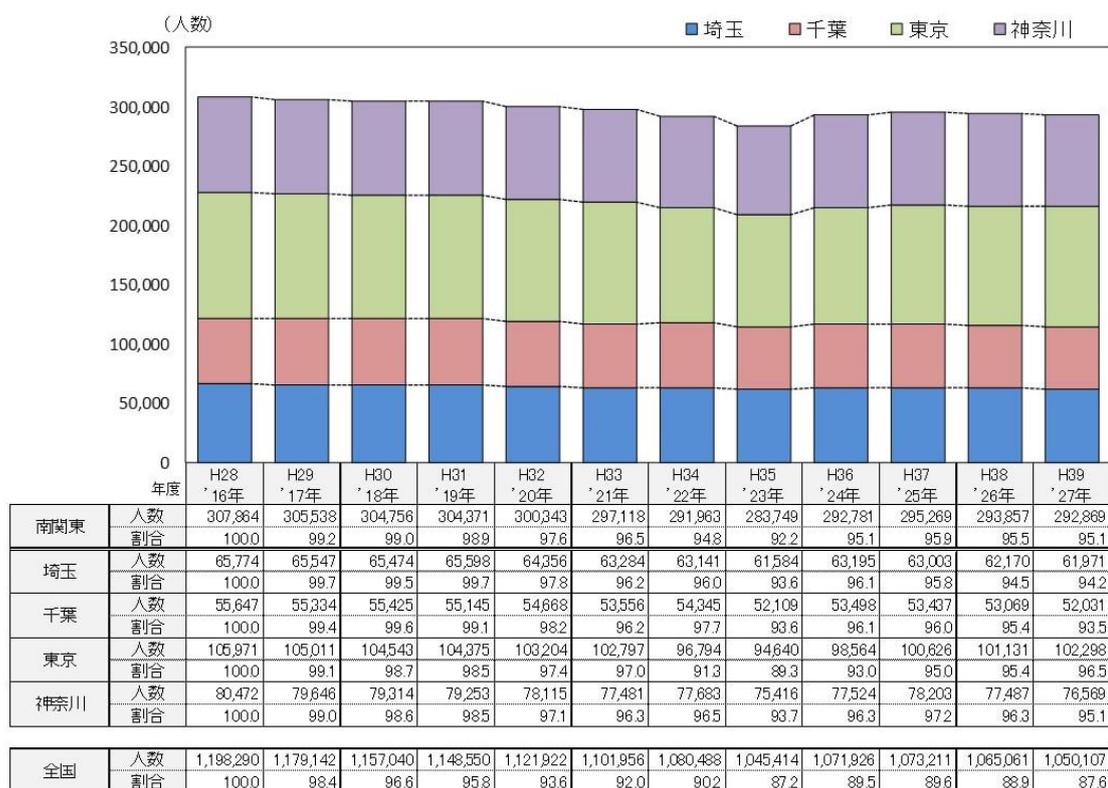
	令和5年度 (現行)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 以降
入学定員	185名	200名	200名	200名	200名
編入学定員	15名	15名	15名	15名	15名
収容定員	770名	785名	800名	815名	830名

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

収容定員を変更する理由は以下のとおりである。

18歳人口の長期的動向（平成28年から令和9年までの12年間）について、平成28年（1,198,290名）と令和9年（1,050,107名）の人口増減率を算出すると0.88倍となり、減少傾向である（図1）。また、中期的動向（令和5年から令和9年までの5年間）を確認すると、令和5年と令和9年度の比較において、人口増減率は1.00倍である。さら神奈川県・東京都について同様の方法で確認すると、長期的な人口増減率は0.96倍であり、中期的な人口増減率は1.05倍である。全国的に見た18歳人口の長期的動向は減少傾向であるが、神奈川県・東京都で見た場合の長期的動向、及び全国的、神奈川県・東京都の両方で見た場合の中期的動向においては、概ね横ばいで推移している。

このような背景の中で、学生募集状況における競合校の二極化、外国人留学生の増加を主な要因として、今後、志願者、入学者の増加が見込まれており、社会的動向に対応しつつ、適正な収容定員超過率を将来にわたって維持するため、入学定員、収容定員の変更を実施する。



学校基本調査を基にリクルート進学総研にて作成

〔図1〕 18歳人口予測 2016～2027年

※引用：<https://souken.shingakunet.com/research/2017/01/182015-bb85-1.html>

(1) 入学者数と入学定員の差異の是正

本学音楽学部音楽芸術表現学科における過去5年間の志願者数、入学者数等は以下のとおりである。

〔表1〕 音楽芸術表現学科における学生確保の状況

	令和元 年度	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	平均
A. 入学定員	175	185	185	185	185	183
B. 志願者数	305	332	322	321	306	317.2
C. 受験者数	302	327	319	316	302	313.2
D. 合格者数	269	262	283	271	264	269.8
E. 入学者数	214	210	216	192	216	209.6
F. 入学定員 充足率(E/A)	122.3%	113.5%	116.8%	103.8%	116.8%	114.6%
G 志願倍率 (B/A)	1.74	1.79	1.74	1.74	1.65	1.73

年度によって入学者数の変動はあるが、志願者の直近5年の平均は317.2名であり、新たな入学定員200名に対して、1.5倍以上の入学志願者数を継続して得ている。また、入学者数の平均は209.6名であり、変更後の入学定員200名を想定した場合、入学定員充足率が104.8%となる見込みである。

募集状況が堅調であることの背景の一つとして、競合校の募集状況における二極化がある。下の表のとおり、直近4年で継続的に1.0倍以上の入学定員充足率を維持している大学と1.0倍未満の入学定員充足率が継続している、もしくは定員減等の実施によって1.0倍を確保している大学に二極化している傾向がみられる。本学は前者の位置づけにあり、魅力的な教育活動、効果的な募集広報活動等を持続的に展開していることが、堅調な募集状況の背景にあるものと認識している。

〔表2〕 競合校の入学定員充足率

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	3年間の平均	備考
充足	【私立】洗足学園音楽大学（神奈川県）	1.1	1.2	1.2	1.2	
	【私立】昭和音楽大学（神奈川県）	1.1	1.2	1.1	1.1	
	【私立】東京音楽大学（東京都）	1.2	1.1	1.1	1.1	
	【私立】日本大学 芸術学部 音楽学科（東京都）	1.0	1.1	1.0	1.0	
	【私立】国立音楽大学（東京都）	0.9	1.1	1.0	1.0	令和3年度定員減
未充足	【私立】桐朋学園大学（東京都）	0.9	0.9	0.8	0.9	
	【私立】武蔵野音楽大学（東京都）	0.9	0.7	0.7	0.8	令和4年度定員減
	【私立】東邦音楽大学（埼玉県）	0.7	0.7	0.7	0.7	
	【私立】聖徳大学 音楽学部 音楽学科（千葉県・女子のみ）	0.5	0.5	0.4	0.5	
	【私立】上野学園大学 音楽学部 音楽学科（東京都）	0.2	—	—	0.2	令和3年度以降募集停止

※各大学公式ホームページ掲載情報を基に本学にて集計

(2) 外国人留学生の増加

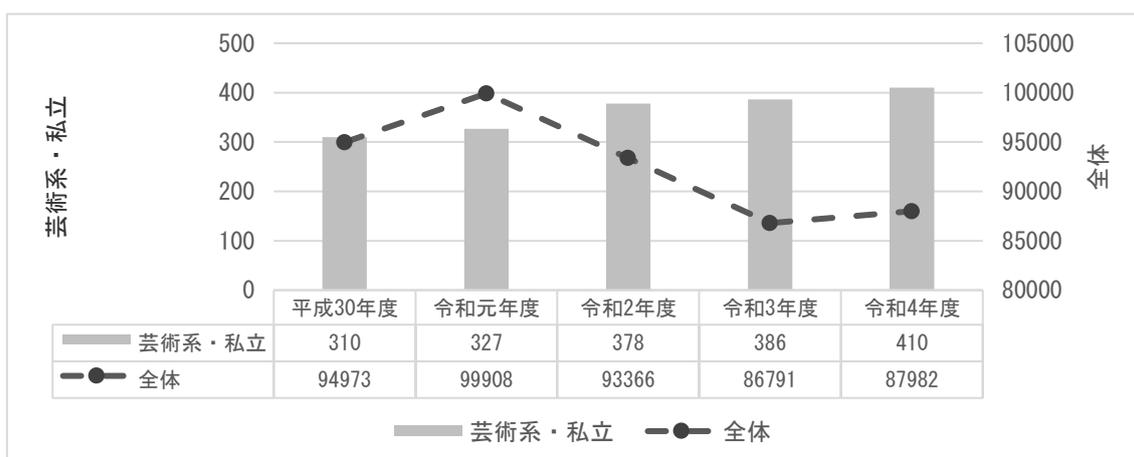
本学音楽学部音楽芸術表現学科における過去5年間の外国人留学生の入学者数は以下のとおりである。

〔表3〕 音楽芸術表現学科における外国人留学生入学者の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
外国人留学生入学者	15	12	18	17	40	20.4

令和元年度は15名であった外国人留学生が緩やかに増加し、令和5年度は40名もの外国人留学生が入学をしている。外国人留学生向けの入学者選抜制度の実施（本学独自の外国人留学生入試の実施）、外国人留学生向けの教育課程の編成（日本語科目のカリキュラム再編）、外国人留学生の受け入れ体制の整備（留学生委員会の設置、外国人留学生向けの「日本語」担当専任教員の配置、日本語以外の言語で会話ができる教職員の採用）等、教育研究環境の国際化に向けて積極的に取り組みを進めた結果、その取り組みが外国人留学生に支持されたものと判断している。外国人留学生の受け入れを今後も維持、強化していくためにも、入学定員の増員は早急に対応が必要である。

また、下図は外国人留学生の数を示したものである。この図を確認すると、芸術系統の私立大学の外国人留学生が増加傾向であることが確認でき、本学だけの傾向ではなく、芸術系統の私立大学における全国的な動向であることが確認できる。今後も増加傾向が続くものと見込まれる。



〔図2〕 外国人留学生数推移（学校基本調査）

ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容について

本学音楽学部の教育課程は、「昭和音楽大学学則」に定めるとおり教養科目、外国語科目、専門科目の3つの柱により編成している。

1. 教養科目

教養科目は、全学科・コース共通に開講する科目群で、各コースの専門分野の学修において学問的な基礎を担う科目や、卒業後に社会人として生きていくために必要であると考えられる科目等を配置し、多様な学びを可能にしている。また、芸術系大学の特性を活かし、幅広い視点で音楽を捉える力を育むと同時に、生涯にわたって多方面で活躍できるキャリア・マネジメント力と職業意識を養うことを目指すキャリア科目も含まれる。

音楽学部には音楽芸術表現学科と音楽芸術運営学科の2学科がある。音楽芸術運営学科と共通する科目のうち教養科目の必修科目には、「基礎ゼミ」がある。

「基礎ゼミ」は大学での学びを円滑にするため、1年次の導入教育として開講する。大学4年間で主体的に学ぶための思考力や汎用力を身に付け、将来のキャリアデザインを描けるようにしている。本科目は、担当教員として専任教員21名、兼任教員20名を配置している。入学定員における教員一名あたりの学生数は7.0名で、入学定員が15名増員しても教員一名あたりの学生数は7.3名と、学生の学修環境に影響は出ない。また、「基礎ゼミ」は、平成29年度の音楽芸術表現学科の開設時の計画から専任教員数を15名から21名と大幅に増員し、手厚く学修支援を行っている。加えて、この授業の運営にあたっては、教学組織に「基礎ゼミ分科会」を置き、組織的な対応ができていたため、入学定員の変更によって授業の運営に支障が出ることはない。

その他の音楽芸術運営学科と共通する教養科目は、選択科目として設定している。教養科目の授業の運営にあたっては、教学組織に「教養科目分科会」を置き、組織的に対応できる体制となっている。そのため履修者数が著しく多い科目が発生した場合は、クラス数を増やす、TA(ティーチング・アシスタント)を配置する等の措置を講じることが可能であるため、入学定員の変更によって授業の運営に支障が出ることはない。【資料1】

2. 外国語科目

外国語科目は、本学においては英語、イタリア語、ドイツ語、及びフランス語を開講し、必要な科目や単位数は、コースの専門性に応じて設定している。英語についてはプレイスメントテストを実施しクラス分けを行うことにより、レベルに合ったクラスで受

講することができるようにしている。なお、外国語科目において音楽芸術運営学科と共通する科目はすべて選択科目・選択必修科目である。教学組織として「語学分科会」を置き、組織的な対応ができるようにしており、入学定員の変更によって授業の運営に支障が出ることはない。【資料 2】

3.専門科目

専門科目は、各コースの専門分野の学修のために設置している科目で、学科・コースの専門性に特化した科目群である。本学の実技レッスンといった専攻主科実技科目や主科に関わる実習科目、卒業論文等がこれにあたる。専門科目において、外国語科目と同様に音楽芸術運営学科と共通する科目はすべて選択科目・選択必修科目である。教学組織としてその科目に関する専門部会・分科会等を置き、全ての授業科目において組織的な対応ができるようにしている。なお専門科目において、音楽芸術表現学科独自の科目の運用についても同様である。教養科目と同じく履修状況に応じたクラス数の増加、TAの配置等の対応を行う為、入学定員の変更によって授業の運営に支障が出ることはない【資料 2】。

本学音楽学部音楽芸術表現学科は、平成 29 年 4 月に作曲学科、器楽学科、声楽学科の 3 学科を、発展的に継承した学科として設置した。本改組に併せて同学科内に作曲・音楽デザインコース、ピアノミュージッククリエイターコース、ウインドシンフォニーコースを開設し、令和 3 年度には卒業後の幅広い進路希望に応えるため、ピアノ音楽コースを開設した。令和 5 年度には、学生募集の強化、現行のカリキュラムとの関連性の観点より、ポピュラー音楽コースを、ポップ&ロックミュージックコースへ名称変更を行った。定員変更年度である令和 6 年度には、声とことばの創造表現コースを開設する【資料 3】。本コースでは、ことばを声で表現する場において、ことばや文章の正しい理解力と応用力、感情の表現技術を学び、人々に共感・感動を与え創造表現ができる人材を育成する。音楽芸術表現学科では上述の新コース設定の他、既存コースでの学修・履修計画の幅を広げる為の科目の見直しを行った結果、科目数は平成 29 年の開設時の科目数 436 より 509 と大幅に増加し【資料 4】、収容定員数における量的な増加だけではなく、多様化する学生の関心、学修ニーズへの対応も考慮した教育課程の充実が既にはかられている。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容について

今回の変更は、従前の教育方法及び履修指導方法を変えることなく実施する。上述したとおり、教育方法については教学組織として部会・分科会を置き、全ての授業科目について組織的な対応ができるようにしているため、入学定員の変更によって影響が出ることはない。なお、幅広い専門知識、高度な技能や応用能力を修得することを目指す専門科目（「ソルフェージュ」、「ハーモニー演習」等）や外国語科目においては、学修効果をより高めることと、個々の学生にとって最も適切な学修環境を確保するため、学修歴や能力に応じたクラス分け授業の取り組みを行っている。本学の実技レッスンは、主科実技は教員と1対1で、副科実技は、実技希望調査より各学生の習熟度等を把握した上で個人又は数人のグループにて行っている【資料1】【資料2】。

履修指導方法については、入学時のオリエンテーション期間にコースごとのカリキュラム説明、履修指導を行うとともに、同期間に授業科目ごとに履修相談会を開催する【資料5】。履修登録はウェブサイトで行い、各年次に5回以上開かれるクラス全体会において、履修の確認・相談の機会を設けている。本学では、学科内の全てのコースにクラス担任を置き、学生個々の履修相談のほか学修に関わる相談や助言ができる体制としている。この履修指導方法は、入学定員の変更によって影響が出ることはない。なお、音楽芸術運営学科も同様の履修指導方法を採用しており、入学定員の変更によって同学科の学生に影響が出ることはないと考える。

(ウ) 教員組織の変更内容について

音楽芸術表現学科における本学の専任教員数は、在籍教員数/大学設置基準で表すと、定員変更前の令和5年度は計30名/10名（教授19名/5名、准教授8名、専任講師3名、助教0名）で組織し、420名の非常勤講師が授業を担当することとしている。完成年度となる令和9年度は、変更後の令和6年度の教員配置に準ずることとし、専任教員数は計38名/11名（教授23名/6名、准教授11名、専任講師4名、助教0名）、非常勤講師は430名である。音楽芸術運営学科においても、令和9年度の専任教員数は令和6年度の教員配置をもとに計画し、計18名/8名（教授10名/4名、准教授6名、専任講師2名、助教0名）、非常勤講師は479名である。なお、平成29年度に学生募集を停止した器楽学科は、令和5年度に在籍者が在学年限の8年目を迎える事から、令和6年度以降は器楽学科における本学の専任教員を音楽芸術表現学科へ配置する。

全体の収容定員で必要な専任教員は、定員変更前の令和5年度が計48/15名（教授29名/8名、准教授14名、専任講師5名、助教0名）、定員変更後の令和6年度は56名/15名

(教授 33/8 名、准教授 17 名、専任講師 6 名、助教 0 名)、完成年度の令和 9 年度も令和 6 年度の教員配置に準じ 56 名/16 名 (教授 33/8 名、准教授 17 名、専任講師 6 名、助教 0 名) としており、いずれの学科も大学設置基準第 13 条に規定する専任教員数及び教授数を上回る教員を配置している。

なお平成 29 年度の音楽芸術表現学科の開設時の教員数の計画は、専任教員数は計 31 名 (教授 20 名、准教授 10 名、専任講師 1 名、助教 0 名)、非常勤講師 337 名であったため、専任教員も非常勤講師も大幅に増加している。また音楽芸術運営学科も、平成 29 年度に 17 名と計画していた専任教員数よりも 1 名増員できている。

本学の専任教員数一名当たりの学生数は以下の図のとおりである。音楽芸術表現学科は令和 5 年度が 22.5 名に対し、完成年度の令和 9 年は 21.8 名である。音楽芸術運営学科ならびに音楽学部全体での専任教員数一名当たりの学生数においても、変更前の水準を保っている。よって、入学定員変更によっても現在の教育水準を十分に維持できると考える。

〔表 4〕 本学の S/T 比率 (単位：名)

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 9 年度 (完成年度)
音楽学部 (S/T 比)	22.6 1,266/56	21.3 1,195/56	22.1 1,240/56
音楽芸術表現学科 (S/T 比)	22.5 854/38	20.7 785/38	21.8 830/38
音楽芸術運営学科 (S/T 比)	22.8 411/18	22.8 410/18	22.8 410/18

※令和 6 年度ならびに令和 9 年度は収容定員を学生数と仮定し算出

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について

本学は、平成 19 年 4 月に川崎市麻生区の新校舎に移転し、南校舎と北校舎で教育研究活動を行っている。南校舎及び北校舎は、いずれも小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩 5 分以内であり、学生・教職員の教育研究活動にとって利便性に富んだ環境にある。最寄り駅である新百合ヶ丘駅は、新宿駅から快速急行の電車で約 20 分の距離にあり、都心の芸術文化施設へのアクセスも容易で、芸術文化を学ぶ学生にとって理想的な環境である。

1. 校舎等施設、設備

南校舎と北校舎の校地面積は、併設する短期大学部と共用し、22,085.06 m²である。他に多摩区に収容定員 20 名の男子学生寮と 64 名の女子学生寮がある。校舎面積は

33,621.19 m²で、校地と同様、大学設置基準上必要な面積を上回っている。南校舎敷地内には 623.52 m²の運動場用地がある。南校舎は、各階フロアを「教室ゾーン」「レッスン室ゾーン」「練習室ゾーン」等に分けている。

北校舎は平成元年、南校舎は平成 18 年の竣工であり、いずれも新耐震基準（昭和 56 年 6 月建築基準法施行令改正）を満たしている。

本学は授業、レッスンや演奏会等で必要とする楽器を多数保有し、専門の部署として「楽器室」に担当職員を置き管理を行っている。令和 5 年 4 月 1 日時点でピアノ 386 台、電子オルガン 43 台を配置し、弦楽器 70 台、管楽器 345 台、打楽器 158 台の貸出を行っている【資料 6】。加えて、楽器室では楽器の修理や楽器の調律に関する計画、運用を行っている。令和 3 年度ならびに令和 4 年度の各楽器の入替・補充実績は以下の通りである。

〔表 5〕 本学の楽器入替・補充実績 (単位：台)

		ピアノ	電子 オルガン	弦楽器	管楽器	打楽器	合計
令和 4 年度 実績	入替	12	5	0	0	0	17
	補充	1	0	2	12	4	19
令和 3 年度 実績	入替	18	5	0	0	0	23
	補充	0	1	0	10	1	12

備品設備の対応は、本学の中長期計画である「学校法人東成学園 中長期計画 2020-2024」に計画を定め、本学の教室の AV 機器等の更新、Wi-Fi の対応エリアの拡充（学内における無線ネットワークを完備）に計画的に取り組む、令和 4 年度迄に対応を完了した【資料 7】。

ICT 教育の推進においては、平成 27 年度よりソルフェージュ科目の授業で本学が開発した電子教科書を活用している。令和 4 年度入学者から全員にタブレット端末を貸与し、授業やレッスン等における ICT 教育を推進させ、教育研究環境の充実を図っている【資料 8】。以上の対応により、入学定員 200 名を想定した場合においても、十分な教育環境を既に整えており、入学定員の変更後も十分な学修環境の提供が可能である。

2. 図書及び図書館

図書館は、南校舎地階に位置し、併設する短期大学部と共用しており、延べ床面積は1,597.27 m²である。令和6年度の蔵書数は183,000冊（図書（楽譜含む）・視聴覚）を見込んでおり、その他「小原・堀田写真コレクション」（写真の原板資料）の電子化と公開を進めている。

館内のレイアウトは利用者の便を優先し、開架音楽図書架・開架一般図書架・閲覧席・視聴覚ブース・資料等の閲覧に複数で利用できるグループエリアに区分して配置している。閲覧席数は283（資料閲覧用246席、個人キャレル36席、オンラインデータベース閲覧用1席）の他、視聴覚用12席を整備している。個人キャレルでは、図書館資料（視聴覚以外）を閲覧するほか、電源やWi-Fiを提供しているため、個人用PCを持ち込んで勉強することができる。オンラインデータベース閲覧席では、本学所蔵の特別資料を電子化したデータや、「国立国会図書館デジタルコレクション」等を閲覧することができる。

上述で記載のタブレット端末の配布に伴い、令和5年には、閲覧席にエネルギーポール（コンセント2口、USB2口）を新たに設置し、充電しながら利用できるスペースを新設した。なお、エネルギーポールの設定に伴い、座席数を少し減らし、1名あたりの座席のスペースを広くすることで、辞典、現代楽譜、ファクシミリなどの大型資料も利用しやすいよう、学修環境を改善した。学修コンテンツとしては、電子楽譜、電子書籍、録音・映像のストリーミング配信など、様々なデータベースを導入・拡充し、学生は自宅等学外からも容易に情報・資料にアクセスできるようになっている【資料9】。よって入学定員の変更後も、図書館の開館スケジュールや座席数に左右されることなく、十分な学修環境の提供が可能である。

以上のように本学の校地・校舎その他の施設・設備については、全て大学設置基準を満たし、今回の変更後も十分対応できる環境を整えている。本学では、引き続き適切な学修環境の設備と運営・管理を行っていく。

昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の収容定員変更における 学則変更の趣旨等を記載した書類（資料）

目 次

- 【添付資料】教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））
- 【資料1】令和5年度シラバス「基礎ゼミ」「ソルフェージュ」「ハーモニー演習」
- 【資料2】クラス分け・レベル分け科目に関する資料
- 【資料3】声とことばの創造表現コース案内
- 【資料4】音楽芸術表現学科の開講授業科目比較
- 【資料5】2023 オリエンテーション日程
- 【資料6】本学の設備楽器
- 【資料7】令和3年度「学校法人東成学園 中長期計画 2020-2024」報告
- 【資料8】より良い学修環境を目指す取り組み
- 【資料9】図書館トップページ

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(音楽学部音楽芸術表現学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目	基礎ゼミ	1通	2			○			6	11	4			兼20	共同
	哲学	1後		2		○								兼1	
	文学	1後		2		○								兼2	メディア
	西洋文化史Ⅰ	1前		2		○			1						
	西洋文化史Ⅱ	1後		2		○			1						
	日本文化史Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	日本文化史Ⅱ	1後		2		○								兼2	
	美術史Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	美術史Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	心理学	1前		2		○								兼1	
	心の健康	1後		2		○								兼1	
	教育心理学	2前		2		○				1					
	日本国憲法	1前・後		2		○			1						
	経済学	1後		2		○								兼1	
	生活と経済	1前		2		○								兼1	
	生涯学習概論Ⅰ	1後		2		○								兼1	メディア
	ボランティア論	1前		2		○								兼1	
	演奏とからだⅠ	1前		2		○								兼1	
	演奏とからだⅡ	1後		2		○			1					兼6	オムニバス
	音響学	1前・後		2		○								兼1	メディア
	ICTと音楽芸術	1前		1		○				1	1			兼1	メディア
	情報機器演習（基礎）	1前・後		2		○								兼2	
	情報機器演習（応用）Ⅰ	1前・後		2		○								兼1	
	情報機器演習（応用）Ⅱ	1前・後		2		○								兼1	
	博物館概論	1前		2		○								兼1	
	図書館概論	1前		2		○								兼1	
	キャリアデザイン	2前		1		○			1					兼1	オムニバス
	芸術鑑賞①	1前・後		1				○	3	6	2			兼9	メディア
	芸術鑑賞②	1前・後		1				○	3	6	2			兼9	メディア
	音楽活動研究①	1通		1				○	2	2	1			兼4	オムニバス
	音楽活動研究②	2通		1				○	2	2	1			兼4	オムニバス
	音楽活動研究③	3通		1				○	2	2	1			兼4	
	音楽活動研究④	4通		1				○	2	2	1			兼4	
	体育理論	1前・後		2			○							兼1	
	体育実技	1前・後		1				○						兼2	
	クリエイティブ スタディーズ	1後		1			○			2	2			兼5	メディア
	日本語文法とコミュニケーションⅠ	1前・後		1				○		1				兼1	
	日本語文法とコミュニケーションⅡ	1前・後		1				○		1				兼1	
	日本語文法とコミュニケーションⅢ	1前・後		1				○		1					
	日本語と日本社会Ⅰ	1前・後		1				○		1					
	日本語と日本社会Ⅱ	1前・後		1				○		1					
	日本語と日本社会Ⅲ	1前・後		1				○						兼1	
	実用日本語Ⅰ	1前・後		1				○		1					
	実用日本語Ⅱ	1前・後		1				○		1					
	日本語日本文化Ⅰ	1前・後		1				○		1					
	日本語日本文化Ⅱ	1前・後		1				○						兼1	
	日本語日本文化Ⅲ	1前・後		1				○		1					
	キャリアと日本語	2前・後		1				○		1					
	アカデミック・ジャパニーズ	2前・後		1				○						兼1	
小計（49科目）		—	2	73	0		—	9	11	4			兼48		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語科目	基礎英語Ⅰ	1通		2				○			1					兼1
	基礎英語Ⅱ	1通		2				○								兼2
	初級英語Ⅰ	1通		2				○								兼1
	初級英語Ⅱ	1通		2				○								兼3
	初級英語Ⅲ	1通		2				○			1					兼1
	初級英語Ⅳ	1通		2				○								兼1
	初級英語Ⅴ	1通		2				○								兼1
	中級英語Ⅰ	1通		2				○			1					兼1
	中級英語Ⅱ	1通		2				○								兼1
	中級英語Ⅲ	1通		2				○								兼1
	中級英語Ⅳ	1通		2				○								兼2
	中級英語Ⅴ	1通		2				○								兼2
	上級英語Ⅰ	1通		2				○								兼1
	上級英語Ⅱ	1通		2				○								兼1
	上級英語Ⅲ	1通		2				○								兼1
	上級英語Ⅳ	1通		2				○								兼1
	上級英語Ⅴ	1通		2				○								兼1
	基礎ドイツ語	1通		4					○							兼6
	初級ドイツ語	2通		4					○							兼6
	中級ドイツ語Ⅰ	3通		2					○							兼1
	中級ドイツ語Ⅱ	3通		2					○							兼1
	上級ドイツ語	4通		2					○							兼1
	基礎イタリア語	1通		4					○							兼4
	初級イタリア語	2通		4					○							兼4
	中級イタリア語Ⅰ	3通		2					○							兼1
	中級イタリア語Ⅱ	3通		2					○							兼1
	上級イタリア語	4通		2					○							兼1
	基礎フランス語	1通		4					○							兼2
	初級フランス語	2通		4					○							兼2
	中級フランス語	3通		2					○							兼1
	上級フランス語	4通		2					○							兼1
小計(31科目)		—	0	74	0			—		1					兼22	
専門科目	作曲・エレクトロニクス実技①	1通		6				○			2	1				兼3
	作曲・エレクトロニクス実技②	2通		6				○	1		2	1				
	作曲・エレクトロニクス実技③	3通		6				○	1		2	1				兼2
	作曲・エレクトロニクス実技④	4通		6				○	1		1	1				兼2
	サウンドプロデュース①	1通		4				○								兼2
	サウンドプロデュース②	2通		4				○								兼1
	サウンドプロデュース③	3通		4				○								兼1
	サウンドプロデュース④	4通		4				○			1					兼3
	指揮実技①	1通		6				○	1							
	指揮実技②	2通		6				○	1							
	指揮実技③	3通		6				○	1							
	指揮実技④	4通		6				○	1							
	作曲Ⅱ①	13通		2				○			1					兼2
	作曲Ⅱ②	24通		2				○	1			1				兼2
	作曲Ⅱ③	3通		2				○								兼1
	作曲Ⅱ④	4通		2				○			1					
	指揮演習①	13通		2				○	4							
	指揮演習②	24通		2				○	4							共同
	指揮演習③	3通		2				○	4							共同
	指揮演習④	4通		2				○	4							共同
	スコアリーダーディングⅠ①	1通		2				○	1							
	スコアリーダーディングⅠ②	2通		2				○	1							
	スコアリーダーディングⅡ	3通		2				○				1				
対位法	3通		2				○			1						
ミュージックセオリー(初級)	1通		2				○			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	ミュージックセオリー (中級)	1通		2				○								
	ミュージックセオリー (上級)	1通		2				○								
	オーケストレーション	3通		4			○			1						
	作曲・編曲法Ⅰ	3通		2				○				1				兼1
	作曲・編曲法Ⅱ	34通		2				○		1						
	コンピュータ音楽概論	12通		4			○				1					兼2
	デジタルミュージック概論	2前		2			○									兼1
	ポピュラー音楽概論	12通		4			○									兼1
	映像の音楽	2後		2			○									兼1
	サウンドデザイン演習	2通		2					○							兼1
	グラフィックデザイン演習	3通		2					○							兼1
	音楽プログラミング演習	3通		2					○							兼1
	映像制作演習	4通		2					○							兼1
	音楽プロデュース論	2通		4			○									兼1
	スタジオワークス①	34通		4					○							兼1
	スタジオワークス②	4通		4					○							兼3
	ソングライティング演習①	1通		2					○							兼2
	ソングライティング演習②	2通		2					○							兼3
	PA演習	2前・後		2					○							兼3
	録音制作Ⅰ	12前		2			○									兼1
	録音制作Ⅱ	12後		2			○									兼1
	録音制作Ⅲ	23前・後		2					○							兼1
	ピアノ実技Ⅰ①	1通		9					○		3		2			兼10
	ピアノ実技Ⅰ②	2通		9					○		4		3			兼11
	ピアノ実技Ⅰ③	3通		9					○		4		2			兼9
	ピアノ実技Ⅰ④	4通		9					○		4	1	1			兼10
	ピアノ実技Ⅱ①	1通		6					○				1			
	ピアノ実技Ⅱ②	2通		6					○				1			
	ピアノ実技Ⅱ③	3通		6					○				1			
	ピアノ実技Ⅱ④	4通		6					○				1			
	ピアノⅠ①	1通		6					○		2	1	2			兼8
	ピアノⅠ②	2通		6					○		3	1	3			兼8
	ピアノⅠ③	3通		6					○		4		2			兼11
	ピアノⅠ④	4通		6					○		1	1	2			兼4
	ピアノ①	1通		4					○		1	1				兼12
	ピアノ②	2通		4					○			1				兼8
	ピアノ③	3通		4					○		1	1				兼10
	ピアノ④	4通		4					○			1	1			兼7
	ピアノⅡ①	1通		2					○							兼31
	ピアノⅡ②	2通		2					○							兼33
	ピアノⅡ③	3通		2					○							兼23
	ピアノⅡ④	4通		2					○							兼14
ピアノアンサンブルⅠ①	1通		2					○		1					兼1	
ピアノアンサンブルⅠ②	2通		2					○		3	1	1			兼21	
ピアノアンサンブルⅠ③	3通		2					○		3	1	1			兼21	
ピアノアンサンブルⅠ④	4通		2					○		3	1	1			兼22	
ピアノアンサンブルⅡ①	1通		2					○							兼2	
ピアノアンサンブルⅡ②	2通		2					○				1			兼1	
ピアノアンサンブルⅡ③	3通		2					○							兼1	
ピアノアンサンブルⅡ④	4通		2					○							兼1	
アンサンブルⅠ①	1通		2					○		2		1				
アンサンブルⅠ②	2通		2					○		2		1				
アンサンブルⅠ③	3通		2					○		2		1				
アンサンブルⅠ④	4通		2					○		3		1				
アンサンブルⅡ①	1通		2					○		2		1				
アンサンブルⅡ②	2通		2					○		2		1				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	アンサンブルⅡ③	3通		2				○		2		1					
	アンサンブルⅡ④	4通		2				○		2		1					
	伴奏実習基礎	1通		2				○							兼1		
	伴奏実習①	2通		1				○		1	1	1			兼4		
	伴奏実習②	3通		1				○		1	1	1			兼4		
	伴奏実習③	4通		1				○		1	1	1			兼4		
	伴奏法Ⅱ	3通		2				○							兼3		
	演奏会実習	34通		2					○		6	2	2			兼1	
	演奏会実習Ⅰ	1通		4					○		2		1				
	演奏会実習Ⅰ①	2通		2					○		6	2					
	演奏会実習Ⅰ②	4通		2					○		6	2					
	演奏会実習Ⅱ①	1通		4					○		8	2	1				
	演奏会実習Ⅱ②	2通		4					○		8	2	1				
	演奏会実習Ⅱ③	3通		4					○		8	2	1				
	演奏会実習Ⅱ④	4通		4					○		8	2	1				
	演奏会実習Ⅲ	1通		4					○		2		1				
	演奏分析	1通		2			○				2		1				
	メディア創作基礎Ⅰ	1通		2					○							兼1	
	メディア創作基礎Ⅱ	2通		2					○							兼1	
	メディア創作応用Ⅰ	3通		2					○							兼1	
	メディア創作応用Ⅱ	4通		2					○							兼1	
	これからのピアノ表現Ⅰ	1前		1					○				1				
	これからのピアノ表現Ⅱ	1後		1					○				1				
	これからのピアノ表現Ⅲ	2前		1					○				1			兼1	オムニバス
	これからのピアノ表現Ⅳ	2後		1					○				1			兼1	オムニバス
	ピアノ指導法応用Ⅲ	4前		1					○							兼1	
	ピアノ指導法応用Ⅳ	4後		1					○							兼1	
	指導教材研究Ⅰ	3前		2			○									兼1	
	指導教材研究Ⅱ	3後		2			○									兼1	
	ピアノ指導法基礎Ⅰ	1前		1					○							兼1	
	ピアノ指導法基礎Ⅱ	1後		1					○							兼1	
	ピアノ指導法基礎Ⅲ	2前		1					○							兼1	
	ピアノ指導法基礎Ⅳ	2後		1					○							兼1	
	児童心理	2前		2			○									兼1	
	卒業演奏	4通		4						○	2		1				
	卒業研究	4通		2						○	3	3				兼16	メディア
	オルガンⅠ①	1通		6						○						兼1	
	オルガンⅠ②	2通		6						○						兼1	
	オルガンⅠ③	3通		6						○						兼1	
	オルガンⅠ④	4通		6						○						兼1	
	オルガンⅡ①	1通		2						○						兼1	
	オルガンⅡ②	2通		2						○						兼1	
オルガンⅡ③	3通		2						○						兼1		
オルガンⅡ④	4通		2						○						兼1		
電子オルガンⅠ①	1通		6						○						兼1		
電子オルガンⅠ②	2通		6						○						兼2		
電子オルガンⅠ③	3通		6						○						兼5		
電子オルガンⅠ④	4通		6						○						兼4		
電子オルガンⅡ①	1通		2						○						兼5		
電子オルガンⅡ②	2通		2						○						兼4		
電子オルガンⅡ③	3通		2						○						兼2		
電子オルガンⅡ④	4通		2						○						兼1		
電子オルガンアンサンブル①	1通		2						○						兼2	オムニバス	
電子オルガンアンサンブル②	2通		2						○						兼3	オムニバス	
電子オルガンアンサンブル③	3通		2						○						兼3	オムニバス	
電子オルガンアンサンブル④	4通		2						○						兼3	オムニバス	
電子オルガン演習①	1通		2						○						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	電子オルガン演習②	2通		2				○							兼1	オムニバス オムニバス 共同	
	電子オルガン演習③	3通		2				○							兼2		
	電子オルガン演習④	4通		2				○							兼1		
	電子楽器研究	2前		2			○			1							
	ピアノ指導法応用 I	3前		1					○		1						兼1
	ピアノ指導法応用 II	3後		1					○								兼4
	ピアノ教養特論 I	3前		2			○				4	1	3				兼4
	ピアノ教養特論 II	3後		2			○				4	1	3				兼4
	バレエ音楽演習	1通		2					○								兼2
	鍵盤演奏表現 I	1通		2					○			1					兼7
	鍵盤演奏表現 II	3通		2					○								兼1
	鍵盤演奏表現 III	2通		2					○								兼1
	鍵盤演奏表現 IV	2通		2					○								兼1
	英語研修	2後		2					○								兼1
	海外研修 I	13通		4					○		2	2					兼5
	海外研修 II	2通		3					○		1	2					兼5
	海外研修 IV	2通		3					○		1	2					兼5
	海外研修 V	13通		3					○		1	2					兼5
	海外研修 VI	1通		1					○		2		1				
	海外研修 VII	1通		2					○		2		1				
	海外研修 VIII	1通		1					○		2		1				
	海外研修 IX	2通		1					○		2		1				
	海外研修 X	2通		1					○		2		1				
	海外研修 XI	2通		1					○		2		1				
	海外研修 XII	2通		2					○		2		1				
	海外研修 XIII	3通		2					○		2		1				
	海外研修 XIV	3通		2					○		2		1				
	器楽実技 I ①	1通		6					○		3						兼11
	器楽実技 I ②	2通		6					○		2						兼12
	器楽実技 I ③	3通		6					○		2	2					兼14
	器楽実技 I ④	4通		6					○		3	1					兼20
	器楽実技 II ①	1通		3					○		2						兼12
	器楽実技 II ②	2通		3					○		2						兼13
	器楽実技 II ③	3通		3					○		2	1					兼17
	器楽実技 II ④	4通		3					○		4	1					兼16
	器楽実技 III ①	1通		6					○								兼1
	器楽実技 III ②	2通		6					○								兼2
	器楽実技 III ③	3通		6					○								兼3
	器楽実技 III ④	4通		6					○								兼5
	器楽 I ①	1通		6					○		5	2					兼24
	器楽 I ②	2通		6					○		5	2					兼27
	器楽 I ③	3通		6					○		5	1					兼29
	器楽 I ④	4通		6					○		5	2					兼36
	器楽 II ①	1通		2					○								兼27
	器楽 II ②	2通		2					○								兼19
器楽 II ③	3通		2					○			1				兼12		
器楽 II ④	4通		2					○							兼7		
ヴァイオリンステップアップ①	1通		2					○							兼5		
ヴァイオリンステップアップ②	2通		2					○							兼5		
ヴァイオリンステップアップ③	3通		2					○							兼5		
ヴァイオリンステップアップ④	4通		2					○							兼5		
合奏 I ①	1通		4					○		9	2				兼43	共同	
合奏 I ②	2通		4					○		8	1				兼40	共同	
合奏 I ③	3通		4					○		8	1				兼40	共同	
合奏 I ④	4通		4					○		8	1				兼40	共同	
合奏 II	3通		2					○							兼1		
合奏 III ①	1通		2					○		9	3				兼53	共同	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	合奏Ⅲ②	2通		2				○	8	2				兼51	共同	
	合奏Ⅲ③	3通		2				○	8	1				兼38	共同	
	合奏Ⅲ④	4通		2				○	8	1				兼38	共同	
	合奏Ⅳ①	1通		2				○	8	1				兼36	共同	
	合奏Ⅳ②	2通		2				○	8	1				兼36	共同	
	合奏Ⅳ③	3通		2				○	8	1				兼36	共同	
	合奏Ⅳ④	4通		2				○	8	1				兼36	共同	
	室内楽Ⅰ	2前		1				○	4	2				兼22		
	室内楽Ⅱ	2後		1				○	4	2				兼22		
	室内楽Ⅲ	3前		1				○	4	2				兼22		
	室内楽Ⅳ	3後		1				○	4	2				兼22		
	室内楽Ⅴ	3前		1				○	4	2				兼22		
	室内楽Ⅵ	3後		1				○	4	2				兼21		
	室内楽演習Ⅰ	1前		1				○	4	2				兼22		
	室内楽演習Ⅱ	1後		1				○	4	2				兼22		
	コンチェルト実習	4通		2					○	6	2					
	コンチェルト実習Ⅰ	4通		2					○	6	2					
	コンチェルト実習Ⅱ	2通		2					○	6	2					
	楽器研究	1前		2			○			6	1			兼6	オムニバス	
	指揮法Ⅱ①	3通		2					○	1						
	指揮法Ⅱ②	4通		2					○	1						
	吹奏楽概論Ⅰ	1前		2			○			2					共同	
	吹奏楽概論Ⅱ	1後		2			○			2					共同	
	声乐Ⅰ①	1通		6					○	4	1				兼7	
	声乐Ⅰ②	2通		6					○	3	1				兼9	
	声乐Ⅰ③	3通		6					○	4	1				兼9	
	声乐Ⅰ④	4通		6					○	3	1				兼11	
	声乐Ⅱ①	1通		2					○						兼25	
	声乐Ⅱ②	2通		2					○						兼17	
	声乐Ⅱ③	3通		2					○						兼5	
	声乐Ⅱ④	4通		2					○						兼2	
	声乐アンサンブル基礎	2前・後		1					○						兼1	
	ドイツ歌曲①	2前		1					○						兼1	
	ドイツ歌曲②	3後		1					○						兼1	
	日本歌曲①	3前		1					○						兼1	
	日本歌曲②	4後		1					○						兼1	
	フランス歌曲①	2前		1					○						兼1	
	フランス歌曲②	3後		1					○						兼1	
	歌うためのイタリア語	1通		2					○	1						
	合唱①	1通		2					○						兼4	
	合唱②	2通		2					○						兼2	
	合唱③	3通		2					○						兼2	
	合唱④	4通		2					○						兼3	
	合唱指導法①	1通		2					○						兼1	
	合唱指導法②	2通		2					○						兼1	
	合唱指導法演習	3通		2					○						兼1	
	オペラ演習Ⅰ①	1通		2					○						兼1	
	オペラ演習Ⅰ②	2通		2					○						兼2	共同
	オペラ演習Ⅰ③	3通		4					○	1					兼8	共同
	オペラ演習Ⅰ④	4通		2					○	1					兼2	共同
オペラ演習Ⅱ	4通		2					○	1					兼3	共同	
オペラ公演実習	4通		4					○	1					兼2	共同	
指揮法Ⅰ	3通		2					○						兼2		
パフォーマンス①	1通		1					○	14	6				兼20	集中	
パフォーマンス②	2通		1					○	14	6				兼20	集中	
パフォーマンス③	3通		1					○	14	6				兼20	集中	
パフォーマンス④	4通		1					○	14	6				兼20	集中	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	舞台表現演習①	1後		1				○		1						集中
	舞台表現演習②	2後		1				○		1						集中
	舞台表現演習③	3後		1				○		1						集中
	ジャズ実技①	1通		6					○		1					兼11
	ジャズ実技②	2通		6					○	1						兼5
	ジャズ実技③	3通		6					○		1					兼7
	ジャズ実技④	4通		6					○							兼6
	ジャズビッグバンド①	1通		2					○		1					兼13
	ジャズビッグバンド②	2通		2					○		1					兼13
	ジャズビッグバンド③	3通		2					○		1					兼13
	ジャズビッグバンド④	4通		2					○		1					兼13
	ジャズコンボ①	1通		2					○		1					兼16
	ジャズコンボ②	2通		2					○		1					兼16
	ジャズコンボ③	3通		2					○		1					兼16
	ジャズコンボ④	4通		2					○		1					兼16
	テクニック&パフォーマンス (ジャズ) ①	1通		2					○							兼8
	テクニック&パフォーマンス (ジャズ) ②	2通		2					○							兼5
	テクニック&パフォーマンス (ジャズ) ③	3通		2					○							兼7
	テクニック&パフォーマンス (ジャズ) ④	4通		2					○		1					兼4
	ジャズコンポジション①	2通		4				○								兼1
	ジャズコンポジション②	3通		4				○								兼1
	ポップ&ロック実技①	13通		6						○	1					兼26
	ポップ&ロック実技②	24通		6						○						兼18
	ポップ&ロック実技③	3通		6						○	1					兼15
	ポップ&ロック実技④	4通		6						○	1					兼15
	バンドアンサンブル①	13通		2					○		1					兼1
	バンドアンサンブル②	24通		2					○		1					兼2
	バンドアンサンブル③	3通		4					○		1					兼3
	バンドアンサンブル④	4通		4					○			1				兼2
	ポピュラー作曲・編曲法①	12通		4				○			1					兼2
	ポピュラー作曲・編曲法②	23通		4				○			1					兼2
	ポピュラー作曲・編曲法③	3通		4				○								兼1
	ポピュラー作曲・編曲法④	4通		4				○				1				兼1
	コンポジション&アレンジ①	2通		4				○								兼1
	コンポジション&アレンジ②	3通		4				○								兼1
	テクニック&パフォーマンス (ポップ&ロック) ①	1通		2					○							兼1
	テクニック&パフォーマンス (ポップ&ロック) ②	2通		2					○		1					兼7
	テクニック&パフォーマンス (ポップ&ロック) ③	3通		2					○							兼8
	テクニック&パフォーマンス (ポップ&ロック) ④	4通		2					○							兼7
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ①	1通		2						○						兼7
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ②	2通		2						○						兼5
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ③	3通		2						○						兼7
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ④	4通		2						○						兼7
	インストゥルメンツⅡ①	13通		2						○		1				兼15
	インストゥルメンツⅡ②	24通		2						○	1					兼14
インストゥルメンツⅡ③	3通		2						○						兼5	
インストゥルメンツⅡ④	4通		2						○	1	1				兼16	
ポピュラーヴォーカルⅡ①	1通		2						○						兼6	
ポピュラーヴォーカルⅡ②	2通		2						○						兼4	
ポピュラーヴォーカルⅡ③	3通		2						○						兼2	
ポピュラーヴォーカルⅡ④	4通		2						○						兼6	
トラックメイキング①	1通		4					○							兼2	
トラックメイキング②	2通		4				○								兼2	
ライブパフォーマンスⅠ①	2前		1						○	1	1				兼1 集中	
ライブパフォーマンスⅠ②	3前		1						○	1	1				兼1 集中	
ライブパフォーマンスⅡ①	2後		1						○	1	1				兼1 集中	
ライブパフォーマンスⅡ②	3後		1						○	1	1				兼1 集中	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	コードプログレッション (ベーシック)	1通		4		○									兼2	集中
	コードプログレッション (アドバンス)	1通		4		○									兼2	
	イヤートレーニング	1前・後		2				○							兼1	
	リズムトレーニング	1前・後		1				○		1					兼4	
	スタジオレコーディング①	2前後		1				○		1	1				兼1	
	スタジオレコーディング②	3前後		1				○			1				兼1	
	ダンス	1通		2				○							兼1	
	ジャズの歴史と作品	1後		2			○				1					
	卒業ライブ	4後		1					○	1	1				兼6	
	基本ソルフェージュ①	1通		2					○		1				兼11	
	基本ソルフェージュ②	2通		2					○		1				兼4	
	基本ソルフェージュ③	3通		2					○						兼1	
	聴音・視唱ソルフェージュ①	1通		2					○		1	1			兼6	
	聴音・視唱ソルフェージュ②	2通		2					○		1				兼3	
	聴音・視唱ソルフェージュ③	3通		2					○		1					
	鍵盤ソルフェージュ①	1通		2					○						兼9	
	鍵盤ソルフェージュ②	2通		2					○		1	1			兼2	
	鍵盤ソルフェージュ③	3通		2					○						兼1	
	総合ソルフェージュ①	1通		2					○		1				兼1	
	総合ソルフェージュ②	2通		2					○						兼1	
	総合ソルフェージュ③	3通		2					○						兼1	
	音楽教育メソッドⅠ	1前		1					○	1	1				オムニバス	
	音楽教育メソッドⅡ	1後		1					○	1	1				オムニバス	
	医学一般	2前		2			○								兼1	
	ハーモニー演習①	1通		2					○		2				兼6	
	ハーモニー演習②	2通		2					○		1				兼4	
	ハーモニー演習③	3通		2					○						兼2	
	音楽基礎演習	1通		2					○	1					兼7	
	西洋音楽史Ⅰ	1通		4			○			1	1				兼3	
	西洋音楽史Ⅱ	2前・後		2			○				1				兼1	
	楽式論Ⅰ	12前		2			○			1					兼1	
	楽式論Ⅱ	12後		2			○			1					兼1	
	ポリフォニー演習	123通		2					○		1				兼1	
	管弦楽概論	2通		4			○								兼1	
	音楽美学	3通		4			○			1	1					
	オペラの歴史と作品	2通		4			○								兼1	
	鍵盤音楽の歴史と作品	1通		4			○				1				兼2	
	器楽の歴史と作品	2通		4			○				1				兼1	
	日本音楽概論Ⅰ	2前		2			○								兼1	
	日本音楽概論Ⅱ	2後		2			○								兼1	
	民族音楽概論Ⅰ	2前		2			○								兼1	
	民族音楽概論Ⅱ	2後		2			○								兼1	
音楽情報論	3通		4			○								兼1		
ミュージックビジネスと社会	1前		2			○								兼1		
ライブビジネスと社会	1後		2			○								兼3		
演劇の歴史と作品	2前・後		2			○								兼1		
アートマネジメント概論①	1前		2			○								兼2		
アートマネジメント概論②	1後		2			○								兼2		
経営学Ⅰ	2後		2			○								兼1		
経営学Ⅱ	3後		2			○								兼1		
芸術関係法規	2後		2			○								兼1		
芸術文化と社会Ⅱ	2後		2			○								兼2		
芸術文化環境論	2通		4			○								兼1		
文化政策論Ⅰ	3前		2			○								兼1		
文化政策論Ⅱ	3後		2			○								兼1		
簿記・会計入門	1通		4			○								兼1		
舞台芸術概論	1通		4			○								兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	舞台機構調整演習	3前		2				○							兼1	
	舞台スタッフ論①	1前		2			○								兼4	オムニバス
	舞台スタッフ論②	1後		2			○								兼5	オムニバス
	舞台制作概論	1前		2			○								兼3	
	環境音楽論Ⅰ	3前		2			○								兼1	メディア
	環境音楽論Ⅱ	3後		2			○								兼1	メディア
	音楽心理学	2後		2			○								兼1	メディア
	音楽療法概説	1前		2			○								兼4	メディア
	社会福祉概論	2前		2			○								兼1	
	介護概論	2後		2			○								兼1	
	障がい児教育概論	1後		2			○								兼1	メディア
	発達心理学	1後		2			○								兼1	メディア
	日本古典芸能Ⅰ	1前		1					○						兼1	
	日本古典芸能Ⅱ	1後		1					○						兼1	
	日本古典芸能Ⅲ	2後		1					○						兼1	
	ミュージカルの歴史と作品	2前・後		2				○							兼1	
	舞踊の歴史と作品	2通		4				○							兼1	
	看護学演習	3後		1					○						兼1	集中
	日本伝統音楽演習（歌唱）	3前・後		1					○						兼6	共同
	日本伝統音楽演習（和楽器）	3前・後		1					○						兼1	
	フィールドインターンシップ①	3通		2					○						兼3	共同
	フィールドインターンシップ②	4通		2					○						兼3	共同
	ヴォーカル・テクニク・メソッドⅠ①	1通		6						○		1			兼9	
	ヴォーカル・テクニク・メソッドⅠ②	2通		6						○		1			兼9	
	ヴォーカル・テクニク・メソッドⅠ③	3通		6						○		1			兼9	
	ヴォーカル・テクニク・メソッドⅠ④	4通		6						○		1			兼9	
	ヴォーカル・テクニク・メソッドⅡ①	1通		6						○		1			兼9	
	ヴォーカル・テクニク・メソッドⅡ②	2通		6						○		1			兼9	
	ヴォーカル・テクニク・メソッドⅡ③	3通		6						○		1			兼9	
	ヴォーカル・テクニク・メソッドⅡ④	4通		6						○		1			兼9	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ①	1前		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ②	1後		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ③	2前		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ④	2後		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ⑤	3前		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ⑥	3後		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ⑦	4前		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ⑧	4後		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅡ①	1前		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅡ②	1後		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅡ③	2前		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅡ④	2後		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅡ⑤	3前		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅡ⑥	3後		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅡ⑦	4前		1					○			2			兼3	
	ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅡ⑧	4後		1					○			2			兼3	
	セルフプロデュース&ビジネスⅠ	1前		1					○						兼1	
	セルフプロデュース&ビジネスⅡ	1後		1					○						兼1	
	セルフプロデュース&ビジネスⅢ	2前		1					○						兼1	
	セルフプロデュース&ビジネスⅣ	2後		1					○						兼1	
ベーシック・クリエイティブ・エクспレッション	2後		2					○			1			兼5		
アドヴァンスト・クリエイティブ・エクспレッション	4後		2					○			1			兼5		
ことばと創作	1前		1					○						兼2		
日本語の創作と朗読	2前		1					○						兼2		
創作表現基礎Ⅰ	2前		1						○					兼2		
創作表現基礎Ⅱ	2後		1							○	1			兼1		
創作表現基礎Ⅲ	2後		1								○			兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	創作表現応用Ⅰ①	3前		1				○							兼2 兼2 兼1 兼1 兼2 兼2
	創作表現応用Ⅰ②	4前		1				○							
	創作表現応用Ⅱ①	3後		1				○	1						
	創作表現応用Ⅱ②	4後		1				○	1						
	創作表現応用Ⅲ①	3後		1				○							
	創作表現応用Ⅲ②	4後		1				○							
小計(429科目)		—	0	1134	0	—			22	10	4			兼391	
合計(509科目)		—	2	1281	0	—			23	11	4			兼430	
学位又は称号		学士(音楽)		学位又は学科の分野			音楽関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
教養科目から12単位以上、外国語科目から8単位以上、専門科目から44単位以上を含み124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間)) なおコースごとの卒業要件は下表の通り。								1学年の学期区分			2学期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			90分				

コース名	教養科目	外国語科目	専門科目	合計
作曲・音楽デザイン	12単位以上	8単位以上	48 単位以上	124単位以上
サウンドプロデュース	12単位以上	8単位以上	74 単位以上	124単位以上
指揮	12単位以上	8単位以上	64 単位以上	124単位以上
声楽	12単位以上	8単位以上	71 単位以上	124単位以上
声とことばの創造表現	12単位以上	8単位以上	53 単位以上	124単位以上
ピアノ演奏家Ⅰ	12単位以上	8単位以上	68 単位以上	124単位以上
ピアノ演奏家Ⅱ	12単位以上	8単位以上	56 単位以上	124単位以上
ピアノ指導者	12単位以上	8単位以上	64 単位以上	124単位以上
ピアノミュージッククリエイター	12単位以上	8単位以上	54 単位以上	124単位以上
ピアノ音楽	12単位以上	8単位以上	52 単位以上	124単位以上
オルガン	12単位以上	8単位以上	44 単位以上	124単位以上
電子オルガン	12単位以上	8単位以上	56 単位以上	124単位以上
弦・管・打楽器演奏家Ⅰ	12単位以上	8単位以上	64 単位以上	124単位以上
弦・管・打楽器演奏家Ⅱ	12単位以上	8単位以上	62 単位以上	124単位以上
弦・管・打楽器	12単位以上	8単位以上	56 単位以上	124単位以上
ウインドシンフォニー	12単位以上	8単位以上	68 単位以上	124単位以上
ジャズ	12単位以上	8単位以上	70 単位以上	124単位以上
ポップ&ロックミュージック	12単位以上	8単位以上	68 単位以上	124単位以上

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

【資料1】令和5年度シラバス「基礎ゼミ」「ソルフェージュ」「ハーモニー演習」

■基礎ゼミ

kyomusys.tosei-showa-music.ac.jp/Syllabus/Syllabus.asp?nendo=2023&syllabuscode=4214

■ソルフェージュ

・基本ソルフェージュ①

kyomusys.tosei-showa-music.ac.jp/Syllabus/Syllabus.asp?nendo=2023&syllabuscode=1783

・基本ソルフェージュ②

kyomusys.tosei-showa-music.ac.jp/Syllabus/Syllabus.asp?nendo=2023&syllabuscode=1975

・基本ソルフェージュ③

kyomusys.tosei-showa-music.ac.jp/Syllabus/Syllabus.asp?nendo=2023&syllabuscode=4080

■ハーモニー演習

・ハーモニー演習①

kyomusys.tosei-showa-music.ac.jp/Syllabus/Syllabus.asp?nendo=2023&syllabuscode=455

・ハーモニー演習②

kyomusys.tosei-showa-music.ac.jp/Syllabus/Syllabus.asp?nendo=2023&syllabuscode=464

・ハーモニー演習③

kyomusys.tosei-showa-music.ac.jp/Syllabus/Syllabus.asp?nendo=2023&syllabuscode=469

5.開講されない科目

履修要綱に掲載されていても、シラバスのない科目（大学院隔年開講科目等）は本年度開講されない。

6.クラス指定をする科目

次の科目は履修できるクラスを学生ごとに指定する。登録に際しては指定されたクラスを守る。

①オリエンテーション期間中にクラス分けをする科目

クラス分け試験、結果発表等の日程は、オリエンテーション日程で確認すること。

学校	対象	科目	備考
学部・短大	全学年	基本ソルフェージュ 総合ソルフェージュ 聴音・視唱ソルフェージュ 鍵盤ソルフェージュ	▼新入生、本年度からソルフェージュを履修する学生 「ソルフェージュ授業ガイダンス」の内容を確認し、ソルフェージュ試験（科目・クラス分け）を必ず受験すること。 ▼各種ソルフェージュ①の単位修得済みの学生、再履修者 「ソルフェージュ授業ガイダンス」の内容を確認すること。ソルフェージュ試験（科目・クラス分け）は受験しないでください。
	全学年	音楽基礎演習 ハーモニー演習①	「音楽基礎演習」「ハーモニー演習①」履修エントリー・クラス分け試験（オンライン）へ指定期間中にアクセスし、回答を送信すること。 後日ポータルサイトで発表される指定クラスに各自で履修登録すること。 ▼指定期間 2年生以上：3月20日（月）～3月24日（金） 1年生：3月27日（月）～3月30日（木） エントリーしない場合は履修できないので、十分に注意すること。
	全学年	ハーモニー演習②	「ハーモニー演習②履修エントリーフォーム」（オンライン）へ指定期間中にアクセスし、回答を送信すること。 後日ポータルサイトで発表される指定クラスに各自で履修登録すること。
	全学年	西洋音楽史 I	短大：Aクラス（金曜3限） 大学再履修者：Gクラス（水曜5限）またはHクラス（月曜3限） 上記以外の者：ポータルサイトで発表される指定クラスに各自で履修登録すること。
	留学生等 （2021年度以降の入学学生）	日本語文法とコミュニケーション I・II・III 日本語と日本社会 I・II・III 実用日本語 I・II 日本語日本文化 I・II・III キャリアと日本語 アカデミック・ジャパニーズ	新入生および2022年度に日本語を履修した学生はクラス指定を行うので（ポータルサイトで発表）、それを見て履修すること。 その他の履修希望者は留学生履修相談に来て相談すること。
	留学生等 （2020年度以前の入学学生）	基礎日本語 I・II 初級日本語 I・II 中級日本語 I・II・III・IV・V・VI 中級日本語演習 上級日本語 I・II	
	新入生および本年度から英語を履修する学生	基礎英語初級 英語中級英語 上級英語	外国語授業ガイダンスでプレACEMENTテスト等を案内する。英語プレACEMENTテスト実施 ※試験結果により履修すべきレベル（グレード＝基礎、初級、中級、上級）が決定（ポータルサイトで発表）
	2年生以上の英語履修者	上級英語	「上級英語」昇級判定試験実施（中級からの昇級希望者）
		中級英語	「中級英語」昇級判定試験実施（初級からの昇級希望者）
		他の英語科目	履修相談に出席し教員の指示を受けること
履修希望学生	基礎ドイツ語 初級ドイツ語	初回の授業でオリエンテーションおよびクラス指定を行うので、各自が希望するクラスに出席すること。	
	初級イタリア語	CクラスおよびEクラスは「基礎イタリア語」の成績上位者（ポータルサイトで発表）のみが履修登録すること。	
	中級イタリア語Ⅱ（声楽）	初回到クラス指定を行うので、各自が希望するクラスに、テキストは購入せずに、出席する事。	

英語プレイスメントテスト受験要領

英語プレイスメントテストは英語を履修するにあたってレベル分け（レベル＝基礎、初級、中級、上級）をするために必要な試験です。英語プレイスメントテストを受験せずに英語科目の履修は出来ません。このテストの結果指定されるレベルの英語科目を履修登録してください。

受験対象者は以下のとおりです。

- ・英語履修希望の新生（英語が語学科目の卒業要件単位になっているコースは必須）
- ・「中級英語」昇級判定希望者（p.6「中級英語履修希望申込み」の手続きが必要）
- ・2年生以上の新規英語履修希望者

なお、以前に一度でも英語プレイスメントテストを受験したことのある方は、その際に指定されたレベルでの履修をしてください。改めて受験する必要はありません。

テストの受け方、注意事項等は下記を参照し、指定された期限内に必ず受けてください。レベル分けの結果発表は4月1日（土）にポータルサイトで行います。

昭和音楽大学 語学分科会

—受験方法と注意事項—

受験方法 : パソコン（ノート）、タブレット、スマートフォンからの受験に限ります（受験回数は一回のみ）。

受験科目 : 英語 問題数/50問、試験時間/40分、解答は選択方式

受験サイト : <https://cbt-univ.jp/5001/>

QRコード



ログインID : 学籍番号（半角数字8桁）

パスワード : 学籍番号（半角数字8桁）

受験期間 : 2023年3月27日(月)(開始00:00) ~ 2023年3月29日(水)(終了23:59)

ご自分の都合に合わせて、必ず上記の期間(時間)内に受験してください。

★学籍番号が分からない、サイトにアクセスできない等の問い合わせは、以下までご連絡ください。ただし、問い合わせ受付期間はプレイスメントテスト実施期間に限ります。状況により返信に時間がかかることがありますので予めご了承ください。

昭和音楽大学

英語プレイスメントテスト担当

E-mail : placement_eng@tosei-showa-music.ac.jp

書類①

令和5年度新入生各位

令和5年3月吉日

学務部教務課

令和5年度 主科・副科実技レッスン希望登録について

下記の期間に、令和5年度主科・副科の実技登録・希望調査を実施します。この登録調査に基づき、実際に新年度のレッスンの振り分けをおこないます。この資料がお手元にある方は全員、下記の手順に従って登録期間内に必ず登録を行ってください。

主科とは — メインで学修する音楽分野（主科）です。主科があるコース、ないコースがあります。主に個人レッスンとなり、師事したい担当教員がいる場合は、**※希望を提出することができます。** **※但し、希望に添うことができない場合もございます**

副科とは — メインで学修する音楽分野（主科）とは別に、追加で学修する音楽分野のことです。主にグループレッスンとなり、今までの学修状況に回答することによって、クラス分けをします。

【 登録期間 】

令和5年3月1日(水)～3月8日(水)23:59まで

- ★期日を過ぎると登録できるURLにアクセスできなくなり、**初年度にご希望の実技を履修することができなくなります。**携帯、スマートフォンでも登録できるので、必ず期日内に登録するようにしてください。
- ★登録については、パソコン・携帯電話・スマートフォンのいずれかで行うことができます
- ★問い合わせがある場合は3月1日（水）以降にお願いいたします。2月28日（火）までは準備期間のため、回答ができません。

本件に関する問い合わせ昭和音楽大学/昭和音楽大学大学院/昭和音楽大学短期大学部
学務部教務課 レッスン配分担当

8:45-17:15（土日・祝日を除く）

TEL 044-953-9829

Mail jitsugilesson@tosei-showa-music.ac.jp

声とことばの創造表現コース カリキュラム (2024年度予定)

大学(音楽学部)

	必修科目	選択必修科目
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI① ヴォーカル・エクспレッション・メソッドI① セルフプロデュース&ビジネスI・II ことばと創作 西洋音楽史I 	<ul style="list-style-type: none"> ピアノII① 鍵盤演奏表現I
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI② ヴォーカル・エクспレッション・メソッドI② ベーシック・クリエイティブ・エクспレッション セルフプロデュース&ビジネスIII・IV 日本語の創作と朗読 	<ul style="list-style-type: none"> 創作表現基礎I 創作表現基礎II 創作表現基礎III
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI③ ヴォーカル・エクспレッション・メソッドI③ 	<ul style="list-style-type: none"> 創作表現応用I① 創作表現応用II① 創作表現応用III①
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI④ ヴォーカル・エクспレッション・メソッドI④ アドヴァンスト・クリエイティブ・エクспレッション 	<ul style="list-style-type: none"> 創作表現応用I② 創作表現応用II② 創作表現応用III②

短期大学部(音楽科)

	必修科目	選択必修科目
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI① ヴォーカル・エクспレッション・メソッドI① ヴォーカル・エクспレッション・メソッドI・II セルフプロデュース&ビジネス① ことばと創作 西洋音楽史I 	<ul style="list-style-type: none"> ピアノII① 鍵盤演奏表現I
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI② ヴォーカル・エクспレッション・メソッドI② クリエイティブ・エクспレッション セルフプロデュース&ビジネスIII・IV 日本語の創作と朗読 	<ul style="list-style-type: none"> 創作表現基礎I 創作表現基礎II 創作表現基礎III

【大学・短大共通】専門科目(選択)、教養科目(必修・選択)、外国語科目(選択必修)については、「ガイドブック2024」をご覧ください

2024年度「声とことばの創造表現コース」入学試験選抜科目

入学試験科目	内容	注記
主科実技課題	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること</p> <p>(1)当日指定課題の中から短いストーリーを創造し、表現力をもって朗読すること。 (※日本語に限る。声を使った発信力を見極める)</p> <p>(2)音楽実技 次の(a)または(b)のいずれかを選択すること (a)歌唱(クラシック音楽)自由曲1曲。(暗譜でなくてもよい) (b)ポピュラー演奏 次の①～⑨による自由曲(ポピュラー曲)1曲 (暗譜でなくてもよい) ①ピアノ ②ギター ③ベース ④サクソフォーン ⑤トランペット ⑥トロンボーン ⑦ドラムス ⑧パーカッション ⑨ヴォーカル</p>	<p>※(2)の音楽実技について (a)の場合、ピアノ伴奏者は大学が用意。出願時に伴奏譜を提出すること。(b)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。 ①②④⑤⑥⑦⑧はソロ演奏または音源による伴奏付き。③は音源による伴奏付き。音源の種類はAudioCDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、④～⑥は演奏する楽器を抜いた音源を提出すること。⑨はソロ(無伴奏)またはピアノか音源による伴奏付き。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカルを抜いたAudioCDまたは音源ファイルを出願時に提出すること。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC。提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカード。演奏の途中で止める場合がある。</p>
面接科	声と言葉の創造表現についての試問 (出願書類に関する内容を含む)	

その他の科目は入学試験の種類によって異なります。課題・科目は入学試験要項を必ずご参照ください。

入試日程	総合選抜型	実力診断	学校推薦型/特待生選抜①	一般選抜/特待生選抜②
	2023年 ①9月24日(日) ②10月22日(日) ③12月17日(日)	2024年 ④2月24日(土) ⑤3月8日(金)	2023年 ①8月6日(日) ②8月27日(日) 診断で基準に達した科目は総合型選抜での試験が免除されます。	2023年 ①11月21日(火)・22日(水) 2024年 ②2月1日(木)・2日(金)

資格取得について 卒業後の様々な進路希望に備えて、資格取得を設置。学生のキャリアを強力にサポート。

教職課程

- 〈昭和音楽大学〉
- ▶高等学校教諭一種免許状[音楽科](申請中)
 - ▶中学校教諭一種免許状[音楽科](申請中)
※ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
◎「教員職員免許法」第16条の5第1項により、中学校、高等学校の免許状で小学校の「専科」の教諭または講師となることもできます。
 - ▶小学校教諭二種免許状
※本学の教職課程と同時に玉川大学通信教育学部の実施する2年間の課程を修めることにより(要本学推薦)、在学中に取得することが可能です。
- 〈昭和音楽大学短期大学部〉
- ▶中学校教諭二種免許状[音楽科](申請中)
※ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
◎「教員職員免許法」第16条の5第1項により、中学校、高等学校の免許状で小学校の「専科」の教諭または講師となることもできます。

司書課程

〈昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部〉
図書館の専門職員に必要な基礎資格を取得できます。※その他の科目の履修状況により、履修できない場合があります。

学芸員課程

〈昭和音楽大学〉
博物館や資料館で活躍する学芸員となるための基礎資格を取得します。※その他の科目の履修状況により、履修できない場合があります。

昭和音楽大学のことをもっと詳しく、楽しく!



学校紹介
ショートムービー
公開中!



Pathways

受験対策スクール、
パスウェイズ
入室生募集中!



2023年5月発行

少しスペース空きますが、入れたい情報ありますでしょうか。
入れるものがなければカリキュラムをもう少しゆったりレイアウトします。

「表現」のための 「声」と「ことば」を、徹底的に学ぶ

現代には、多様な声とことばの創造表現があります。
 長年音楽教育に携わってきた私たちは、今の音楽教育のあり方がはたして現代社会と一致しているのか、また音楽に限らず、声とことばを扱う表現のジャンルにおいて、必要なこと、重視すべきことが実際には実行されていないのではないかとこの疑念を抱きました。
 台本・歌詞・詩など、ことばを声で表現する場において非常に重要な、ことばや文章の正しい理解力と応用力・感情の表現技術を学び、人々に共感・感動を与える創造表現ができる人材を育成することが、この「声とことばの創造表現コース」設立の目的です。

Point!

自分の声の魅力と可能性を発見

声を使った
専門技術と幅広い表現方法を習得

声とことばで
心の動きを表現する力をつける

自己プロデュース力、
コミュニケーション能力を高める

想定する将来の職業例

- ミュージカル俳優
- 声優
- ラジオパーソナリティ
- 司会
- 音楽家
- アニメ声優
- アナウンサー
- MC
- ヴォーカリスト
- ナレーター
- シンガーソングライター

必修科目(専門科目)

全ての基礎となるヴォイス・トレーニング

個人レッスン形式

ヴォーカル・テクニック・メソッドⅠ①②③④
(声の出し方・呼吸)

〈授業概要〉

クラシックの発声、日常で使用する声の出し方、言葉の発し方の基礎を習得。正しい体の使い方、横隔膜を使った腹式呼吸の方法や声帯、喉、口腔、共鳴、また喉を痛めない発声方法を学びます。呼吸器官と発声器官、声はどこから生まれるのか、その仕組みを理解し、自分の声の適正を見つめ、自分の声がどのように発展していくのかを自覚、探求します。



心から表現する、具体的な方法を学ぶ

クラス演習形式

ヴォーカル・エクスペッション・メソッドⅠ①②③④
(声の表現方法) ※短大は①②

〈授業概要〉

詩や歌詞・ストーリーを正しく理解し、ことば・文章に潜む感情を表現することを学びます。2年次以降は演技も研究。声を使って何かを表現しようとする際の具体的な方法を身につけます。学年が進むとともに自身の学びたい分野の表現を身につけ、自己の表現能力を高めます。



コンテンツとメディアを活用した、自己プロデュース力を身につける

セルフプロデュース&ビジネスⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
(コンテンツ制作・メディア芸術)

〈授業概要〉

自身をどのようにプロデュースしていくかを、専門知識と具体的な方法から学びます。コンテンツ制作の基礎、録音・録画、音声・映像編集などの技術を身につけ、配信実習や配信映像、動画などの制作を通して過程を経験します。周辺状況のリサーチや観客形成などに必要な、メディアやコンテンツ、情報を横断し活用するスキルと思考を養うことで、自己プロデュース力の習得、ひいてはビジネス分野でのパートナー・コンサルティング分野までの到達が可能に。



心に感じたものを言葉にする。言葉の裏側に隠された意味を知る。

ことばと創作
(ことばを創る、考える)

〈授業概要〉

ことばを用いて創作するための基礎を身につけます。ことばを理解すること、その言葉の裏側に隠された意味を読み解くことで表現の幅を広げます。ことばの創作を一定の知識と思考とともに研究します。

日本語の発語の研究。伝わる美しい表現の研究

日本語の創作と朗読
(詩・俳句・戯曲など)

〈授業概要〉

日本の詩・俳句・戯曲などを読み日本語の美しさに触れ、実際に声に出して朗読することで声による表現の基礎を学びます。またそれらの形式を用いて自身の表現したいことを創作。伝わりやすい日本語の発語を学修するとともに、伝える際に心がけること、ことばの選び方なども学修します。

創作発表の基礎・プロセスを学ぶ

ベーシック・クリエイティブ・エクスペッション
(創作発表基礎)

〈授業概要〉

創作発表の発表に向けて、各人が取り組むべき内容をさらに追求します。自己の声の適性を自身でイメージし、各々の題材について発表までの過程を知り、基礎力を身につけます。



大学のみ

4年間の成果を最大限に活かしたアウトプットへ

アドヴァンスト・クリエイティブ・エクスペッション
(創作発表応用)

〈授業概要〉

4年間で研究した分野の集大成となる発表。各分野の専門教員に指導を受け、これまでに学んだことを最大限に生かし卒業制作の発表を行います。そのために、3年次4年次で自身の適正を見極め、将来のビジョンに向かっていくためのより高度な技術を養います。

選択必修科目(一部)

声のプロフェッショナルを目指す

創作表現基礎Ⅰ(アニメソング歌手・アニメ声優)
 創作表現基礎Ⅱ(歌手(ジャズ・ポップス・ミュージカル・オペラ))
 創作表現基礎Ⅲ(アナウンサー・司会・ナレーター・声優(映画・ドラマ))
 ※上記の分野より選択

〈授業概要〉

各分野の基礎および導入を、それぞれの専門の教員とともにゼミ形式で学びます。

新規開講科目 ※統廃合を伴う統合科目等含む			廃止科目 ※統廃合を伴う廃止科目含む			名称変更 ※カリキュラム変更に伴う名称変更含む		
科目数	科目名称	単位数	科目数	科目名称	単位数	科目数	科目名称	単位数
	ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドⅡ④	1						
	ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドⅡ⑤	1						
	ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドⅡ⑥	1						
	ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドⅡ⑦	1						
	ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドⅡ⑧	1						
	セルフプロデュース&ビジネスⅠ	1						
	セルフプロデュース&ビジネスⅡ	1						
	セルフプロデュース&ビジネスⅢ	1						
	セルフプロデュース&ビジネスⅣ	1						
	ベーシック・クリエイティブ・エクスペリメンテーション	2						
	アドヴァンスト・クリエイティブ・エクスペリメンテーション	2						
	ことばと創作	1						
	日本語の創作と朗読	1						
	創作表現基礎Ⅰ	1						
	創作表現基礎Ⅱ	1						
	創作表現基礎Ⅲ	1						
	創作表現応用Ⅰ①	1						
	創作表現応用Ⅰ②	1						
	創作表現応用Ⅱ①	1						
	創作表現応用Ⅱ②	1						
	創作表現応用Ⅲ①	1						
	創作表現応用Ⅲ②	1						
	指導教材研究Ⅰ	2						
	指導教材研究Ⅱ	2						
	コンポジション&アレンジ①	4						
	コンポジション&アレンジ②	4						
	音楽教育メソッドⅠ	1						
	音楽教育メソッドⅡ	1						
合計	95		22			39		

※以下の10の専門科目は、平成30年～令和2年度入学生に適用のカリキュラム（令和5年度時点で4年次在学学生まで適用。令和5年度にて終了予定）

科目名称	単位数
ピアノアンサンブル	2
バレエ・ミュージカル伴奏①	2
バレエ・ミュージカル伴奏②	2
バレエ・ミュージカル伴奏③	2
室内楽①	2
室内楽②	2
室内楽③	2
声楽伴奏①	2
声楽伴奏②	2
声楽伴奏③	2
ピアノアンサンブルⅠ①	2
ピアノアンサンブルⅠ②	2
ピアノアンサンブルⅠ③	2
ピアノアンサンブルⅠ④	2

2023年度

オリエンテーション日程

※2023年度オリエンテーション日程 一部ページ抜粋

≫3月27日(月)～3月31日(金) オンラインガイダンス・履修エントリー・クラス分け



昭和音楽大学
昭和音楽大学短期大学部
昭和音楽大学大学院

日程	3月27日(月)	3月28日(火)	3月29日(水)	3月30日(木)	3月31日(金)
全学生	新入生Teams&ポータルサイト運用開始				履修登録①結果発表 [卒業年次生] ポータルサイト
	一部の科目のクラス分け発表 事前登録科目発表 ポータルサイト	履修登録①[卒業年次生のみ] 3/28(火)9:00～3/29(水)23:59			
	履修登録ガイダンス [新入生] 動画視聴 履修要綱電子ブックとWEB上のシラバスを参照の上視聴				
	「音楽基礎演習」「ハーモニー演習①」「西洋音楽史」ガイダンス [新入生の履修希望者] 動画視聴				
	ソルフェージュ授業ガイダンス [履修希望者全員(新入生、在校生)] 資料掲示				
	外国語授業ガイダンス [学・短新入生] 資料掲示				
	副科ピアノ「ピアノⅡ①②③④」ガイダンス [履修希望者] 動画視聴				
	副科声楽「声楽Ⅱ①②③④」ガイダンス [履修希望者] 資料掲示				
	資格課程オリエンテーション [教職・司書・学芸員課程の新規履修希望者(編入学含む)] 動画視聴+資料掲示				
	教職専修免許希望者説明 [専攻科、院修士1年生の希望者] 動画視聴				
	介護等体験オリエンテーション 3/27(月)～4/5(水)				
	※2日間体験[教職課程履修者で短大2年生、学部3年生以上で介護体験を実施していない人] 動画視聴				
	※5日間体験 [教職課程履修者の短大1年生(短大2年生で5日間体験未実施の場合も対象)] 動画視聴				
	「フィールドインターンシップ①」授業ガイダンス 3/20(月)～3/31(金) [学3・4年生新規履修希望者] 動画視聴(オンデマンド)				
	「音楽基礎演習」「ハーモニー演習①」履修エントリー・クラス分け試験[新入生の履修希望者] Forms				
	「ミュージックセオリー」クラス分けエントリー[新規履修希望者※] Forms				
	「ポピュラー作曲・編曲法①」クラス分けテスト[新規履修希望者※] Forms				
	「コードプログレッション」クラス分けテスト [ジャズコース・ポップ&ロックコース新入生] Forms				
	ソルフェージュ試験 (科目・クラス分け) [新入生、2年生以上の新規履修希望者] Forms				
	「作曲関連科目(PA演習、録音制作Ⅲ、ソングライティング演習①②、コンピューター音楽概論)」履修エントリー [新規履修希望者]Forms				
英語プレイスメントテスト 3/27(月)～3/29(水)オンライン [新入生英語履修希望者※2年生以上は過去にプレイスメントテストを未受験で英語を履修したい者]					
「中級英語」昇級判定試験3/27(月)～3/29(水)[2年生以上の新規履修希望者]オンライン					
「上級英語」昇級判定試験3/27(月)～3/29(水)[2年生以上の新規履修希望者] オンライン					
留学生日本語クラス分けテスト[新入生※留学生のみ]オンライン -学則変更の趣旨(資料)-20-					

凡例
学…大学
短…短大
院…大学院

2023年度 オリエンテーション日程

» 4月1日(土) オンラインで発表、実施のもの



日程	4月1日(土)	
全学生	履修登録②全学生対象 4/1(土)9:00~4/2(日)23:59 ポータルサイト	
	各コースごとクラス指定科目クラス発表 ポータルサイト	個人レッスン担当教員発表 17:00以降発表予定 ポータルサイト
	副科(器楽Ⅱ・作曲Ⅱ)グループレッスンクラス発表 ポータルサイト	オルガンⅡ履修の可否発表 ※履修可と発表された者は「電子オルガンⅡ・オルガンⅡ」履修時限アンケートに回答すること。 ポータルサイト
	「音楽基礎演習」・「ハーモニー演習①」クラス発表 1年生(編入生も含む)のみ発表。2年生以上は3/27(月)に発表済。 ポータルサイト	「電子オルガンⅡ・オルガンⅡ」履修時限アンケート 対象:電子オルガンⅡ履修希望者・オルガンⅡ履修可と発表された者 4/1(土)~4/3(月) 17:00 Forms
	「基本ソルフェージュ」クラス発表 ポータルサイト	「鍵盤演奏表現Ⅰ」履修者発表 ポータルサイト
	「ミュージックセオリー」クラス発表 ポータルサイト ※音楽基礎演習に配分された者は履修不可	「ポピュラー作曲・編曲法①」クラス発表 ポータルサイト
	「コードプログレッション」クラス発表 ポータルサイト	イタリア語クラス発表 ポータルサイト
	「英語レベル分け発表」 英語プレースメントテストの結果 ポータルサイト	日本語クラス発表 ポータルサイト

2023年度 オリエンテーション日程



昭和音楽大学
昭和音楽大学短期大学部
昭和音楽大学大学院

≫4月1日(土) 対面

時間	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30		
新入生				入学式／祝賀演奏 [学・短・院 新入生] ※編入生も含む 10:30開式 場所:テアトロ・ジューリオ・ショウワ						学生証・iPad配付 [学・短 1年生] 13:00~14:30 場所:テアトロ・ジューリオ・ショウワ 担当:学生課・教務課・ICT推進室			クラス会 ・クラス顔合わせ ・コース別ガイダンス ・履修登録説明 [学・短 1年生] 14:30~16:30 場所:指定された教室 担当:クラス担任			学寮説明会 [新規入寮者] 16:30~17:30 場所:C511 担当:学寮運営委員会				
							学生証配付 [編入、研究生、院1年生] 13:00~14:30 場所:事務局前 担当:学生課			教職課程履修相談 [教職課程履修希望者] 16:30~17:45 場所:A214 担当:資格課程分科会										
							科目等履修生ガイダンス [科目等履修生] 13:00~14:00 場所:A219 担当:教務課						学芸員課程履修相談 [学芸員課程履修希望者] 16:30~17:45 場所:A218 担当:資格課程分科会							
履修登録②全学生対象 4/1(土)9:00~4/2(日)23:59 ポータルサイト																		司書課程履修相談 [司書課程履修希望者] 16:30~17:45 場所:A219 担当:資格課程分科会		
2年生以上																				
教員・事務局				入学式／祝賀演奏 10:30開式 場所:テアトロ・ジューリオ・ショウワ 対象:1年生クラス担任						FD研修会 13:00~15:00 場所:ユリホール 対象:全教員						凡例 学…大学 短…短大 院…大学院				

2023年度 オリエンテーション日程 ➤4月3日(月) 対面&Forms



時間	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30		
	<p>「ピアノⅡ①②③④」アンケート [ピアノⅡ①②③④履修希望者全員] 4/3(月)9:00~4/5(水)23:59 Forms</p> <p>「声楽Ⅱ①②③④」アンケート [声楽Ⅱ①②③④履修希望者全員] 4/3(月)9:00~4/5(水)23:59 Forms</p>																			
	<p>クラス会(修士) [院修士1年生] 9:00~11:00 場所:A411 担当:クラス担任</p>				<p>「室内楽特別演習」 授業ガイダンス [修士履修希望者] 11:00~12:00 場所:A211 担当:科目担当教員</p>				<p>留学生ガイダンス [学・短・院 新入生の留学生] ※昭和音楽大学から昭和音楽大学大学院へ進学した者は対象外 ただし、本学研究生から大学院へ進学した者は対象 13:00~14:00 ※ガイダンス終了後 16:00まで履修相談 C511教室 担当:教務課</p>				<p>教職課程登録 締め切り 4/3(月)17:00 [教職課程履修希望者]</p>							
全 学 生	<p>iPad初期設定相談会 [学・短1年生希望者] ※iPadと一緒に配付したマニュアルに沿って説明を行います。 マニュアルに沿って初期設定が完了した方は参加不要です。 10:00~12:00 場所:C511 担当:ICT推進室</p>				<p>履修相談①[全学生] 13:00~16:00 A211 舞台スタッフ A212 ピアノ、オルガン A214 音楽教養、音楽と社会 A215 アートマネジメント A216 ミュージカル(※新入生用タップシューズ販売、お扇子販売も同時に行います。(13:00~14:30)) A311 ポップ&ロック、ポピュラー、ジャズ A312 ソルフェージュ A314 外国語(英語、イタリア語、フランス語、ドイツ語) A315 電子オルガン A316 作曲音楽デザイン、サウンドプロデュース、指揮、デジタルミュージック A320 音楽基礎演習・ハーモニー演習①② A411 バレエ C101 声楽、合唱指導 C103 弦管打、ウインドシンフォニー C311、C313 音楽療法 C511 留学生、日本語 担当:各部会・分科会</p>										<p>「西洋音楽史特殊講義」クラス分け試験(表現専攻・運営専攻1年次必修) [院修士1年生] 17:30~18:30※予定 場所:A411 担当:音楽学分科会</p>					
	<p>サウンドプロデュース①ガイダンス [サウンドプロデュースコース1年生] 11:00~12:00 場所:A316 担当:科目担当教員</p>				<p>クラス会(博士) [院博士全学年] 14:00~15:30 場所:A319 担当:クラス担任</p>				<p>専攻別ガイダンス [大学院全学年] 16:00~17:00 A213 ピアノ A217 オペラ・声楽研究 A218 弦管打 A219 作曲、指揮 A313 ジャズ&コンテンポラリー A317 アートマネジメント A318 音楽療法 A411 音楽と文化 ※電子オルガンは個別</p>											
	<p>凡例 学…大学 短…短大 院…大学院</p>																			

2023年度 オリエンテーション日程



≫ 4月4日(火) 対面&Forms

時間	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30
<div style="background-color: #e0ffe0; padding: 5px; border: 1px solid #008000;"> 「ピアノⅡ①②③④」アンケート [ピアノⅡ①②③④履修希望者全員] 4/3(月)9:00~4/5(水)23:59 Forms </div> <div style="background-color: #e0ffe0; padding: 5px; border: 1px solid #008000; margin-top: 5px;"> 「声楽Ⅱ①②③④」アンケート [声楽Ⅱ①②③④履修希望者全員] 4/3(月)9:00~4/5(水)23:59 Forms </div>																		
全 学 生	「基礎ゼミ」第1・2回授業 [学・短 1年生※2年生以上の未履修者] ※内部進学者は出席不要。 ※大学院1年生は単位になりませんが、本学について理解いただく機会となりますのでできる限り参加をお願いします。 <ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神 ・大学内での学修 ・研究施設紹介 ・音楽活動 ・キャリア講座 ・学生生活 9:00~12:10 場所:テアトロ・ジーリオ・ショウワ 担当:基礎ゼミ分科会、学生課								「ピアノⅡ①②③④」第1回授業 [ピアノⅡ①②③④履修希望者] 13:00~13:45 場所:テアトロ・ジーリオ・ショウワ 担当:鍵盤楽器部会		演奏家コースガイダンス [弦管打演奏家Ⅰ・Ⅱ 全学年] 15:00~16:00 場所:C511 担当:弦管打楽器部会		「室内楽」ガイダンス [弦管打・ウインド・弦管打演奏家、弦管打専攻科履修希望者] 16:00~17:00 場所:C511 担当:弦管打楽器部会					
	「声楽Ⅱ①②③④」第1回授業 [声楽Ⅱ①②③④履修希望者] 13:45~14:30 場所:テアトロ・ジーリオ・ショウワ 担当:声楽部会								部屋利用・音響機器使用説明会 [ジャズ・ロック&ポップ1年生] 15:00~16:30 場所:C401、C417 担当:ジャズ・ポピュラー音楽部会									
	履修相談 13:00~16:00 先輩による履修相談 ※「西洋音楽史Ⅰ」について研究室3にて相談対応 担当:教務課(スチューデントジョブ)										凡例 学…大学 短…短大 院…大学院							
	(This cell is part of the '履修相談' block above)																	

2023年度 オリエンテーション日程 ≫4月5日(水) 対面&オンライン



時間	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30
	「ピアノⅡ①②③④」アンケート [ピアノⅡ①②③④履修希望者全員] 4/3(月)9:00~4/5(水)23:59 Forms																	
	「声楽Ⅱ①②③④」アンケート [声楽Ⅱ①②③④履修希望者全員] 4/3(月)9:00~4/5(水)23:59 Forms																	
	履修登録②結果発表 [全学生] ポータルサイト							履修登録③全学生対象 4/5(水)13:00~4/11(火)23:59 ポータルサイト										
	レッスン打ち合わせ [主科実技(個人レッスン)・副科実技(個人、グループレッスン)履修者 ※副科ピアノ(ピアノⅡ①~④)、副科声楽(声楽Ⅱ①~④)、インストゥルメンツⅡ①②③、ポピュラーヴォーカルⅡ①②③、ポピュラージャズピアノⅡ①②③④グループレッスンは除く] 対面、Teams、メール、電話、LINEなど 各担当教員																	
	※電子オルガンⅡ・オルガンⅡクラス発表 ・ポータルサイト							履修相談②[全学生] 13:00~16:00 A211 舞台スタッフ A212 ミュージカル A214 音楽教養、音楽と社会 A215 アートマネジメント A311 ポップ&ロック、ポピュラー、ジャズ A312 ソルフェージュ A313 留学生、日本語 A314 外国語(英語、イタリア語、フランス語、ドイツ語) A315 電子オルガン A316 作曲音楽デザイン・サウンドプロデュース、指揮、デジタルミュージック A320 音楽基礎演習・ハーモニー演習①② A411 バレエ(13:00~15:00) C101 声楽、合唱指導 C103 弦管打、ウインドシンフォニー C311、C313 音楽療法 C511 ピアノ、オルガン 研究室3「西洋音楽史Ⅰ」 担当:各部会・分科会										
全学生	副科実技 「インストゥルメンツⅡ①②③」 「ポピュラーヴォーカルⅡ①②③」 「ポピュラージャズピアノⅡ①②③④」 第1回授業 [各履修希望者全員] ※事前実施の副科実技履修に関するアンケート回答者に限る 11:00~11:45 場所:テアトロ・ジーリオ・シヨウワ 担当:ジャズ・ポピュラー音楽部会																	
	凡例 学…大学 短…短大 院…大学院																	

2023年度 オリエンテーション日程



≫ 4月6日(木)授業開始以降～4月12日(水)

日程	4月6日(木)	4月7日(金)	4月8日(土)	4月9日(日)	4月10日(月)	4月11日(火)	4月12日(水)
全 学 生	授業開始	金曜授業①	健康診断① 9:00～17:00 ※詳細は別途案内 します。 場所:C101 担当:学生課		月曜授業①	火曜授業①	水曜授業①
	木曜授業①		「ピアノⅡ①②③④」 グループ発表 9:00発表予定 ポータルサイト 担当:鍵盤楽器部会 「声楽Ⅱ①②③④」 グループ発表 9:00発表予定 ポータルサイト 担当:声楽部会			履修登録終了 (前期・通年科目) 4/18(火)のクラス全体会②で登録状況確認 修正期間を経て 4/24(月)ごろ履修登録確 定予定 履修中止手続き期間は5月～6月を予定	学芸員・司書課程 登録締め切り 4/12(水) 17:00 [学芸員・司書課程履 修希望者]
	副科実技 「インストゥルメンツⅡ①②③」 「ポピュラーヴォーカルⅡ①②③」 「ポピュラージャズピアノⅡ①②③④」 クラス配分アンケート [各履修希望者全員] ※事前実施の副科実技履修に関するアン ケート回答者に限る 4/6(木)17:00～4/7(金)23:59 Forms					副科実技 「インストゥルメンツⅡ①②③」 「ポピュラーヴォーカルⅡ①②③」 「ポピュラージャズピアノⅡ①②③④」 クラス配分発表 12:00発表予定 ポータルサイト 担当:ジャズ・ポピュラー音楽部会	
						「基礎ゼミ」第3回授業 [基礎ゼミ履修者] ・大学のカリキュラムについて ・テアトロ・ジューリオ・ショウワの紹介 5限(16:20～17:50) 場所:テアトロ・ジューリオ・ショウワ 担当:基礎ゼミ分科会	
						クラス全体会① [全学生] 18:15～19:00 対面 場所:指定された教室 担当:クラス担任	

■本学の設備楽器(ピアノ・電子オルガン)

(単位:台)

		ピアノ					電子オルガン		
		グランドピアノ			アップライトピアノ		ヤマハ	カワイ	ローランド
		スタインウェイ	ヤマハ	カワイ	ヤマハ	カワイ			
南校舎	教室	1	22	10					
	練習室		23	18	30	11	13	3	1
	レッスン室	2	93	60	7		15	1	1
	スタジオ	3	4	0			4	0	
	ユリホール	2			1		1		
	その他施設			1	2				
北校舎	教室		6	5			1		
	練習室				16	5			
	レッスン室		24	12			2		
	スタジオ		4	4			1		
	ラ・サーラ・スカラ(ホール)	1							
講堂	テアトロ・ジーリオ・ショウワ	1	2						
	楽屋				2				
男子寮	練習室				4				
女子寮	練習室				10				
計		10	178	110	72	16	37	4	2
合計		386					43		

学校法人東成学園 中長期計画2020-2024 2021年度進捗報告

		事業報告書 報告用 2021年度 進捗状況					2021年度 進捗状況詳細					2021年度進捗状況				
具体的な取り組み事業	2021 計画	2021 実績	達成	行動計画 (アクションプラン)	主管部署	アクションプラン細分	2021 計画	2021 実績	達成	2020	2021	2022	2023	2024		
プロジェクト① 教育の質の向上																
A 教育課程の改革																
1	カリキュラムの見直し	50%	25%	▼	文理融合科目、STEAM科目、創造性を育成する教育、データサイエンス教育の導入	プロジェクトチーム(作曲・舞臺・JP部会、教務課)	50%	25%	▼						ブレインストーミング、会議を計6回実施。本プロジェクトを教育課程委員会の下に創造性育成科目作業部会として設置した。数理・データサイエンスセミナーへ参加した。2022年度に第1回特別講座を行うことを検討し、新年度の教育課程委員会に上程した。	
2	アカデミックカレンダーの見直し	30%	25%	▼	アカデミックカレンダーの見直し	教務課	30%	25%	▼						プロジェクトチームを編成し(+西海)、学期制の理解促進、事例研究、シミュレーションを実施した。また、カリキュラム改定の研究、検討を実施した。懸念要素の洗い出しや、他大学の事例の検討に時間を要する。	
B 教育手法の改善																
3	ICT教育の推進	50%	50%	△	Society 5.0時代の音楽、舞台芸術のための教育・研究環境づくり	ICT推進委員会	50%	50%	△						学内における無線ネットワークの完備はほぼ100%となった。また、什器やAV機器、出席管理システムは2022年度に補助金対象となる可能性があるため、2022年度に実施予定。ただし補助金の募集が一部前倒しであったため、南校舎3教室(A313、A315、A319)分先行して導入を実施した。	
4	アクティブラーニングの推進	50%	50%	△			50%	50%	△						2022年度より電子媒体教材(コンテンツ)が利用できるようにコンテンツの開発を実施した。	
5	オンライン学修の推進	50%	50%	△			50%	50%	△						前年度に定義したメディア授業を実施した。また、前期に実施したメディア授業の教員・学生に時間割作業部会よりアンケートを実施・集計後に教育課程委員会にて来年度に向けての打合せを実施した。	
C 学修支援の強化																
6	学生支援センターの設置	60%	35%	▼	学生支援センターの設置	学務部、総務部	60%	35%	▼						人員の適正人数・配置等の検討について、学務部長、総務部長の相互交代により、より具体的に検討できる体制とした。資格等の検討については、学務部長、総務部長の相互交代、立場が違う観点から学生支援について今後俯瞰していく。また教務課を担当する学務部長が学生課長を兼務し、より連携できる配置とした。新たな組織改編が教育の質の向上へ繋がっているかのシミュレーションおよび検証は未達。	
7	練習室の活用	50%	50%	△	練習室の活用	総務課	50%	50%	△						2020年度における南校舎練習室の貸出システム本番稼働を受け、学生からのメールでの問い合わせ、学生との意見交換会での意見等を参考に、運用上の問題点を洗い出し、分類・整理し、対応の可能性、費用対効果等を検討し、修正を行っている。システム対応で補えない問題に関しては、運用ルールの見直しを実施した上で、クラス全体会ポータルサイト等を利用して、周知徹底を図っている。南校舎の練習室以外の施設についての効率化については、年度の後半で検討をおこなった。	
8	施設設備の充実	43%	20%	▼	施設設備の充実	新規プロジェクト①	40%								コロナ禍への対応で教室の設備の導入を進めており、リプレット作成は先送りしたい。北校舎周辺の開発計画について着手されていないため改修し、中長期の運用を前提とする必要有。	
9							50%	20%	▼						施設利用状況把握のためのプロジェクトを設置。	
10							40%								ユリホールに関してはプロジェクトを発足し、改修を一部先行して実施した。	
7 ~ 10	施設設備の充実・練習室の活用	2022 新規			施設設備の充実	新規プロジェクト①	2022 新規								アクションプラン7~10を統合し、新規アクションプランとする。2022年度において、施設設備の管理体制の確立、改修及びアメニティー環境の充実を進めるためのプロジェクトを発足する事とし、計画の変更をおこないたい。	
D キャリア教育の充実																
11	キャリア教育の充実	67%	80%	△	キャリア教育の充実	キャリア委員会	67%	80%	△						カリキュラムとして設定されている科目の見直しについて、水曜日開講授業のオンデマンド化を検討したが、従来通りの運用とする事にした。支援講座の見直しについて、学部3年・修士1年・短大1年生向けの講座として新規に卒業後のキャリアを描くための講座を2022年度に新たに開催する事とした。海外留学支援策として2022年度は留学のための基礎知識講座の時期を早めて開催する事とした。企業アンケート・卒業生アンケートの検証・分析を実施した。キャリア支援の充実をはかるために「キャリアコンサルタント」の資格取得を行った。	

昭和音楽大学の 知と実践

教養は、広い世界を見せてくれる。

大きな舞台は、私を羽ばたかせてくれる。

たくさんの経験は確実に力となって次のステージへと導いてくれる。

ここで過ごす大切な時間、私たちのキャンパスライフ。

より良い学修環境をめざす取り組み

ICT教育の推進

ICT：Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。通信技術を活用したコミュニケーションを指します。

取組例①

入学者全員にタブレット端末を貸与

2022年度入学者から全員にタブレット端末を貸与し、授業やレッスンのオンライン受講も想定した学修環境および教育体制を整備しています。

取組例②

電子教科書の採用

ソルフェージュ科目のうち、総合ソルフェージュでは本学が開発した電子教科書を2015年度より採用。学生アカウントに共有することで予習用・授業用教材の配付からオンライン受講まで対応しています。



総合ソルフェージュの電子教科書(2022年度版)より

取組例③

電子楽譜、電子書籍の導入

ヘンレ原典版のデジタル楽譜「Henle Library Campus Edition」、約100社の出版社の楽譜を閲覧できる「nkoda」の2つのサービスを導入しました。また、丸善雄松堂が開発・運営する機関向け電子書籍提供サービス「Maruzen eBook Library」も導入し、学修の効率化と多様化を促進します。いずれのツールも無料で、場所を問わずアクセスすることができます。



「Henle Library Campus Edition」
ヘンレ原典版のデジタル楽譜は、ヘンレ社出版の楽譜、全ての閲覧が可能、全学生対象（タブレット端末のみ利用可）



「nkoda」
オーケストラのスコアやパート譜を含む幅広いジャンル・編成の楽譜が閲覧可能、全学生対象（スマートデバイス、パソコンから利用可）

学修成果の可視化

主科実技試験の「所見フィードバック」を実施

学生が実技試験の評価を具体的に把握し、今後の勉強の参考になるように、試験時に教員が記述したコメントを学生にフィードバックしています。コメントは「技術」「芸術」の観点を含めて記され、学生個人に学内メールで送信されます。



所見フィードバックは一部の学年のみ実施していましたが、「在学生調査」および「学生との意見交換会」で多数の要望を受け、大学・短大全学年での実施へ拡充しました。

※P.14参照

本学独自の学生生活サポート



クラス担任

コース別、または学年別でクラスを設けています。専任教員が学業に関することや課外活動、学生生活上の問題などについて共に考え、アドバイスを行っています。



学生相談室

複数名のカウンセラーが相談を受け付けています。悩んでいる時に課題点を整理したり、カウンセラーの意見を聞くことで、冷静な判断ができるようにサポートします。



学修さぼーと（オフィスアワー）

授業でわからなかった所や、カリキュラムの履修に関すること、ほかの先生の意見も参考にしたいなど、授業や勉強に関する悩みに対して専任教員が相談に応じます。



- HOME
- 利用案内
- 資料について
- 機関リポジトリ
- マイフォルダ

◀ 2023 ▶

◀ 06 ▶

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

□ 通常 8:45-19:15 ■ 土曜日 10:00-17:00

■ 臨時 (都度、開館時間を表 午後閉館 13:00-17:00 示)

■ 閉館

★ イベントアラート

Online Public Access Catalog

OPAC 詳細検索

図書館の蔵書を探す
OPAC Search

学術機関向け電子書籍
Maruzen
eBook Library

研究紀要

小原・堀田
写真コレクション

図書館からのお知らせ
INFORMATION

お知らせ一覧

最新 5件 ▼

- 重要** [Naxos Music Library Jazz学外か...](#) 06/14 11:52
- お知らせ** [小原・堀田コレクションWebマガジン掲載のお知らせ](#) 06/12 14:19
- お知らせ** [無償譲渡のご案内](#) 06/05 12:04
- 重要** [6/2\(金\)閉館時間変更について](#) 06/02 14:07
- お知らせ** [Henle Library対応機種更新について](#) 05/15 09:33

リブサポ
Library supporter

可選課程作成

調べ方のご案内
パスファインダー

自宅学習・
研究支援情報

Tweets from @showamusic_lib

昭和音楽大...
@showa... · 1h

Replying to @showamusic_lib

こちらの写真は貸出可能です。
詳細はこちら⇒lib.tosei-showa-music.ac.jp/?page_id=1791
なお、画像の不正使用(無断での画像保存・SNSでの再投稿)

- 図書館活動報告
- キャリア支援情報まとめ
- 音大受験予定の方へ
図書館開放について

オンラインサービス
ONLINE SERVICE

学外アクセスについて

データベース一覧

! 学内LAN、学内Wi-Fiに接続していれば以下から直接アクセスできます。
! 学外アクセスは【マイフォルダ】にログインしてください。
! ★マークのものは学内アクセスのみです。

本・雑誌を探す

- 国立国会図書館サーチ
- 国立国会図書館デジタルコレクション
- Webcat Plus
- CiNii Books

辞書・事典を調べる

- Grove Music Online
- MGG Online
- RILM Music Encyclopedias
- ジャパンナレッジLib (★)

音源を聴く・映像を観る

- Naxos Music Library
- Naxos Music Library Jazz
- Naxos Video Library
- ベルリン・フィル
デジタルコンサートホール
- 歴史的音源

雑誌記事・新聞記事・論文を探す

- JSTOR Music Collection
- CiNii Research
- RILM Abstracts of Music Literature
- ProQuest & Theses
- 朝日新聞クロスサーチ (★)
- 日経BP記事検索サービス
- 音楽文献目録オンライン
↑マイフォルダからログインしてください

昭和音楽大学オペラ研究所
オペラ情報センター

Opera

オペラ研究所が保有する日本全国のオペラ公演資料、公演情報、オペラ作品情報を検索できます。

昭和音楽大学バレエ研究所
バレエアーカイブ

Ballet

日本におけるバレエ公演のデジタルアーカイブ。1940年代から現代までの公演データ収録を収録。

COUNTER

1014392

電子ブック・電子ジャーナルを読む

- Maruzen eBook Library
↑※マイフォルダからログインしてください
- Early Music (★)
- 19th-Century Music (★)

楽譜を見る・探す

- IMSLPベトルッチ楽譜ライブラリー
- RISM Series A/II
Music Manuscripts after 1600
- nkoda
- Henle Library Campus dition

作曲家・作品研究等

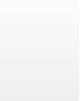
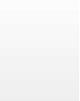
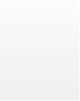
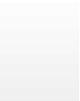
- Bach Digital
- Beethoven Autographs Online
- Beethoven-Haus Bonn
- Chopin Online
- 日本の作曲家とその作品
- The Morgan Library & Museum Music Manuscripts Online
- New York Philharmonic Digital Archives

ログインを行うと利用状況を確認することができます。



ログイン

貸出ランキング

- 1位  世界の中心で、愛をさけぶ
片山恭一著. -- 小学館, 2001.4.<図書>
- 2位  標準パソコン音楽用語事典
岩田晏実 [ほか] 著. -- ドレミ楽譜出版社, 2002.3.<図書>
- 3位  8小節から始める曲作りの方法50：鼻歌だけでも曲は作れる！すぐに試せるノウハウが満載！
藤原豊, 植田彰著. -- リットーミュージック, 2010.12.<図書>
- 4位  日本目録規則
日本図書館協会目録委員会編. -- 2018年版. -- 日本図書館協会, 2018.12.<図書>
- 5位  日本目録規則
日本図書館協会目録委員会編. -- 1987年版, 改訂3版. -- 日本図書館協会, 2006.6.<図書>

[>>もっと見る](#)

新着案内



ラヴェル：生涯と作品

アービー・オレンシュタイン著；井上さつき訳. -- 音楽之友社, 2006.12.<図書>

2023/06/20

Catalogo tematico delle composizioni di Tomaso Albinoni (1671-1750)

Franco Rossi ; pt. 2. -- I Solisti Veneti, 2002. -- 巻号等 : pt. 2<図書>

2023/06/17

Catalogo tematico delle composizioni di Tomaso Albinoni (1671-1750)

Franco Rossi ; pt. 1. -- I Solisti Veneti, 2002. -- 巻号等 : pt. 1<図書>

2023/06/17



未来につなぐ音楽授業：コロナ禍の筑波大学附属小学校音楽科diary：子どもたちとの軌跡

高倉弘光, 平野次郎, 笠原壮史著. -- 音楽之友社, 2023.3. -- (教育音楽ハンドブック)<図書>

2023/06/08



鍵盤ハーモニカの本

南川朱生著. -- 春秋社, 2023.4.<図書>

2023/06/08

[>>もっと見る](#)

昭和音楽大学附属図書館

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

TEL: 044-953-9854 FAX: 044-953-9801 E-mail: lib@tosei-showa-music.ac.jpPowered by NetCommons2 [The NetCommons Project](#)

**昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の収容定員変更における
学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）**

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析	2
イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析	5
ウ 新設学科等の趣旨目的, 教育内容, 定員設定等	8
エ 学生確保の見通し	11
オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	21
(2) 人材需要の動向等社会の要請	23
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	23
② 上記①が社会的, 地域的な人材需要の動向等を踏まえた ものであることの客観的な根拠	25

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

昭和音楽大学（以下「本学」という）は、平成 29 年 4 月に、国際的な視野をもって幅広いジャンルの音楽作品を創作できる人材、または舞台等で実践的に活躍できる人材を養成するために音楽芸術表現学科を開設した。学科の特色としては次の 3 点である。

1. 音楽および音楽関連の分野で社会に貢献するために必要不可欠な基礎的・汎用的な能力を固め、その上に高度な専門性を築くという、汎用性と専門性の 2 つの方向性が持てること
2. 16 の幅広いコースを設置し、学生のニーズに合わせたきめ細やかな教育が展開できること
3. 多様な音楽スタイルを一つの学科に統合することで音楽を幅広く捉え、領域横断型の教育研究ができること

このような特色を持つ音楽芸術表現学科の入学者数は、直近 5 年の平均で 209.6 名、入学定員充足率は 114.6%となっており、堅調に学生確保が達成されているものと認識している。また、多様な学生の受け入れによって、将来的に減少が見込まれる 18 歳人口の影響が軽減できており、安定した学生確保に対する取り組みとして効果を上げている。

現状の課題としては、新型コロナウイルスの感染拡大に関する行動制限等の解除・緩和や新コースの開設を考慮した募集広報活動を展開することで、本学への入学意欲、相応の学力・能力を有する学生に対して、広く本学の門戸を開くことである。また、直近 5 年で平均 110.0%を超えている入学定員充足率の適正化も重要な課題として認識しており、これら 2 つの課題、双方に対して適切な対処が必要であると認識している。

1. 志願者数・入学者数の推移

音楽芸術表現学科の過去 5 年間の入学定員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数等は表 1 のとおりである。過去 5 年間の志願者数の平均は 317.2 名であり、志願倍率の平均は 1.73 倍である。また、入学者数の平均は 209.6 名であり、入学定員充足率の平均は 114.6%である。また、収容定員充足率については表 2 のとおりである。

〔表 1〕 音楽芸術表現学科における学生確保の状況

	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平均
A. 入学定員	175	185	185	185	185	183
B. 志願者数	305	332	322	321	306	317.2
C. 受験者数	302	327	319	316	302	313.2
D. 合格者数	269	262	283	271	264	269.8
E. 入学者数	214	210	216	192	216	209.6
F. 入学定員 充足率 (E/A)	122.3%	113.5%	116.8%	103.8%	116.8%	114.6%
G 志願倍率 (B/A)	1.74	1.79	1.74	1.74	1.65	1.73

※令和 2 年度に入学定員を 175 名から 185 名に増やしたが、編入学定員を 20 名減少させたため
音楽芸術表現学科全体の収容定員は変更なし

〔表 2〕 音楽芸術表現学科における収容定員充足状況

	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平均
A. 収容定員	770	760	750	760	770	762
B. 在学生数	568	773	833	864	854	778.4
C. 収容定員 充足率 (B/A)	0.73	1.01	1.11	1.13	1.10	1.01

※収容定員充足率は小数点以下第 3 位以下を切り捨て

私立大学の音楽学部全体の志願倍率と音楽芸術表現学科の志願倍率を比較した表 3 を参照すると、志願者数・志願倍率は他の私立大学との比較においても、堅調な推移であることが確認できる。

〔表 3〕 音楽学部全体の志願倍率と音楽芸術表現学科の志願倍率

		平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
私立大学の 音楽学部 全体	志願者数	3,877	4,160	4,389	4,029	3,932
	入学定員	3,136	3,196	3,171	2,991	2,955
	志願倍率	1.24	1.30	1.39	1.35	1.33
昭和音楽大学 音楽芸術表現 学科	志願者数	261	305	332	322	321
	入学定員	175	175	185	185	185
	志願倍率	1.49	1.74	1.79	1.74	1.74

過去 5 年間の入学者が入学定員を下回ったことはなく、志願者数、入学者数ともに堅調に推移している。

2. 多様な学生の受け入れと安定的な学生確保

入学者の24.0%は19歳以上の入学者と外国人留学生在が占めており（令和4年度実績）、多様な学生を受け入れている実績がある。学生確保が全面的に18歳人口に依存するリスクが軽減されており、高等学校・高校生以外にも、多方面に学生募集が展開できている。多様な学生の受け入れは、安定して学生を確保するための重要な取り組みと認識している。

19歳以上の入学者、いわゆる既卒の入学者は過去5年間の平均が34.6名となっている（表4）。年度によりややばらつきはあるものの、入学者に対する割合は、平均して16.4%である。

〔表4〕 音楽芸術表現学科の既卒の入学者数とその割合

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
既卒入学者（A）	33	26	37	29	48	34.6
入学者（B）	214	210	216	192	216	209.6
割合（A/B）	15.4%	12.4%	17.1%	15.1%	22.2%	16.4%

また、外国人留学生の過去5年間の入学者は表5のとおりである。入学者に対して外国人留学生在が占める割合は平均して9.7%であり、増加傾向にある。

〔表5〕 音楽芸術表現学科の外国人留学生数とその割合

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
外国人留学生（A）	15	12	18	17 ※内未入国2	40	20.4
入学者（B）	214	210	216	192	216	209.6
割合（A/B）	7.0%	5.7%	8.3%	8.9%	18.5%	9.7%

3. 通学圏外（関東以外）の入学者数の回復

新型コロナウイルスの感染が令和3年度以降拡大し、令和3年度、令和4年度はその影響によって通学圏外（関東以外）からの入学者が減少した。音楽芸術表現学科の都道府県別の入学者は【資料1】のとおりであるが、通学圏内と圏外（関東以外）に分けた表6を見ると、通学圏外（関東以外）の入学者が最大102名（令和2年度）から令和4年度は63名と39名の減少となり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている。今後、新型コロ

ナウウイルスの影響が低くなることが想定されるため、通学圏外（関東以外）の入学者が過去5年間の平均である84.2名程度までは回復することが見込まれる。このような状況に対応するため、通学圏外（関東以外）の学生募集活動にも注力することが直近の課題の一つと考えている。

〔表6〕 音楽芸術表現学科の通学圏内、通学圏外別入学者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
通学圏内（関東）	129	108	132	129	146	119.2
通学圏外（関東以外）	85	102	84	63	70	84.2
合計	214	210	216	192	216	203.4

4. 新コース「声とことばの創造表現コース」の開設

令和6年4月には新コース「声とことばの創造表現コース」（【資料2】）の開設を予定しており、新たな学びの分野が加わる。当該コースに関心を有する新たな受験者層の獲得が見込まれる。なお、当該コースに関するPR、学生募集活動を効果的に実施することが直近の課題の一つと考えている。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

本学は地域貢献活動を積極的に行い、地域における音楽文化の醸成や活性化に対する地域・社会的ニーズに応じている。また、「近年では学べる専門分野も広がりを見せたこともあり、更なる多種多様な領域での幅広い活躍及び貢献が大いに期待され」（川崎市の収容定員増に関する副申書（【資料3】））であり、今後、更にこのような地域的、社会的ニーズが増えるものと想定される。また、本学の地域貢献活動を小・中・高生時代に体験した生徒が入学するケースも出てきている。さらに、附属音楽・バレエ教室からの入学者〔表7〕、本学が主催する「高校生のための歌曲コンクール」参加からの入学者〔表8〕はそれぞれにおいて、過去5年間平均で10名以上の実績がある。

〔表7〕 附属音楽・バレエ教室からの音楽芸術表現学科 入学者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
入学者数	17	11	14	10	10	12.4

〔表 8〕 「高校生のための歌曲コンクール」参加からの入学者

	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平均
入学者数	17	22	12	16	6	14.6

地域・社会的ニーズへの対応が学生募集につながり、それらの学生が地域における音楽文化の醸成や活性化に取り組む等、地域・社会的ニーズへの対応と学生募集との好循環が形成されつつある。以下、いくつか具体的な取組みを記載する。

1. 演奏会・公演活動による鑑賞機会の提供

本学が主催する演奏会・公演は、音楽や芸術を通して地域社会の発展に取り組んでいる本学の特色を最大限活用し、かつ成果を挙げている最も顕著な例といえる。近年の来場者の年間平均は 9,700 名を超えている。また、平成 22 年度には、卒業生を中心として編成する「テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ」を発足させ、新百合ヶ丘の地に密着したオーケストラとして活動している。特に平成 25 年にスタートした第九演奏会は好評を博し、新百合ヶ丘の年末の風物詩となっている。

2. 生涯学習機会の提供

本学の教育資源を地域に提供するため、演奏会や公演活動のほか、公開講座の開講や附属音楽・バレエ教室、附属ストリングスアカデミーの運営を行い、活力と潤いのある地域社会づくりに貢献している。

公開講座は、受講生参加型、複数回開催するシリーズ型、演奏会と連携して講座を行うタイアップ型等講座形態は多様である。附属音楽・バレエ教室は、新百合ヶ丘地域を中心として、神奈川県内に 7 教室（新百合ヶ丘、海老名、小田原、センター北、藤沢、戸塚、武蔵小杉）、県外に 1 教室（仙台）を展開し、3,000 名を超える生徒が在籍している。開校して 40 年以上の実績があり、趣味や教養を深めたい方から音楽大学進学希望者まで、さまざまな目的を持った生徒が在籍し、一人ひとりの進度に応じて行う個人レッスンや、バレエやヴォーカル、語学等のグループレッスン等多様なコースを設置することにより、音楽に親しみ、学ぶことができる場を提供している。

3. 本学施設の提供

「テアトロ・ジューリオ・ショウワ」の「ジューリオ」はイタリア語で「ユリ」を意味する。施設内にある劇場「テアトロ・ジューリオ・ショウワ」とコンサートホールである「ユリホール」は、いわば「二つのユリ」として地域での音楽活動のシンボルとして認知されている。「二つのユリ」は、本学主催イベントだけでなく、外部の演奏団体や高等学校の公演・コンクール等にも広く利用されている。

4. 高校生への学習支援

本学では、声楽家を目指す高校生の学習支援を目的とした「高校生のための歌曲コンクール」を平成12年から主催している。参加者には歌唱学習についての無料相談会の実施（予選会終了後、各会場にて実施）、希望者へのフォローアップレッスンを実施している。本コンクールの本選は、本学施設の「テアトロ・ジーリオ・ショウワ」にて開催し、ステップアップの機会を提供している。直近5年の平均において、14名を超える声楽コース等の入学生がコンクール参加者である〔表8〕。また、令和4年度には「高校生のためのミュージカル歌唱コンクール」を新規で開催し、「ミュージカルを専門的に勉強したい」と願う歌が好きな高校生も支援している。令和5年度ミュージカルコースへの入学生の内7名が本コンクール参加者である。

5. コミュニケーションセンターによる地域連携

「昭和音楽大学コミュニケーションセンター(SCC)」の取組みである「アーツ・イン・コミュニティ」は、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動をとおして、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を備えた音楽人の育成を行う取組みで、学生が地域の小・中学校や福祉施設等で演奏会や演奏指導を行う窓口となっている。川崎市教育委員会との連携事業「ジュニア音楽リーダー」では、本学の施設を活用し、本学の学生が川崎市に所在する全市立中学校の吹奏楽部に所属する生徒に楽器の指導を行っている。

6. 地域団体との主な連携

・「アルテリッカしんゆり（川崎・しんゆり芸術祭）」、「かわさきジャズ」

平成21年から始まった芸術イベント「アルテリッカ」は、音楽、映画、演劇、伝統文化等、さまざまな分野の催しものをそろえた芸術祭として、毎年3月から5月にかけて開催されている。本学は、(公財)川崎市文化財団、地域の大学や劇団、芸術団体とともに、主催団体として自治体や地域の関係者と企画段階から関わっている。

・「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」

本学が所在する新百合ヶ丘の魅力を高め、地域の活性化を目指すことを目的として平成30年に結成された「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」に、本学は幹事会員として参画している。このコンソーシアムは、駅周辺で定期的で開催している「しんゆりフェスティバル・マルシェ」や「しんゆりステーションピアノ」、秋のハロウィンや冬のイルミネーションイベント等、地域での大規模イベントを一元的にとりまとめており、本学は幹事会員として、新百合ヶ丘地域の活性化やブランド力の向上に貢献している。

・「しんゆり・芸術のまちづくり」

地域資源を活かしたまちづくりを推進している NPO 法人「しんゆり・芸術のまちづくり」に団体会員理事として参画し、麻生区役所とも連携して「芸術のまちづくり」実現のための活動を行っている。

・「川崎市アートセンター」、「川崎市スポーツ・文化総合センター」の指定管理者業務

川崎市アートセンターについては、平成 24 年度より、本学（本学の関連会社株式会社プレルーディオを含む）と川崎市文化財団、日本映画大学の 3 団体で構成する「川崎市文化財団グループ」が、指定管理者に選定されている。川崎市アートセンターは、アルテリオ小劇場とアルテリオ映像館等の施設を備えており、本学は、小劇場の企画運営及び管理業務を中心に行っている。

川崎市スポーツ・文化総合センターについては、平成 29 年度より、本学と株式会社コンベンションリングージ、株式会社プレルーディオの共同事業体が、ホールの企画運営及び管理業務を担当している。本学は主に文化事業制作への協力を行っている。

・「麻生区・大学公学協働ネットワーク」

川崎市麻生区内及び隣接する東京都町田市に立地する大学と行政との間に、互いが保有する知的資源、人材等を有効に利活用できるネットワークを構築することにより、音楽・芸術・福祉・環境・教育その他の分野において、公学連携して活動を展開し、個性豊かで活力に満ちた地域社会づくりに貢献していく事業を展開している。

ウ 新設学科等の趣旨目的，教育内容，定員設定等

大学等の現状把握・分析及び地域・社会的動向等の現状把握・分析から、本学への入学意欲、相応の学力・能力を有する学生に対して、広く門戸を開くと同時に、直近 5 年（令和元年度から令和 5 年度）において平均 114.6%となっている入学定員充足率の適正化を重要な課題として認識している。これら 2 つの課題、双方に対処するため、当該学科の収容定員の変更（増加）を実施する。

1. 定員設定について

音楽芸術表現学科の入学定員を 185 名から 15 名増加させ、200 名とする。それによって、音楽学部の入学定員は 285 名から 300 名〔表 9〕となり、収容定員は 1,180 名から 1,240 名〔表 10〕となる。増加数（入学定員 15 名）の設定について、入学定員の 1.5 倍以上の志願者を確保し、入学試験の質を担保すること、且つ入学定員で定めた入学者数が安定的に確保

できる定員数であることの2点を考慮した。その結果、音楽芸術表現学科の直近5年（令和元年度から令和5年度）での平均志願者数が317.2名、平均入学者数が209.6名であることから、入学定員200名が妥当な定員数であると判断した。

〔表9〕 本学の入学定員

大学	学科	令和5年度 入学定員	令和6年度 入学定員(変更)	増減
昭和音楽大学	音楽芸術表現学科	185	200	15
	音楽芸術運営学科	100	100	0
合計		285	300	15

〔表10〕 本学の収容定員（完成年度）

大学	学科	令和5年度 収容定員(現行)	令和9年度 収容定員 (完成年度)	増減
昭和音楽大学	音楽芸術表現学科	770	830	60
	音楽芸術運営学科	410	410	0
合計		1,180	1,240	60

2. 学生納付金の設定

学費については、表11のとおりとする。志願者数、入学者数を安定的に確保するため令和4年度実績と同じ金額で設定した。全国の音楽系統の大学において、おおよそ中位に位置する学生納付金の設定〔表12〕となっており、妥当な金額である。

〔表11〕 本学の学生納付金

年度	入学金 (A)	授業料 (B)	施設費 (C)	合計 (A)+(B)+(C)	備考/その他の 費用
入学年度	200,000	1,390,000	630,000	2,220,000	※入学時のみ 同僚会費28,000円 学生会費27,500円
2年次以降	-	1,390,000	630,000	-	

〔表 12〕 全国の音楽系統大学の学生納付金（令和 4 年度実績）

大学名	入学金 (A)	授業料 (B)	施設費 相当費目 (C)	合計 (A)+(B)+(C)	標準在学期間 納入額合計
桐朋学園大学	600,000	1,360,000	640,000	2,600,000	8,600,000
国立音楽大学	200,000	1,250,000	800,000	2,250,000	8,400,000
武蔵野音楽大学	150,000	1,390,000	670,000	2,210,000	8,390,000
東京音楽大学	300,000	1,487,000	525,000	2,312,000	8,348,000
昭和音楽大学	200,000	1,390,000	630,000	2,220,000	8,335,500
東邦音楽大学	250,000	1,480,000	500,000	2,230,000	8,170,000
洗足学園音楽大学	200,000	1,490,000	500,000	2,190,000	8,160,000
エリザベト音楽大学	300,000	1,300,000	300,000	1,900,000	6,700,000
平成音楽大学	200,000	1,060,000	490,000	1,750,000	6,400,000
中央値	200,000	1,390,000	525,000	2,220,000	8,335,500

※本学調べ：詳細については【資料 4】に記載

※中央値：母集団の分布の中央にくる値。個数 n が奇数の時は真ん中の値を取る。偶数のときは真ん中の 2 つを加えて 2 で割った値。

3. 今、定員増をしなければいけない理由

直近 5 年（令和元年度から令和 5 年度）において、音楽芸術表現学科の入学定員充足率は平均 114.6%となっており、入学定員に対して、それを上回る入学者数が継続していること、また令和 5 年度の収容定員充足率は 1.10 倍となっており、収容定員充足率の早急な改善が課題となっていることが定員増を必要とする背景である。学生確保の主となる対象地域（神奈川県・東京都）における 18 歳人口の動向や私立大学（音楽系統の学部）の志願者数・入学者数の推移は横ばいであるが、近隣の競合大学の状況を見ると、継続して入学定員の 1.0 倍以上の入学者を確保している大学とそれ以外の大学との二極化傾向が確認できる。本学は、前者に該当しており、本学に対する入学ニーズは当面、維持もしくは増加の状態と見込まれる。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大に関する行動制限等の解除による通学圏外からの志願者数の回復や令和 6 年度からの新コース開設により新たな入学者も見込まれる。このように、令和 6 年度以降において志願者、入学者の増加が見込まれる要因が複数あり、現在の入学定員ではこれらのニーズに応えることが難しいことが目に見えており、それらが定員増の大きな理由である。本学への入学意欲、相応の学力・能力を有

する学生に対して、広く門戸を開きつつ、入学定員超過率を適切な水準に保つため、音楽芸術表現学科の入学定員増が必要である。

エ 学生確保の見通し

A 学生確保の見通しの調査結果

学生確保の見通しについては、後述する学生募集に関するイベント（オープンキャンパス等）参加者数が例年どおり堅調に推移している点をもって、十分な志願者数、入学者数の見通しを得ることができるが、更に慎重を期すため、3種のアンケート調査を実施し、複眼的、総合的に学生確保の見通しに関する分析・検討を行った。いずれの調査も、対象となる高校3年生がより本格的に進路を検討する令和5年4月以降に実施したものであり、直近の状況をより正確に把握できる資料として検討に活用している。

・ 収容定員の変更にに関するニーズ調査 報告書【高等学校3年生】【資料5】

昭和音楽大学音楽学部への進学実績がある高等学校（27校）の協力を得て、当該高等学校の3学年に所属する生徒を対象にアンケート調査を実施した。有効回答数1,983件であった。

大学進学を検討している回答者においては、経済・経営・商業系統に関心を有している回答者が最も多かった（18.7%：308名）が、昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科に対応する音楽系統は、経済・経営・商業系、文学・人文系統に次いで3番目に多かった（13.1%：220名）。

大学進学希望者1,651名の内、音楽系統の学びに関心を持つ220名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の受験意向を確認したところ、10.0%にあたる22名について、明確な受験意思（「受験したい」の回答）が確認できた。

〔表13〕 受験意向

	単一回答	n	%
	全体	(220)	
1	受験したい	22	10.0
2	受験を検討したい	63	28.6
3	受験しない	135	61.4

また、受験意向を有する（「受験したい」と回答した）22名を対象に、入学意向を集計した。その結果、77.3%にあたる17名について、明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた。今回協力を得た27校は、本学の入学実績校の1割程度であることから、実際

の入学者数は170名程度と推定することができる。この数値は入学定員200名の85.0%となる。前述のとおり、本学入学者の18.5%は外国人留学生が占めており（令和5年度実績）、高等学校からの進学者数としては学生確保の視点上、十分な推定値である。

〔表 14〕 入学意向

	単一回答	n	%
	全体	(22)	
1	入学したい	17	77.3
2	併願校が不合格の場合に入学を検討したい	5	22.7
3	入学しない	0	0.0

・ 収容定員の変更に関するニーズ調査報告書【資料請求者等対象】【資料 6】

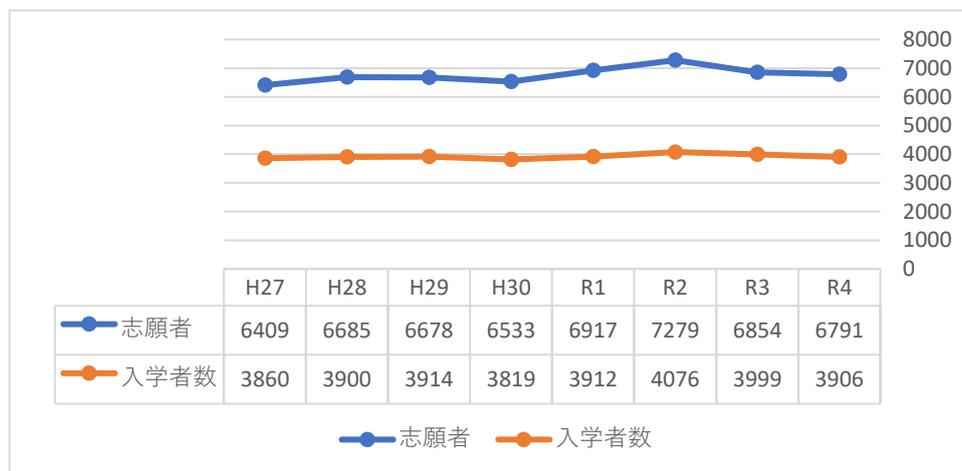
資料請求、広報イベントへの参加者等、昭和音楽大学音楽学部に関心を有する高等学校3年生を対象にアンケート調査を実施した。有効回答数145件のうち、受験意向を有する（「受験したい」と回答した）62名を対象に、入学意向を集計した。その結果、93.5%にあたる58名について、明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた。今回協力を得た資料請求、広報イベントへの参加者は、通常の3割程度であることから、実際の入学者数は180名程度と推定することができる。この数値は入学定員200名の90.0%となる。前述のとおり、本学入学者の18.5%は外国人留学生が占めており（令和5年度実績）、高等学校からの進学者数としては学生確保の視点上、十分な推定値である。「収容定員の変更に関するニーズ調査 報告書【高等学校3年生】」と同程度の推定値をこのアンケート調査においても確認することができた。

・ 収容定員の変更に関するニーズ調査報告書【神奈川県・東京都 15歳-19歳 サンプルング調査】【資料 7】

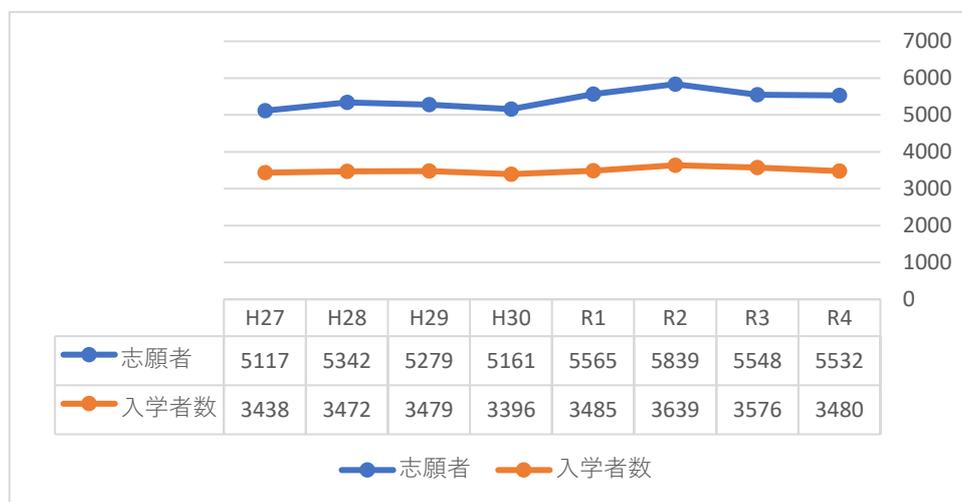
東京都・神奈川県に在住する10代の高校生を対象にアンケート調査を実施した。高校3年生189名のうち、大学進学を希望し、且つ「音楽」に関心を持つ24名のうち、受験意向を有する（「受験したい」と回答した）ものが1名であった。更に、その1名については、明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた。アンケートに回答した189名の高校生の0.5%の割合となる。東京都と神奈川県の18歳人口について、図3の令和6年度の予測値を参照し、176,088名とすると、その0.5%は880名となる。このサンプルング調査から、神奈川県及び東京都において、880名の入学意思を持った潜在的な受験生がいるものと推定できる。但し、入学実績校及び資料請求者等と比較すると、本学に関する接点、情報が少ない回答者が多いため、前述の2つのアンケートよりも入学意思の推定に関する誤差はやや大きいものと思われる。

B 分野の動向

学校基本調査を基に作成された図1を参照すると、国公立の4年制大学（音楽系統の学部）における志願者は平成27年と令和4年度の比率で見ると1.06倍であり、横ばいもしくは微増傾向であることが確認できる。また、私立大学のみに着目した場合は、図2のとおり、志願者は平成27年と令和4年度の比率で見ると1.08倍であり全体と同様、微増傾向であることが確認できる。



〔図1〕 国公立：音楽系統の学部への志願者数と入学者数（学校基本調査）
(H：平成・R：令和)



〔図2〕 私立のみ：音楽系統の学部への志願者数と入学者数（学校基本調査）
(H：平成・R：令和)

「収容定員の変更に関するニーズ調査報告書【神奈川県・東京都 15歳-19歳 サンプルング調査】」【資料7】では、大学進学を希望する高校3年生（160名）の内、15.0%が音楽系統に関心を持っており（表15・表16）、他の分野との比較においても、潜在的に十分な需要があるものと認識できる。

また、音楽分野関心者数の割合は、学年が低くなるほど大きくなっている（表 17）。データの解釈に際しては、年齢・学年効果（年齢・学年の進行による個人の意識・行動が変化）に留意する必要があるが、今後の需要拡大も可能性として考慮できる。

〔表 15〕 高校 3 年生大学進学希望者の関心分野（複数回答） (n=160)

関心ある分野	回答割合
芸術・体育・家政(音楽・声優・アニメ・音楽メディア関係等含)	23.1%
人文科学(文学・語学)	25.0%
社会科学・教育(法学・経済学・社会学/ 福祉・教育/ 保育)	41.9%
理工学(理学・工学)	30.6%
農学・獣医学	8.8%
医学・保健衛生(医学/ 歯学・薬学)	14.4%
保健衛生(看護・リハビリ等)	6.9%
その他	3.1%

〔表 16〕 芸術・体育・家政(音楽・声優・アニメ・音楽メディア関係等含) 回答者の関心分野（複数回答） (n=160)

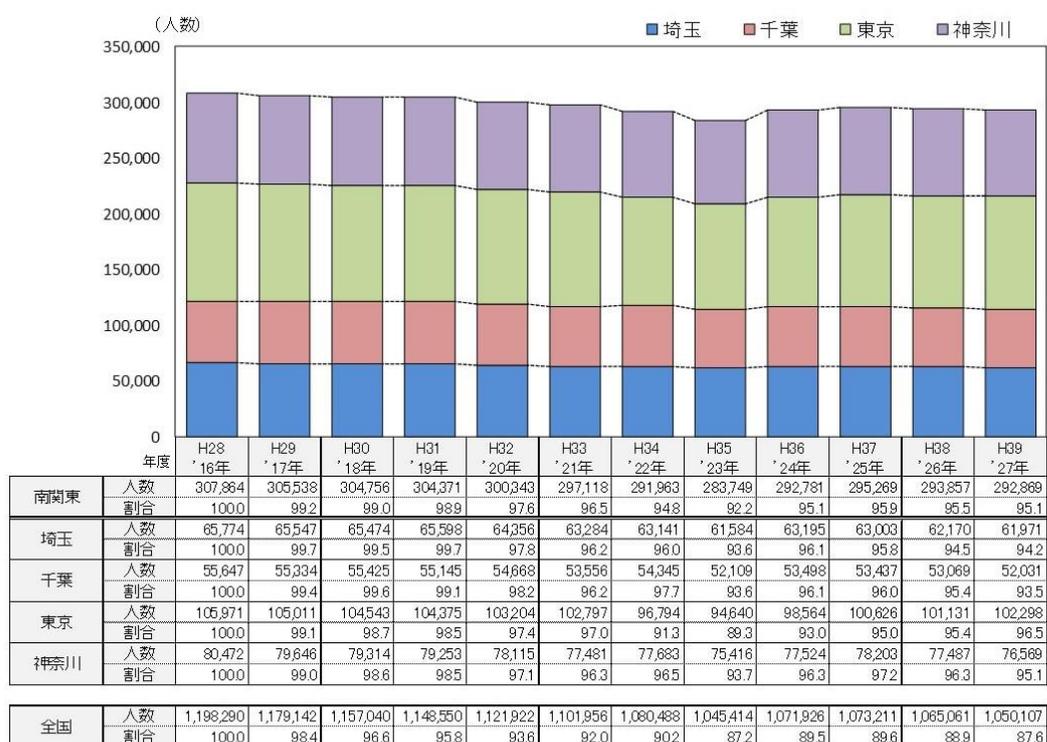
芸術・体育・家政(音楽・声優・アニメ・音楽メディア関係等含)	回答割合
音楽	15.0%
舞台芸術・演劇(声優含む)	6.3%
美術・イラスト	8.8%
書道	1.3%
体育	4.4%
マンガ・アニメ	10.6%
エンターテイメント	7.5%
ファッション	3.1%
インテリアデザイン	3.8%
食・栄養	3.8%
その他	1.3%

〔表 17〕 音楽分野志望者の割合

	高校 1 年生	高校 2 年生	高校 3 年生
大学進学希望者数(A)	208	179	160
音楽分野関心者数(B)	48	33	24
割合(B/A)	23.1%	18.4%	15.0%

C 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

18 歳人口の長期的動向（平成 28 年から令和 9 年までの 12 年間）について、平成 28 年(1,198,290 名)と令和 9 年(1,050,107 名)の比較において人口の増減率を算出すると 0.88 倍となり、減少傾向である（図 3）。また、中期的動向（令和 5 年から令和 9 年までの 5 年間）を確認すると、令和 5 年と令和 9 年の比較において、人口の増減率は 1.00 倍である。さらに神奈川県・東京都について同様の方法で確認すると、長期的な人口の増減率は 0.96 倍であり、中期的な人口増減率は 1.05 倍である。全国的に見た 18 歳人口の長期的動向は減少傾向であるが、神奈川県・東京都で見た場合の長期的動向、及び全国的、神奈川県・東京都の両方で見た場合の中期的動向においては、概ね横ばいで推移していることが確認できる。

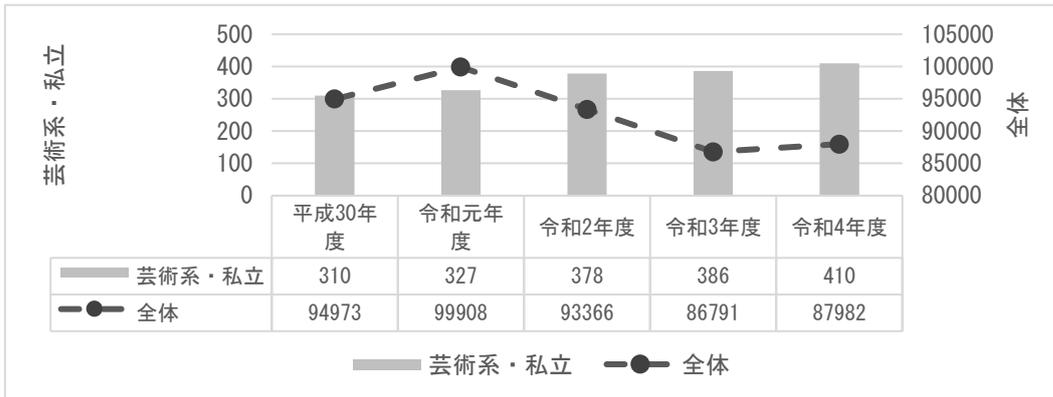


学校基本調査を基にリクルート進学総研にて作成

〔図 3〕 18 歳人口予測 2016～2027 年

※引用：<https://souken.shingakunet.com/research/2017/01/182015-bb85-1.html>

外国人留学生数は、コロナ禍の影響と推察されるが、令和元年度から令和 3 年度にかけて減少し、令和 3 年度から令和 4 年度は若干の回復傾向を示している。しかしながら、芸術系・私立大学の外国人留学生数は平成 30 年度より一貫して増加傾向を示している。



〔図4〕 外国人留学生数推移（学校基本調査）

D 競合校の状況

南関東に所在し、音楽系統の学部学科を有する私立大学の動向を競合校として設定し、現状を確認する。競合校として次の8大学を抽出し、分析を行った。

- 【私立】洗足学園音楽大学（神奈川県）
- 【私立】東京音楽大学（東京都）
- 【私立】日本大学 芸術学部 音楽学科（東京都）
- 【私立】国立音楽大学（東京都）
- 【私立】桐朋学園大学（東京都）
- 【私立】武蔵野音楽大学（東京都）
- 【私立】東邦音楽大学（埼玉県）
- 【私立】聖徳大学 音楽学部 音楽学科（千葉県・女子のみ）

1. 競合校の妥当性

上記の大学は既存の募集広報イベント等において、参加者から競合校として挙げられることが多いと共に、当大学が調査機関に依頼して実施した「音楽系統大学への進学動向に関する市場調査」【資料8】においても競合関係にあることが示されている〔表18〕。

〔表18〕 受験候補の大学：昭和音楽大学と同時に候補とされた大学（複数回答あり）（n=11）

大学名	人数	割合
【私立】洗足学園音楽大学（神奈川県）	5	45.5%
【私立】東京音楽大学（東京都）	4	36.4%
【私立】日本大学 芸術学部 音楽学科（東京都）	3	27.3%
【私立】国立音楽大学 音楽学部（東京都）	4	36.4%
【私立】桐朋学園大学 音楽学部（東京都）	1	9.1%
【私立】武蔵野音楽大学（東京都）	4	36.4%
【私立】東邦音楽大学（埼玉県）	4	36.4%
【私立】聖徳大学 音楽学部 音楽学科 （千葉県・女子のみ）	3	27.3%
国公立大学の音楽系統の学部	2	18.2%

※回答者：南関東に在住の中学3年生-高校3年生で昭和音楽大学を受験候補と考えている方11名

2. 競合校の状況

競合校の入学定員充足率に着目すると直近 3 年において、安定的に入学定員充足が達成されている大学と入学定員充足が継続的に未達の状態にある大学におおよそ二極化している傾向がみられる〔表 19〕。この区分に従うと本学は前者に位置づけられる。入学定員充足が継続的に未達の状態にある大学は、入学定員充足率が低下の傾向にあるか、もしくは、定員減の措置を講じている大学が多い。先に確認した通り、音楽系統の学部の志願者数は横ばいであることが想定されるため、今後、安定的に入学定員充足が達成されている大学の志願者は増加傾向になることが想定される。

〔表 19〕 競合校の入学定員充足率（本学含む）

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	3 年 間の 平均	備考
充足	【私立】洗足学園音楽大学（神奈川県）	1.1	1.2	1.2	1.2	
	【私立】昭和音楽大学（神奈川県）	1.1	1.2	1.1	1.1	
	【私立】東京音楽大学（東京都）	1.2	1.1	1.1	1.1	
	【私立】日本大学 芸術学部 音楽学科 （東京都）	1.0	1.1	1.0	1.0	
	【私立】国立音楽大学（東京都）	0.9	1.1	1.0	1.0	令和 3 年度 定員減
未充足	【私立】桐朋学園大学（東京都）	0.9	0.9	0.8	0.9	
	【私立】武蔵野音楽大学（東京都）	0.9	0.7	0.7	0.8	令和 4 年度 定員減
	【私立】東邦音楽大学（埼玉県）	0.7	0.7	0.7	0.7	
	【私立】聖徳大学 音楽学部 音楽学科 （千葉県・女子のみ）	0.5	0.5	0.4	0.5	
	【私立】上野学園大学 音楽学部 音楽学科（東京都）	0.2	—	—	0.2	令和 3 年度 以降募集停止

※各大学公式ホームページ掲載情報を基に本学にて集計

E. 既設学部等の学生確保の状況

同学部内に併設されている音楽芸術運営学科の状況について、表 20 にまとめた。入学定員充足率にて 0.7 を割っておらず堅調に学生確保が行われている。

〔表 20〕 音楽芸術運営学科における学生確保の状況

	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平均
A. 入学定員	100	100	100	100	100	100
B. 志願者数	152	200	149	131	102	146.8
C. 受験者数	152	195	147	130	98	144.4
D. 合格者数	140	167	124	113	89	126.6
E. 入学者数	125	154	104	94	76	110.6
F. 入学定員 充足率 (E/A)	125.0%	154.0%	104.0%	94.0%	76.0%	110.6%
G. 志願倍率 (B/A)	1.52	2.00	1.49	1.31	1.02	1.47

※入学定員充足率は小数点以下第 2 位を四捨五入

本学に併設されている昭和音楽大学短期大学部音楽科（以下、短期大学部）の状況について、表 21 にまとめた。入学定員充足率が減少傾向にある。併設する 4 年制大学の志願者が増えていることから、4 年制大学へと志願者のニーズが変化しているものと分析している。このような社会的動向に対応し、入学定員充足率を適正化するため、短期大学部については、令和 6 年度より別途定員減（減員数 30 名）の届出を実施する。

〔表 21〕 昭和音楽大学短期大学部における学生確保の状況

	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平均
A. 入学定員	100	100	100	100	100	100
B. 志願者数	123	152	110	84	94	112.6
C. 受験者数	123	151	110	82	92	111.6
D. 合格者数	111	135	95	78	83	100.4
E. 入学者数	93	107	75	64	65	80.8
F. 入学定員 充足率 (E/A)	93.0%	107.0%	75.0%	64.0%	65.0%	80.8%
G. 志願倍率 (B/A)	1.23	1.52	1.10	0.84	0.94	1.13

F その他、申請者において検討・分析した事項

学生確保の見通しを分析する上で、募集広報に関するイベントへの参加者数とその満足度は、志願者数を推定する有力な参考値として使用されている。オープンキャンパス、講習会、本学が行う受験対策スクール Pathways（パスウェイズ）の参加者を以下のとおりまとめた（表 22、表 23、表 24、表 25）。これらの表を見ると、直近（令和 4 年度、令和 5 年度）の数値は、それ以前とほぼ同等の数値となっており令和 6 年度においても引き続き例年と同等の志願者数、入学者数を見込むことができる。

〔表 22〕 オープンキャンパスの参加者数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	備考
3 月	中止	151	151	112	
4 月	開催なし	95	95	141	令和 5 年は 5 月に実施
5 月	中止	152	187		
6 月	135	75	96		
7 月	191	145	180		
8 月	441	389	622		夏期講習期間に実施したオープンキャンパス全体
9 月	105	83	115		
11 月	88	97	開催なし		
12 月	169	184	262		冬期講習期間に実施したオープンキャンパス全体
合計	1, 129	1, 371	1, 708		

※個別で実施した説明会は除く。※オンラインイベントを含める。

〔表 23〕 講習会の参加者数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1 月	開催なし	77	73	79
3 月	中止	115	128	121
4 月	開催なし	102	109	132
5 月	245	121	133	6 月に実施予定
6 月	126	135	182	6 月に実施予定
8 月-1	342	321	294	8 月に実施予定
8 月-2	69	85	77	8 月に実施予定
9 月	111	86	132	9 月に実施予定
10 月-1	101	86	121	10 月に実施予定
10 月-2	94	114	75	実施せず
11 月	79	93	59	11 月に実施予定
12 月	205	211	164	12 月に実施予定
合計	1, 372	1, 546	1, 547	

※本学キャンパスで実施したイベントを対象とする。 ※オンラインイベントを含める。

〔表 24-1〕 オープンキャンパス、受験講習会参加者アンケート（令和 5 年度実施分）

	オープンキャンパス		講習会	
	回答数	割合	回答数	割合
有効回答数	123	100%	98	100%
1. 大変満足	85	69.1%	76	77.6%
2. 満足	37	30.1%	21	21.4%
3. 不満	1	0.8%	1	1.0%
4. 大変不満	0	0.0%	0	0.0%
満足度（1+2 合計）	122	99.2%	97	99.0%

〔表 24-2〕 オープンキャンパス、受験講習会参加者アンケート（令和 4 年度実施分）

	オープンキャンパス		講習会	
	回答数	割合	回答数	割合
有効回答数	705	100.0%	731	100.0%
1. 大変満足	420	59.6%	566	77.4%
2. 満足	277	39.3%	155	21.2%
3. 不満	3	0.4%	2	0.3%
4. 大変不満	5	0.7%	8	1.1%
満足度（1+2 合計）	697	98.9%	721	98.6%

〔表 24-3〕 オープンキャンパス、受験講習会参加者アンケート（令和 3 年度実施分）

	オープンキャンパス		講習会	
	回答数	割合	回答数	割合
有効回答数	562	100.0%	587	100.0%
1. 大変満足	353	62.8%	455	77.5%
2. 満足	207	36.8%	124	21.1%
3. 不満	1	0.2%	3	0.5%
4. 大変不満	1	0.2%	5	0.9%
満足度（1+2 合計）	560	99.6%	579	98.6%

〔表 25〕 本学が行う受験対策スクール 体験レッスン参加者・入室者数

	体験レッスン 参加者数 (延べ)	入室者数 (延べ)
令和4年8月	3	-
令和4年9月	22	5
令和4年10月	11	13
令和4年11月	13	9
令和4年12月	9	8
令和5年1月	11	4
令和5年2月	11	8
令和5年3月	5	4
令和5年4月	22	11
令和5年5月	17	12
合計	124	74

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

【講習会】

年間40回を超える講習会を開催する。具体的には、夏期講習会(8月)、秋から行う受験講習会(9月・10月・11月・1月)、冬期講習会(12月)ならびに全国の都市で4月から7月にかけて行う受験講習会(令和5年度は32都市で開催予定)によって音楽の実技や理論を中心としたレッスンを行うことで、受験に向けた指導と音楽大学への進学意欲の向上を狙う。進学希望者個々の要望に対応できるよう、個人レッスンやグループレッスン、オンラインレッスン等を提供する。とりわけ、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって、令和4年度に大幅に通学圏外の志願者数が減った点に対処するため、各講習会を活用して志願者数の回復に取り組んでいる。昨年志願者数が減った地域としては、中部(前年に比べて17名減)、九州(前年に比べて5名減)が挙げられる。都道府県別に見ると、中部は愛知県や静岡県、長野県、九州は福岡県が減少している。音楽科のある高校は全国に設置されているため、新型コロナウイルスの感染が減少し、行動制限が解除となった場合は回復すると予想している。そのための取組みとして、令和3年度より全国での講習会を再開し、令和4年度は、大幅に入学者が減少した上記の県全てにおいて講習会の開催を実施した。その結果、令和5年度は306名に志願者数が回復した。同様の取組みを継続することで、今後も志願者増の効果が見込まれる。【資料9】

〔表 26〕 音楽芸術表現学科の地域別入学者数

	令和元 年度	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	平均
北海道	6	4	2	6	7	5.0
東北	11	20	12	12	6	12.2
関東（通学圏内）	129	108	132	129	146	128.8
北陸	3	9	11	7	9	7.8
中部	25	30	31	14	20	24.0
近畿	4	3	2	4	6	3.8
中国	7	9	3	4	3	5.2
四国	6	5	4	3	3	4.2
九州	18	16	10	5	6	11.0
沖縄	2	1	1	1	3	1.6
海外	3	5	8	7	7	6.0
入学者数	214	210	216	192	216	209.6

【受験対策スクール Pathways（パスウェイズ）】

令和4年9月より、本学の教員によるレッスンを継続的に受けることができるよう、受験対策を目的としたクラスを新設。受験に向けた指導と音楽大学への進学意欲の向上を狙う。本スクールの入室者数は令和5年5月時点で延べ74名。本スクールの入室者からの令和5年度の入学者数は19名（内、音楽芸術表現学科への入学者は15名）。同様の取組みを継続することで、今後も入学者増の効果が見込まれる。【資料10】

【オープンキャンパス・進学説明会】

年間13回のオープンキャンパスを開催し、本学の施設見学やレッスン風景、体験レッスン等を実施する。進学希望者個々の相談に対応できるよう、個別相談を必ず設定している。加えてオンラインでの講習会やオープンキャンパスを開催することで、通学圏外（関東以外）の希望者も参加ができるようにする。

また、高等学校や主要都市で実施される進学説明会・ガイダンスに参加することで受験生との接触を増やす活動や、高等学校に直接訪問し音楽教員と情報交換をする取組みを進め、学生の確保に努めていく。また、オープンキャンパス・進学説明会の開催を告知するとともに、社会人の入学希望者に対する個別相談等を別途設ける等の対応により、オープンキャンパス・進学説明会を通じた社会人の受け入れにも重点的に取り組む。【資料9】

【パンフレットの作成・配付】

本学はガイドブックを3月下旬に作成し、学内外に向けてPR活動を行っている。ガイドブックは、資料希望者や講習会・説明会参加者だけではなく、全国の音楽指導者、学校、楽器店等に送付する。またガイドブックだけではなく、新コース専用のリーフレットを作成し、希望者の関心を高める方策にも努めていく。さらに英文の紹介

パンフレットも作成しており、近年、志願者が増加傾向にある留学生等への対応も行っている。

【インターネットにおける取り組み】

①ウェブサイトの作成

本学のウェブサイトによって PR 活動を行う。令和 5 年 4 月にウェブサイトの全面リニューアルを行い、入試・受験生向けページの動線等の見直しを行った。毎年ウェブサイトへの掲載情報の更新等を行うとともに、演奏会の情報や講習会・説明会情報等は頻繁に更新していく。また興味・関心の高い情報も発信していく。さらに留学生への PR 活動として、日本語のホームページだけでなく、英語のホームページも開設している。

②その他インターネット媒体での取り組み

本学では LINE と Twitter、Instagram により情報発信を行う。また、インターネット上の音楽大学進学情報サイトやリスティング広告等も積極的に活用し、講習会やオープンキャンパスへの参加者や本学の資料請求者の獲得に努めていく。

【その他の広報活動】

音楽専門雑誌等に情報を掲載し、講習会や説明会等の開催について積極的に広報することで、学生の確保に努める。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学の建学の精神は、「礼・節・技の人間教育」で、礼節を重んじ豊かな人間性と教養を身につけた個性ある音楽家を育成することにある。昭和音楽大学の開学にあたり「礼・節・技の人間教育」という簡潔にして明快な標語を建学の精神として、今日に受け継がれている。

その建学の精神の基に音楽芸術表現学科では人材養成目的を以下のとおり定めている。

人材養成目的

音楽芸術表現学科は、国際的な視野をもって幅広いジャンルの音楽作品を創造できる、または舞台等で実践的に活躍できる人材を育成するために専門教育を行う。

- ・作曲・音楽デザインコースにおいては、アカデミックな音楽能力を基盤として豊かな創造力を持つ芸術音楽の作曲家またはコンピューターを始めとするデジタルテクノロジーを駆使した作品を制作できる作曲家を育てる。
- ・サウンドプロデュースコースにおいては、様々なジャンルの音楽に精通し、音楽産業界に幅広く貢献できるクリエイター、プロデューサーを育てる。
- ・指揮コースにおいては、音楽作品に対する洞察力を養い、芸術性豊かな表現を創造する指揮者を育てる。
- ・ピアノ音楽コース、ピアノミュージッククリエイターコース、ピアノ指導者コース、ピアノ演奏家コース、オルガンコース、電子オルガンコース、弦・管・打楽器コース、ウインドシンフォニーコース、弦・管・打楽器演奏家コースにおいては、個々の学修者の目指す将来像を尊重し、ソロやアンサンブルの演奏家、優れた指導者を育てる。
- ・ジャズコース、ポップ&ロックミュージックコースにおいては、表現技術を総合的に学び、多方面で活躍できる優れたミュージシャンを育てる。
- ・声楽コースにおいては、ベルカント唱法に根ざしたきめ細かい指導により、歌い手としての基礎能力を身につけると共にオペラ教育と海外研修を通じて西欧文化を吸収し、協調性や国際性を養い、個性と創造性豊かな音楽家を育てる。

音楽芸術表現学科にあるコースそれぞれの学びの特長が具体的に学生に伝わるようコース名を表記している。3つのポリシーのうち、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーは学科ごとに専門的能力、学士力に分け、さらに専門的能力の下に「基礎力」「技術力」「専門知識」「表現力」「実践的活動能力」を、学士力の下に、「知識・理解」「汎用的能力」「態度・志向性」「創造的思考力」を設定し、それらの能力が獲得できるよう授業科目を配置している。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学の音楽学部の就職の過去3年間の就職状況は以下のとおりである。

〔表 27〕 就職の状況

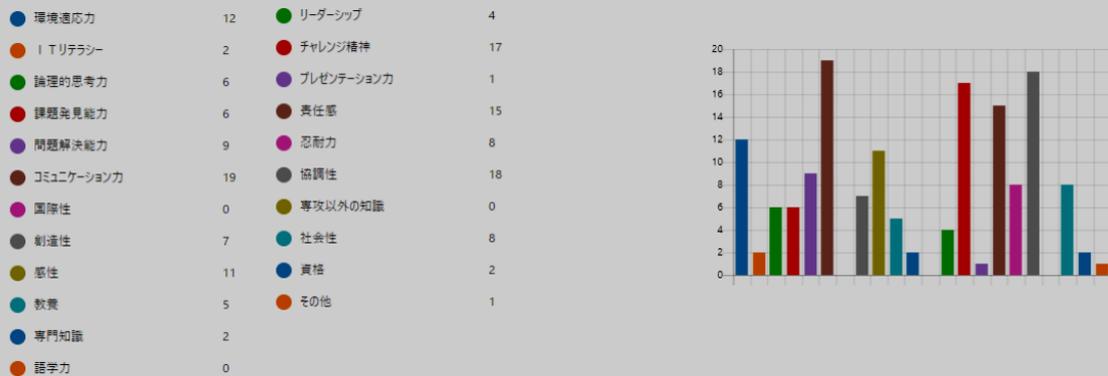
		卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率(%)	求人社数	求人倍率
音楽学部	令和2年度	253	160	137	85.6%	7,987	49.9倍
	令和3年度	261	165	139	84.2%	8,085	49.0倍
	令和4年度	298	178	164	92.1%	8,187	46.0倍

就職率は、就職希望者が実際に就職した割合であるが、卒業生のうち就職する者は例年約半数となっている。令和2年度の進路先の状況としては、就職者が137名、進学者が38名、無業者・未定者が78名となり、就職者の内訳は、中学・高等学校の教員等の教育・学修支援業を筆頭に、卸売・小売業、医療・福祉、生活関連サービス業、宿泊業等多岐にわたる。また、求人社数に対して就職希望者数の求人倍率は令和2年度49.9倍であった。過年度と比較して50倍を下回る結果となったが、コロナ禍においても高い倍率となっている。

音楽大学では卒業後のキャリアとして、企業就職だけではなく、進学、自己研鑽や留学準備、自活しての音楽活動等、様々なキャリアに対応する必要があるため、学生が3年次の際にキャリアセンターのキャリアコンサルタント（国家資格保有者）や就職相談員等による全員面談を実施し、学生個々の卒業後の進路先を把握するように努めている【資料11】。

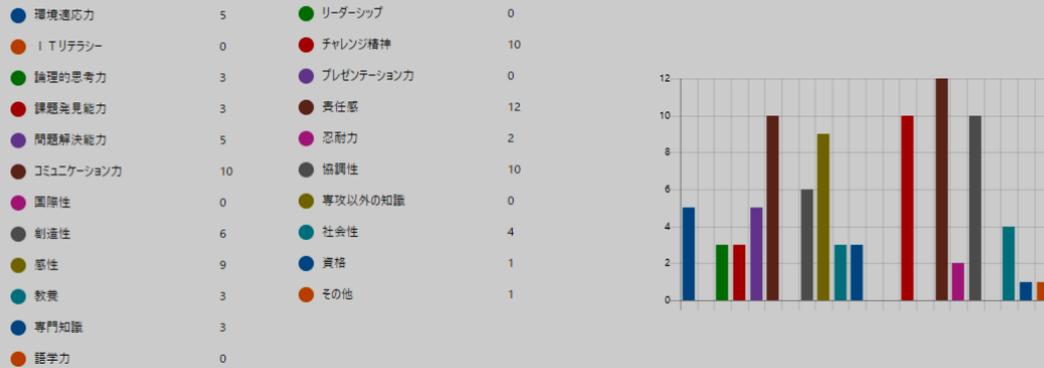
さらに、キャリアセンターでは、本学卒業生の就職先である企業に令和3年10月にアンケート（併設大学と合同実施）を実施した。そのアンケートの設問の中で、「どのような人材を求めているか」「求める人材の中で特に“音大卒”に求めるものは何か」の設問に対して共通して回答の多かったもの（10社以上）が、「コミュニケーション力」「協調性」「チャレンジ精神」「責任性」であった。

8 どのような人材を求めているらっしゃいますか（複数回答可）



〔図 5〕 卒業生の就職先企業へのアンケート：求める人材

9 求める人材の中で特に“音大卒”に求めるものをお知らせください（複数回答可）



〔図 6〕 卒業生の就職先企業へのアンケート：“音大卒”に求めるもの

本学のディプロマ・ポリシーにおいて、「コミュニケーション力」は、「汎用的能力」の中にコミュニケーション能力として獲得できることを明記、「協調性」は「態度・志向性」の中にチームワーク・リーダーシップが獲得できることを明記、「責任性」は「態度・志向性」の中に社会的責任が獲得できることを明記している。本学の人材養成に関する目的が社会的、地域的な人材需要の動向をふまえたものであることが確認できる。

また、本学では併設する短期大学部と合同で学外有識者会議を平成 2 年度から定期開催し、本学で設定しているカリキュラムの内容、学修成果ならびに入学者選抜が適切に行われているか、本学が定める 3 つのポリシーが適切か等、学外の視点から意見を聴く機会を設けている。この会議に招聘した学外有識者は、麻生区役所職員、川崎市文化財団理事長、地元企業の社長、弁護士、地元金融機関支店長、音楽関連企業社員等、地域社会で活躍している者、音楽業界に精通する者である。学外有識者から寄せられた様々な意見は、教職協働で運営する委員会組織で点検・確認し、カリキュラム運用の改善に活用している。

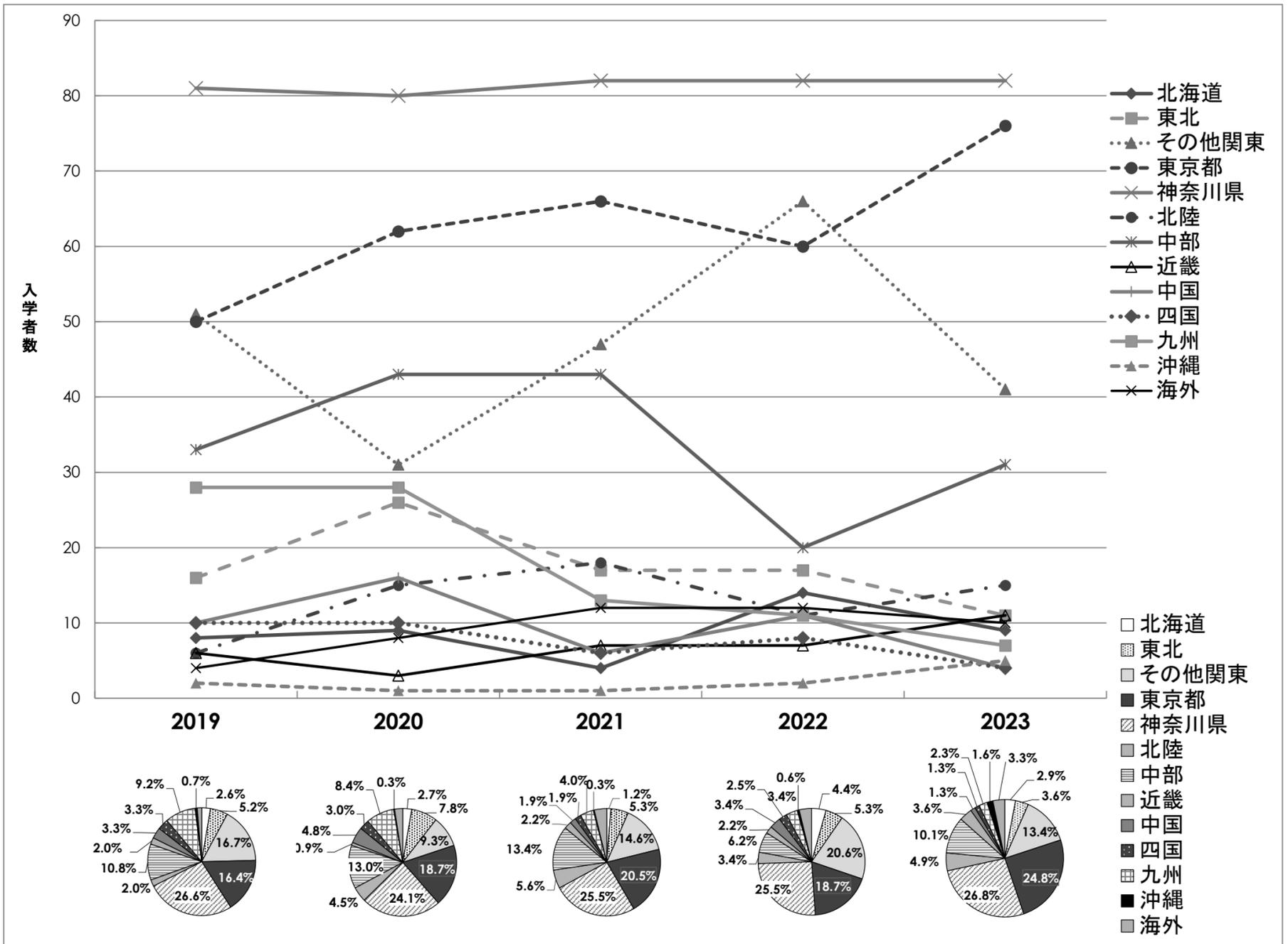
上記のほか、地域における連携事業に数多く参画、協力をしていることで、地域のニーズを直接的に聞く機会を設けている。

**昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の収容定員変更における
学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）**

目 次

- 【資料 1】 音楽芸術表現学科の都道府県別入学者
- 【資料 2】 声とことばの創造表現コース案内
- 【資料 3】 川崎市の収容定員増に関する副申書
- 【資料 4】 全国の音楽系統大学の学生納付金
- 【資料 5】 収容定員の変更に関するニーズ調査 報告書【高等学校 3 年生】
- 【資料 6】 収容定員の変更に関するニーズ調査報告書【資料請求者対象】
- 【資料 7】 収容定員の変更に関するニーズ調査報告書
【神奈川県・東京都 15 歳-19 歳 サンプルング】
- 【資料 8】 音楽系統大学への進学動向に関する市場調査
- 【資料 9】 オープンキャンパス・講習会イベントスケジュール
- 【資料 10】 受験対策スクール Pathways 案内
- 【資料 11】 キャリアセンター案内

【地域別 志願者数推移(音楽学部 音楽芸術表現学科)】



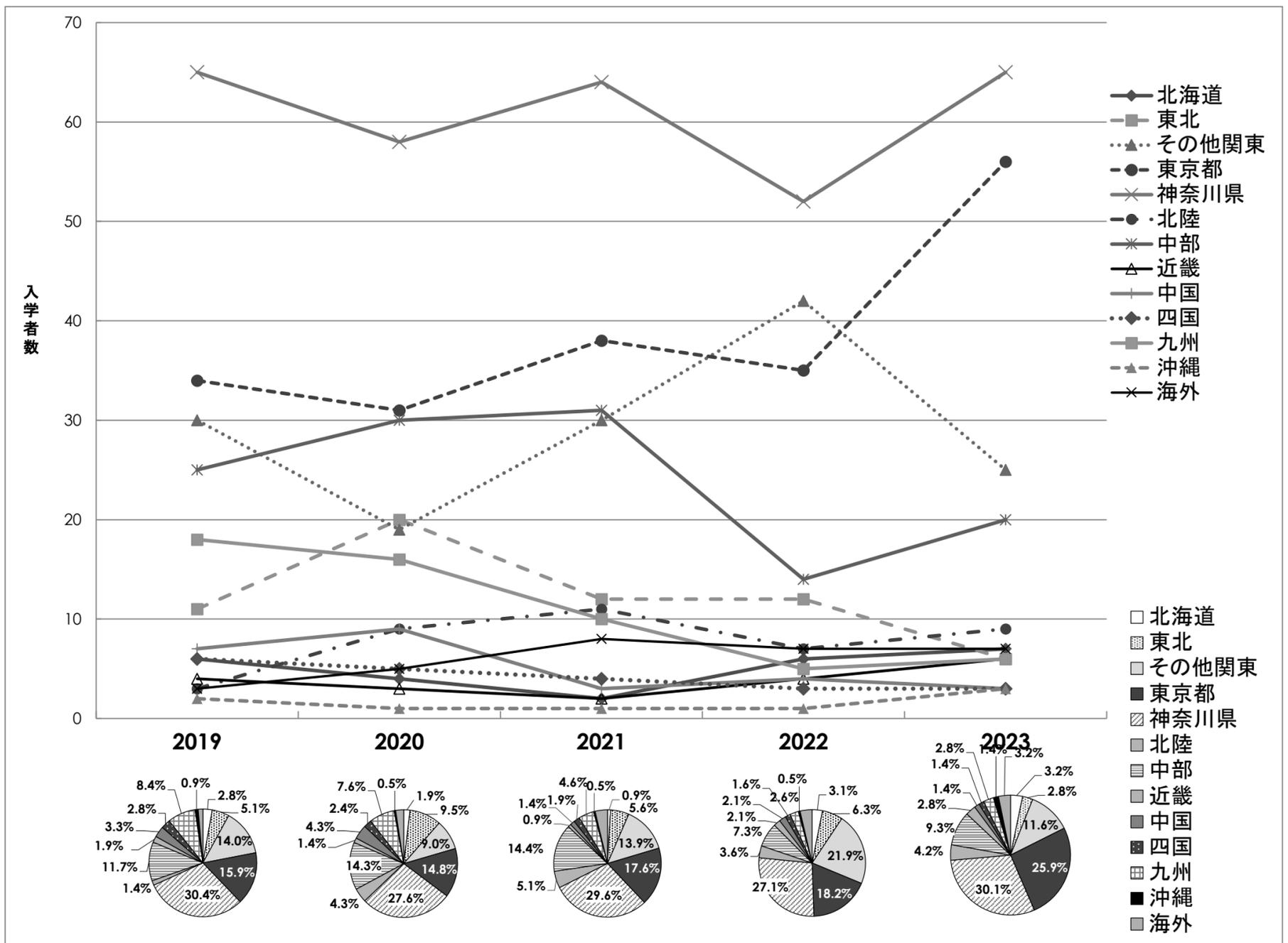
地域	2019	2020	2021	2022	2023	平均	<前年比>
北海道	8	9	4	14	9	8.8	64% ↘
東北	16	26	17	17	11	17.4	65% ↘
その他関東	51	31	47	66	41	47.2	62% ↘
東京都	50	62	66	60	76	62.8	127% ↗
神奈川	81	80	82	82	82	81.4	100% →
北陸	6	15	18	11	15	13.0	136% ↗
中部	33	43	43	20	31	34.0	155% ↗
近畿	6	3	7	7	11	6.8	157% ↗
中国	10	16	6	11	4	9.4	36% ↘
四国	10	10	6	8	4	7.6	50% ↘
九州	28	28	13	11	7	17.4	64% ↘
沖縄	2	1	1	2	5	2.2	250% ↗
海外	4	8	12	12	10	9.2	83% ↘
合計	305	332	322	321	306	317.2	95% ↘

【資料1】

【都道府県別志願者数推移(音楽学部 音楽芸術表現学科)】

地域	都道府県	2019	2020	2021	2022	2023	平均	<前年比>
1 北海道	1 北海道	8	9	4	14	9	8.8	64% ↓
2 東北	2 青森県	1	6	1	0	2	2.0	- ↑
	3 岩手県	0	3	4	4	2	2.6	50% ↓
	4 宮城県	4	5	1	8	3	4.2	38% ↓
	5 秋田県	1	1	3	0	0	1.0	- →
	6 山形県	3	4	2	1	2	2.4	200% ↑
	7 福島県	7	7	6	4	2	5.2	50% ↓
	3 その他関東	8 茨城県	11	10	7	7	5	8.0
9 栃木県		5	2	2	12	2	4.6	17% ↓
10 群馬県		5	3	1	6	7	4.4	117% ↑
11 埼玉県		16	10	27	26	17	19.2	65% ↓
12 千葉県		14	6	10	15	10	11.0	67% ↓
4 東京	13 東京都	50	62	66	60	76	62.8	127% ↑
5 神奈川	14 神奈川県	81	80	82	82	82	81.4	100% →
6 北陸	15 新潟県	3	10	14	0	9	7.2	- ↑
	16 富山県	1	1	2	3	3	2.0	100% →
	17 石川県	1	3	0	6	2	2.4	33% ↓
	18 福井県	1	1	2	2	1	1.4	50% ↓
7 中部	19 山梨県	3	3	5	2	4	3.4	200% ↑
	20 長野県	8	15	12	3	6	8.8	200% ↑
	21 岐阜県	2	0	1	2	0	1.0	0% ↓
	22 静岡県	12	20	16	9	14	14.2	156% ↑
	23 愛知県	8	5	9	4	7	6.6	175% ↑
8 近畿	24 三重県	0	1	0	0	1	0.4	- ↑
	25 滋賀県	0	1	1	0	1	0.6	- ↑
	26 京都府	4	1	0	0	1	1.2	- ↑
	27 大阪府	1	0	1	2	3	1.4	150% ↑
	28 兵庫県	0	0	2	5	1	1.6	20% ↓
	29 奈良県	1	0	3	0	2	1.2	- ↑
	30 和歌山県	0	0	0	0	2	0.4	- ↑
9 中国	31 鳥取県	0	0	0	0	2	0.4	- ↑
	32 島根県	0	1	0	0	0	0.2	- →
	33 岡山県	4	7	2	8	0	4.2	0% ↓
	34 広島県	4	5	3	1	1	2.8	100% →
	35 山口県	2	3	1	2	1	1.8	50% ↓
10 四国	36 徳島県	3	0	1	1	0	1.0	0% ↓
	37 香川県	1	6	1	3	2	2.6	67% ↓
	38 愛媛県	5	1	1	4	1	2.4	25% ↓
	39 高知県	1	3	3	0	1	1.6	- ↑
11 九州	40 福岡県	4	3	9	0	5	4.2	- ↑
	41 佐賀県	1	3	0	0	0	0.8	- →
	42 長崎県	8	7	3	8	1	5.4	13% ↓
	43 熊本県	5	2	1	0	0	1.6	- →
	44 大分県	1	3	0	0	0	0.8	- →
	45 宮崎県	1	6	0	1	0	1.6	0% ↓
	46 鹿児島県	8	4	0	2	1	3.0	50% ↓
12 沖縄	47 沖縄県	2	1	1	2	5	2.2	250% ↑
99 海外	99 外国	4	8	12	12	10	9.2	83% ↓
総計		305	332	322	321	306	317.2	95% ↓

【地域別 入学者数推移(音楽学部 音楽芸術表現学科)】



地域	2019	2020	2021	2022	2023	平均	<前年比>
北海道	6	4	2	6	7	5.0	117% ↗
東北	11	20	12	12	6	12.2	50% ↘
その他関東	30	19	30	42	25	29.2	60% ↘
東京都	34	31	38	35	56	38.8	160% ↗
神奈川	65	58	64	52	65	60.8	125% ↗
北陸	3	9	11	7	9	7.8	129% ↗
中部	25	30	31	14	20	24.0	143% ↗
近畿	4	3	2	4	6	3.8	150% ↗
中国	7	9	3	4	3	5.2	75% ↘
四国	6	5	4	3	3	4.2	100% →
九州	18	16	10	5	6	11.0	120% ↗
沖縄	2	1	1	1	3	1.6	300% ↗
海外	3	5	8	7	7	6.0	100% →
合計	214	210	216	192	216	209.6	113% ↗

【資料1】

【都道府県別 入学者数推移(音楽学部 音楽芸術表現学科)】

地域	都道府県	2019	2020	2021	2022	2023	平均	<前年比>
1 北海道	1 北海道	6	4	2	6	7	5.0	117% ↗
2 東北	2 青森県	0	3	0	0	2	1.0	- ↗
	3 岩手県	0	3	3	3	1	2.0	33% ↘
	4 宮城県	4	3	1	5	0	2.6	0% ↘
	5 秋田県	0	1	2	0	0	0.6	- →
	6 山形県	2	4	0	1	2	1.8	200% ↗
	7 福島県	5	6	6	3	1	4.2	33% ↘
	3 その他関東	8 茨城県	7	5	6	5	3	5.2
9 栃木県		2	0	2	10	1	3.0	10% ↘
10 群馬県		3	3	0	4	4	2.8	100% →
11 埼玉県		12	6	16	13	11	11.6	85% ↘
12 千葉県		6	5	6	10	6	6.6	60% ↘
4 東京	13 東京都	34	31	38	35	56	38.8	160% ↗
5 神奈川	14 神奈川県	65	58	64	52	65	60.8	125% ↗
6 北陸	15 新潟県	1	5	8	0	7	4.2	- ↗
	16 富山県	1	0	1	1	0	0.6	0% ↘
	17 石川県	0	3	0	5	1	1.8	20% ↘
	18 福井県	1	1	2	1	1	1.2	100% →
7 中部	19 山梨県	3	3	5	2	2	3.0	100% →
	20 長野県	6	9	8	3	3	5.8	100% →
	21 岐阜県	1	0	0	2	0	0.6	0% ↘
	22 静岡県	10	14	12	5	11	10.4	220% ↗
	23 愛知県	5	4	6	2	4	4.2	200% ↗
8 近畿	24 三重県	0	1	0	0	1	0.4	- ↗
	25 滋賀県	0	1	0	0	1	0.4	- ↗
	26 京都府	2	1	0	0	0	0.6	- →
	27 大阪府	1	0	0	1	1	0.6	100% →
	28 兵庫県	0	0	1	3	1	1.0	33% ↘
	29 奈良県	1	0	1	0	1	0.6	- ↗
	30 和歌山県	0	0	0	0	1	0.2	- ↗
9 中国	31 鳥取県	0	0	0	0	1	0.2	- ↗
	32 島根県	0	0	0	0	0	0.0	- →
	33 岡山県	3	4	1	3	0	2.2	0% ↘
	34 広島県	2	3	1	0	1	1.4	- ↗
	35 山口県	2	2	1	1	1	1.4	100% →
10 四国	36 徳島県	2	0	0	0	0	0.4	- →
	37 香川県	0	2	1	1	1	1.0	100% →
	38 愛媛県	3	1	1	2	1	1.6	50% ↘
	39 高知県	1	2	2	0	1	1.2	- ↗
11 九州	40 福岡県	3	3	6	0	4	3.2	- ↗
	41 佐賀県	1	1	0	0	0	0.4	- →
	42 長崎県	6	5	3	3	1	3.6	33% ↘
	43 熊本県	2	1	1	0	0	0.8	- →
	44 大分県	1	0	0	0	0	0.2	- →
	45 宮崎県	1	3	0	1	0	1.0	0% ↘
	46 鹿児島県	4	3	0	1	1	1.8	100% →
12 沖縄	47 沖縄県	2	1	1	1	3	1.6	300% ↗
99 海外	99 外国	3	5	8	7	7	6.0	100% →
総計		214	210	216	192	216	209.6	113% ↗

声とことばの創造表現コース カリキュラム (2024年度予定)

大学(音楽学部)

	必修科目	選択必修科目
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI① ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドI① セルフプロデュース&ビジネスI・II ことばと創作 西洋音楽史I 	<ul style="list-style-type: none"> ピアノII① 鍵盤演奏表現I
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI② ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドI② ベーシック・クリエイティブ・エクスペリメンテーション セルフプロデュース&ビジネスIII・IV 日本語の創作と朗読 	<ul style="list-style-type: none"> 創作表現基礎I 創作表現基礎II 創作表現基礎III
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI③ ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドI③ 	<ul style="list-style-type: none"> 創作表現応用I① 創作表現応用II① 創作表現応用III①
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI④ ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドI④ アドヴァンスト・クリエイティブ・エクスペリメンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> 創作表現応用I② 創作表現応用II② 創作表現応用III②

短期大学部(音楽科)

	必修科目	選択必修科目
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI① ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドI① ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドI・II セルフプロデュース&ビジネス① ことばと創作 西洋音楽史I 	<ul style="list-style-type: none"> ピアノII① 鍵盤演奏表現I
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ヴォーカル・テクニック・メソッドI② ヴォーカル・エクスペリメンテーション・メソッドI② クリエイティブ・エクスペリメンテーション セルフプロデュース&ビジネスIII・IV 日本語の創作と朗読 	<ul style="list-style-type: none"> 創作表現基礎I 創作表現基礎II 創作表現基礎III

【大学・短大共通】専門科目(選択)、教養科目(必修・選択)、外国語科目(選択必修)については、「ガイドブック2024」をご覧ください

2024年度「声とことばの創造表現コース」入学試験選抜科目

入学試験科目	内容	注記
主科実技課題	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること</p> <p>(1)当日指定課題の中から短いストーリーを創造し、表現力をもって朗読すること。 (※日本語に限る。声を使った発信力を見極める)</p> <p>(2)音楽実技 次の(a)または(b)のいずれかを選択すること (a)歌唱(クラシック音楽)自由曲1曲。(暗譜でなくてもよい) (b)ポピュラー演奏 次の①～⑨による自由曲(ポピュラー曲)1曲 (暗譜でなくてもよい) ①ピアノ ②ギター ③ベース ④サクソフォーン ⑤トランペット ⑥トロンボーン ⑦ドラムス ⑧パーカッション ⑨ヴォーカル</p>	<p>※(2)の音楽実技について (a)の場合、ピアノ伴奏者は大学が用意。出願時に伴奏譜を提出すること。(b)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。 ①②④⑤⑥⑦⑧はソロ演奏または音源による伴奏付き。③は音源による伴奏付き。音源の種類はAudioCDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、④～⑥は演奏する楽器を抜いた音源を提出すること。⑨はソロ(無伴奏)またはピアノか音源による伴奏付き。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカルを抜いたAudioCDまたは音源ファイルを出願時に提出すること。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC。提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカード。演奏の途中で止める場合がある。</p>
面接科	声と言葉の創造表現についての試問 (出願書類に関する内容を含む)	

その他の科目は入学試験の種類によって異なります。課題・科目は入学試験要項を必ずご参照ください。

入試日程	総合選抜型	実力診断	学校推薦型/特待生選抜①	一般選抜/特待生選抜②
	2023年 ①9月24日(日) ②10月22日(日) ③12月17日(日)	2024年 ④2月24日(土) ⑤3月8日(金)	2023年 ①8月6日(日) ②8月27日(日) 診断で基準に達した科目は総合選抜での試験が免除されます。	2023年 ①11月21日(火)・22日(水) 2024年 ②2月1日(木)・2日(金)

資格取得について 卒業後の様々な進路希望に備えて、資格取得を設置。学生のキャリアを強力にサポート。

教職課程

- 〈昭和音楽大学〉
- ▶高等学校教諭一種免許状[音楽科](申請中)
 - ▶中学校教諭一種免許状[音楽科](申請中)
※ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
◎「教員職員免許法」第16条の5第1項により、中学校、高等学校の免許状で小学校の「専科」の教諭または講師となることもできます。
 - ▶小学校教諭二種免許状
※本学の教職課程と同時に玉川大学通信教育学部の実施する2年間の課程を修めることにより(要本学推薦)、在学中に取得することが可能です。
- 〈昭和音楽大学短期大学部〉
- ▶中学校教諭二種免許状[音楽科](申請中)
※ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
◎「教員職員免許法」第16条の5第1項により、中学校、高等学校の免許状で小学校の「専科」の教諭または講師となることもできます。

司書課程

〈昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部〉
図書館の専門職員に必要な基礎資格を取得できます。※その他の科目の履修状況により、履修できない場合があります。

学芸員課程

〈昭和音楽大学〉
博物館や資料館で活躍する学芸員となるための基礎資格を取得します。※その他の科目の履修状況により、履修できない場合があります。

昭和音楽大学のことをもっと詳しく、楽しく!



学校紹介
ショートムービー
公開中!



Pathways

受験対策スクール、
パスウェイズ
入室生募集中!



2023年5月発行

少しスペース空きますが、入れたい情報ありますでしょうか。
入れるものがなければカリキュラムをもう少しゆったりレイアウトします。



昭和音楽大学 / 昭和音楽大学短期大学部

声とことばの創造表現コース

2024年度
大学・短大に
新設



「表現」のための 「声」と「ことば」を、徹底的に学ぶ

現代には、多様な声とことばの創造表現があります。
長年音楽教育に携わってきた私たちは、今の音楽教育のあり方がはたして現代社会と一致しているのか、また音楽に限らず、声とことばを扱う表現のジャンルにおいて、必要なこと、重視すべきことが実際には実行されていないのではないかという疑念を抱きました。
台本・歌詞・詩など、ことばを声で表現する場において非常に重要な、ことばや文章の正しい理解力と応用力・感情の表現技術を学び、人々に共感・感動を与える創造表現ができる人材を育成することが、この「声とことばの創造表現コース」設立の目的です。

Point!

自分の声の魅力と可能性を発見

声を使った
専門技術と幅広い表現方法を習得

声とことばで
心の動きを表現する力をつける

自己プロデュース力、
コミュニケーション能力を高める

想定する将来の職業例

- ・ミュージカル俳優
- ・声優
- ・ラジオパーソナリティ
- ・司会
- ・音楽家
- ・アニメ声優
- ・アナウンサー
- ・MC
- ・ヴォーカリスト
- ・ナレーター
- ・シンガーソングライター

必修科目(専門科目)

全ての基礎となるヴォイス・トレーニング

個人レッスン形式

ヴォーカル・テクニック・メソッドⅠ①②③④
(声の出し方・呼吸)

〈授業概要〉

クラシックの発声、日常で使用する声の出し方、言葉の発し方の基礎を習得。正しい体の使い方、横隔膜を使った腹式呼吸の方法や声帯、喉、口腔、共鳴、また喉を痛めない発声方法を学びます。呼吸器官と発声器官、声はどこから生まれるのか、その仕組みを理解し、自分の声の適正を見つめ、自分の声がどのように発展していくのかを自覚、探求します。



心から表現する、具体的な方法を学ぶ

クラス演習形式

ヴォーカル・エクспレッション・メソッドⅠ①②③④
(声の表現方法) ※短大は①②

〈授業概要〉

詩や歌詞・ストーリーを正しく理解し、ことば・文章に潜む感情を表現することを学びます。2年次以降は演技も研究。声を使って何かを表現しようとする際の具体的な方法を身につけます。学年が進むとともに自身の学びたい分野の表現を身につけ、自己の表現能力を高めます。



コンテンツとメディアを活用した、自己プロデュース力を身につける

セルフプロデュース&ビジネスⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
(コンテンツ制作・メディア芸術)

〈授業概要〉

自身をどのようにプロデュースしていくかを、専門知識と具体的な方法から学びます。コンテンツ制作の基礎、録音・録画、音声・映像編集などの技術を身につけ、配信実習や配信映像、動画などの制作を通して過程を経験します。周辺状況のリサーチや観客形成などに必要な、メディアやコンテンツ、情報を横断し活用するスキルと思考を養うことで、自己プロデュース力の習得、ひいてはビジネス分野でのパートナー・コンサルティング分野までの到達が可能に。



心に感じたものを言葉にする。言葉の裏側に隠された意味を知る。

ことばと創作
(ことばを創る、考える)

〈授業概要〉

ことばを用いて創作するための基礎を身につけます。ことばを理解すること、その言葉の裏側に隠された意味を読み解くことで表現の幅を広げます。ことばの創作を一定の知識と思考とともに研究します。

日本語の発語の研究。伝わる美しい表現の研究

日本語の創作と朗読
(詩・俳句・戯曲など)

〈授業概要〉

日本の詩・俳句・戯曲などを読み日本語の美しさに触れ、実際に声に出して朗読することで声による表現の基礎を学びます。またそれらの形式を用いて自身の表現したいことを創作。伝わりやすい日本語の発語を学修するとともに、伝える際に心がけること、ことばの選び方なども学修します。

創作発表の基礎・プロセスを学ぶ

ベーシック・クリエイティブ・エクспレッション
(創作発表基礎)

〈授業概要〉

創作発表の発表に向けて、各人が取り組むべき内容をさらに追求します。自己の声の適性を自身でイメージし、各々の題材について発表までの過程を知り、基礎力を身につけます。



大学のみ

4年間の成果を最大限に活かしたアウトプットへ

アドヴァンスト・クリエイティブ・エクспレッション
(創作発表応用)

〈授業概要〉

4年間で研究した分野の集大成となる発表。各分野の専門教員に指導を受け、これまでに学んだことを最大限に生かし卒業制作の発表を行います。そのために、3年次4年次で自身の適正を見極め、将来のビジョンに向かっていくためのより高度な技術を養います。

選択必修科目(一部)

声のプロフェッショナルを目指す

創作表現基礎Ⅰ(アニメソング歌手・アニメ声優)

創作表現基礎Ⅱ(歌手(ジャズ・ポップス・ミュージカル・オペラ))

創作表現基礎Ⅲ(アナウンサー・司会・ナレーター・声優(映画・ドラマ))

※上記の分野より選択

〈授業概要〉

各分野の基礎および導入を、それぞれの専門の教員とともにゼミ形式で学びます。

5 川市文第 2 8 5 号
令和 5 年 6 月 5 日

文部科学大臣 永岡 桂子 様

川崎市長 福田 紀彦



昭和音楽大学の収容定員増加について（副申）

新緑の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市の文教行政に対し、格別の御理解、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本市では、「川崎市文化芸術振興条例」及び「第2期川崎市文化芸術振興計画（改訂版）」に基づき、文化芸術を活かしたまちづくりを推進しております。

市内では、音楽、演劇、美術、舞踊、伝統芸能、その他様々な分野の文化芸術活動が行われており、とりわけ音楽については、平成16年に開館した音楽ホール「ミューザ川崎シンフォニーホール」を核として、音楽を活かしたまちづくりを重要な施策として推進してきており、その施策推進のために欠くことのできない重要な役割を昭和音楽大学は担ってきております。

同大学は、音楽によるまちづくりの推進役として平成16年に設立された「音楽のまち・かわさき」推進協議会の一員として、積極的に文化振興事業に参画するなど、教育機関の有する専門的知識やノウハウを活かし、多大なる貢献を果たしていただいているところでございます。

また、同大学は、昭和59年度の開学以来、社会に有意な人材を多数輩出しつづけており、近年では学べる専門分野も広がりを見せたこともあり、更なる多種多様な領域での幅広い活躍及び貢献が大いに期待されているところであり、同大学がより一層発展することは、本市及び社会全体にとって、ますます重要なものと考えております。

以上のことから、昭和音楽大学の収容定員増加により、在学生・卒業生が増えることは、本市が推進しております音楽によるまちづくりの裾野の拡大に有意義であり、更なる貢献も期待できることから、昭和音楽大学の収容定員増加につきまして、特段の御高配を賜りますよう副申いたします。

川崎市市民文化局市民文化振興室担当
電話（044）200-2030

■全国の音楽系統大学 学生納付金(2023年度)一覧

(単位:円)

大学名	(a)入学金	(b)授業料	(c)施設費 相当費目	費目名	(a)+(b)+(c) 合計	在学期間納入額 合計	備考/その他の費用
昭和音楽大学	200,000	1,390,000	630,000	施設費	2,220,000	8,335,500	同侪会費(入学時のみ)28,000、 学生会費(入学時のみ)27,500
桐朋学園大学	600,000	1,360,000	640,000	施設設備費、運営 維持費	2,600,000	8,600,000	学生会費(毎年)6,600
国立音楽大学	200,000	1,250,000	800,000	施設設備費、維持 運営費	2,250,000	8,400,000	後援会費(毎年)17,000、 同調会入会金(4年次)20,000
武蔵野音楽大学 (ギタートリと音楽総合 学科以外)	150,000	1,390,000	670,000	施設費	2,210,000	8,390,000	後援会費(毎年)10,000
東京音楽大学 (ミュージック・メディ アコース以外)	300,000	1,487,000	525,000	施設拡充費、施設 維持費	2,312,000	8,348,000	卒業記念費(卒業時のみ)10,000、後援会 費(毎年)10,000、後援会入会費(入学時 のみ)10,000、校友会費(4年次) 20,000、教職課程費(2年次)100,000、 第二副科受講料(受講する年度) 100,000、
東邦音楽大学 (専攻:ピアノ、声楽、 管弦打楽器、音楽創 造、音楽療法、教職実 践)	250,000	1,480,000	500,000	施設拡充費	2,230,000	8,170,000	※入学初年度の授業料は1,400,000、施 設拡充費は400,000。卒業関連諸費積立 金(毎年)126,000、学生教育研究災害傷 害保険(入学時のみ)3,300、学生教育研 究賠償責任保険(入学時のみ)1,360、
洗足学園音楽大学	200,000	1,490,000	500,000	施設費	2,190,000	8,160,000	学生教育研究災害傷害保険料・同窓会費 (入学時のみ)72,650、学生教育研究災害 傷害保険料と同窓会費の内訳は不明
エリザベト音楽大学	300,000	1,300,000	300,000	施設維持費	1,900,000	6,700,000	学生会費(毎年)3,000、入学時にはオリ エンテーション費用の一部負担金が必要、詳 細不明。
平成音楽大学	200,000	1,060,000	490,000	施設費	1,750,000	6,400,000	学生教育研究災害傷害保険料、保護者後援 会費、学友会費、同窓会費(入学時のみ) 66,660、学生教育研究災害傷害保険料、 保護者後援会費、学友会費、同窓会費、計 66,660円の内訳は不明

昭和音楽大学
音楽学部 音楽芸術表現学科

収容定員の変更に関するニーズ調査 報告書

【高等学校3年生】

令和5年5月26日
株式会社ブレインアカデミー
データサイエンスセンター



1 調査概要

1 目的

昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の収容定員増について、高等学校3年生のニーズを把握する。

2 調査概要

- (1) 調査対象 昭和音楽大学音楽学部への進学実績がある高等学校の3年生
- (2) 調査方法 対象高等学校に質問票もしくはオンライン回答要領を配布し回答を得る方法
- (3) 有効回答数 1983件（協力いただいた高等学校：27校）
- (4) 調査期間 2023年4月20日から2023年5月23日
- (5) 調査機関 株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター

3 調査項目

調査項目		質問文
属性	性別	性別
	所属学年	所属についてお答えください。
	居住エリア	あなたの居住エリアをお答えください。
	卒業後の進路	卒業後の進路として検討している選択肢をお答えください。
	希望する大学設置種別	検討している大学設置種別を全てお答えください。
	関心ある学びの分野	関心ある学びの分野についてお答えください。
学科の特色	昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科の特色について関心があるものを全て回答してください。	
受験意向	音楽芸術表現学科を受験したいと思いますか。 (あなたの気持ちに近いものを回答してください)	
入学意向	音楽芸術表現学科を受験して合格した場合入学したいと思いますか。	
その他	2023年4月以降に、同じ内容のアンケートに回答したことがありますか。	

2 サマリー

1 「大学」に対する進学需要

有効回答数 1983 件のうち、卒業後の進路として大学進学を検討している回答者は 83.3% (1651 名) であり、その内の 86.3% (1424 名) が私立大学への進学を検討している。

2 「音楽系統」の学びに関する需要

大学進学を検討している回答者においては、経済・経営・商業系統に関心を有している回答者が最も多い (18.7% : 308 名)。昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科に対応する音楽系統は、関心を有している回答者の割合が 13.1% (220 名) であり、経済・経営・商業系、文学・人文系統に次いで 3 番目に多い。

3 学科の特色に関する需要

大学進学希望者 1651 名の内、音楽系統の学びに関心を持つ 220 名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科において関心が持てる項目を伺ったところ、64.5%が「音楽業界の第一線で活躍する教員のレッスン」という特色に関心を示した。

4 受験意向

大学進学希望者 1651 名の内、音楽系統の学びに関心を持つ 220 名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の受験意向を確認したところ、10.0%にあたる 22 名について、明確な受験意思が確認できた。

単一回答		n	%
	全体	(220)	
1	受験したい	22	10.0
2	受験を検討したい	63	28.6
3	受験しない	135	61.4

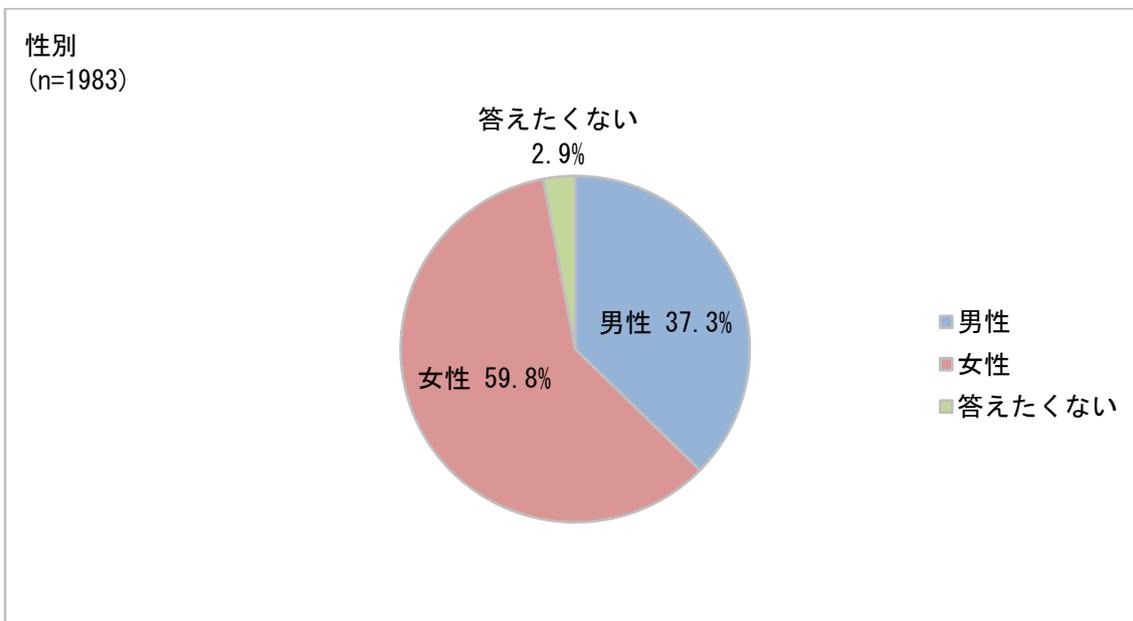
5 入学意向

受験意向を有する (「受験したい」と回答した) 22 名を対象に、入学意向を集計した。その結果、77.3%にあたる 17 名について、明確な入学意思 (「入学したい」) が確認できた。

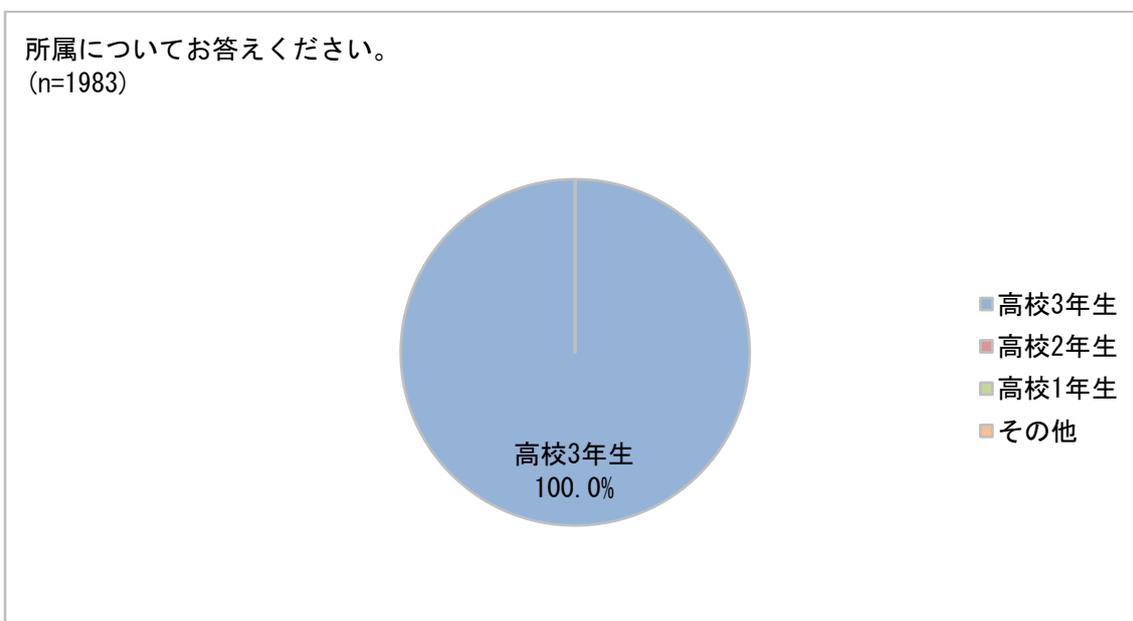
単一回答		n	%
	全体	(22)	
1	入学したい	17	77.3
2	併願校が不合格の場合に入学を検討したい	5	22.7
3	入学しない	0	0.0

3 回答者の属性

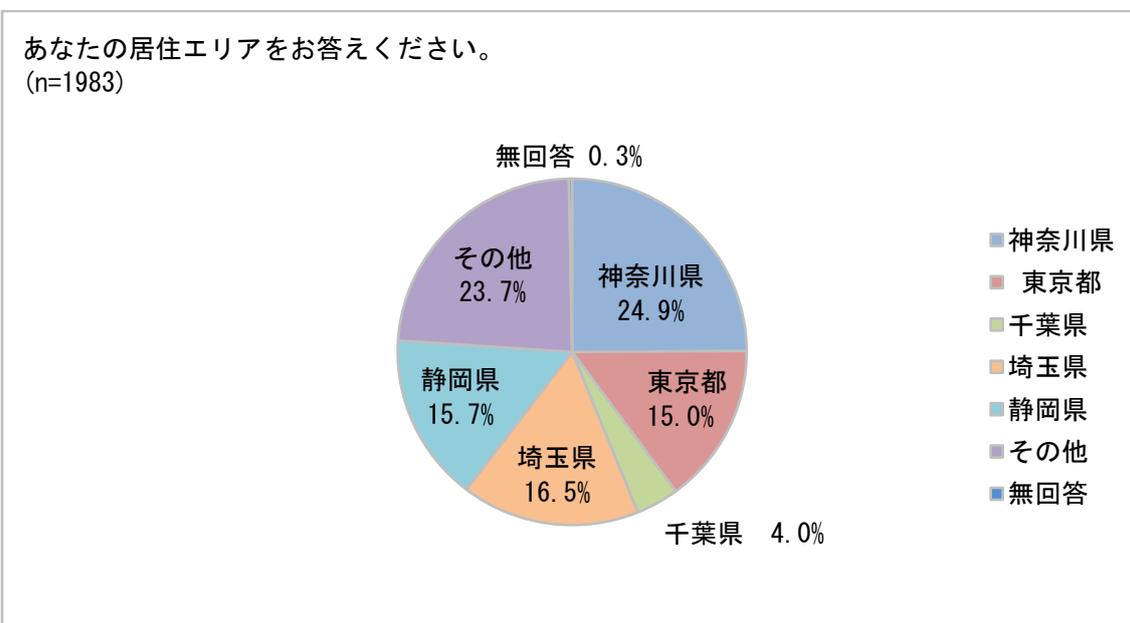
1 性別



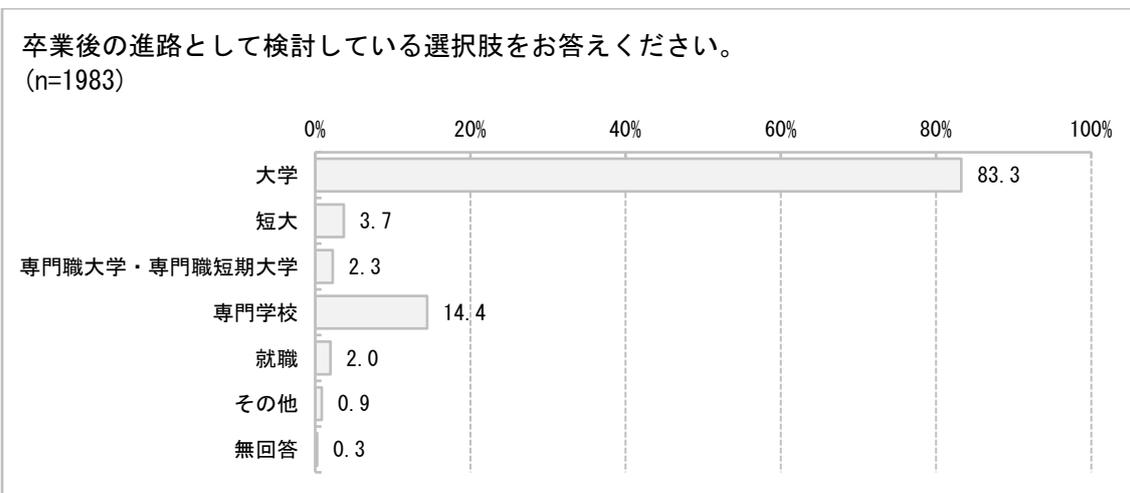
2 所属する学年



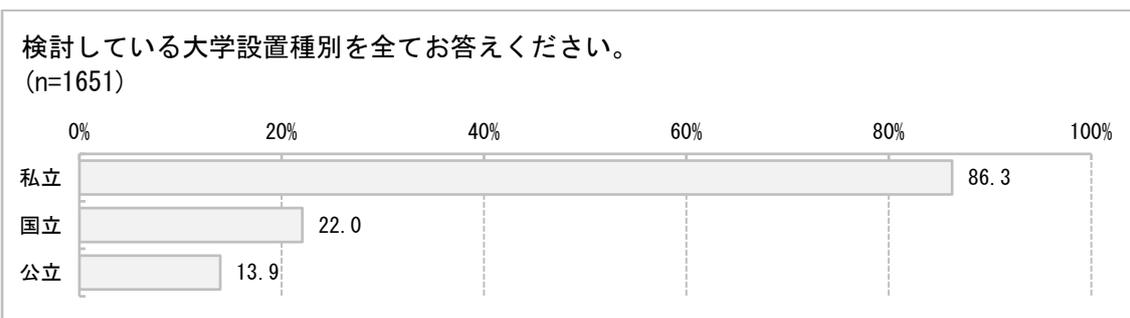
3 居住エリア



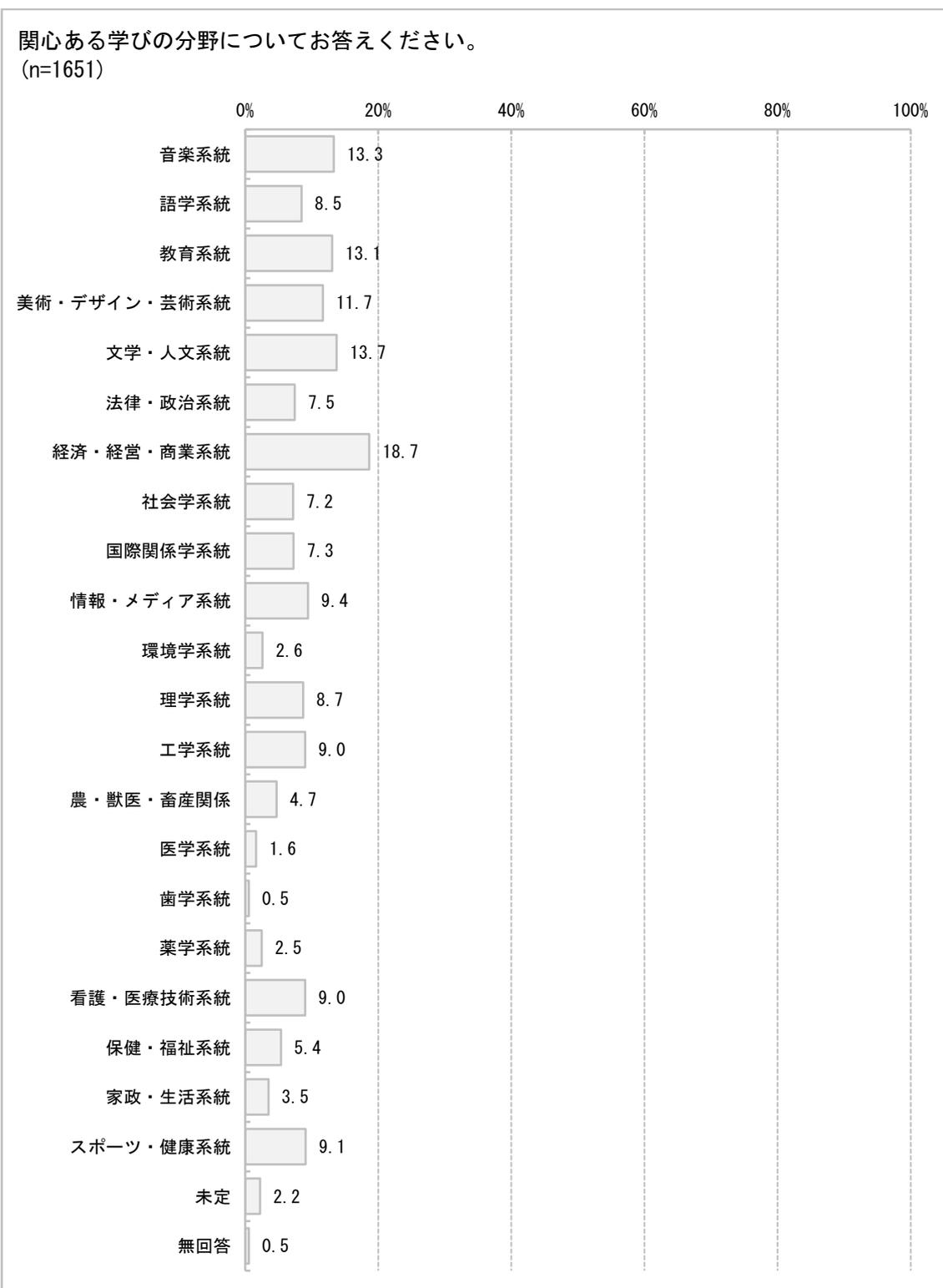
4 卒業後の進路



5 希望する大学設置種別



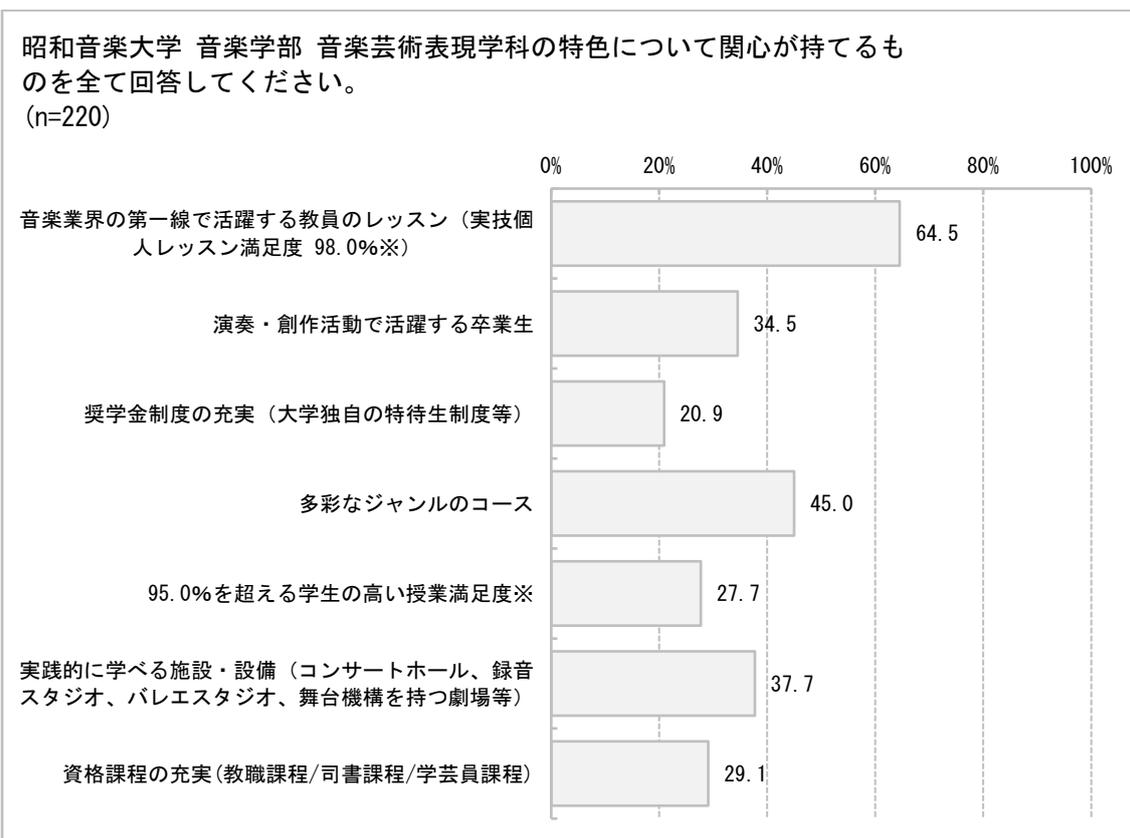
6 関心ある学びの分野



4 ニーズ

大学進学希望者 1651 名の内、音楽系統学びに関心を持つ 220 名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科のニーズに関する調査項目を集計した。

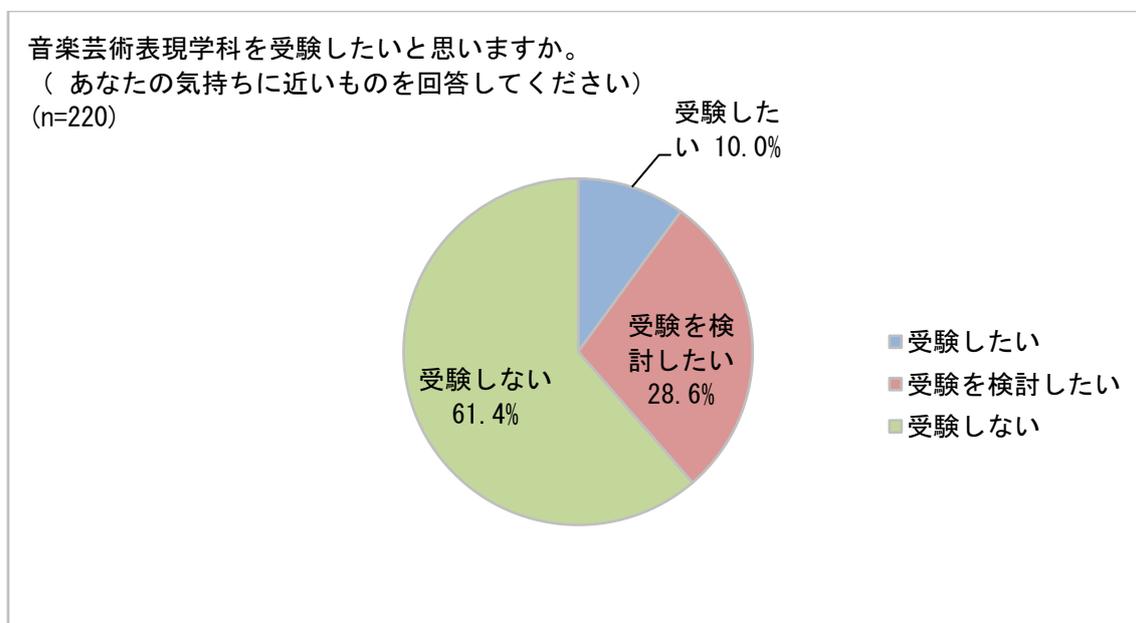
1 学科の特色



複数回答		n	%
	全体	(220)	
1	音楽業界の第一線で活躍する教員のレッスン (実技個人レッスン満足度 98.0%※)	142	64.5
2	演奏・創作活動で活躍する卒業生	76	34.5
3	奨学金制度の充実 (大学独自の特待生制度等)	46	20.9
4	多彩なジャンルのコース	99	45.0
5	95.0%を超える学生の高い授業満足度※	61	27.7
6	実践的に学べる施設・設備 (コンサートホール、録音スタジオ、バレエスタジオ、舞台機構を持つ劇場等)	83	37.7
7	資格課程の充実 (教職課程/司書課程/学芸員課程)	64	29.1

2 受験意向

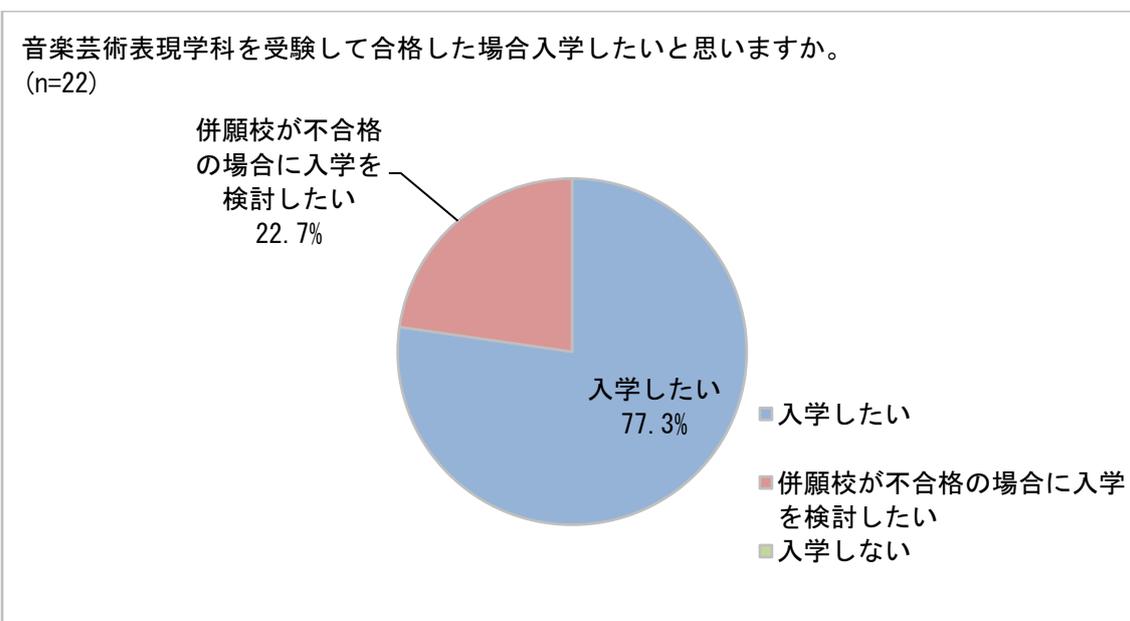
大学の音楽系統に関心を持つ220名の10.0%にあたる22名について、明確な受験意思が確認できた。



単一回答		n	%
	全体	(220)	
1	受験したい	22	10.0
2	受験を検討したい	63	28.6
3	受験しない	135	61.4

3 入学意向

受験意向を有する（「受験したい」と回答した）22名を対象に、入学意向を集計した。その結果、「受験したい」と回答した22名うちの77.3%にあたる17名について、明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた。



単一回答		n	%
	全体	(22)	
1	入学したい	17	77.3
2	併願校が不合格の場合に入学を検討したい	5	22.7
3	入学しない	0	0.0

4 その他

明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた17名のうち2名は、当該学部学科の同目的のアンケートにおいても回答を行っている。

2023年4月以降に、同じ内容のアンケートに回答したことがありますか。

単一回答		n
	全体	(17)
1	ない	15
2	ある	2

資料：依頼状・アンケート用紙等

令和5年5月吉日

ご担当者様

昭和音楽大学
学長 築瀬 進

昭和音楽大学
音楽学部 音楽芸術表現学科の収容定員増に関する
アンケート調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本学の教育研究活動にあたりまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本学では音楽学部 音楽芸術表現学科の収容定員増を検討しております。

このたび、当該学科の入学定員変更に伴う収容定員増に向けた資料とさせて頂くために、貴校の生徒様にアンケートのご協力をお願いしたく存じます。

つきましては、アンケート実施要領及びアンケート用紙等を同封させていただきました。ご確認の上、何卒よろしくお願い致します。

なお、本調査の実施は株式会社ブレインアカデミーデータサイエンスセンターに委託しております。

末筆ながら、貴校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

記

調査の趣旨：学部学科に対するニーズ調査

実施対象：貴校在籍の第3学年生徒

実施締切：令和5年5月20日

実施方法：1 同封の質問用紙とリーフレットを生徒さんに配布いただき、回答をお願いいたします。(所要時間は3分～5分程度です。)

2 同封の返信用封筒にてご返送をお願いいたします。

送付資料：・質問用紙 (回答者数分)

・返信用封筒 (レターパック)

【本アンケート調査に関するお問い合わせ】

◇株式会社ブレインアカデミー (担当：金子) TEL：03-6455-5320 (直通)

【収容定員増予定の学部学科に関するお問い合わせ】

◇昭和音楽大学事務局入試広報室 (担当：森川、程嶋) TEL：0120-86-6606

昭和音楽大学では、音楽学部 音楽芸術表現学科の収容定員増を検討しています。

このアンケート調査は、昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科の収容定員増に関する検討資料とするものです。回答内容があなたの今後の進学（受験・入学等）に影響することはありません。また、この調査の実施及び集計は受託先である株式会社ブレインアカデミーにて行われます。

【資料5】

■質問の答えとなる番号に○をつけてください。

Q1) あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性 3 答えたくない

Q2) あなたの学年をお答えください。

- 1 高校3年生 2 高校2年生 3 高校1年生 4 その他

Q3) あなたの居住エリアをお答えください。

- 1 神奈川県 2 東京都 3 千葉県 4 埼玉県 5 静岡県 6 その他 ()

Q4) 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。(複数回答可)

- 1 大学 2 短期大学 3 専門職大学・専門職短期大学 4 専門学校 5 就職 6 その他 ()



Q5) 大学と回答された方のみ回答：検討している大学の設置種別を全てお答えください。(複数回答可)

- 1 私立 2 国立 3 公立

Q6) 関心のある学びの分野を全てお答えください。(複数回答可)

- 1音楽系統 2語学系統 3教育系統 4美術・デザイン・芸術系統 5文学・人文系統 6法律・政治系統 7経済・経営・商業系統 8社会学系統
9国際関係学系統 10情報・メディア系 11環境学系 12理学系統 13工学系統 14農・獣医・畜産関係 15医学系統 16歯学系統 17薬学系統
18看護・医療技術系統 19保健・福祉系統 20家政・生活系統 21スポーツ・健康系 22未定

Q7以降の質問は、裏面の学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。

Q7) 昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科の特色について関心が持てるものを全て回答してください。(複数回答可)

- 1 音楽業界の第一線で活躍する教員のレッスン(実技個人レッスン満足度 98.0%※)
- 2 演奏・創作活動で活躍する卒業生
- 3 奨学金制度の充実(大学独自の特待生制度等)
- 4 多彩なジャンルのコース
- 5 95.0%を超える学生の高い授業満足度※
- 6 実践的に学べる施設・設備(コンサートホール、録音スタジオ、バレエスタジオ、舞台機構を持つ劇場等)
- 7 資格課程の充実(教職課程/司書課程/学芸員課程)

※2021年度実施/学生による授業評価アンケート

Q8) 昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科を受験したいと思いますか。

(あなたの気持ちに近いものを回答してください)

- 1 受験したい 2 受験を検討したい 3 受験しない



Q8で「1 受験したい」を選択した方のみ回答してください。

Q9) 昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科に合格した場合、入学したいと思いますか。

(あなたの気持ちに近いものを回答してください)

- 1 入学したい 2 併願校が不合格だった場合入学したい 3 入学しない

Q10) 昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。

Q11) 昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科について、同じ内容のアンケート(オンライン回答)を回答したことがありますか。

- 1 ない 2 ある

学科・
コース

 学位：学士(音楽)
入学定員：200名

 昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科
Showa university of Music Department of Musical Arts

 多様なジャンルの
コース

 作曲・音楽
デザイン

声楽

 ピアノミュージック
クリエイター

オルガン

ウインドシンフォニー

 サウンド
プロデュース

ピアノ演奏家 I II

ピアノ音楽

 弦・管・打楽器
演奏家 I II

ジャズ

指揮

ピアノ指導者

電子オルガン

弦・管・打楽器

 ポップ&
ロックミュージック

声とことばの創造表現【2024年度新設】

※主専攻の専門分野をしっかりと学びながら、他分野の科目も選択できるカリキュラムです

 理念・
養成人材像

昭和音楽大学は「礼・節・技の人間教育」を建学の精神に掲げ、国際的な視野をもって幅広いジャンルの音楽作品を創造できる、または舞台等で実践的に活躍できる人材を育成します。

 所在地・
Access


- 所在地：神奈川県川崎市麻生区
- 最寄り駅：小田急線
「新百合ヶ丘」駅
▶ 北校舎徒歩1分
▶ 南校舎徒歩4分



学費



年度	入学金	授業料	施設費	学生会費	同僚会費	合計
入学年度	200,000	1,390,000	630,000	27,500	28,000	2,275,500
2年次以降	-	1,390,000	630,000	-	-	2,020,000

※分納が可能です ※様々な経済的支援制度(特待生・奨学金等)を整備しています

 近隣の
音楽大学

< 東京都・神奈川県内の音楽大学 >

- 昭和音楽大学 [本学]：神奈川県川崎市
- 洗足学園音楽大学：神奈川県川崎市
- 国立音楽大学：東京都立川市
- 東京音楽大学：東京都目黒区/豊島区
- 桐朋学園大学：東京都調布市
- 武蔵野音楽大学：東京都練馬区

昭和音楽大学
音楽学部 音楽芸術表現学科

収容定員の変更に関するニーズ調査 報告書

【資料請求者等対象】

令和5年5月26日
株式会社ブレインアカデミー
データサイエンスセンター



1 調査概要

1 目的

昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の收容定員増について、高等学校3年生のニーズを把握する。

2 調査概要

- (1) 調査対象 昭和音楽大学音楽学部に関心を有する高等学校3年生
(資料請求、広報イベントへの参加者等)
- (2) 調査方法 オンライン回答フォームによる調査
- (3) 有効回答数 145件
- (4) 調査期間 2023年4月20日から2023年5月23日
- (5) 調査機関 株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター

3 調査項目

調査項目		質問文
属性	性別	性別
	所属学年	所属についてお答えください。
	居住エリア	あなたの居住エリアをお答えください。
	卒業後の進路	卒業後の進路として検討している選択肢をお答えください。
	希望する大学設置種別	検討している大学設置種別を全てお答えください。
	関心ある学びの分野	関心ある学びの分野についてお答えください。
	昭和音楽大学の認知	昭和音楽大学についてあてはまるものを全てお答えください。
学科の特色	昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科の特色について関心が持てるものを全て回答してください。	
受験意向	音楽芸術表現学科を受験したいと思いますか。 (あなたの気持ちに近いものを回答してください)	
入学意向	音楽芸術表現学科を受験して合格した場合入学したいと思いますか。	
その他	2023年4月以降に、同じ内容のアンケートに回答したことがありますか。	

2 サマリー

1 「大学」に対する進学需要

有効回答数 145 件のうち、卒業後の進路として大学進学を検討している回答者は 92.4% (134 名) であり、その内の 94.8% (127 名) が私立大学への進学を検討している。

2 「音楽系統」の学びに関する需要

大学進学を検討している回答者においては、昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科に対応する音楽系統に関心を有している回答者が最も多い (97.0% : 130 名)。また、音楽系統に関心を示した 130 名のうち、99.8% は大学案内の閲覧やオープンキャンパス等への参加等、昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科について一定の認知を有している。

3 学科の特色に関する需要

大学進学希望者 134 名の内、音楽系統の学びに関心を持つ 130 名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科で関心が持てる項目を伺ったところ、74.6% が「音楽業界の第一線で活躍する教員のレッスン」という特色に関心を示した。

4 受験意向

大学進学希望者 134 名の内、音楽系統の学びに関心を持つ 130 名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の受験意向を確認したところ、47.7% にあたる 62 名について、明確な受験意思が確認できた。

単一回答		n	%
	全体	(130)	
1	受験したい	62	47.7
2	受験を検討したい	51	39.2
3	受験しない	17	13.1

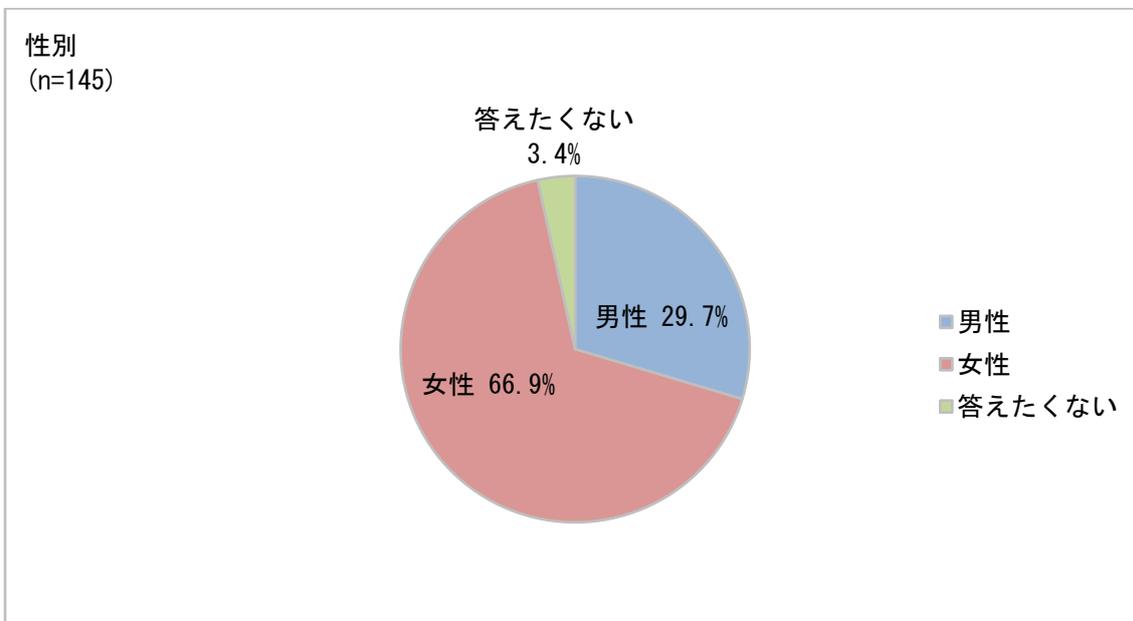
5 入学意向

受験意向を有する（「受験したい」と回答した）62 名を対象に、入学意向を集計した。その結果、93.5% にあたる 58 名について、明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた。

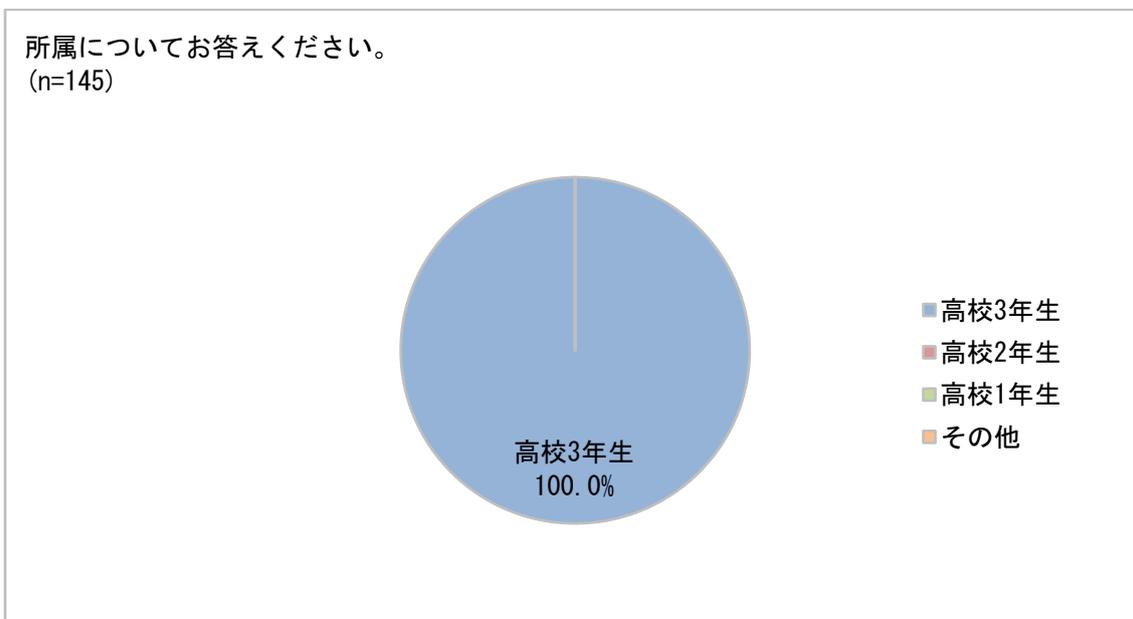
単一回答		n	%
	全体	(62)	
1	入学したい	58	93.5
2	併願校が不合格の場合に入学を検討したい	4	6.5
3	入学しない	0	0.0

3 回答者の属性

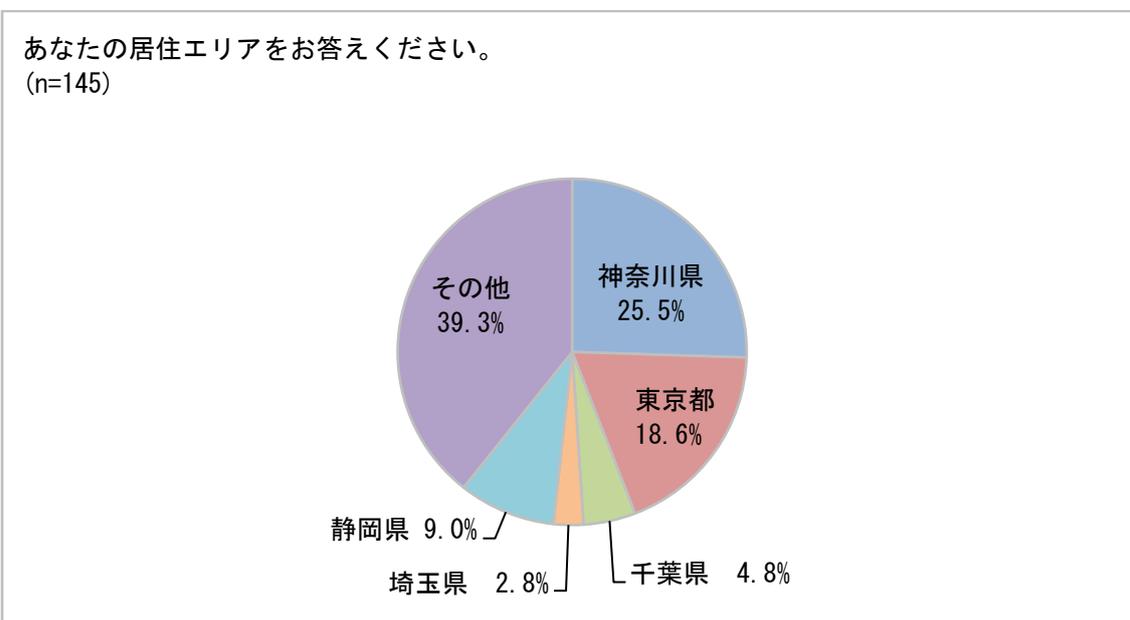
1 性別



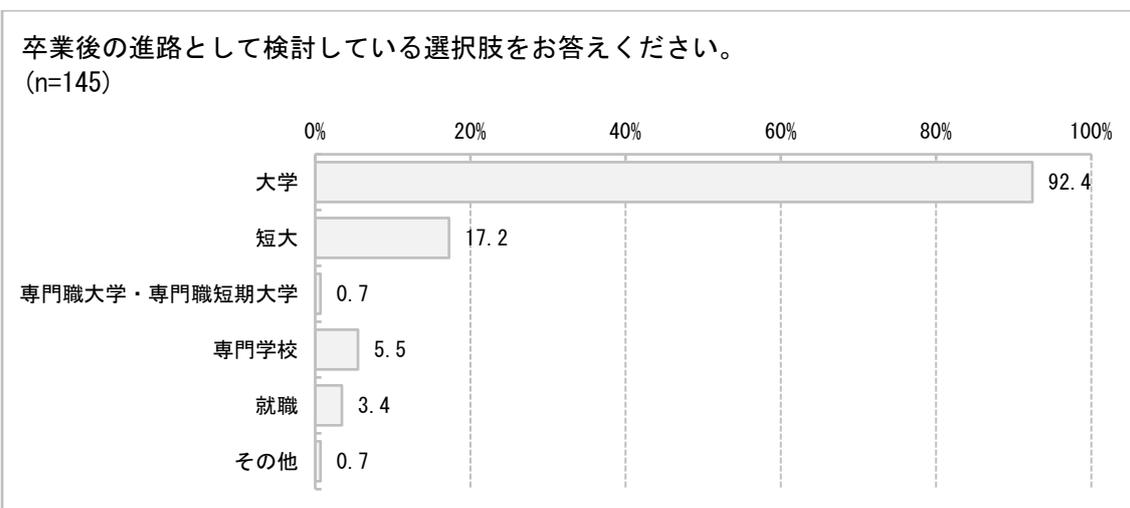
2 所属する学年



3 居住エリア



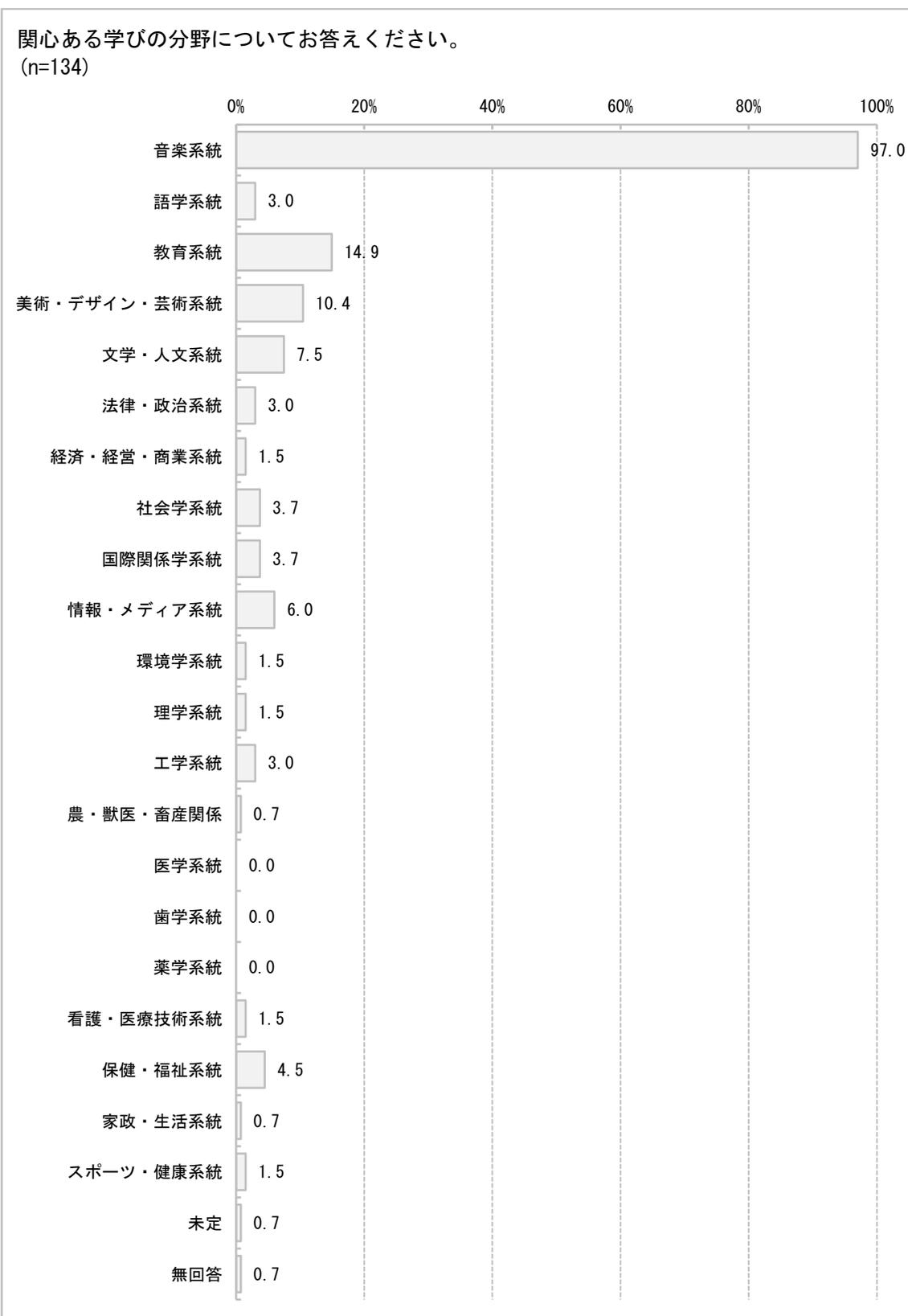
4 卒業後の進路



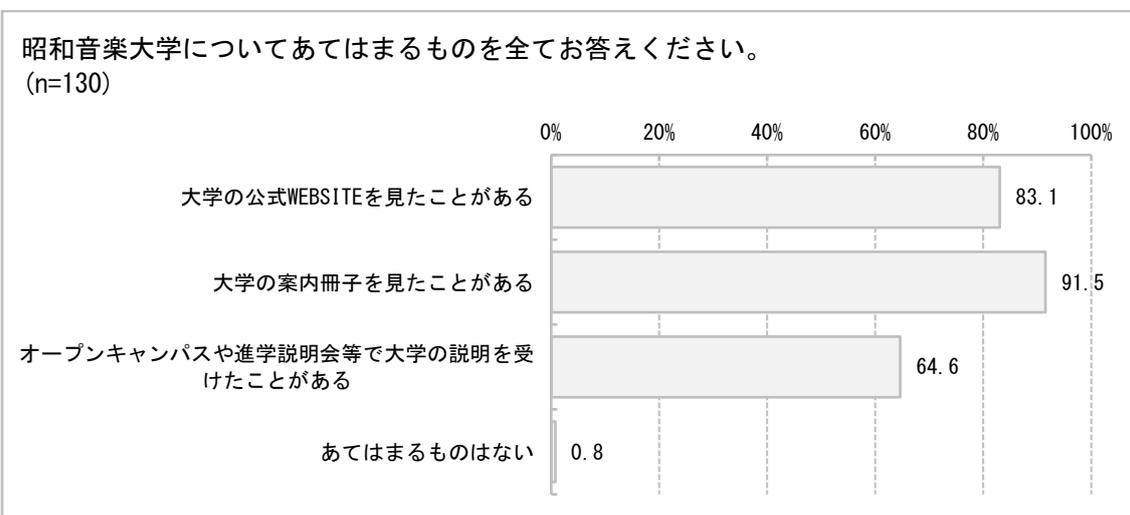
5 希望する大学設置種別



6 関心ある学びの分野



7 昭和音楽大学音楽学部の認知

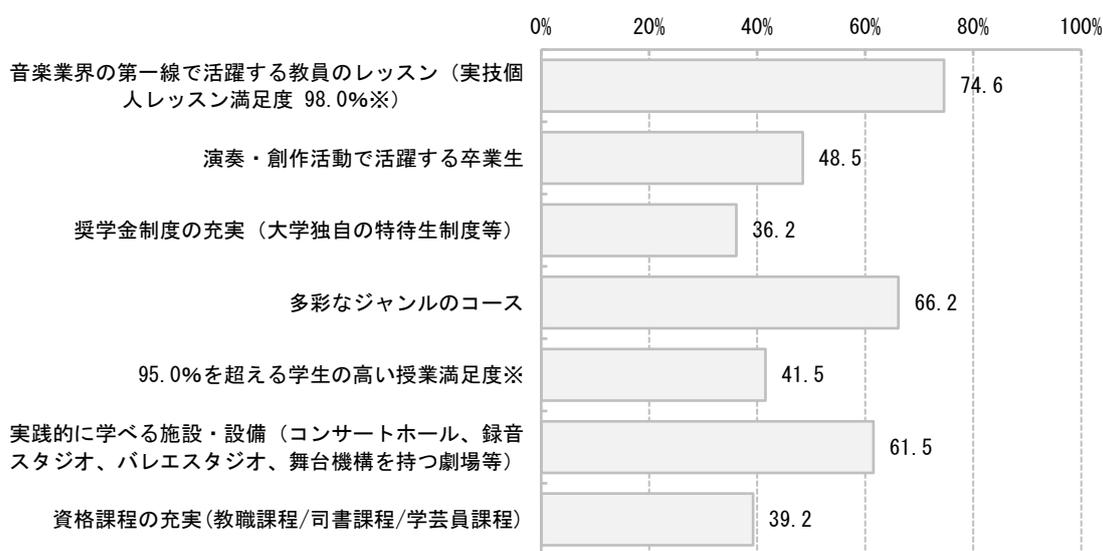


4 ニーズ

大学進学希望者 134 名の内、音楽系統学びに関心を持つ 130 名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科のニーズに関する調査項目を集計した。

1 学科の特色

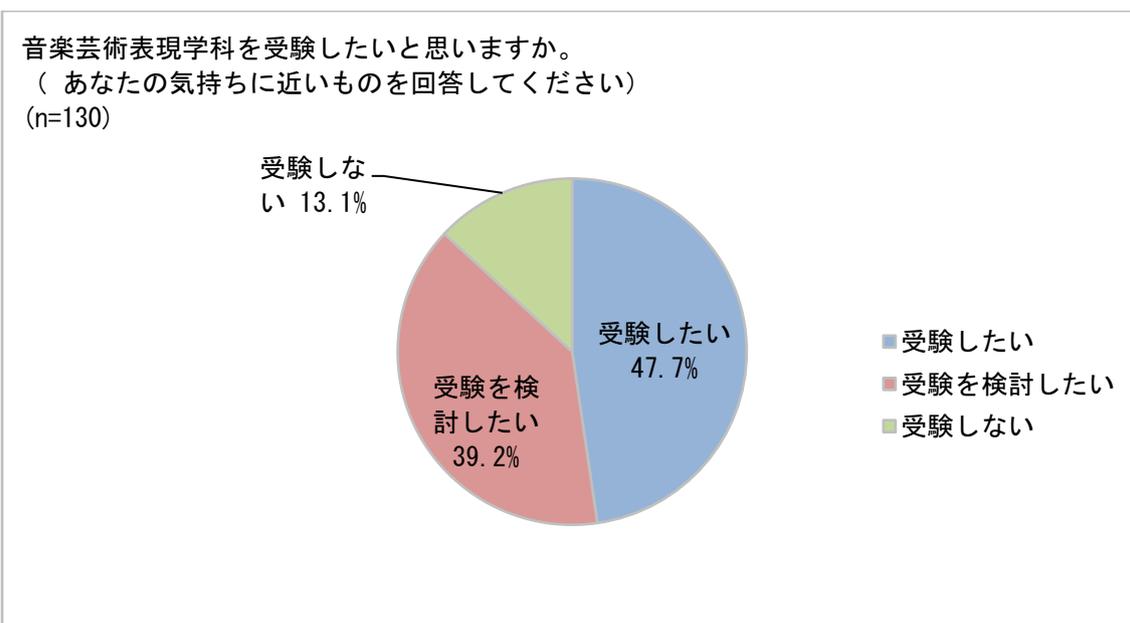
昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科の特色について関心を持てるものを全て回答してください。
(n=130)



複数回答		n	%
	全体	(130)	
1	音楽業界の第一線で活躍する教員のレッスン (実技個人レッスン満足度 98.0%※)	97	74.6
2	演奏・創作活動で活躍する卒業生	63	48.5
3	奨学金制度の充実 (大学独自の特待生制度等)	47	36.2
4	多彩なジャンルのコース	86	66.2
5	95.0%を超える学生の高い授業満足度※	54	41.5
6	実践的に学べる施設・設備 (コンサートホール、録音スタジオ、バレエスタジオ、舞台機構を持つ劇場等)	80	61.5
7	資格課程の充実 (教職課程/司書課程/学芸員課程)	51	39.2

2 受験意向

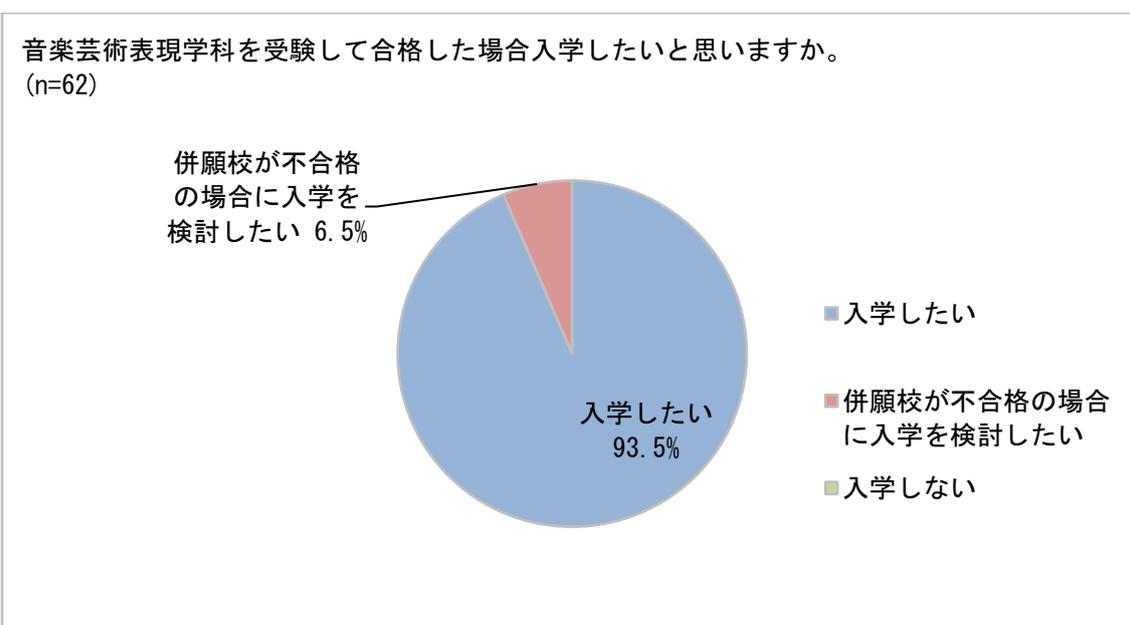
大学の音楽系統に関心を持つ220名の10.0%にあたる22名について、明確な受験意思が確認できた。



単一回答		n	%
	全体	(130)	
1	受験したい	62	47.7
2	受験を検討したい	51	39.2
3	受験しない	17	13.1

3 入学意向

受験意向を有する（「受験したい」と回答した）22名を対象に、入学意向を集計した。その結果、「受験したい」と回答した22名うちの77.3%にあたる17名について、明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた。



単一回答		n	%
	全体	(62)	
1	入学したい	58	93.5
2	併願校が不合格の場合に入学を検討したい	4	6.5
3	入学しない	0	0.0

4 その他

明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた 58 名のうち 11 名は、当該学部学科の同目的のアンケートにおいても回答を行っている。

2023 年 4 月以降に、同じ内容のアンケートに回答したことがありますか。

単一回答		n
	全体	(58)
1	ない	47
2	ある	11

■資料：アンケート回答画面

昭和音楽大学
音楽学部 音楽芸術表現学科
収容定員増に関する
受容性調査

このアンケート調査は、昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科収容定員増に関する検討資料とするものです。

※回答内容があなたの今後の進学（受験・入学等）に影響することはありません。
また、この調査の実施及び集計は受託先である株式会社ブレインアカデミーにて行われます。

回答する

Q1. 性別
*

1. 男性
 2. 女性
 3. 答えたくない

Q2. 所属についてお答えください。
*

1. 高校3年生
 2. 高校2年生
 3. 高校1年生
 4. その他

Q3. あなたの居住エリアをお答えください。

1. 神奈川県
 2. 東京都
 3. 千葉県
 4. 埼玉県
 5. 静岡県
 6. その他

Q4. 卒業後の進路として検討している選択肢をお答えください。
(複数選択)

- 1. 大学
- 2. 短大
- 3. 専門職大学・専門職短期大学
- 4. 専門学校
- 5. 就職
- 6. その他

次へ

Q5. 検討している大学設置種別を全てお答えください。
* (複数選択)

- 1. 私立
- 2. 国立
- 3. 公立

Q6. 関心ある学びの分野についてお答えください。

(複数選択)

- 1. 音楽系統
- 2. 語学系統
- 3. 教育系統
- 4. 美術・デザイン・芸術系統
- 5. 文学・人文系統
- 6. 法律・政治系統
- 7. 経済・経営・商業系統
- 8. 社会学系統
- 9. 国際関係学系統
- 10. 情報・メディア系統
- 11. 環境学系統
- 12. 理学系統
- 13. 工学系統
- 14. 農・獣医・畜産関係
- 15. 医学系統
- 16. 歯学系統
- 17. 薬学系統
- 18. 看護・医療技術系統
- 19. 保健・福祉系統
- 20. 家政・生活系統
- 21. スポーツ・健康系統
- 22. 未定

Q7. 昭和音楽大学についてあてはまるものを全てお答えください。
(複数選択)

- 1. 大学の公式WEBSITEを見たことがある
- 2. 大学の案内冊子を見たことがある
- 3. オープンキャンパスや進学説明会等で大学の説明を受けたことがある
- 4. あてはまるものはない

次のリーフレットも参照しつつ、以下のご質問にお答えください。

※リーフレットの二次元コードリンク先はリーフレットの画面下にてご案内しております。

昭和音楽大学音楽学部 音楽芸術表現学科

学科・コース

学位：学士(音楽)
入学定員：200名

昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科
Showa University of Music Department of Musical Arts

多様なジャンルのコース

作曲・音楽デザイン

声楽

ピアノミュージッククリエイター

オルガン

ウインドシンフォニー

サウンドプロデュース

ピアノ演奏家ⅠⅡ

ピアノ音楽

弦・管・打楽器演奏家ⅠⅡ

ジャズ

指揮

ピアノ指導者

電子オルガン

弦・管・打楽器

ポップ&ロックミュージック

声とこゝろの創造表現【2024年度新設】

※主専攻の専門分野をしっかりと学びながら、他分野の科目も選択できるカリキュラムです

多様なジャンルのコース

理念・養成人材像

昭和音楽大学は「礼・節・技の人間教育」を建学の精神に掲げ、国際的な視野をもって幅広いジャンルの音楽作品を創造できる、または舞台等で実践的に活躍できる人材を育成します。

所在地・Access

所在地：神奈川県川崎市麻生区

最寄り駅：小田急線「新百合ヶ丘」駅
▶北校舎徒歩1分
▶南校舎徒歩4分

学費

年度	入学金	授業料	施設費	学生会費	同僚会費	合計
入学年度	200,000	1,390,000	630,000	27,500	28,000	2,275,500
2年次以降	-	1,390,000	630,000	-	-	2,020,000

※分納が可能です ※様々な経済的支援制度(特待生・奨学金等)を整備しています

近隣の音楽大学

<東京都・神奈川県内の音楽大学>

- ・ 昭和音楽大学 [本学]：神奈川県川崎市
- ・ 東京音楽大学：東京都日野区/豊島区
- ・ 洗足学園音楽大学：神奈川県川崎市
- ・ 桐朋学園大学：東京都調布市
- ・ 国立音楽大学：東京都立川市
- ・ 武蔵野音楽大学：東京都練馬区

更に詳しい情報は下のURLからご確認ください。
(リーフレットの二次元コード同じリンクです。)

■学科・コースの詳細 → <https://www.tosei-showa-music.ac.jp/course/>

■所在地・アクセス詳細 →<https://www.tosei-showa-music.ac.jp/access.html>

■学費減免制度のご紹介 →<https://www.tosei-showa-music.ac.jp/admission/scholarship.html>

Q8. 昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科の特色について関心が持てるものを全て回答してください。

* (複数選択)

- 1. 音楽業界の第一線で活躍する教員のレッスン (実技個人レッスン満足度 98.0%※)
- 2. 演奏・創作活動で活躍する卒業生
- 3. 奨学金制度の充実 (大学独自の特待生制度等)
- 4. 多彩なジャンルのコース
- 5. 95.0%を超える学生の高い授業満足度※
- 6. 実践的に学べる施設・設備 (コンサートホール、録音スタジオ、バレエスタジオ、舞台機構を持つ劇場等)
- 7. 資格課程の充実(教職課程/司書課程/学芸員課程)

Q9. 音楽芸術表現学科を受験したいと思いますか。
(あなたの気持ちに近いものを回答してください)

*

- 1. 受験したい
- 2. 受験を検討したい
- 3. 受験しない

Q10. 音楽芸術表現学科を受験して合格した場合入学したいと思いますか。

*

- 1. 入学したい
- 2. 併願校が不合格の場合に入学を検討したい
- 3. 入学しない

次へ

Q11. 昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。
*

0文字

Q12. 2023年4月以降に、マークシート形式などで、同じ内容のアンケートに回答したことがありますか。
*

- 1. ない
- 2. ある

送信

昭和音楽大学
音楽学部 音楽芸術表現学科

収容定員の変更に関するニーズ調査 報告書

【神奈川県・東京都 15歳-19歳 サンプルング調査】

令和5年6月11日
株式会社ブレインアカデミー
データサイエンスセンター



1 調査概要

1 目的

昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の收容定員増について、高校生及び高等学校3年生のニーズを把握する。

2 調査概要

- (1) 調査対象 東京都・神奈川県在住の15歳-19歳
- (2) 調査方法 LINE リサーチ社のパネルを利用したオンライン調査
- (3) 有効回答数 1,052件
- (4) 調査期間 2023年6月2日から2023年6月3日
- (5) 調査機関 株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター

3 調査項目

調査項目	質問文
所属学年	所属についてお答えください。
卒業後の進路	卒業後の進路として検討しているもの
関心ある学びの分野	関心ある学びの分野についてお答えください。
学科の特色	昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科の特色について関心があるもの
受験意向	音楽芸術表現学科を受験したいと思いますか。
入学意向	音楽芸術表現学科を受験して合格した場合入学したいと思いますか。
自由記述	印象や感想等
その他	2023年4月以降に、同じ内容のアンケートに回答したことがありますか。

4 集計方針等

- ・ 属性回答や前出の関連する質問項目等と矛盾する回答があった場合は、当該項目の集計に原則組み入れない。但し、誤回答と判断するに十分な理由がある場合は、その旨の理由を記載した上で、回答を修正し集計に組み入れることができる。
- ・ 割合表示を含む表は、基となる数を表右上に「n」として標記する。

2 サマリー

- 1 「大学」に対する進学需要
有効回答数 1,052 件の内、高校 3 年生は 189 件であった。高校 3 年生の内、卒業後の進路として大学進学を検討している回答者は 84.6% (160 名) であった。
- 2 「音楽」の学びに関する需要
昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科に対応する「芸術・体育・家政」に関心があり、且つ「芸術・体育・家政」のうち「音楽」に関心を持っている回答者は 15.0% (24 名) であった。
- 3 受験意向
大学進学希望者 160 名の内、「音楽」の学びに関心を持つ 24 名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科の受験意向を確認したところ、4.1%にあたる 1 名について、明確な受験意思が確認できた。

n=24		
	回答数	割合
受験したい	1	4.2%
受験を検討したい	7	29.2%
受験しない	16	66.7%

- 5 入学意向
受験意向を有する（「受験したい」と回答した）1 名について、明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた。
- 6 まとめ
高校 3 年生 189 件の内、0.5% (1 名) において明確な入学意思（「入学したい」の回答）を得ることができた。東京都と神奈川県 の 18 歳人口を 176,088 名¹とすると、その 0.5%は 880 名となる。このサンプリング調査から、当該地域において、880 名の入学意思を持った生徒がいるものと推定できる。

¹ 2024 年度東京都と神奈川県 の 18 歳予測人口 参照：「リクルート進学総研：18 歳人口予測 2016～2027 年」<https://souken.shingakunet.com/research/2017/01/182015-bb85-1.html>

3 回答者の属性

1 居住地

	合計	東京都	神奈川県
合計	1052	631	421
大学・短大生	298	173	125
専門学校生	47	24	23
高校3年生	189	117	72
高校2年生	210	122	88
高校1年生	264	163	101
その他	44	32	12

2 性別

	合計	男性	女性
合計	1052	442	610
大学・短大生	298	95	203
専門学校生	47	15	32
高校3年生	189	79	110
高校2年生	210	94	116
高校1年生	264	130	134
その他	44	29	15

4 【高校3年生】卒業後の進路

n=189

	高校3年生	割合
大学	160	84.7%
短大	9	4.8%
専門職大学・専門職短期大学	5	2.6%
専門学校	14	7.4%
就職	9	4.8%
その他	0	0.0%
あてはまるものはない	3	1.6%

5 関心ある学びの分野

(1) 大分類

n=160

分野	高校3年生	割合
芸術・体育・家政 (音楽・声優・アニメ・音楽メディア関係等含)	37	23.1%
人文科学 (文学・語学)	40	25.0%
社会科学・教育 (法学・経済学・社会学/福祉・教育/保育)	67	41.9%
理工学 (理学・工学)	49	30.6%
農学・獣医学	14	8.8%
医学・保健衛生 (医学/歯学・薬学)	23	14.4%
保健衛生 (看護・リハビリ等)	11	6.9%
その他	5	3.1%

(2) 小分類：芸術・体育・家政（音楽・声優・アニメ・音楽メディア関係等含）

n=160

分野	高校3年生	割合
音楽	24	15.0%
美術・イラスト	14	8.8%
書道	2	1.3%
体育	7	4.4%
マンガ・アニメ	17	10.6%
エンターテイメント	12	7.5%
舞台芸術・演劇（声優含む）	10	6.3%
ファッション	5	3.1%
インテリアデザイン	6	3.8%
食・栄養	6	3.8%
その他	2	1.3%

4 分析

大学進学希望者 160 名の内、音楽の学びに関心を持つ 24 名を対象に昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科のニーズに関する調査項目を集計した。

1 学科の特色

n=24

特色	回答数	割合
音楽業界の第一線で活躍する教員	8	33.3%
演奏・創作活動で活躍する卒業生	8	33.3%
奨学金制度の充実（大学独自の特待生制度等）	9	37.5%
多彩なジャンルのコース	10	41.7%
95.0%を超える学生の高い授業満足度	4	16.7%
実践的に学べる施設・設備	11	45.8%
資格課程の充実（教職課程/司書課程/学芸員課程）	7	29.2%
あてはまるものはない	4	16.7%

2 受験意向

大学の音楽に関心を持つ 24 名中 1 名について、明確な受験意思が確認できた²。

n=24

	回答数	割合
受験したい	1	4.2%
受験を検討したい	7	29.2%
受験しない	16	66.7%

3 入学意向

受験意向を有する（「受験したい」と回答した）1 名については、明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた³。

本サンプリング調査において、高校 3 年生 189 件の内、0.5%（1 名）において「入学したい」の回答を得ることができた。東京都と神奈川県 の 18 歳人口を 176,088 名とすると、その 0.5% は 880 名となる。このサンプリング調査から、当該地域において、880 名の入学意思を持った生徒がいるものと推定できる。

² 明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた 1 名は、受験意向の設問において、「受験を検討したい」との回答をしているが、入学意向の設問において、「入学したい」と回答しており、且つ自由記述欄に「是非入学したい」との入力が確認できたため、「受験を検討したい」の回答を誤回答と判断し、集計時に「受験したい」の回答に修正を行った。

³ 明確な入学意思（「入学したい」）が確認できた 1 名は、当該学部学科の同目的の別のアンケートにおいても回答を行っている。

■資料：アンケート画面

アンケート

あなたについてのアンケート

終了日 2023/06/03 21:05
NO. 22604

いつもご参加ありがとうございます！
あなたのご回答お待ちしております。

所要時間
3分ほど

設問数
最大9問

謝礼
LINEポイント 30P（回答者全員）
アンケート終了後1ヶ月以内に、LINEのメッセージにてお送りします。

実施期間
2023年6月3日(土) 午後9時まで
※本アンケートには回収上限数が設定されています。回収数が上限に達した場合、締切前にアンケートを終了させていただく場合があります。ご了承ください。

実施主体・回答データの取得主体
株式会社ブレインアカデミー
東京都千代田区麹町3-1

情報の取り扱いについて
取得した回答データは、分析及び統計データの作成、マーケティングのために利用いたします。

回答データは調査依頼主に提供する場合がございます。その際、お客様の興味関心や属性を推定した情報を付加して提供します。詳細はこちらをご覧ください。
(https://terms.line.me/line_rules_optimize?lang=ja)

LINEアンケートに事前に登録された氏名・住所・電話番号などの個人情報は、ご本人の事前承諾を得ずに提供することはございません。

回答する

[利用規約](#) | [プライバシーポリシー](#) | [ヘルプ](#)

© LINE Corporation

LINEアンケートからの 大切なお願い

アンケート内容の「スクリーンショット／SNS投稿／他者への口外」などは利用規約で禁止されています。

発覚した場合、本サービスのアカウントを停止することがあります。

禁止事項を守る

次へ

Q1 必須

あなたの学年をお答えください。

ひとつだけ

大学・短大生

専門学校生

高校3年生

高校2年生

高校1年生

その他

次へ

Q2 必須

高等学校卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。

いくつでも

大学

短大

専門職大学・専門職短期大学

専門学校

就職

その他

あてはまるものはない

次へ

Q3 必須

関心のある学びの分野を全てお答えください。

いくつでも

芸術・体育・家政（音楽・声優・アニメ・音楽メディア関係等含）

人文科学(文学・語学)

社会科学・教育（法学・経済学・社会学/福祉・教育/保育）

理工学（理学・工学）

農学・獣医学

医学・保健衛生（医学/歯学・薬学）

保健衛生（看護・リハビリ等）

その他

次へ

Q4 必須

芸術・体育・家政の中で、関心のある分野を全てご回答ください。

いくつでも

音楽

美術・イラスト

書道

体育

マンガ・アニメ

エンターテインメント

舞台芸術・演劇（声優含む）

ファッション

インテリアデザイン

食・栄養

その他

次へ

昭和音楽大学では音楽学部 音楽芸術表現学科について定員増を検討しています。以下、音楽芸術表現学科の概要を適宜ご参照いただきご質問にお答えください。

※本アンケートは匿名であり、回答内容があなたの今後の進学（受験・入学等）に影響することはありません。

次へ

音楽芸術表現学科について

以下の内容は、以降の各質問においても都度再確認できます。

■学科の特色

- ・音楽業界の第一線で活躍する教員のレッスン（実技個人レッスン満足度 98.0%※）
- ・演奏・創作活動で活躍する卒業生
- ・奨学金制度の充実（大学独自の特待生制度等）
- ・多彩なジャンルのコース（指揮や作曲、演奏に関するコースの他、ポップ&ロックミュージック、サウンドプロデュース、声優やアナウンサーなどエンターテインメント・放送業界等での活躍を目指すコースなども開設）
- ・95.0%を超える学生の高い授業満足度※
- ・実践的に学べる施設・設備（コンサートホール、録音スタジオ、バレエスタジオ、舞台機構を持つ劇場等）
- ・資格課程の充実(教職課程/司書課程/学芸員課程)

※昭和音楽大学調べ

■学費：初年度 2,275,500円/2年次以降 2,020,000円

- ・分納可能/様々な大学独自の経済的支援制度あり（特待制度・奨学金制度等）

■所在地：神奈川県川崎市麻生区

最寄り駅：小田急線 新百合ヶ丘駅 徒歩1～4分

■東京都・神奈川県内の音楽大学

- ・昭和音楽大学/東京音楽大学/洗足学園音楽大学/桐朋学園大学/国立音楽大学/武蔵野音楽大学

Q5 必須

昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科の特色について関心が持てるものを全て回答してください。

いくつでも

[説明文をもう一度見る >](#)

- 実践的に学べる施設・設備
- 多彩なジャンルのコース
- 奨学金制度の充実（大学独自の特待生制度等）
- 資格課程の充実(教職課程/司書課程/学芸員課程)
- 95.0%を超える学生の高い授業満足度
- 音楽業界の第一線で活躍する教員
- 演奏・創作活動で活躍する卒業生
- あてはまるものはない

次へ

Q6 必須

音楽芸術表現学科を受験したいと思いますか。

ひとつだけ

[説明文をもう一度見る >](#)

あなたの気持ちに近いものを回答してください。

- 受験したい
- 受験を検討したい
- 受験しない

次へ

Q7 必須

音楽芸術表現学科を受験して合格した場合入学したいと思いますか。

ひとつだけ

[説明文をもう一度見る >](#)

あなたの気持ちに近いものを回答してください。

- 入学したい
-
- 併願校が不合格の場合に入学を検討したい

次へ

Q8

音楽芸術表現学科について印象や感想、要望等がありましたら記載してください。

[説明文をもう一度見る >](#)

印象や感想、要望等

入力してください。

次へ

Q9 必須

2023年4月以降に、マークシート形式などで、同じ内容のアンケートに回答したことがありますか。

ひとつだけ

- ない
-
- わからない
-
- ある

次へ

昭和音楽大学

音楽系統の大学への
進学動向に関する市場調査

令和5年6月10日
株式会社ブレインアカデミー
データサイエンスセンター



1 調査概要

1 目的

南関東の音楽系統の大学進学に関するニーズ調査

2 調査概要

- (1) 調査対象 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県に在住する15歳から19歳の学生
- (2) 調査方法 LINE リサーチ社のパネルを利用したオンライン調査
- (3) 有効回答数 1,051 件
- (4) 調査期間 2023年6月2日から2023年6月3日
- (5) 調査機関 株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター

2 回答者の属性

居住地と学年

	全体	高校3年生	高校2年生	高校1年生	中学生	その他
	1051	210	223	232	47	339
埼玉県	189	46	45	37	7	54
千葉県	184	36	45	41	7	55
東京都	399	80	68	92	18	141
神奈川県	279	48	65	62	15	89

3 集計結果

1-1 受験候補の一つとして考えている大学を全てお答えください。複数回答

	n 数	高校3年生	高校2年生	高校1年生	中学生
	712	210	223	232	47
【私立】洗足学園音楽大学 (神奈川県)	17	5	6	2	4
【私立】昭和音楽大学(神奈川県)	11	4	3	3	1
【私立】東京音楽大学(東京都)	11	4	3	2	2
【私立】日本大学 芸術学部 音楽学 科(東京都)	13	6	3	4	0
【私立】国立音楽大学 音楽学部 (東京都)	8	3	2	1	2
【私立】桐朋学園大学 音楽学部 (東京都)	6	1	2	2	1
【私立】武蔵野音楽大学(東京都)	11	3	2	6	0
【私立】東邦音楽大学(埼玉県)	5	2	2	1	0
【私立】聖徳大学 音楽学部 音楽学 科(千葉県・女子のみ)	6	3	1	0	2
国公立大学の音楽系統の学部	9	4	2	3	0
あてはまるものはない	663	199	208	216	40

1-2 昭和音楽大学と同時に受験候補とされた大学

受験候補の一つとして考えている大学を全てお答えください。複数回答

n=11

大学名	人数	割合
【私立】洗足学園音楽大学（神奈川県）	5	45.5%
【私立】東京音楽大学（東京都）	4	36.4%
【私立】日本大学 芸術学部 音楽学科（東京都）	3	27.3%
【私立】国立音楽大学 音楽学部（東京都）	4	36.4%
【私立】桐朋学園大学 音楽学部（東京都）	1	9.1%
【私立】武蔵野音楽大学（東京都）	4	36.4%
【私立】東邦音楽大学（埼玉県）	4	36.4%
【私立】聖徳大学 音楽学部 音楽学科 （千葉県・女子のみ）	3	27.3%
国公立大学の音楽系統の学部	2	18.2%

- 2 現在、第一希望の進学先として検討している大学を一つご回答ください。
単一回答

	n 数	高校3年生	高校2年生	高校1年生	中学生
	49	11	15	16	7
【私立】洗足学園音楽大学 (神奈川県)	1	0	0	0	1
【私立】昭和音楽大学(神奈川県)	3	1	2	0	0
【私立】東京音楽大学(東京都)	3	1	1	1	0
【私立】日本大学 芸術学部 音楽学 科(東京都)	3	1	1	1	0
【私立】国立音楽大学 音楽学部 (東京都)	5	1	2	1	1
【私立】桐朋学園大学 音楽学部 (東京都)	4	1	0	2	1
【私立】武蔵野音楽大学(東京都)	1	0	1	0	0
【私立】東邦音楽大学(埼玉県)	5	1	1	1	2
【私立】聖徳大学 音楽学部 音楽学(千葉県・女子のみ)	2	1	0	0	1
国公立の音楽系統の学部	7	1	1	4	1
あてはまるものはない	15	3	6	6	0

- 4 大学・短大・専門学校オープンキャンパスや入試相談会で、「参加してみたい！」と思うようなイベント内容や情報があれば教えてください。

居住地	回答
神奈川県	音楽系の学校は、体験授業が出来たら嬉しいです。私はバレエやミュージカルが好きなので普段どのように授業をしているのか知りたいです。
神奈川県	交通費支給があるととても踏み出しやすいです！
東京都	その特色を体験して体感できるようなもの
東京都	大学生と気軽に話せる場が欲しいです
神奈川県	大学生の方とお話ができるなど
千葉県	模擬授業、在学生による相談会
埼玉県	研究室を見学できるイベント
千葉県	合唱や合奏など演奏会
千葉県	オープンキャンパス
千葉県	普段の授業の体験
千葉県	授業を体験出来る
東京都	1日体験とか、
神奈川県	実験などの体験
千葉県	体験授業
東京都	体験入学
千葉県	講義体験
埼玉県	声優体験
東京都	体験型



オープンキャンパス・講習会



年間を通じて開催。
レッスンや模擬授業でキャンパスを体験できます。

OPEN CAMPUS



見るだけじゃない! 体験してキャンパスライフを感じてみよう!

<p>5/7(日) 5/20(土) 6/25(日) 7/9(日)</p> <p>模擬授業などが体験できます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全体ガイダンス ●コース説明 ●模擬授業 ●キャンパス見学 ●学生によるミニコンサート ●個別受験相談 ●学食・カフェ体験 <p><small>*日程により内容が異なります。</small></p>	<p>8/2(水)・3(木)</p> <p>夏期講習会 期間中に開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大学・短大全体説明 ●個別受験相談 ●大学院説明会 ●入試・奨学金・キャリア支援説明 ●学生アパート相談 <p><small>夏期講習会期間中は コース別のイベントも同時開催</small></p>	<p>9/23(土)</p> <p>受験講習会と 同時開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全体ガイダンス ●キャンパス見学 ●個別受験相談 ●学生によるミニコンサート ●学食・カフェ体験
<p>10/8(日)</p> <p>オペラの舞台を 見てみよう!</p> <p>[対象] 声楽、合唱指導者 アートマネジメント 舞台スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大学オペラ公演観劇 他 	<p>11/4(土)・5(日)</p> <p>昭和音大祭も 楽しめます!</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全体ガイダンス ●キャンパス見学 ●昭和音大祭・サークル活動鑑賞 	<p>12/23(土)・24(日)</p> <p>冬期講習会 期間中に開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大学・短大全体説明 ●個別受験相談 ●大学院説明会 ●入試・奨学金・キャリア支援説明 ●学生アパート相談 <p><small>冬期講習会期間中は コース別のイベントも同時開催</small></p>
<p>2024年 3/23(土)</p> <p>春休み中に 音大生を体験!</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コース説明 ●模擬授業 ●キャンパス見学 ●学生によるミニコンサート ●個別受験相談 ●学食・カフェ体験 		

ほかにもコース別のオープンキャンパスを随時、実施します。〈日程はウェブサイトですら随時お知らせします〉

コース別イベント Pick Up!

本学教員から無料で
アドバイスがもらえるチャンス!

<p>Pop & Rock/Jazz アンサンブルセミナー</p> <p>本学教員がアドバイスを行う アンサンブルレッスンです。 個人またはバンド単位で 参加可能です。</p> <p>5/7(日) 6/25(日) 9/23(土)</p>	<p>ミュージカル 実技チャレンジ</p> <p>ミュージカルの基礎テクニック、 「ヴォーカル」「ダンス」「視唱」「演技」の 4項目のテストを行い、 本学教員がアドバイスします。</p> <p>5/7(日) 6/3(土) 7/9(日)</p>	<p>バレエ バレエレッスン</p> <p>本学教員による、 実際の授業と同様の レッスンを体験!</p> <p>6/25(日) 9/23(土)</p>
--	---	--

昭和音大祭 2023

11/4(土)・5(日)

楽しい企画を
たくさん用意して
皆さまをお待ちしています!

オープンキャンパスも
同時開催!

平日 キャンパス見学 & 個別受験相談

事前のご予約で下記のようなメニューを体験いただけます。お気軽にお問い合わせください。
●キャンパス見学 ●大学・短大全般、コース説明 ●個別受験相談 等
※学事日程等によりご希望に沿えない場合がございます。



講習会



レッスンや授業を受けてステップアップ!

受験講習会

全国 32 都市で開催

- 実技個人レッスン ●副科ピアノ ●楽典 ●聴音
- 新曲視唱・コールユープンゲン ●ミュージカルコース向け新曲視唱
- ミュージカルダンスレッスン ●ポピュラー音楽理論 ●個別受験相談

本学の講師陣があなたの街でレッスンします。

北海道	北見 5/14(日)	帯広 5/21(日)	札幌 5/28(日)	東北	郡山 5/14(日)	盛岡 5/28(日)	仙台 6/11(日)	山形 6/18(日)	青森 7/2(日)	関東	表参道 4/30(日)	関東	新百合ヶ丘 5/7(日)	銀座 5/14(日)	横浜 5/21(日)	前橋 5/28(日)	宇都宮 6/4(日)	水戸 6/4(日)	新百合ヶ丘 6/25(日)	中部	名古屋 5/7(日)	中部	静岡 6/4(日)	甲府 6/11(日)	新潟 6/11(日)	浜松 6/18(日)	金沢 7/2(日)	松本 7/2(日)	岡山 5/21(日)	高松 5/21(日)	高知 5/28(日)	関西・中国・四国	京都 6/4(日)	大阪 6/18(日)	九州・沖縄	福岡 5/21(日)	鹿児島 6/4(日)	那覇 6/18(日)	長崎 6/25(日)	熊本 7/2(日)
-----	------------	------------	------------	----	------------	------------	------------	------------	-----------	----	-------------	----	--------------	------------	------------	------------	------------	-----------	---------------	----	------------	----	-----------	------------	------------	------------	-----------	-----------	------------	------------	------------	----------	-----------	------------	-------	------------	------------	------------	------------	-----------

◎会場により申込締切日が異なります。
◎会場や担当教員などの詳細はウェブサイトですら随時更新しています。

キャンパス開催 本学教員のレッスンを気軽に体験できる1日。

8/26(土) 9/23(土) 10/21(土) 11/12(日) 2024年 1/21(日) 2024年 3/24(日)

夏期講習会 8/2(水)~5(土)

受験生受講率No.1!! 夏休みにレベルアップ

冬期講習会 12/23(土)~26(火)

バレエやミュージカルまで、充実の短期集中講座!



- 実技個人レッスン
- 副科ピアノ
- 楽典・ソルフェージュ講座
- ミュージカル講座
- バレエ講座
- DTM講座
- アートマネジメント/
舞台スタッフ/
音楽療法模擬授業
- 個別受験相談

◎日程および内容は変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトにて随時お知らせします。

オンライン個別相談実施中!

平日 11:00 ~ 18:00 [1回30分程度]

無料アプリ「Zoom(ズーム)」で本学教員・
進学アドバイザーが質問にお答えします。
◎希望日の3日前までにお申込ください。
詳細・お申し込みはこちらからアクセス▶

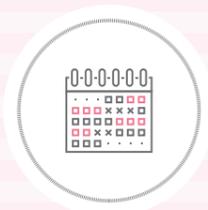


オープンキャンパス、講習会のお申込は ウェブサイトですら!

詳細をご確認の上、お申込フォームよりご希望のイベントにお申込みください。



◎お申込締切後も可能な限り受け付けますので、ご相談ください。
お問い合わせ | ☎ 0120-86-6606 [10:00~18:00(土・日・祝除く)]
入試広報室 | [E-mail] nyushi@tosei-showa-music.ac.jp



SCHEDULE 2023

イベント・入試スケジュール

2023年度



オープンキャンパス、講習会には
中学生や高校1・2年生も多数参加しています!

対面 オンライン オンライン参加も
可能です!

【資料9】

受験生
特典 講習会参加で
入学検定料が割引に!

下記講習会で有料科目を受講された方は、
2024年度入学検定料の一部割引します。
◎受験年度生、既卒者対象(詳細はお問い合わせください)

◎予定は変更となる場合があります。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月	
イベント	オープン キャンパス		5/7(日)・20(土) 音大生を体験しよう!	6/25(日)	7/9(日)	8/2(水)~5(土) 期間中コース別の開催	9/23(土)	10/8(日) 大学オペラ公演の舞台裏・劇場を見学!	11/4(土)・5(日) 昭和音大祭 オープンキャンパス	12/23(土)~26(火)	期間中 コース別 に開催	模擬授業で コースの特色を 体感しよう!	3/23(土)	
	講習会		受験講習会 4/30(日)~7/2(日) 毎週日曜日・休日に開催 開催地はP.113をご参照ください。		受験生 受講率 No.1 実力診断前日!	夏期講習会 8/2(水)~5(土) 受験講習会 8/26(土)	9/23(土) 総合型選抜前日	10/21(土) 学校推薦型、特待生を受験の方にオススメ	11/12(日)	12/23(土)~26(火) 冬期講習会	1/21(日) 受験講習会	春休みは 新学期に向けて レベルUP!	3/24(日) 受験講習会	
大学・短大 入試	総合型選抜 ◎2回を上限に再受験が可能です。		全国32都市で 出張レッスンを 行います。		夏期講習会翌日 ★ 受験講習会翌日	実力診断 第1回 8/6(日) 実力診断 第2回 8/27(日)	第1回 9/24(日)	第2回 10/22(日)		第3回 12/17(日)		第4回 2/24(土)	第5回 3/8(金)	
	学校推薦型選抜/ 特待生選抜/ 一般選抜				★	★ 入学者選抜 要項発表 (7月初旬) ◎学校推薦型選 抜(指定校)の 要項は7月中 旬頃、高校宛 に直接お送り します。	出願期間 第1回 9/4(月) ~11(月)	出願期間 第2回 10/3(火)~10(火)		出願期間 第3回 11/30(木)~12/7(木)		出願期間 第4回 2/8(木)~15(木) 第5回 2/27(火)~3/4(月)		
	編・転入学試験 ◎短大生、他大学生が昭和音楽大学に 編・転入学するための入試です。				★				学校推薦型/特待生第1回 11/21(火)・22(水) 出願期間 11/1(水)~7(火)	★ 学校推薦型と 特待生は 同時出願が 可能です。		一般/特待生第2回 2/1(木)・2(金) 出願期間 1/5(金)~15(月)	★ 大学入学 共通テストの 成績が利用 できます。	
	音楽専攻科(大学)/ 研究生(大学・短大)入試 ◎音楽専攻科、研究生は1年間、主科 実技の研鑽に取り組みます。大学 または短大卒業後に進学する方 のための入試です。				★	★ 学生募集 要項発表 (7月中旬予定)				★ 出願資格を 確認する 事前審査が 必要です。	第1回 12/17(日) 出願期間 第1回 11/30(木)~12/7(木)	第2回 2/1(木)・2(金) 第3回 2/24(土) 出願期間 第2回 1/5(金)~15(月) 第3回 2/8(木)~15(木)	音楽専攻科(前期)・研究生① 2/1(木)・2(金) 音楽専攻科(後期)・研究生② 2/24(土) 出願期間 前期・① 1/5(金)~15(月) 後期・② 2/8(木)~15(木)	研究生③ 3/8(金) 出願期間 ③ 2/27(火)~3/4(月)
	修士課程入試				★				第1回試験日 11/22(水)・23(木) 出願期間 11/1(水)~7(火)		★ 出願前に本学教員による 事前指導を受けることが 必要となります。	第2回試験日 2/2(金)・3(土) 出願期間 1/5(金)~15(月)	★ 第1回入試の 受験者は 合格基準 未到達の科目 のみでOK!	
博士後期課程 入試			★	★							★ 試験日 2/22(木)・23(金) 出願期間 2/8(木)~14(水)			



各種イベントの一部や
入試はオンラインでも
実施します!
詳細は本学ウェブサイト
をご確認ください。

音大受験によりそう



受験対策スクール「パスウェイズ」

Pathways

Study with 昭和音楽大学

What's Pathways?

Pathways 特設サイトはこちら



Pathways (パスウェイズ) とは？



受験対策の貴重な機会として、多くの受験生にご活用いただいている「受験講習会」。大変人気の高いクラスですが、単発開催のため「同じ先生に継続して習いたい」という声を多くいただいていた。

「Pathways (パスウェイズ)」は、大学・短大の講師によるレッスンを継続的に受けられる、昭和音大の受験対策スクールです。

Pathways (パスウェイズ) の特長

1

人気の
「受験講習会」が
スクール化



2

音大講師が
直接教える
音大受験対策



3

在籍生だけの
特典も満載



音大受験を
めざす方に。
進むべき道
を照らします。

音楽を人生の友としてこれから歩んでいきたいと願うあなたへ。

「Pathways (パスウェイズ)」はあなたの音大受験を応援するために昭和音楽大学が新たに創設したキャンパス内スクールです。

80年以上の伝統を持つ昭和音大のキャンパスで大学・短大の講師から直接指導を受けられる充実の環境。技術の向上はもちろんのこと信頼できる先生との出会いは音楽を学ぼうえでかけがない宝となるはずです。

昭和音大をもっと身近に、リアルに感じて。私たちは、同じ音楽を愛する者としてあなたの夢を全力でサポートします。

【資料10】

大学・短大の講師から直接学べる

実技個人レッスン、楽典・ソルフェージュとともに、大学・短大で教鞭をとる担当講師が直接指導し、合格までしっかりとサポートします。同じ先生に継続的に学ぶことで、音楽にとって大切な信頼関係を築きながら、確かな力を身につけていきます。

実技個人レッスン(45分/90分)

レッスン時間は、1回45分または90分からお選びいただけます。一人ひとりのレベルに合わせた確かな指導で、あなたの夢に寄り添います。

個人レッスン(実技)

実技個人レッスン45分

月額 10,000円 1回45分(月2回)

実技個人レッスン90分

月額 19,000円 1回90分(月2回)

Pathwaysのレッスンは昭和音大のすべての実技科目に対応しています。

ピアノ

オルガン

電子
オルガン

弦・管・
打楽器

クラシック
ギター

声楽

ミュージカル
ヴォーカル

ジャズ

ポップ&ロック

作曲

指揮

※定期的なレッスンが難しい方は、1回ごとに希望日時でのお申込みも可能です。(1回45分/6,000円) ※バレエ、ダンス(ミュージカル)は現在開講しておりません。バレエ、ダンスをご希望の方は、ご相談ください。

楽典・ソルフェージュ(個人/グループ)

音大受験にはかせないプログラム。複数の講座を組み合わせて受講することもできます。グループ授業はもちろん、マンツーマンの個人授業も開講しています。

グループ授業(対面のみ)

楽典(グループ)

月額 6,000円 1回60分(月2回)

ポピュラー音楽理論(グループ)

月額 6,000円 1回60分(月2回)

聴音(グループ)

月額 5,000円 1回45分(月2回)

※曜日別に複数クラスを開講中。開講日時はWEBサイトをご確認ください。

個人授業

楽典(個人)

月額 9,000円 1回45分(月2回)

ポピュラー音楽理論(個人)

月額 9,000円 1回45分(月2回)

ソルフェージュ(個人)

月額 9,000円 1回45分(月2回)
聴音、新曲視唱、コールユープンゲンのいずれかを選択



受講対象

高校生・中学生
(既卒生含む)

- 月2回(年間24回)開講 ●入室金は不要です
- 実技レッスンとソルフェージュは組み合わせで受講することもできます

無料体験レッスンで気軽にトライアル

初回に限り無料で体験することができます(完全予約制)。習いたい先生が決まっている場合は、先生の希望を出すことも可能です。※体験レッスンの申込方法は裏面をご覧ください。

Pathways (パスウェイズ) 在籍生の特典

特典

1

入学金減免

以下の条件を全て満たした本学(大学・短大・大学院)の入学者には、入学金の一部相当額が減免されます。

- 受験時に在籍していること。
- 6ヶ月以上在籍、規定回数*を受講していること。 *1科目12回以上

特典

2

大学附属図書館の無料利用(閲覧等)

特典

3

Naxosミュージックライブラリーの
アカウント付与(無料利用)

「Naxosミュージックライブラリー」は、クラシック音楽に特化したインターネット音楽配信サービスです(PC/スマートフォン対応)

特典

4

夏期・冬期講習会受講料割引

特典

5

大学主催イベントのご招待(無料鑑賞)

特典

6

練習室の無料貸し出し(レッスン当日のみ)

特典

7

試奏会の開催(参加費あり)

Pathways 説明会 & 相談会

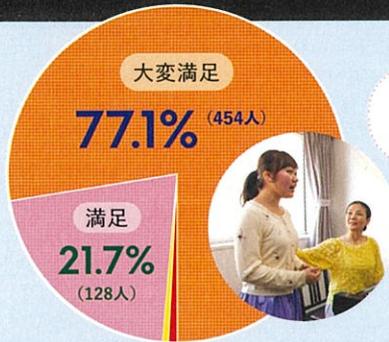
【資料10】

Pathwaysの内容やレッスンまでの流れ等を説明・相談する機会です。



※お申込みはPathways特設サイトにて受け付けております。※上記日程以降も開催します。最新情報は特設サイトよりご確認ください。※個別の相談も可能ですので、個別相談希望の方はお問い合わせください。

昭和音大のレッスン*は満足度 98%!



*2022年度「受験講習会」参加者のアンケート結果(有効回答数589)



体験者の声
やさしく丁寧に、わかりやすく教えてくださいました。レッスンを通して、成長を実感できました。

有名な先生方から直接指導を受けられ、とても貴重な経験になりました。音大は数居が高いものと思っていましたが、身近に感じられるようになりました。

音楽の楽しさを体感しました。曲に向かう姿勢が前向きになり、素敵な演奏につながりました。

Pathways 受講生の声

遠方の関係で不定期でのレッスンではありましたが、最後まで丁寧に教えて頂きました。一足早く、大学の実技レッスンを受けているような感覚なので、受験への自信に繋がりました。

ピアノ演奏家コース
松村凜士郎さん(2023年入学)

技術的なことだけでなく、音楽を演奏する際意識することなども教えていただきました。実際に音楽の現場で活躍されている先生からお仕事のお話を伺うことができたのも、とても勉強になりました。

ポップ&ロックミュージックコース(ドラム)
福島若菜さん(2023年入学)

よくいただく質問



昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部専願(第1志望)でない受講できませんか?



本学専願以外の方も受講可能です。



実技は2種類以上受講できますか?



実技個人レッスンは2種類以上受講も可能です。例:声楽とピアノ、ピアノと作曲など...



遠隔地からも受講できますか?



オンラインで受講可能です。



先生の希望は出せますか?



体験レッスンおよび入室申込時にご希望を伺います。ただし、希望に添えないこともございます。また、実際のレッスンの曜日・時間は、先生と相談のうえ決定となります。

無料体験レッスンのお申込み、Pathwaysについてのより詳しい情報はPathways特設サイトをご覧ください。

Pathwaysについてより詳しくご紹介している特設サイトをご用意しています。また、無料体験レッスン(45分)のお申込みは、Pathways特設サイトの「体験レッスンお申込フォーム」より受け付けております。

※無料体験レッスンは、楽器1種類につき1回までとなっております。2種類まで可能です。

Pathways 特設サイトはこちら



<https://event.tosei-showa-music.ac.jp/pathways/>

ご入室までの流れ

無料体験レッスンのご受講

入室申込

入室手続き

※無料体験レッスンをご受講せずにお申込みいただくことも可能です。※入室申込は、入室申込専用フォームより受け付けております。※お申込み後、事務局よりご連絡しお申込み内容を確認させていただきます。

お問い合わせ

昭和音楽大学

Pathways(パスウェイズ)事務局

〒215-8558

神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

(昭和音楽大学南校舎内)

TEL▷044-953-6602

(10:00 ~ 17:00 ※土日祝日除く)

E-mail ▽

pathways-01@tosei-showa-music.ac.jp



昭和音楽大学
昭和音楽大学短期大学部
昭和音楽大学大学院

🎵 キャリアセンターで出来ること

- 個別相談* (将来や今のキャリアに関することなら何でもOK)
- 応募書類 (ES・履歴書等) の添削
- 面接の練習
- 求人票・インターンシップの閲覧
- 学内企業説明会や講座の案内・申し込み
- キャリアに関する書籍の閲覧
- 学内講座のアーカイブ視聴や情報収集
- オーディション・コンクール情報の閲覧
- OB/OGの紹介

※《個別相談》のご案内

 キャリアを相談したい	 オーディション・コンクールについて
卒業後の仕事って?	オーディションの情報が知りたい
どうやって進めるの?	コンクールへ応募をしたい
 面接対策がしたい	 履歴書・ES etc. を書きたい
面接でなにを話せばいいの?	書き方が分からない!
面接の準備や流れがわからない	自己PR、どうしたらいい?
オンライン面接が不安	

経験豊富なキャリアコンサルタントや キャリア相談員が皆さんをサポート

	<p>キャリアコンサルタント</p> <p>谷 倫子</p> <p>国家資格キャリアコンサルタント。スチューデントコンサルタント。幼少よりヴァイオリンを学ぶ。音大受験を考えるも一般大学の国文科へ進学。元ソニー生命保険本社内勤10年超。</p>
	<p>キャリアコンサルタント</p> <p>荒木 有美子</p> <p>国家資格キャリアコンサルタント。両立支援コーディネーター。元日本航空国際線客室乗務員、元ECCエアライン科講師。現在、他に研修講師(新入社員、接遇マナー、クレーム対応など)、総合大学キャリアコンサルタント。</p>
	<p>キャリア相談員</p> <p>伊藤 久美子</p> <p>スチューデントコンサルタント。元ヤマハミュージッククリテイティング社員。音大ピアノ専攻卒、就活時エントリーした企業の数は120社超。</p>

履歴書について

就職活動では、大学指定の履歴書を使おう!

1枚目は

キャリアセンターで無料配付しています。
(要学生証提示・見本付き)

2枚目以降は

河合購買店で扱っています。
河合購買店がお休みのときは履歴書を購入することができません。
特に長期休み(春休み・夏休み)前はあらかじめ準備を用意しておきましょう!

豊富な求人票やキャリアに役立つ
講座・説明会・イベントなど
サポート情報がたくさん!



ポータルサイト キャリアセンターより

昭和音楽大学 キャリアセンター

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

場所 南校舎地下1階【図書館のとなり】

時間 月～金曜日の9:00～17:30

メール career@tosei-showa-music.ac.jp

2022.12 作成

【資料11】



Career Center Guide

キャリアセンターのご案内



キャリアセンター

キャリアセンター見取図

「演奏家になりたい」「教員・講師になりたい」「音楽業界で力を試したい」…皆さんの目標は何ですか？

音楽や舞台芸術を通して身につけた技術やコミュニケーション力の先には多様な可能性が広がっています。

キャリアセンターは学生一人ひとりの夢や希望に寄り添い支援しています。

フリーコーナー

開室時間内はいつでも利用できます。室内にある冊子を読んだり、講座のアーカイブを視聴。ちょっとした質問や報告に活用しましょう。また、不定期にグループディスカッションを開催しています(ポータルサイト「キャリアセンターより」に情報掲載しています)。



メッセージボード

本学学生のために届いた求人票の一部(キャリアズやポータルサイト掲載の求人票)やインターンシップ情報、先輩からのメッセージなども掲示しています。



個別相談 (3箇所)

キャリアについての漠然とした思いや、キャリア活動の進め方など、皆さんの不安な気持ちや、希望に寄り添い、希望者にはオンラインでもサポートしています。学年を問わず利用できます。



先輩からのワンポイントアドバイス

履歴書の書き方や面接の練習など親身なアドバイスで、安心してキャリア活動に臨むことができました。

学年別イベント情報

マイナビやリクナビなどのイベント情報の他、外国人留学生の方、就労支援などの情報があります。



オンラインブース (3箇所)

企業とのオンライン説明会や面接などに利用いただけます。リングライト・USB・背面にはカーテンを設置しています。
※利用方法・予約・ポータルサイトへ繋がります



受付・相談窓口

わからない事は、まずここで聞いてみましょう。内定報告書の閲覧や提出、就職試験や内定者研修で授業を欠席した際もここに相談してみよう。



オーディション・コンクールコーナー

交響楽団、吹奏楽団、合唱団に加えてミュージカル劇団・バレエ団・テーマパークのエンターテイナーなど幅広い分野でのオーディション情報があります。また、器楽・声楽・作曲他様々なコンクール情報もあり、気になる資料は持ち帰ることができます。

留学コーナー

長期・短期留学に関する各国の情報や留学費用、奨学金についての情報を集めることができます。



企業パンフレット・内定報告書 企業コーナー キャリア関連冊子コーナー

キャリアセンターに届いた企業パンフレットをはじめ、先輩方の内定報告書などの他、教員採用試験対策の月刊誌の見本など役立つ情報が沢山あります。
※キャリア関連冊子コーナーは2か所になります



先輩からのワンポイントアドバイス

キャリアに関する書籍はとても参考になりました。おすすめの本は実際に購入して役立てていました。

企業情報コーナー

卒業生の就職情報、企業のパンフレットを設置しています。業界・企業研究に活用しよう。

内定報告書

声をかけてください

先輩方の内定先について、選考内容などの参考になる情報が保存してあります。閲覧したい方は受付へお声がけください。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	ヤナセ ススム 築瀬 進 <平成28年4月>		法学士		昭和音楽大学 学長 昭和音楽大学短期大学部 学長 (平成28.4～令和6.3)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。